

平成 25 年度

外郭団体の経営状況及び  
経営評価結果を説明する書類

京 都 市

この書類は、地方自治法第243条の3第2項により議会に経営状況を報告すべき法人（※）及びその他の本市外郭団体の経営状況並びに京都市行政活動及び外郭団体の経営の評価に関する条例により本市が実施した外郭団体の平成24年度決算に基づく平成25年度経営評価の結果を報告するものである。

掲載法人等は、次のとおりである。

1 掲載法人

本市外郭団体（本市が資本金、基本金その他これらに準ずるものの4分の1以上を出資している法人（本市からの補助金、委託料その他の支出、人的援助の状況等本市と法人との関係から判断して、本市が主体的に指導等を行う必要がない法人及び本市が設立した地方独立行政法人を除く。））

2 掲載順

所管局別に、地方三公社、財団法人、株式会社、社会福祉法人の順に記載した。

3 作成期日

原則として、平成25年7月1日現在で作成した。

4 注意事項

金額の表示については、原則として、単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

（※）地方自治法第243条の3第2項により議会に経営状況を報告すべき法人一覧

法人形態	法人名（法人形態略）	
地方三公社	京都市土地開発公社	京都市住宅供給公社
財団法人	京都市環境事業協会 大学コンソーシアム京都 京都市ユースサービス協会 京都市立浴場運営財団 京都市森林文化協会 京都市障害者スポーツ協会 京都市景観・まちづくりセンター 京都市都市緑化協会 京都市生涯学習振興財団	京都市国際交流協会 京都市埋蔵文化財研究所 京都市男女共同参画推進協会 京都市音楽芸術文化振興財団 きょうと京北ふるさと公社 京都市健康づくり協会 京都市都市整備公社 京都市防災協会
株式会社	京都産業振興センター 京都地下鉄整備	京都御池地下街

（参照）

地方自治法（抄）

（予算の執行に関する長の調査権等）

第221条（前略）

3 前2項の規定は、普通地方公共団体が出資している法人で政令で定めるもの、普通地方公共団体が借入金の元金若しくは利子の支払を保証し、又は損失補償を行う等その者のために債務を負担している法人で政令で定めるもの及び普通地方公共団体が受益権を有する信託で政令で定めるものの受託者にこれを準用する。

（以下略）

(財政状況の公表等)

第243条の3 (前略)

- 2 普通地方公共団体の長は、第221条第3項の法人について、毎事業年度、政令で定めるその経営状況を説明する書類を作成し、これを次の議会に提出しなければならない。  
(以下略)

地方自治法施行令 (抄)

(普通地方公共団体の長の調査等の対象となる法人等の範囲)

第152条 地方自治法第221条第3項に規定する普通地方公共団体が出資している法人で政令で定めるものは、次に掲げる法人とする。

- (1) 当該普通地方公共団体が設立した地方住宅供給公社、地方道路公社、土地開発公社及び地方独立行政法人
  - (2) 当該普通地方公共団体が資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1以上を出資している一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社
  - (3) 当該普通地方公共団体が資本金、基本金その他これらに準ずるものの4分の1以上2分の1未満を出資している一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社のうち条例で定めるもの
- 2 当該普通地方公共団体及び1又は2以上の前項第2号に掲げる法人(この項の規定により同号に掲げる法人とみなされる法人を含む。)が資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1以上を出資している一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社は、同号に掲げる法人とみなす。
  - 3 当該普通地方公共団体及び1又は2以上の第1項第2号に掲げる法人(前項の規定により同号に掲げる法人とみなされる法人を含む。)が資本金、基本金その他これらに準ずるものの4分の1以上2分の1未満を出資している一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社は、第1項第3号に規定する一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社とみなす。

(以下略)

(法人の経営状況等を説明する書類)

第173条 地方自治法第243条の3第2項に規定する政令で定めるその経営状況を説明する書類は、当該法人の毎事業年度の事業の計画及び決算に関する書類とする。

(以下略)

京都市行政活動及び外郭団体の経営の評価に関する条例 (抄)

第4章 外郭団体経営評価

(評価)

第13条 市長は、毎年度、外郭団体の経営について、評価を実施する。

- 2 実施機関は、前項の評価の結果に基づき、外郭団体に対し、必要な指導及び助言を行うものとする。
- 3 外郭団体は、第1項の評価の実施に協力しなければならない。

4 外郭団体は、第1項の評価の結果並びに第2項の指導及び助言を踏まえ、当該評価を実施した年度の翌年度の当該外郭団体の経営に関する計画を作成しなければならない。  
(外郭団体経営評価専門員)

第14条 市長は、外郭団体経営評価について、専門的な知識経験に基づく助言を行わせるために外郭団体経営評価専門員（以下「専門員」という。）を置く。

2 専門員の定数は、5人以内とする。

3 専門員は、経営に関し優れた識見を有する者その他市長が適当と認める者のうちから、市長が委嘱する。

4 専門員の任期は、3年とする。ただし、補欠の専門員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 専門員は、再任されることができる。

#### 第5章 市会の関与及び市民の参画

(市会への報告)

第15条 実施機関は、行政評価等の結果を、市会に報告するものとする。

(以下略)

## 目 次

I	外郭団体の決算の概況等		
1	本市の外郭団体	.....	1
2	決算の概況	.....	2
II	各団体の決算状況等		
	各団体の決算状況等について	.....	7
(環境政策局)	財団法人 京都市環境事業協会	.....	9
(行 財 政 局)	京都市土地開発公社	.....	17
(総合企画局)	公益財団法人 京都市国際交流協会	.....	24
	公益財団法人 大学コンソーシアム京都	.....	33
(文化市民局)	財団法人 京都市埋蔵文化財研究所	.....	43
	公益財団法人 京都市ユースサービス協会	.....	52
	公益財団法人 京都市男女共同参画推進協会	.....	62
	財団法人 京都市立浴場運営財団	.....	71
	公益財団法人 京都市体育協会	.....	78
	公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団	.....	87
	公益財団法人 京都市芸術文化協会	.....	98
(産業観光局)	公益財団法人 京都市森林文化協会	.....	107
	公益財団法人 きょうと京北ふるさと公社	.....	115
	公益財団法人 京都伝統産業交流センター	.....	124
	公益財団法人 京都高度技術研究所	.....	133
	株式会社 京都産業振興センター	.....	145
(保健福祉局)	公益財団法人 京都市障害者スポーツ協会	.....	152
	公益財団法人 京都市健康づくり協会	.....	161
	社会福祉法人 京都社会福祉協会	.....	168
	社会福祉法人 京都福祉サービス協会	.....	176
(都市計画局)	京都市住宅供給公社	.....	186
	公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター	.....	196
	京都御池地下街株式会社	.....	206
	京都醍醐センター株式会社	.....	212
(建 設 局)	一般財団法人 京都市都市整備公社	.....	218
	公益財団法人 京都市都市緑化協会	.....	232
	京都シティ開発株式会社	.....	245
(消 防 局)	一般財団法人 京都市防災協会	.....	253
(交 通 局)	京都地下鉄整備株式会社	.....	264
(上下水道局)	一般財団法人 京都市上下水道サービス協会	.....	270
(教育委員会)	公益財団法人 京都市生涯学習振興財団	.....	278

## I 外郭団体の決算の概況等

# 1 本市の外郭団体

## (1) 外郭団体の設立目的

外郭団体は、市政と連携しながら民間の人材、知識、資金等を活用することにより、市民のニーズに即した多様な公的サービスを提供することを目的に設立されたもので、市民サービスの向上や市政運営の効率化に貢献している。

## (2) 本市の外郭団体

本市が、出資金、基本金の25%以上を出資している法人(※)31団体を外郭団体として位置付け、全市的な観点から主体的に指導等を行っている。

本市の外郭団体の特徴として、財団法人の割合が高く、株式会社の割合が低くなっている。

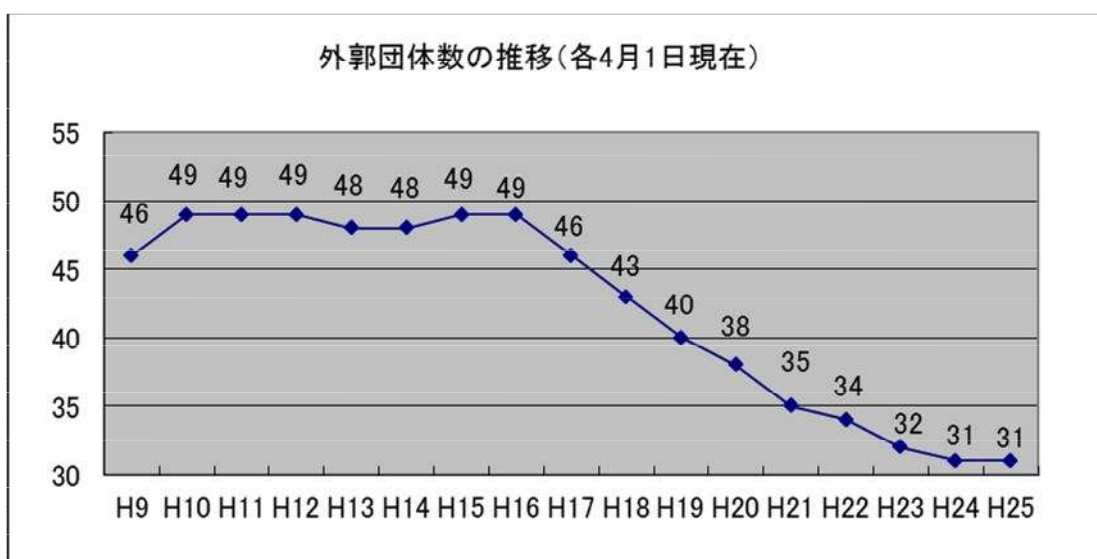
(※)本市からの補助金、委託料その他の支出、人的援助の状況等本市と法人との関係から判断して、本市が主体的に指導等を行う必要がない法人及び本市が設立した地方独立行政法人を除く。

【法人形態別外郭団体数】

法人形態	団体数	全体に占める割合
地方三公社	2	6.5%
財団法人	22	71.0%
社会福祉法人	2	6.5%
株式会社	5	16.1%
合計	31	

## (3) 外郭団体数の推移

「京都市外郭団体改革計画」(平成16年7月)、「外郭団体のより抜本的な見直し方策」(平成18年2月)及び「京都未来まちづくりプラン」の「行財政改革・創造プラン」(平成21年2月)に基づき、外郭団体の統廃合等を推進した結果、団体数は31団体まで減少している。



## 2 決算の概況

### (1) 決算の概要

外郭団体数は、前年度と変わらず、31団体であった。

平成24年度決算において、単年度損益が黒字であった団体は17団体あり、前年度から4団体減少した。黒字団体のうち、前年度から黒字のまま推移した団体は14団体、赤字から黒字に転換した団体は3団体であった。単年度黒字団体の全団体に占める割合は、54.8%であり、前年度より12.9ポイント減少した。

一方、単年度損益が赤字であった団体は14団体あり、前年度から4団体増加した。赤字団体のうち、前年度から赤字のまま推移した団体は7団体、黒字から赤字に転換した団体は7団体であった。

また、累積欠損を有する団体は5団体で、前年度と同数であった。債務超過の団体は、前年度と変わらず0団体であった。

外郭団体全体の累積損益合計額は、21,352,012千円であり、前年度より967,211千円減少した。

#### 【外郭団体決算全般の状況】

区分	平成23年度(A)	平成24年度(B)	差引増減(B-A)
外郭団体数	31	31	増減なし
単年度黒字団体数	21	17	△4
単年度赤字団体数	10	14	4
累積欠損団体数	5	5	増減なし
うち債務超過団体数	0	0	増減なし
累積損益合計額(千円)	22,319,223	21,352,012	△967,211

#### 【法人類型別 単年度損益の状況】

法人形態	平成23年度(A)		平成24年度(B)		差引増減(B-A)	
	黒字	赤字	黒字	赤字	黒字	赤字
地方三公社	2団体	0団体	1団体	1団体	△1団体	1団体
財団法人・ 社会福祉法人	16団体	8団体	14団体	10団体	△2団体	2団体
株式会社	3団体	2団体	2団体	3団体	△1団体	1団体
合計	21団体	10団体	17団体	14団体	△4団体	4団体

#### 【法人類型別 累積損益の状況】

法人形態	平成23年度(A)		平成24年度(B)		差引増減(B-A)	
	黒字	赤字	黒字	赤字	黒字	赤字
地方三公社	2団体	0団体	2団体	0団体	増減なし	増減なし
財団法人・ 社会福祉法人	22団体	2団体	22団体	2団体	増減なし	増減なし
株式会社	2団体	3団体	2団体	3団体	増減なし	増減なし
合計	26団体	5団体	26団体	5団体	増減なし	増減なし



## (2) 団体別の決算状況

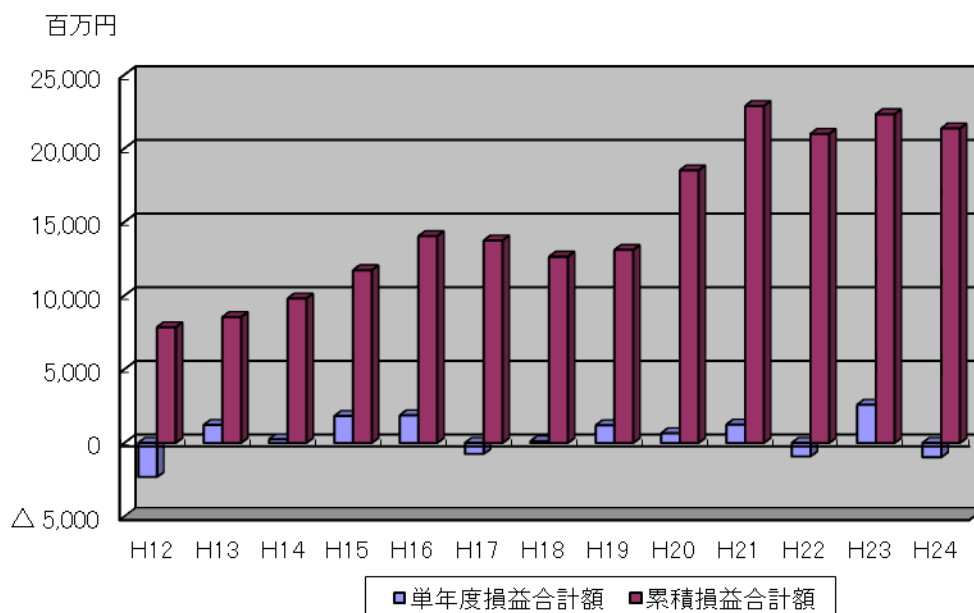
法人名	資本金又は基本財産 (千円)	出資率又は出えん率 (%)	単年度損益額 (千円)		累積損益額 (千円)	
			平成23年度	平成24年度	平成23年度	平成24年度
財団法人 京都市環境事業協会	52,363	95.5	4,344	△ 3,867	60,293	56,426
京都市土地開発公社	20,000	100.0	103,402	116,659	2,236,078	2,352,737
公益財団法人 京都市国際交流協会	100,000	100.0	△ 10,261	460	151,140	151,600
公益財団法人 大学コンソーシアム京都	100,000	50.0	△ 1,543	△ 32,553	297,802	265,249
財団法人 京都市埋蔵文化財研究所	932,366	100.0	961,233	△ 91,161	△ 175,881	△ 267,043
公益財団法人 京都市ユースサービス協会	30,000	100.0	△ 10,398	△ 8,039	29,377	21,338
公益財団法人 京都市男女共同参画推進協会	50,000	100.0	21,477	15,012	107,885	122,897
財団法人 京都市立浴場運営財団	50,000	100.0	△ 36,064	2,268	11,012	13,280
公益財団法人 京都市体育協会	61,500	48.8	210,007	29,440	265,547	294,987
公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団	103,000	53.4	92,907	87,701	572,140	659,841
公益財団法人 京都市芸術文化協会	50,000	30.0	3,797	△ 3,338	48,434	45,096
公益財団法人 京都市森林文化協会	50,000	100.0	△ 15,021	2,867	△ 12,855	△ 9,988
公益財団法人 きょうと京北ふるさと公社	30,000	83.3	6,629	53,135	69,959	123,094
公益財団法人 京都伝統産業交流センター	11,000	45.5	△ 363	△ 1,147	14,348	13,209
公益財団法人 京都高度技術研究所	300,000	33.3	42,462	426,361	76,294	502,655
株式会社 京都産業振興センター	90,000	60.0	18,820	23,965	285,702	309,666
公益財団法人 京都市障害者スポーツ協会	25,000	100.0	16,489	10,480	193,736	204,216
公益財団法人 京都市健康づくり協会	50,000	100.0	6,235	2,304	35,266	37,570
社会福祉法人 京都社会福祉協会	1,000	100.0	72,932	△ 35,110	2,185,863	2,150,753
社会福祉法人 京都福祉サービス協会	50,000	100.0	372,073	281,056	8,686,482	8,967,538
京都市住宅供給公社	10,000	100.0	297,786	△ 538,922	6,182,541	5,643,619
公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター	60,000	100.0	△ 1,535	△ 5,514	134,678	129,164
京都御池地下街株式会社	3,495,000	58.4	△ 38,037	△ 6,093	△ 1,070,634	△ 1,076,727
京都醍醐センター株式会社	3,400,000	29.4	△ 81,929	△ 58,198	△ 2,291,181	△ 2,349,379
一般財団法人 京都市都市整備公社	11,000	100.0	487,647	△ 1,275,600	3,284,196	2,008,596
公益財団法人 京都市都市緑化協会	50,000	100.0	826	7,227	33,303	40,530
京都シティ開発株式会社	561,000	49.9	46,076	34,116	△ 38,860	△ 4,468
一般財団法人 京都市防災協会	50,000	100.0	8,646	7,933	71,735	79,668
京都地下鉄整備株式会社	40,000	55.0	3,464	△ 2,540	191,943	189,403
一般財団法人 京都市上下水道サービス協会	16,000	25.0	△ 8,436	△ 8,166	617,805	609,639
公益財団法人 京都市生涯学習振興財団	80,000	100.0	18,366	1,771	65,075	66,846

(注) 単年度損益額及び累積損益額は、法人の種別に応じ、それぞれ次のとおり算出している。

法人の種別	単年度損益額	累積損益額
地方三公社	当期純利益	自己資本－資本金
財団法人	当期正味財産増減額	正味財産－基本金
株式会社	当期利益	自己資本－資本金
社会福祉法人	当年度純資産額－前年度純資産額	純資産－基本金

(3) 単年度損益合計額及び累積損益合計額の推移

「京都市版外郭団体経営評価システム」（8ページ参照）を導入した平成12年度と比較して、団体数は減少しているが、累積損益合計額は増加傾向にある。



(4) 本市からの財政支出等の状況

区 分	平成 23 年度 (A)	平成 24 年度 (B)	差引増減 (B - A)
本市からの委託料	14,057 百万円	13,459 百万円	△598 百万円
本市からの補助金	2,369 百万円	2,391 百万円	22 百万円
本市からの貸付金	11,323 百万円	11,576 百万円	253 百万円

(参考)平成24年度本市からの財政支出等及び人件費

団体名	出資率 (%)	本市からの財政支出等						人件費				
		補助金 (千円)	委託料 (千円)	うち競争性 のない 随意契約 (千円)	うち再委託 金額 (千円)	貸付金 (千円)	常勤役員		非常勤役員			役員報酬及び 有給職員の 給与・賞与の 合計額 (A)+(B)+(C)
							報酬総額 (千円) (A)	有給 役員 数 (※1)	有給 役員 数 (※2)	報酬総額 (千円) (B)	給与・賞与 の合計額 (千円) (C)	
(財)京都市環境事業協会	95.5%	41,114	702,678	554,340	6,142	0	7,382	0	0	197	508,500	515,882
京都市土地開発公社	100.0%	0	0	0	0	0	0	0	3	6	36,068	43,408
(公財)京都市国際交流協会	100.0%	14,707	204,237	6,495	0	0	4,546	0	0	27	102,372	106,918
(公財)大学コンソーシアム京都	50.0%	0	190,235	18,001	0	0	2,502	0	0	20	71,486	73,988
(財)京都市埋蔵文化財研究所	100.0%	0	413,497	388,317	0	525,000	0	0	0	43	268,057	268,057
(公財)京都市ユースサービス協会	100.0%	11,246	332,957	47,422	0	0	4,006	8	378	50	212,298	216,682
(公財)京都市男女共同参画推進協会	100.0%	6,416	182,525	2,525	0	0	5,402	11	517	27	76,124	82,043
(財)京都市立浴場運営財団	100.0%	20,281	426,000	0	0	0	0	0	0	116	274,119	274,119
(公財)京都市体育協会	48.8%	25,306	220,550	28,782	0	0	6,835	0	0	29	106,452	113,287
(公財)京都市音楽芸術文化振興財団	53.4%	644,407	501,140	42,778	0	0	6,217	9	289	169	896,017	902,523
(公財)京都市芸術文化協会	30.0%	26,264	141,303	12,383	5,013	18,030	6,104	13	2,027	19	62,842	70,973
(公財)京都市森林文化協会	100.0%	19,658	66,360	61,572	12,231	0	6,740	13	430	5	24,391	31,561
(公財)きょうと京北ふるさと公社	83.3%	99,013	66,202	59,802	0	0	2,400	1	600	49	99,239	102,239
(公財)京都伝統産業交流センター	45.5%	0	74,850	74,850	17,765	0	4,596	0	0	9	19,512	24,108
(公財)京都高度技術研究所	33.3%	705,588	522,230	408,068	27,252	0	1,350	0	0	139	473,069	474,419
(株)京都産業振興センター	60.0%	0	50,989	50,989	0	0	6,480	0	0	35	112,591	119,071
(公財)京都市障害者スポーツ協会	100.0%	0	227,396	0	0	0	0	0	0	28	108,378	108,378
(公財)京都市健康づくり協会	100.0%	0	139,602	50,583	5,523	0	7,902	0	0	11	84,311	92,213
(福)京都社会福祉協会	100.0%	196,770	364,484	93,272	0	0	5,254	0	0	645	2,532,037	2,537,291
(福)京都福祉サービス協会	100.0%	40,462	322,688	166,580	0	0	7,469	6	330	3,346	5,903,966	5,911,765

団体名	出資率 (%)	本市からの財政支出等					人件費						
		補助金 (千円)	委託料 (千円)	うち競争性 のない 随意契約 (千円)	うち再委託 金額 (千円)	貸付金 (千円)	常勤役員		非常勤役員			役員報酬及び 有給職員の 給与・賞与の 合計額 (A)+(B)+(C)	
							有給 役員 数 (※1)	報酬総額 (千円) (A)	有給 役員 数	報酬総額 (千円) (B)	有給 職員 数 (※2)		給与・賞与の 合計額 (千円) (C)
京都市住宅供給公社	100.0%	39,449	4,144,070	824,117	499,104	4,725,000	2	13,159	1	1,800	224	673,069	688,028
(公財)京都市景観・まちづくりセンター	100.0%	48,219	45,300	0	0	0	1	7,279	0	0	14	40,596	47,875
京都御池地下街(株)	58.4%	412,379	356,492	159,627	74,007	6,307,752	2	8,400	0	0	18	59,502	67,902
京都醍醐センター(株)	29.4%	0	115,630	11,800	6,209	0	2	8,586	1	360	12	41,993	50,939
(一財)京都市都市整備公社	100.0%	0	222,056	9,106	3,236	0	3	16,873	0	0	155	595,464	612,337
(公財)京都市都市緑化協会	100.0%	36,901	135,492	29,692	0	0	0	0	9	299	24	71,195	71,494
京都市テイル開発(株)	49.9%	0	210,707	59,449	21,894	0	3	17,112	7	845	27	141,434	159,391
(一財)京都市防災協会	100.0%	0	144,505	8,880	1,424	0	1	7,060	0	0	14	40,717	47,777
京都地下鉄整備(株)	55.0%	0	266,661	266,661	0	0	1	6,000	3	500	51	153,736	160,236
(一財)京都市上下水道サービス協会	25.0%	0	1,158,894	848,656	81,537	0	2	11,125	6	400	135	634,612	646,137
(公財)京都市生涯学習振興財団	100.0%	2,886	1,509,432	1,509,432	0	0	0	0	15	281	214	812,661	812,942
合 計	-	2,391,066	13,459,162	5,794,179	761,337	11,575,782	36	180,779	106	16,396	5,858	15,236,808	15,433,983

(注) 平成25年3月31日現在

(※1) 有給役員数については、役員と職員を兼務している場合、役員報酬として支払っている場合は役員に含め、職員給与として支払っている場合は職員に含めている。

(※2) 有給職員数は、正規職員、非正規職員及び本市派遣職員の合計である。

また、有給職員数は、平成25年3月31日時点の人数であり、平均額は年度途中の職員数の増減を反映したものではない。

(※3) 給与・賞与の合計額は、各団体が職員に支払った給与及び賞与の総額である。

(参考)平成24年度本市からの財政支出等及び人件費

団体名	出資率 (%)	本市からの財政支出等						人件費					
		補助金 (千円)	委託料 (千円)	うち競争性 のない 随意契約 (千円)	うち再委託 金額 (千円)	貸付金 (千円)	常勤役員		非常勤役員			職員 給与・賞与 の合計額 (千円) (C)	役員報酬及び 有給職員の 給与・賞与の 合計額 (A)+(B)+(C)
							報酬総額 (千円) (A)	有給 役員 数 (※1)	有給 役員 数 (※2)	報酬総額 (千円) (B)			
											有給 役員 数 (※1)		
(財)京都市環境事業協会	95.5%	41,114	702,678	554,340	6,142	0	7,382	0	0	197	508,500	515,882	
京都市土地開発公社	100.0%	0	0	0	0	0	7,340	3	0	6	36,068	43,408	
(公財)京都市国際交流協会	100.0%	14,707	204,237	6,495	0	0	4,546	0	0	27	102,372	106,918	
(公財)大学コンソーシアム京都	50.0%	0	190,235	18,001	0	0	2,502	0	0	20	71,486	73,988	
(財)京都市埋蔵文化財研究所	100.0%	0	413,497	388,317	0	525,000	0	0	0	43	268,057	268,057	
(公財)京都市ユースサービス協会	100.0%	11,246	332,957	47,422	0	0	4,006	8	378	50	212,298	216,682	
(公財)京都市男女共同参画推進協会	100.0%	6,416	182,525	2,525	0	0	5,402	21	517	27	76,124	82,043	
(財)京都市立浴場運営財団	100.0%	20,281	426,000	0	0	0	0	0	0	116	274,119	274,119	
(公財)京都市体育協会	48.8%	25,306	220,550	28,782	0	0	6,835	0	0	29	106,452	113,287	
(公財)京都市音楽芸術文化振興財団	53.4%	644,407	501,140	42,778	0	0	6,217	9	289	169	896,017	902,523	
(公財)京都市芸術文化協会	30.0%	26,264	141,303	12,383	5,013	18,030	6,104	13	2,027	19	62,842	70,973	
(公財)京都市森林文化協会	100.0%	19,658	66,360	61,572	12,231	0	6,740	13	430	5	24,391	31,561	
(公財)きょうと京北ふるさと公社	83.3%	99,013	66,202	59,802	0	0	2,400	1	600	49	99,239	102,239	
(公財)京都伝統産業交流センター	45.5%	0	74,850	74,850	17,765	0	4,596	0	0	9	19,512	24,108	
(公財)京都高度技術研究所	33.3%	705,588	522,230	408,068	27,252	0	1,350	0	0	139	473,069	474,419	
(株)京都産業振興センター	60.0%	0	50,989	50,989	0	0	6,480	0	0	35	112,591	119,071	
(公財)京都市障害者スポーツ協会	100.0%	0	227,396	0	0	0	0	0	0	28	108,378	108,378	
(公財)京都市健康づくり協会	100.0%	0	139,602	50,583	5,523	0	7,902	0	0	11	84,311	92,213	
(福)京都社会福祉協会	100.0%	196,770	364,484	93,272	0	0	5,254	0	0	645	2,532,037	2,537,291	
(福)京都福祉サービス協会	100.0%	40,462	322,688	166,580	0	0	7,469	6	330	3,346	5,903,966	5,911,765	

団体名	出資率 (%)	本市からの財政支出等					人件費						
		補助金 (千円)	委託料 (千円)	うち競争性 のない 随意契約 (千円)	うち再委託 金額 (千円)	貸付金 (千円)	常勤役員		非常勤役員			役員報酬及び 有給職員の 給与・賞与の 合計額 (A)+(B)+(C)	
							有給 役員 数 (※1)	報酬総額 (千円) (A)	有給 役員 数 (※2)	報酬総額 (千円) (B)	給与・賞与の 合計額 (千円) (C)		
													有給 役員 数 (※1)
京都市住宅供給公社	100.0%	39,449	4,144,070	824,117	499,104	4,725,000	2	13,159	1	1,800	224	673,069	688,028
(公財)京都市景観・まちづくりセンター	100.0%	48,219	45,300	0	0	0	1	7,279	0	0	14	40,596	47,875
京都御池地下街(株)	58.4%	412,379	356,492	159,627	74,007	6,307,752	2	8,400	0	0	18	59,502	67,902
京都醍醐センター(株)	29.4%	0	115,630	11,800	6,209	0	2	8,586	1	360	12	41,993	50,939
(一財)京都市都市整備公社	100.0%	0	222,056	9,106	3,236	0	3	16,873	0	0	155	595,464	612,337
(公財)京都市都市緑化協会	100.0%	36,901	135,492	29,692	0	0	0	0	9	299	24	71,195	71,494
京都市テイル開発(株)	49.9%	0	210,707	59,449	21,894	0	3	17,112	7	845	27	141,434	159,391
(一財)京都市防災協会	100.0%	0	144,505	8,880	1,424	0	1	7,060	0	0	14	40,717	47,777
京都地下鉄整備(株)	55.0%	0	266,661	266,661	0	0	1	6,000	3	500	51	153,736	160,236
(一財)京都市上下水道サービス協会	25.0%	0	1,158,894	848,656	81,537	0	2	11,125	6	400	135	634,612	646,137
(公財)京都市生涯学習振興財団	100.0%	2,886	1,509,432	1,509,432	0	0	0	0	15	281	214	812,661	812,942
合 計	-	2,391,066	13,459,162	5,794,179	761,337	11,575,782	36	180,779	116	16,396	5,858	15,236,808	15,433,983

(注) 平成25年3月31日現在

(※1) 有給役員数については、役員と職員を兼務している場合、役員報酬として支払っている場合は役員に含め、職員給与として支払っている場合は職員に含めている。

(※2) 有給職員数は、正規職員、非正規職員及び本市派遣職員の合計である。

また、有給職員数は、平成25年3月31日時点の人数であり、平均額は年度途中の職員数の増減を反映したものでない。

(※3) 給与・賞与の合計額は、各団体が職員に支払った給与及び賞与の総額である。

## Ⅱ 各団体の決算状況等

## 各団体の決算状況等について

各団体の決算状況等については、次の内容を掲載している。

### 第1 法人の概要

代表者，所在地，電話番号，ホームページアドレス，設立年月日，基本財産（又は資本金），事業目的，業務内容，所管部局，役員名等，常勤職員数及び組織機構を掲載している。

### 第2 経営状況

#### 1 平成24年度決算

##### (1) 事業報告

平成24年度事業報告書を基に作成している。

##### (2) 財務諸表

平成24年度決算書を基に作成している。掲載している財務諸表については、次のとおりである。

法人形態	内容
土地開発公社	貸借対照表，損益計算書，キャッシュフロー計算書
住宅供給公社	貸借対照表，損益計算書，剰余金計算書，キャッシュフロー計算書
財団法人	貸借対照表，正味財産増減計算書，キャッシュフロー計算書（※） （※）キャッシュフロー計算書は作成している法人のみ掲載している。
株式会社	貸借対照表，損益計算書，株主資本等変動計算書
社会福祉法人	資金収支計算書，事業活動収支計算書，貸借対照表

#### 2 平成25年度事業計画

##### (1) 事業計画の概要

平成25年度事業計画書を基に作成している。

##### (2) 予算

平成25年度予算書を基に作成している。

##### (参考1) 財務状況の推移

財務諸表上の主要な勘定科目の過去3年間の決算額及び今年度予算額（予算書上数値が把握できるものに限る。）を記載している。

##### (参考2) 京都市からの補助金等

京都市からの委託料，補助金，貸付金等の過去3年間の決算額及び今年度予算額（委託料を除く。）を記載している。

なお，指定管理業務において一部利用料金制（委託料と利用料金制の併用）を採用している場合は，平成23年度決算分から，その旨を表示している。

### 第3 経営評価結果

平成24年度決算，経営努力結果等に基づく経営評価結果（※）を掲載している。

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

所管局による経営評価結果を掲載している。

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

外郭団体総合調整会議による評価コメントを掲載している。

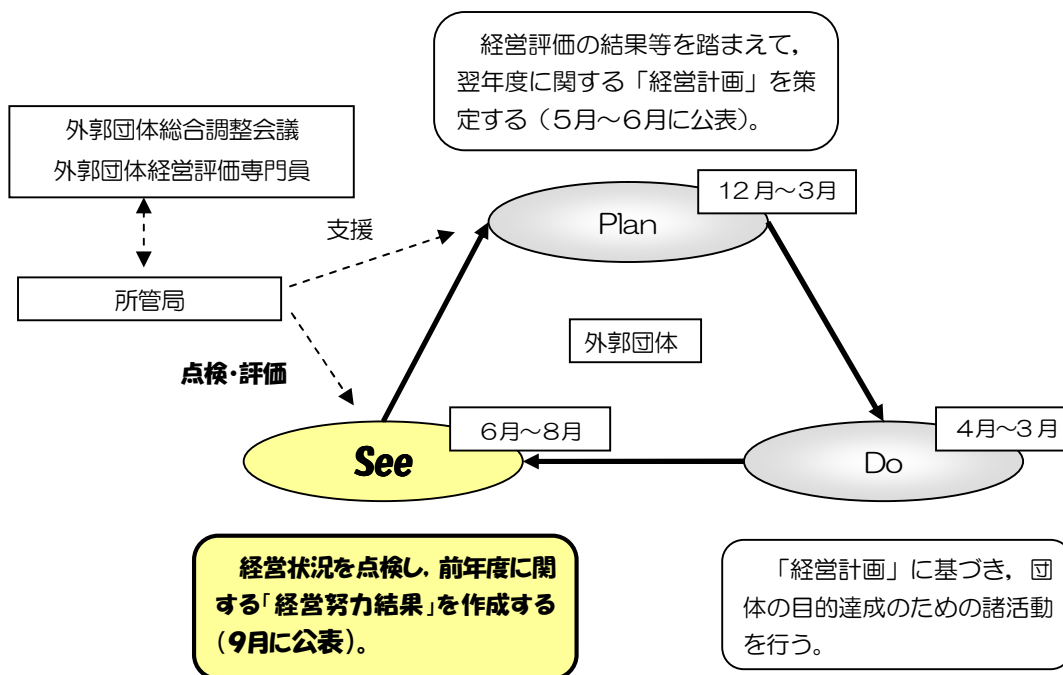


(※) 外郭団体経営評価について

1 京都市版外郭団体経営評価システムの概要

外郭団体の自主的な経営改善を促進することを目的として、外郭団体自らによる経営計画等の策定の支援や各団体の経営状況等の客観的な点検・評価の実施を行う。

【「京都市版外郭団体経営評価システム」の概念図】



2 評価者

各外郭団体の平成24年度決算及び各外郭団体が策定し、公表した平成24年度経営計画に対する経営努力結果（※1）を基に、外部の有識者である外郭団体経営評価専門員（※2）からの助言を得ながら、所管局及び本市外郭団体総合調整会議（※3）において評価している。

3 評価結果の活用

外郭団体は、評価結果を踏まえ、平成26年度経営計画を策定する。また、本市は、全外郭団体の経営計画を取りまとめ、平成26年5月に公表する予定である。

(※1) 経営努力結果は、「外郭団体の指導調整」のホームページに掲載している。

アドレス：<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu5/category/69-22-0-0-0-0-0-0-0.html>

(※2) 外郭団体経営評価専門員

京都市行政活動及び外郭団体の経営の評価に関する条例第14条に基づき、外郭団体経営評価について、専門的な知識経験に基づく助言を行わせるため、市長が委嘱した経営に関し優れた識見を有する者

- ・ 真山達志（同志社大学副学長・政策学部教授）
- ・ 横井 康（公認会計士）

(※3) 外郭団体総合調整会議

行財政局及び総合企画局の局長等で構成し、外郭団体の経営評価結果、経営計画等について審議し、必要な指導調整等を行う会議

環境政策局

# 財団法人京都市環境事業協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 笠松恒洋

### 2 所在地

京都市南区西九条森本町 83 番地

### 3 電話番号

075-681-1775

### 4 ホームページアドレス

<http://www.miyako-eco.jp/>（京都市環境保全活動センター）

### 5 設立年月日

平成 13 年 2 月 14 日

### 6 基本財産

52,363 千円（うち本市出えん額 50,000 千円，出えん率 95.5%）

### 7 事業目的

循環型社会の実現のため，市民・事業者において環境に配慮した自主的な行動が実践されるよう，環境意識の普及啓発を図るとともに，廃棄物の減量化及び再資源化の実践面での支援を行い，併せて廃棄物の収集，運搬，処理，処分等の業務を行うことにより，京都市の廃棄物処理行政の円滑かつ効率的な推進を支援し，市民生活の快適な環境を確保すること。

### 8 業務内容

(1) 環境意識の普及，啓発に関する事業

(2) 京都市環境保全活動センターの管理運営に関する事業

(3) 不法投棄の監視巡回パトロールや市民・事業者による美化活動の支援等「まちの美化」に関する事業

(4) 京都市から受託する廃棄物の収集，運搬，処理，処分及び再資源化に関する事業

(5) 京都市の環境関連施設の管理運営に関する事業

(6) その他の環境整備の推進に関する事業

### 9 所管部局

環境政策局環境企画部環境総務課（TEL075-222-3450）

### 10 役員名等

(1) 理事長

笠松恒洋

(2) 副理事長

西村文治（環境政策局長）

(3) 理事

浅岡美恵，内藤正明，西脇悦子，羽室武

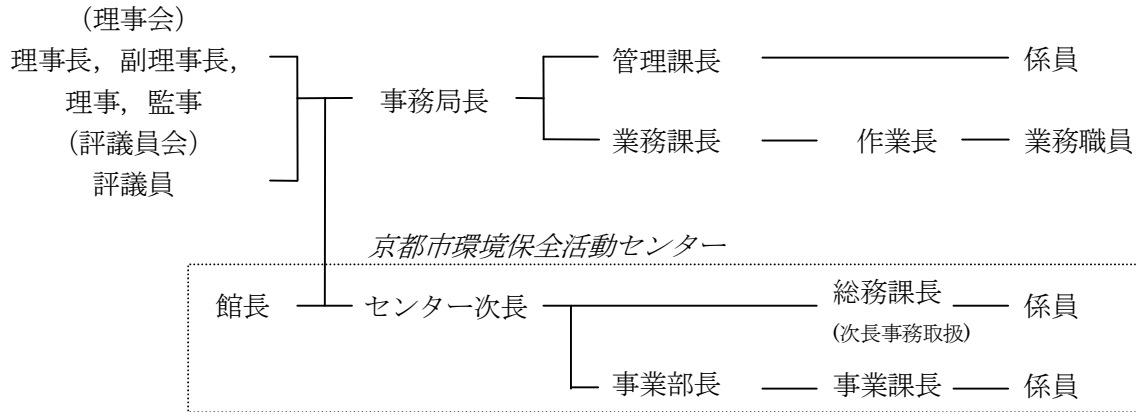
(4) 監事

野村克章，今井邦光（環境政策局環境企画部環境総務課長）

### 11 常勤職員数

47 人（うち本市派遣職員 5 人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成24年度決算

(1) 事業報告

ア 環境意識の普及・啓発及び環境活動の実践に関する事業

(ア) 世界一美しいまち・京都推進に関する事業

- a 不法投棄対策
- b 産業廃棄物保管場所等の監視パトロール
- c 紙パック・使用済乾電池の拠点回収作業
- d 街頭ごみ容器内のごみ回収作業
- e 市民・事業者による美化活動の支援
- f 公衆便所の清掃, 維持管理作業
- g 市民に対する環境意識の普及啓発
- h その他自主事業

(イ) クリーンセンター（北部及び東部）等の管理などに関する事業

- a 構内管理業務
- b バイオディーゼル燃料の給油作業
- c 小型金属類の選別作業

(ウ) 京都市北部資源リサイクルセンターの運営事業

(エ) 「KES・環境マネジメントシステム・スタンダード」の取組

イ 京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）に関する事業

(ア) 京エコロジーセンターの管理運営

(イ) 京エコロジーセンターの事業運営

- a 環境学習プログラム開発事業
- b 環境ボランティア育成, 支援事業
- c 地域環境保全リーダー養成, 研修事業
- d 地域における環境保全活動支援・連携事業
- e 環境保全活動団体への支援・連携事業
- f 事業者, 教育機関による環境保全活動への支援・連携事業
- g 情報発信, 広報事業
- h イベント企画, 実施事業

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成25年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	特別会計	内部取引
I 資産の部				
1 流動資産	[201,471]	[157,846]	[43,625]	
現金預金	198,816	157,846	40,969	
未収金	2,655	0	2,655	
2 固定資産	[55,099]	[52,450]	[2,650]	
(基本財産)	(52,363)	(52,363)	(0)	
投資有価証券	50,004	50,004	0	
基本財産預金	2,359	2,359	0	
(その他の固定資産)	(2,736)	(86)	(2,650)	
什器備品	13,004	1,628	11,376	
減価償却累計額	△ 10,288	△ 1,542	△ 8,746	
保証金	20	0	20	
資産合計	256,570	210,296	46,274	
II 負債の部				
1 流動負債	[147,781]	[129,811]	[17,969]	
未払金	146,604	128,676	17,928	
預り金	1,177	1,135	42	
負債合計	147,781	129,811	17,969	
III 正味財産の部				
1 指定正味財産	[52,363]	[52,363]	[0]	
2 一般正味財産	[56,426]	[28,122]	[28,305]	
正味財産合計	108,790	80,485	28,305	
負債及び正味財産合計	256,570	210,296	46,274	

正味財産増減計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	合 計	一般会計	特別会計	内部取引
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	242	242	0	
② 事業収益	705,335	551,840	153,495	
③ 受取補助金	47,117	47,117	0	
④ 受取寄付金	0	0	0	
⑤ 雑収益	990	277	714	
経常収益計	753,685	599,476	154,209	
(2) 経常費用				
① 事業費	699,788	537,883	161,905	
② 管理費	57,664	57,664	0	
経常費用計	757,453	595,547	161,905	
当期経常増減額	△ 3,768	3,929	△ 7,697	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	99	99	0	
当期経常外増減額	△ 99	△ 99	0	
当期一般正味財産増減額	△ 3,867	3,830	△ 7,697	
一般正味財産期首残高	60,293	24,292	36,002	
一般正味財産期末残高	56,426	28,122	28,305	
II 指定正味財産増減の部				
① 基本財産償還損	△ 59	△ 59	0	
② 基本財産運用益	275	275	0	
③ 一般正味財産への振替額	△ 216	△ 216	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	52,363	52,363	0	
指定正味財産期末残高	52,363	52,363	0	
III 正味財産期末残高	108,790	80,485	28,305	

## 2 平成 25 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 環境意識の普及・啓発及び環境活動の実践に関する事業

##### (ア) 世界一美しいまち・京都の推進に関する事業

- a 街頭ごみ容器内のごみ回収作業
- b 公衆便所の清掃，維持管理業務

##### (イ) K E S ・環境マネジメントシステム・スタンダードの取組

#### イ 京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）に関する事業

##### (ア) 京エコロジーセンターの管理運営

##### (イ) 京エコロジーセンターの事業運営

- a 館内外の環境学習プログラム開発・実践事業プロジェクト
- b 環境ボランティアの育成・支援事業プロジェクト
- c 子どもから大人まで環境人づくり事業プロジェクト
- d 地域コミュニティにおける環境保全活動支援・連携事業プロジェクト
- e N P Oをはじめとする環境保全団体への支援・連携事業プロジェクト
- f 情報発信・広報対策事業プロジェクト
- g イベントの企画と実施事業プロジェクト

##### (ウ) 事業運営委員会等の開催，参加

多様なセクターとの協働で当センターの事業運営を行うため，以下の委員会等を設置し，事業運営を図る。また，他団体の環境関連実行委員会等にも積極的に参画していく。

##### a 事業運営委員会の開催

事業運営に係る事業方針・計画，長期的な事業及びN P O，事業者や利用団体等と当センターが連携する事業の企画・立案・評価を行うことを目的に設置し，原則として年3回開催する。

##### b 中長期計画進行管理小委員会の開催

「京エコロジーセンター第2期中長期計画」の進行管理及び個別事業の年次計画が事業プロジェクトの到達目標と整合性を有しているかをチェックするために設置し，必要に応じて開催する。

##### c 選考小委員会の開催

公募事業に係る選考を目的として設置する。

##### d 事業部会の廃止と作業部会の設置

事業運営委員会の下に，事業計画に基づく各事業の内容等の協議及び事業評価を目的として三つの部会を設置して事業運営に当たってきたが，事業運営委員会の体制の見直しに伴い，平成25年度からは事業部会を廃止した。また，新たに，予算や人員を集中し専門家の参画も得てリーディング事業の検討を行う作業部会を設置することとし，平成25年度は館内の展示の充実策を検討する作業部会を設置する。

これまで，事業部会で行っていった事業内容等の協議については，事業運営委員会において実施し，また，事業評価の実施体制については，平成25年度中に決定することとしている。

##### e 他団体の環境関連実行委員会等への参加

地球温暖化防止及びごみ減量等に関する事業を実施する団体が主催する実行委員会等に，当センターが積極的に参画する。

##### (エ) K E S ・環境マネジメントシステム・スタンダードの取組

## (2) 予算

## 収 支 予 算 書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	特別会計	内部取引
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産利息収入	100	100	0	0
② 事業収入	416,438	268,000	148,438	0
③ 補助金収入	41,000	41,000	0	0
④ 雑収入	450	400	50	0
事業活動収入計	457,988	309,500	148,488	0
2 事業活動支出				
① 事業費支出	405,340	241,000	164,340	0
② 管理費支出	57,000	57,000	0	0
事業活動支出計	462,340	298,000	164,340	0
事業活動収支差額	△ 4,352	11,500	△ 15,852	0
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	0
2 投資活動支出				
① 固定資産取得支出	1,500	1,000	500	0
投資活動支出計	1,500	1,000	500	0
投資活動収支差額	△ 1,500	△ 1,000	△ 500	0
III 予備費支出	11,500	10,500	1,000	0
当期収支差額	△ 17,352	0	△ 17,352	0
前期繰越収支差額	53,962	24,000	29,962	0
次期繰越収支差額	36,610	24,000	12,610	0



## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
収支計算書	収入合計	871,742	869,355	861,469	511,950
	支出合計	819,291	811,630	807,778	475,340
	次期繰越収支差額	52,451	57,725	53,691	36,610
正味財産増減計算書	経常収益	824,826	816,904	753,685	
	当期経常増減額	4,492	4,344	△3,768	
	当期正味財産増減額	4,492	4,344	△3,867	
貸借対照表	総資産	274,554	285,594	256,570	
	総負債	166,242	172,937	147,781	
	正味財産	108,312	112,656	108,790	
	基本財産	52,363	52,363	52,363	
	累積損益額	55,949	60,293	56,426	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	京都市環境保全活動センター (指定管理)	160,100	157,372	148,338	148,338
	「世界一美しいまち・京都」推進事業	348,821	331,995	328,073	
	クリーンセンター管理業務	118,394	129,324	75,181	
	北部資源リサイクルセンター資源ごみ選別処理業務	145,912	146,076	148,586	
	くらしの匠と進める「エコライフ・コミュニティ」事業	6,265			
	低炭素のモデル地区「エコ学区」事業に係る「くらしの匠」事業		2,400	2,400	
	電気自動車用充電設備管理業務	100	100	100	
補助金	運営補助	39,055	40,939	41,114	37,000

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	・ 本市からの委託業務の見直しに伴う委託収入減により、平成23年度と比較して収入合計は減少しているものの、資金繰りについては、短期、長期ともに十分な支払能力を有している。
事業面	・ 本市から委託する廃棄物の収集、運搬に関する事業及び京都市環境保全活動センターの管理運営業務等を、安定的かつ着実に実施している。

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	・ 収入の減少が続いており、平成24年度の当期正味財産増減額は赤字となっている。売上高人件費比率は依然として高く、収入の減少が損益に大きく影響するため、留意する必要がある。
事業面	・ 京都市環境保全活動センターへの来館者数が増加しているため、このすう勢を維持することが望まれる。

行 財 政 局

# 京都市土地開発公社

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 足立裕一

### 2 所在地

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地 京都市役所内

### 3 電話番号

075-222-3870

### 4 ホームページアドレス

<http://www2.odn.ne.jp/kyoto-tkk/>

### 5 設立年月日

昭和 48 年 2 月 5 日

### 6 資本金

20,000 千円（うち本市出えん額 20,000 千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

公共用地，公用地等の取得，管理，処分等を行うことにより，地域の秩序ある整備と市民福祉の増進に寄与すること。

### 8 業務内容

(1) 公共用地，公用地等の取得，管理，処分等

(2) 国等の委託に基づき，土地の取得のあっせん，調査，測量等

※ 平成 25 年度以降，公社による公共用地の先行取得は行わず，京都市及び京都市以外の者への保有地の売却を進めることになった。

### 9 所管部局

行財政局財政部財産活用促進課（TEL075-222-3281）

### 10 役員名等

(1) 理事長

足立裕一（行財政局財政担当局長）

(2) 副理事長

多田吉宏（行財政局財政部経営改革担当部長）

(3) 専務理事

長谷川和昭（行財政局財政部財産活用促進課財産管理・土地開発公社担当課長）

(4) 理事

西村隆（公営企業管理者交通局長），水田雅博（公営企業管理者上下水道局長），  
岡田憲和（総合企画局長），小笠原憲一（都市計画局長），河嶋敏郎（建設局長），  
生田義久（教育長）

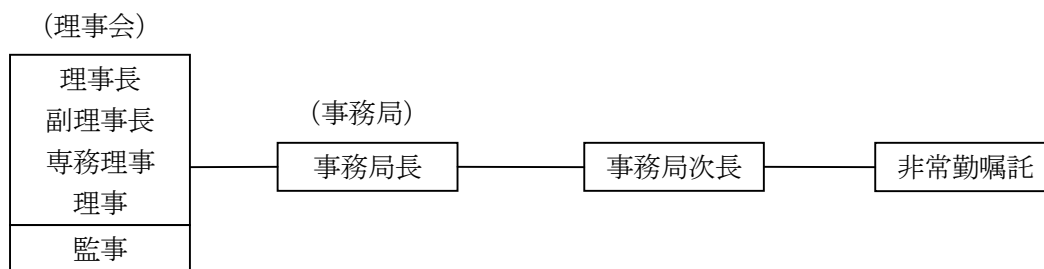
(5) 監事

近藤一郎

### 11 常勤職員数

0 人（うち本市派遣職員 0 人）

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 土地の取得

新規取得なし

##### イ 土地の売却

道路用地，住環境整備用地など合計 29,506 m<sup>2</sup>を京都市等に売却した。

##### ウ 附帯等事業

保有地をその利用目的に供するまでの有効活用として，駐車場施設などに有償貸付けを行うほか，公共事業推進のための使用などについては無償で貸付けを行った。

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	[20,900,210]	流動負債	[17,041,249]
現金及び預金	1,863,866	未払金	2,885
事業未収金	307,072	短期借入金	17,000,000
未収収益	1,183	未払費用	37,125
公有用地	18,727,613	その他の流動負債	1,239
その他の流動資産	475		
固定資産	[513,776]	固定負債	[2,000,000]
(有形固定資産)	(13,308)	長期借入金	2,000,000
建物又はその附属設備	27,472		
減価償却累計額	△ 25,517	負債合計	19,041,249
構築物	29,146		
減価償却累計額	△ 19,106	資本の部	
車両その他の運搬具	1,847	資本金	[20,000]
減価償却累計額	△ 646	基本財産	20,000
工具、器具及び備品	2,256	準備金	[2,352,737]
減価償却累計額	△ 2,143	前期繰越準備金	2,236,078
(無形固定資産)	(456)	当期純利益	116,659
電話加入権	100		
その他の無形固定資産	356		
(投資その他の資産)	(500,012)	資本合計	2,372,737
長期定期預金	500,000		
長期前払費用	12	負債及び資本合計	21,413,986
資産合計	21,413,986		

損益計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	金	額
1 事業収益		
(1) 公有地取得事業収益	13,587,976	
(2) 附帯等事業収益	42,409	13,630,385
2 事業原価		
(1) 公有地取得事業原価	13,444,948	
(2) 附帯等事業原価	8,757	13,453,705
	事業総利益	176,680
3 販売費及び一般管理費		60,215
	事業利益	116,465
4 事業外収益		
(1) 受取利息	986	986
5 事業外費用		
(1) 支払利息	792	792
	経常利益	116,659
6 特別損失		
(1) 土地評価損	0	0
	当期純利益	116,659

キャッシュフロー計算書  
平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度
I 事業活動によるキャッシュフロー	
1 公有地取得事業収入	13,280,904
2 その他事業収入	43,061
3 公有地取得事業支出	△ 429,179
4 その他事業支出	△ 18,265
5 人件費支出	△ 49,676
6 その他の業務支出	△ 9,260
小計	12,817,585
7 利息の受取額	986
8 利息の支払額	△ 792
事業活動によるキャッシュフロー	12,817,779
II 投資活動によるキャッシュフロー	
1 定期預金の預入れによる支出	0
2 定期預金の引出しによる収入	83,000
3 有形固定資産の取得による支出	0
投資活動によるキャッシュフロー	83,000
III 財務活動によるキャッシュフロー	
1 短期借入れによる収入	32,815,000
2 短期借入金の返済による支出	△ 23,215,000
3 長期借入れによる収入	2,000,000
4 長期借入金の返済による支出	△ 24,350,000
財務活動によるキャッシュフロー	△ 12,750,000
IV 現金及び現金同等物増加額	150,779
V 現金及び現金同等物期首残高	43,087
VI 現金及び現金同等物期末残高	193,866

2 平成25年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 土地の取得

新規取得は行わない。

イ 土地の売却

道路用地、住環境整備用地など合計2,217 m<sup>2</sup>を京都市等に売却する。

ウ 附帯等事業

保有地をその利用目的に供するまでの有効活用として、駐車場施設などに有償貸付けを行うほか、公共事業推進のための使用などについては無償で貸付けを行う。



## (2) 予算

## 収 支 計 画

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
事業収益	[1, 110, 000]	事業原価	[1, 073, 000]
公有地取得事業収益	1, 072, 000	公有地取得事業原価	1, 064, 000
附帯等事業収益	38, 000	附帯等事業原価	9, 000
事業外収益	[5, 000]	販売費及び一般管理費	[9, 000]
受取利息	5, 000	事業外費用	[1, 000]
資本的収入	[16, 000, 000]	支払利息	1, 000
借入金	16, 000, 000	予備費	[20, 000]
		資本的支出	[17, 172, 000]
		公有地取得事業費	171, 000
		借入金償還金	17, 000, 000
		固定資産取得費	1, 000
		予備費	[10, 000]
収入合計	17, 115, 000	支出合計	18, 285, 000

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
損益計算書	事業収益	17, 026, 196	10, 711, 935	13, 630, 385	1, 110, 000
	経常利益	195, 113	103, 402	116, 659	12, 000
	当期純利益	25, 953	103, 402	116, 659	12, 000
	減価償却前利益	28, 935	106, 307	119, 105	13, 500
貸借対照表	総資産	49, 198, 429	34, 059, 057	21, 413, 986	
	総負債	47, 045, 752	31, 802, 979	19, 041, 249	
	うち本市の債務保証 契約に係る債務残高	46, 840, 000	31, 750, 000	19, 000, 000	
	純資産	2, 152, 676	2, 256, 078	2, 372, 737	
	資本金	20, 000	20, 000	20, 000	
	累積損益額	2, 132, 676	2, 236, 078	2, 352, 737	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
その他	地方職員共済組合負担金	438	495	475	

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成24年度は、先行債の弾力運用による保有地買戻しができる最終年度であり、積極的に市による買戻しが行われたため、引き続き黒字決算となった。</li><li>金利の増加を抑制するため、金融機関からの借入よりも有利な条件で資金を調達できる公社債を最大限発行するとともに、公社経営において本市の財政負担が生じないよう公社の管理経費を極小化する。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成24年度末の保有地の期末残高は、ピーク時の平成8年度末に比べ、保有面積は約75%、保有額は約85%減少している。</li><li>平成25年度以降、公社による先行取得は行わず、本市及び本市以外の者への保有地の売却を進める。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>財務面で、特に問題となる点はない。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>長期保有地の早期解消に向けて、引き続き計画的に取組を進めていくことが重要である。</li></ul>

# 総合企画局

# 公益財団法人京都市国際交流協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 千玄室

### 2 所在地

京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1

### 3 電話番号

075-752-3010

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kcif.or.jp/>

### 5 設立年月日

平成元年1月18日

### 6 基本財産

100,000千円（うち本市出えん額 100,000千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

京都において、歴史、文化その他の地域特性を生かした国際交流活動を推進することにより、市民レベルの相互理解と友好親善を深め、京都の国際化に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 国際交流を推進するための事業
- (2) 多文化共生社会を推進するための事業
- (3) 地域の国際交流団体の活動の振興
- (4) 留学生の支援
- (5) 姉妹都市交流の促進
- (6) 京都市国際交流会館の管理運営受託
- (7) その他協会の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

総合企画局国際化推進室（TEL075-222-3072）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

千玄室

#### (2) 専務理事

柴田重徳

#### (3) 理事

有田典代，小川伸彦，糟谷範子（総合企画局国際化推進室長），陳萍，高木壽一，高田光治，仲尾宏，浜田麻里

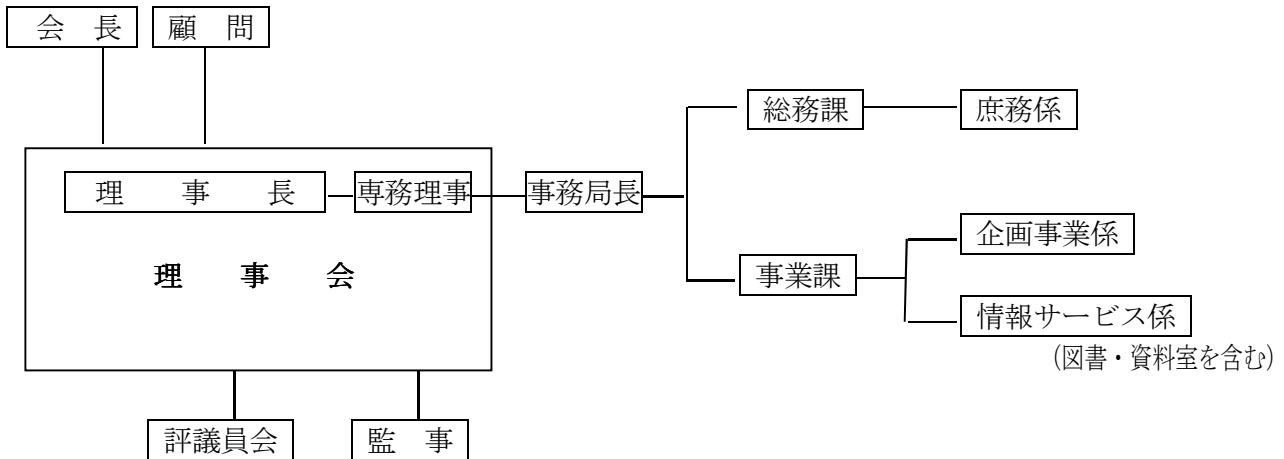
#### (4) 監事

岡田博邦，辻智之（総合企画局政策企画室長）

### 11 常勤職員数

17人（うち本市派遣職員0人）

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 市民への情報提供、相談事業

- (ア) 情報サービス関連
- (イ) 図書・資料室の運営
- (ウ) 相談関連

##### イ 国際交流団体との連携事業

- (ア) 京都国際交流団体情報ネットワーク (kokoka 国際交流団体ねっと)
- (イ) 名義後援等による国際交流団体活動の支援

##### ウ 共生社会を促進していくための担い手育成事業

- (ア) 国際交流団体活動育成事業
- (イ) ボランティア活動育成事業

##### a 体験しよう！ボランティア活動で出会う京都～1 day volunteer in Kyoto

ボランティアをする外国籍市民と、受け入れるボランティア施設の双方に外国籍市民が地域の一員であると感じて頂くため、ボランティアに興味を持った外国籍市民等を対象にしたボランティア体験事業を市内福祉施設や環境団体などで実施し、14名の外国籍市民が参加した。地域にある高齢者施設やこども支援施設をボランティア活動体験施設とし、外国籍市民等が地域に貢献する機会を設けた。また、企画や引率は京都市国際交流協会のボランティアが行い、協会のボランティア活動の広報を行った。

##### b ボランティアによる日本語教室支援

日本語チューター終了生等が、国際交流会館以外でボランティアによる日本語教室を開講・運営するための支援を行った。

##### (ウ) 担い手育成事業

##### エ 異文化理解・多文化共生社会への促進事業

- (ア) 異文化理解・多文化共生社会を促進するためのフォーラム・セミナー等
- (イ) 異文化理解を促進するための交流活動

##### a 館長のサロン～フランス語入門

サロンでは国際交流活動に関する経験が豊富な京都市国際交流会館館長自らが講師となり、身近な交流の場面で役立つ会話、異文化コミュニケーションのコツを気軽な雰囲気で紹介した。全10回実施し、定員20人に対して毎回倍率2.5倍以上の50人を超える応募があり、非常に好評を得た。

- b 国際理解教材の貸出
  - 京都市の小中学校における国際理解教育の活性化・充実化を図るため、利用頻度が高い教材を修理するとともに、買い足した。
- c 京都市国際文化市民交流促進サポート事業ミニ講座
  - 多様な国籍や文化的背景をもつ市民等を登録したうえ、各種団体や地域、学校の催しなどに派遣し、各々の国の歴史・文化・生活などの紹介を通じた交流を行っていただく本事業の広報活動として、月1回ミニ講座を実施し、登録者が輪番で講師を務めた。
- (ウ) 多文化共生社会へのまちづくり
  - a 行政通訳・相談事業（外国籍市民行政サービス利用等通訳・相談事業）
    - 京都市国際交流会館に京都市行政に関する知識を有する通訳者を配置し、区役所・事業所等の行政窓口で、日本語を母語としない外国籍市民等が来庁した場合や、外国籍市民等から行政サービスの利用や手続等について問い合わせがあった場合に、電話を通じた通訳、相談を英語と中国語にて無料で実施した。
  - b 京都地域外国人コミュニティ基礎調査
    - 在住外国人コミュニティの実態調査及びその活用に関する3年にわたる事業の2年目において、平成23年に実施した実態調査の分析を行い、調査結果をまとめた冊子を発行した。
    - また、外国人コミュニティの活動を市民に知っていただくための交流会を実施した。
- オ 留学生との協働、留学生への支援、留学生との交流事業
- カ 広報、出版事業
  - (ア) 広報、出版関係
  - (イ) 広告関係
- キ 姉妹都市コーナー・展示室の運営及び姉妹都市関連事業
- ク 京都市国際交流会館の運営
- ケ 理事会等の開催

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[26,771]	流動負債	[5,897]
現金	773	未払金	3,571
預金	25,998	預り金	1,822
固定資産	[311,124]	前受金	503
(基本財産)	(100,000)	固定負債	[80,398]
基本財産引当債券	100,000	退職給付引当金	80,398
(特定資産)	(167,360)	負債合計	86,295
退職給付引当資産	67,360	正味財産の部	
特定事業運営基金	100,000	指定正味財産	[200,000]
(その他の固定資産)	(43,764)	指定正味財産合計	200,000
定期預金	2,098	(うち基本財産への充当額)	100,000
債券	30,000	(うち特定財産への充当額)	100,000
什器備品	1,366	一般正味財産	[51,600]
絵画	9,700	(うち基本財産への充当額)	0
保証金	600	(うち特定財産への充当額)	△ 13,037
		正味財産合計	251,600
資産合計	337,895	負債及び正味財産合計	337,895

正味財産増減計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	備考
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,235		
特定資産運用益	4,037		
事業収益	247,332		
受取補助金等	16,157		
受取寄附金	1,033		
雑収益	165		
委託料収益	4,900		
経常収益計	277,859		
(2) 経常費用			
事業費	264,110		
管理費	13,289		
経常費用計	277,399		
評価損益等調整前当期経常増減額	460		
評価損益等計	0		
当期経常増減額	460		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0		
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0		
当期経常外増減額	0		
当期一般正味財産増減額	460		
一般正味財産期首残高	51,140		
一般正味財産期末残高	51,600		
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産期首残高	200,000		
指定正味財産期末残高	200,000		
III 正味財産期末残高	251,600		



## 2 平成 25 年度事業計画

### (1) 事業概要

#### ア 市民への情報提供、相談事業

- (ア) 情報サービス関連
- (イ) 図書・資料室の運営
- (ウ) 相談関連

#### イ 国際交流団体との連携事業

- (ア) 京都国際交流団体情報ネットワーク (kokoka 国際交流団体ねっと)
- (イ) 名義後援等による国際交流団体活動の支援

#### ウ 共生社会を促進していくための担い手育成事業

- (ア) 国際交流団体活動育成事業
- (イ) ボランティア活動育成事業

##### a ボランティアステップアップ講座

既にボランティア活動に参加している人を対象に、日頃のボランティア活動の中で感じる課題の解決につなげる機会を提供するとともに、協会のボランティアで得た知識を地域におけるボランティア活動に還元していく方法について講座を実施する。

##### b ボランティアによる日本語教室開講支援

日本語チューター終了者等が、国際交流会館以外でボランティアによる日本語教室を開講・運営するための支援を行う。

#### (ウ) 担い手育成事業

#### エ 異文化理解・多文化共生社会への促進事業

- (ア) 異文化理解・多文化共生社会を促進するためのフォーラム・セミナー等
- (イ) 異文化理解を促進するための交流活動

##### a 国際交流会館オープンデー

外国籍市民を含むより多くの市民に京都市国際交流会館の存在をアピールするとともに多言語情報や相談窓口等協会事業の周知・理解を広げる。協会登録ボランティアや、当イベントに参加協力するボランティアにも企画・運営に関わってもらう市民参加型の催しとして実施する。

#### (ウ) 多文化共生社会へのまちづくり

##### a 京都地域外国人コミュニティ基礎調査

在住外国人コミュニティの実態調査及びその活用を行うための3年にわたる事業の3年目で、今年度は調査結果に基づき、各コミュニティ間のネットワーク構築や、一般市民との交流並びに社会参画を支援する事業を実施(合宿、活動発表、文化・語学講座等)し、継続的な枠組づくりを行う。過去2年同様、日頃から定期的に外国籍市民の支援について話し合う任意団体の集まりである「きょうと外国人支援ネットワーク」(15団体参加)等との協働事業として位置付ける。

#### オ 留学生との協働、留学生への支援、留学生との交流事業

#### カ 広報、出版事業

- (ア) 広報、出版関係
- (イ) 広告関係

#### キ 姉妹都市コーナー・展示室の運営及び姉妹都市関連事業

#### ク 京都市国際交流会館の運営

#### ケ 理事会等の開催

## (2) 予算

## 収支予算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	備考
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,000	1,900	
特定資産運用益	3,000	3,000	
受取事業	197,742	197,742	
自主事業	53,748	54,071	
受取補助金等	22,919	21,600	
受取寄付金	1,700	1,500	
受取委託料	6,300	5,900	
雑収益	202	202	
経常収益計	287,611	285,915	
(2) 経常費用			
事業費	292,379	291,425	
管理費	7,012	7,068	
経常費用計	299,391	298,493	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 11,780	△ 12,578	
当期経常増減額	△ 11,780	△ 12,578	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 11,780	△ 12,578	
一般正味財産期首残高	58,489	65,999	
一般正味財産期末残高	46,709	53,421	
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	
指定正味財産期首残高	200,000	202,196	
指定正味財産期末残高	200,000	202,196	
III 正味財産期末残高	246,709	255,617	

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	289,307	271,667	277,859	287,611
	当期経常増減額	△6,325	△5,665	460	△11,780
	当期正味財産増減額	△8,678	△10,261	460	△11,780
貸借対照表	総資産	339,317	336,779	337,895	
	総負債	77,915	85,638	86,295	
	正味財産	261,401	251,140	251,600	
	基本財産	100,000	100,000	100,000	
	累積損益額	161,401	151,140	151,600	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	京都市国際交流会館の管理運営 (指定管理)	197,742	197,742 (※)	197,742 (※)	197,742 (※)
	行政通訳・相談事業	2,000	2,400	2,400	
	平和祈念事業	500	500	500	
	留学生優待プログラム	1,000	1,600	1,600	
	日本人学生による留学生交流会	300			
	国際文化市民交流促進サポート 事業	774	400	400	
	乳幼児健診等への通訳派遣	239	345	595	
	ボランティアの魅力を 知るセミナー		500		
	日本語教室開講に対する 支援事業		345		
	国際交流ボランティア 促進			1,000	
補助金	リユース食器利用促進 助成金			100	
	京都市外国人留学生国民健康 保険料補助事業	15,849	7,422	10,622	16,000
	医療通訳派遣事業	3,962	3,868	3,985	4,200

(※) 一部利用料金制

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成24年度は、当期正味財産増減額が黒字に転じた。収入においては、依然として市からの委託料及び補助金の総収入に占める割合は大きい。また、利用料金収入が大幅に減少している。</li><li>厳しい経済状況にもかかわらず、他団体から補助金等を獲得することにより、自主財源の確保に努めていることは一定の評価に値する。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>事業数は増えているにもかかわらず、来館者数、セミナー・イベントへの参加者数ともに減少している。原因を追求し、より多くの方々に当該施設を利用していただくとともに、本市における国際交流の中核的施設として、多文化共生社会の中心的役割を果たす必要がある。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>当期正味財産増減額は黒字に転換したものの、引き続き厳しい状況にあるため、自主財源の確保に努めていく必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>来館者やセミナー・イベント参加者などの施設利用者数が前年度を下回っており、その増加を図ることが課題である。</li></ul>

# 公益財団法人大学コンソーシアム京都

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 赤松徹眞

### 2 所在地

京都市下京区西洞院通塩小路下ル東塩小路町 939 番地

### 3 電話番号

075-353-9100

### 4 ホームページアドレス

<http://www.consortium.or.jp/>

### 5 設立年月日

平成 10 年 3 月 19 日

### 6 基本財産

100,000 千円（うち本市出えん額 50,000 千円，出えん率 50.0%）

### 7 事業目的

京都地域を中心に，大学間連携と相互協力を図り，加盟する大学・短期大学の教育・学術研究水準の向上を目指すとともに，学生の成長を促進するための学生支援，大学の国際化を推進するための国際連携・国際交流等の充実に努める。併せて，地域社会，行政及び産業界との連携を促進し，地域の発展と活性化に努め，京都地域を中心とした高等教育の発展と国際社会をリードする人材の育成を目指す。そのために，多様な連携に基づく教育，学生支援，研修，調査・研究，情報収集，情報発信，交流促進等を行い，日本の高等教育の発展に寄与することを目的とする。

### 8 業務内容

- (1) 単位互換，インターンシップ等の教育に関する企画調整事業
- (2) 学生に対する支援事業及び奨学金事業
- (3) 教職員に対する研修交流事業
- (4) 国際連携，国際交流事業
- (5) 大学と高等学校等との連携による企画調整事業
- (6) 大学と地域社会，行政及び産業界との連携による調査研究事業
- (7) 大学と地域社会，行政及び産業界との情報発信交流事業
- (8) 大学と地域社会，行政及び産業界との連携等による生涯学習事業
- (9) 全国各組織との連携による企画調整事業
- (10) その他目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

総合企画局市民協働政策推進室（TEL075-222-3103）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

赤松徹眞

#### (2) 副理事長

川口清史，草野顕之

#### (3) 専務理事

内藤暁吾

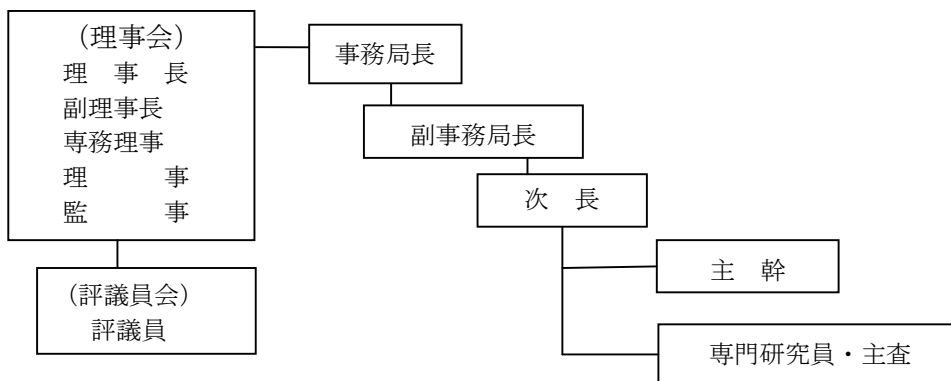
#### (4) 理事

村田晃嗣，位藤紀美子，細川涼一，川本重雄，内山隆夫，岡田憲和（総合企画局長）

#### (5) 監事

小澤昇士，幸亀一夫

- 11 常勤職員数  
41人（うち本市派遣職員2人）
- 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 教育事業

##### (ア) 単位互換事業

- a 包括協定大学数 51 大学
- b 提供科目 551 科目  
(e ラーニング科目 14 科目, プラザ科目 82 科目, オンキャンパス科目 455 科目)
- c 履修者数 5,601 人

##### (イ) 生涯学習事業（京カレッジ）

- a 科目提供大学数 36 大学1 機関
- b 提供科目数 469 科目
- c 出願者 延べ1,327 人

##### (ウ) インターンシップ事業

- a ビジネス・パブリックコース  
(受入登録団体 182 団体, 出願者数 621 人, 受講者数 371 人)
- b プロGRESSコース (受入登録団体 6 団体, 出願者数 55 人, 受講者数 51 人)

##### (エ) その他

ノートテイカー養成講座 (5 月, 延べ 18 人)

##### イ 高大連携事業

##### (ア) 京都高大連携研究協議会の運営

- a 「第10回高大連携教育フォーラム」実施 (第1部 211 人, 第2部 143 人)
- b 実践研究共同教育プログラム (5 高校にて実施)
- c キャリア教育企画 (Kyoto カタリ場を 5 高校で実施, Kyoto ワークショップ倶楽部 2 企画を実施)

##### (イ) 京都の大学「学びフォーラム」

参加者数：滋賀会場 679 人, 京都会場 2,722 人

##### (ウ) 共同広報事業 (注) 括弧内はブース対応者

- a 京都ワンキャンパス集客数  
東京会場 5,591 (58) 人, 名古屋会場 2,618 (84) 人, 大阪会場 2,861 (67) 人
- b 京都の大学情報コーナー集客数  
石川会場 905 (35) 人, 新潟会場 2,345 (66) 人, 静岡会場 3,129 (112) 人,  
岡山会場 1,260 (26) 人, 大分会場 940 (46) 人, 高知会場 502 (18) 人,  
大阪会場 3,738 (44) 人, 広島会場 1,806 (65) 人, 香川会場 385 (23) 人,

福岡会場 1,742 (84) 人

ウ 高等教育研究推進事業

(ア) 高等教育研究事業

a FD (ファカルティ・ディベロップメント) フォーラム事業

第18回FDフォーラム(2月23日, テーマ:「学生が主体的に学ぶ力を身につけるには」 於:立命館大学 参加者数901人)

b SD (スタッフ・ディベロップメント) 事業

(a) 大学職員共同研修プログラム(参加者数212人)

(b) 第10回SDフォーラム(10月21日, テーマ:若手職員の成長・育成 161人)

(c) ワークショップ型研修(参加者数 延べ54人)

(イ) 留学生支援・国際交流事業

a 短期留学プログラム開発

ボストン・サマーセッション7人, 国際文化学部企画短期留学23人

b 教職員交流・研修プログラム開発

c IELTS 試験対策講座

51名参加, 8名受験

(ウ) 都市政策推進事業等

a 都市政策研究推進事業

(a) 若手研究者への研究助成(応募20件, 採択3件)

(b) 政策系大学・大学院研究交流大会(参加者317名)

b 学まちコラボ事業

京都市との協働により, 大学と地域が連携する取組に助成金を交付(応募13件, 採択9件)

(エ) シンクタンク事業

大学の若手研究者と京都市の担当部署が協力し合って調査・研究(6件)を実施するとともに, 調査・研究成果の報告会(参加者80名)及び交流会(参加者50名)を実施した。

エ 学生交流事業

(ア) 第10回京都学生祭典

(10月7日, 事前企画等年間を通じた来場者数の合計204,067人)

(イ) 第15回京都国際学生映画祭(11月17日~11月23日, 応募作品数362本

(うち, 国内235作品・海外127作品), 来場者数1,010人)

(ウ) 京都学生芸術普及活動(3月13日~3月20日, 展示数14点, 来場者数8,890人)

オ 総務・広報事業

(ア) 施設管理運営

a 京都市大学のまち交流センターの指定管理

b 京都市大学のまち交流センター6階「大学院等共同サテライト拠点」の管理運営

(イ) 広報事業

a 財団資料の作成

b ホームページによる情報発信

c 定期刊行物の発信

会報の発刊(年2回)

(ウ) 全国大学コンソーシアム協議会事務局運営

a 第9回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの開催・運営

於:相模女子大学(9月1日, 2日)

テーマ:「活力あふれる魅力的な地域社会の創造」(参加者数471人)

b 協議会運営委員会の運営(4回), 幹事会(1回), 総会(1回)

- c 協議会の組織管理と経理処理
- d 第10回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの準備, 企画検討委員会 (4回)
- (エ) 勤労学生援助会事務局運営
  - a 理事会 (2回), 総会, 選考委員会
  - b 表彰・奨学金贈呈式 (18大学・短大18名を表彰)
- (オ) 京都地域留学生住宅保証・支援事業
  - a 京都地域留学生住宅保証機構委員会, 運営委員会 (利用人数: 21大学379名)
  - b 京都地域留学生住宅支援機構委員会 (利用人数: 9大学137名)
- (カ) 調査企画事業
  - a 大学政策委員会 (2回), 幹事会 (3回)
  - b 大学のまち京都・学生のまち京都推進会議  
推進会議 (3回), 評価専門部会 (3回), 情勢分析部会 (2回), 学生の活動支援専門部会 (2回)
- (キ) 公益財団法人組織運営
  - a 理事会 (6回), 評議員会 (3回) 開催
  - b 加盟大学, 短期大学の学生数 168,888人 (平成24年5月1日現在)
  - c 財団訪問件数 29件
  - d 財団後援・共催件数 54件

(2) 財務諸表

貸借対照表  
平成25年3月31日現在

(単位: 千円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	〔128,877〕	流動負債	〔53,725〕
現金預金	109,080	リース負債	7,493
未収金	13,395	未払金	44,081
棚卸資産	4,871	社会保険料預り金	1,385
立替金	1,530	源泉所得税預り金	258
固定資産	〔294,602〕	借受金	507
(基本財産)	(100,327)	固定負債	〔4,504〕
基本財産普通預金	405	退職給付引当金	4,504
基本財産投資有価証券	99,922	負債合計	58,229
(特定資産)	(132,049)	一般正味財産	〔264,923〕
財団拡充普通預金	9,889	(うち基本財産への充当額)	( 0)
教育設備・機器等整備普通預金	22,163	(うち特定財産への充当額)	(132,049)
財団拡充投資有価証券	64,998	指定正味財産	〔100,327〕
教育設備・機器等整備有価証券	34,999	(うち基本財産への充当額)	(100,327)
(その他固定資産)	(62,226)		
構築物	2,119		
設備造作	1,707		
什器備品	17,640		
無形固定資産等	10,768		
投資有価証券	29,992	正味財産合計	365,249
資産合計	423,479	負債及び正味財産合計	423,479



正味財産増減計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,165	1,212	△ 47
特定資産運用益	997	997	0
受取入会金	300	0	300
受取会費	163,274	170,242	△ 6,969
事業収益	69,274	74,212	△ 4,938
指定管理者事業収益	153,927	147,469	6,459
受取補助金等	1,200	1,200	0
受取運営分担金	500	500	0
雑収益	375	405	△ 30
経常収益計	391,012	396,237	△ 5,225
(2) 経常費用			
事業費	389,152	364,494	24,658
管理費	33,831	33,196	635
経常費用計	422,983	397,691	25,292
当期経常増減額	△ 31,971	△ 1,454	△ 30,517
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	629	89	540
当期経常外増減額	△ 629	△ 89	△ 540
当期一般正味財産増減額	△ 32,600	△ 1,543	△ 31,057
一般正味財産期首残高	297,523	399,345	△ 101,823
一般正味財産期末残高	264,923	397,802	△ 132,880
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	47	0	47
指定正味財産期首残高	100,280	0	100,280
指定正味財産期末残高	100,327	0	100,327
III 正味財産期末残高	365,249	397,802	△ 32,553

2 平成25年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 教育事業

(ア) 単位互換事業については、ICTを活用した単位互換事業等、履修生の知的関心を喚起する多様な科目、質の高い科目設置を目指すとともに、履修する多くの学生が単位修得に至るよう取り組む。

- (イ) 生涯学習事業については、①産・学・公・地域連携などを活かし、地域の活性化と繁栄につながる科目（京都力養成コース）、②受講者ニーズに合った受講形態（eラーニング含む）を推奨することにより、「京都ならではの生涯学習システム」の構築を目指す。

また、出願者の利便性を図り、WEB登録による出願受付を行うことで、新たな出願方法を提供する。

- (ウ) インターンシップ事業については、産官公地域連携の下で、就職活動としてではなく教育プログラムとして、社会の実体験と教育研究の融合による「学習意欲の喚起」、「高い職業意識の育成」、「自主性・独創性のある人材育成」を目的に、教育効果の高いプログラム提供が出来るよう充実を図る。

#### イ 高大連携事業

大学連合体としてのスケールメリットを活かした高大接続事業を実施し、その効果を最大限、加盟大学・短期大学へ還元することを目指す。

#### ウ 高等教育研究推進事業

- (ア) 「FD事業」は、「シナジー」をテーマとしFD事業を推進する。FDフォーラム事業、FD研修企画事業の協力・連携を進め、それぞれの事業で培ってきた経験、ノウハウを互いの事業に生かすことを意識する。

FDフォーラム事業は、加盟校を中心にFD活動の普及と推進を目的とした国内有数の大規模イベントとして、平成25年度は龍谷大学深草学舎で開催する。

研修事業では、学長など大学執行部向け、新任教員向け、それ以外、というように対象者を階層別に分けた研修を行っている。今の研修の形が最も効果的なのか、研修プログラムの体系について再考することも検討する。

FD研究事業では、高等教育に関する研究・調査機能を意識し、FDに関する最新情報を収集、蓄積、分析する仕組みを模索する。

- (イ) 「SD事業」は、FD同様、高等教育の質保証の観点から重要な課題であり、大学職員共同研修、SDワークショップ、SDフォーラムを実施する。スケールメリットを生かして、スキルアップ、知識の習得はもちろん人的交流も積極的に図っていく。

- (ウ) 「国際連携事業」は、以下の取組を行う。

a 学生派遣プログラムの開発及び実施

既存の協定関係を活かして短期派遣プログラム（ボストン・メルボルン）を実施する。

b IELTS 講座及び試験の実施

交換留学等の語学要件を満たす語学力養成のため、IELTS 講座及び試験を実施する。Beginner, Advanced の2クラス編成で講座を実施、試験はキャンパスプラザ京都を会場として実施する。

c 受入留学生向けプログラムの開発及び実施

「京カレッジ」（京都学講座）の外国人留学生（非正規生含む）への提供を開始する。

d 職員対象海外研修プログラム開発及び実施

MUELC 英語研修（メルボルン）は一次休止とし、Shadowing Program は要望があれば、協定機関と調整に入る。

e 大学職員対象英語研修プログラム開発及び実施

大学のグローバル化に対応するため、大学職員向けの英語研修を実施する。既存のMUELC 英語研修（メルボルンで実施）に代わり、国内で実施し、より多くの職員が参加できるようにする。

f 京都地域留学生住宅保証事業・支援事業の実施

京都地域における留学生受入支援のため、住宅保証・支援事業を実施する。

- (エ) 都市政策推進事業は、政策系大学・大学院研究交流大会については、政策系学部以外の学生・院生にも政策に関する発表や交流の場となることを期待し、「政策系大学・大学院交流大会」から「京都から発信する政策研究交流大会」に名称を変更した。研究助成事業については平成24年度同様に実施する。また、学まちコラボ事業については、より多くの団体が応募し活動できるよう、継続的活動も認めることとし、採択予定件数を増加して実施する。
- (オ) シンクタンク事業は、引き続き当財団が持つ大学や研究者との豊かなネットワークを活用し、調査・研究の市政策への反映や研究者のネットワーク形成の拡大を目指して取り組む。

#### エ 学生交流事業

- (ア) 京都学生祭典については、本祭は平成24年度に続き、1日に凝縮して実施するものの、実行委員やおどり手等への留学生の参画を促進させ、留学生と協働で祭りを企画・運営することで、留学生と日本人学生との交流を促進する。  
また、「繋ぐ～KYOTOHOKU～」と題した東北企画を通して、被災地の方に元気を届け、自らの学びとし、それを京都に広めることを目指す。
- (イ) 京都国際学生映画祭については、内容の充実と集客力向上等の改善を図りながら、財団事業としての必要性を探る。事業計画の骨子及び概要を前年度内に決定するなど前倒しして行うとともに、映画祭の実施時期、プログラム内容などを抜本的に見直し、国内外への広報拡大、魅力あるプログラムの展開を効果的に実施する。
- (ウ) 京都学生芸術作品展については、学生が所属する大学や個人において、展示会や個展が開かれ、コンソーシアムとして開催する趣旨が薄まったことから展示会は廃止した。  
しかしながら、その代替として学生が自立運営する「京都学生芸術普及委員会」を立ち上げ、加盟大学の展覧会等を網羅した情報の発信やイベント等を開催する。

#### オ 総務・広報事業

- (ア) 施設管理運営  
京都市大学のまち交流センター（キャンパスプラザ京都）の指定管理者として、利用者にとってよりよい環境の創出と、本館の目的に沿った利用者の増加を目指す。
- (イ) 広報事業  
海外の大学やコンソーシアム組織との連携を図り、「大学のまち京都」、「学生のまち京都」の魅力を国内外へも、積極的に発信する。
- (ウ) 全国大学コンソーシアム協議会事務局運営  
第10回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの開催・運営（於：同志社大学、9月14～15日、テーマ「大学に求められる役割と大学間連携における未来」）
- (エ) 勤労学生援助会事務局運営  
14大学・短大14名を表彰予定
- (オ) 調査企画事業  
財団計画（第4ステージプラン）及び京都市計画（大学のまち京都・学生のまち京都推進計画）の新規策定に向け、大学政策委員会及び推進会議の連携を推進する。
- (カ) 公益財団法人組織運営  
積極的な外部資金獲得のため、関係省庁や関係団体への情報収集を継続して行う。賛助会員についても、新規会員獲得に向けて継続的に取組を行う。

## (2) 予算

## 収支予算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,165	1,212	△ 47
特定資産運用益	997	997	0
受取会費	163,924	163,674	250
事業収益	56,108	68,568	△ 12,460
指定管理者事業収益	171,846	153,947	17,899
受取補助金等	1,200	1,200	0
受取運営分担金	500	500	0
雑収益	366	368	△ 2
経常収益計	396,106	390,466	5,640
(2) 経常費用			
事業費	402,375	412,987	△ 10,611
管理費	33,679	38,343	△ 4,664
経常費用計	436,054	451,330	△ 15,276
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 39,948	△ 60,864	20,916
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 39,948	△ 60,864	20,916
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	620	△ 620
当期経常外増減額	0	△ 620	620
当期一般正味財産増減額	△ 39,948	△ 61,484	21,536
一般正味財産期首残高	235,992	397,802	△ 161,810
一般正味財産期末残高	196,044	336,318	△ 140,275
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	47	0	47
指定正味財産期首残高	100,327	0	100,327
指定正味財産期末残高	100,374	0	100,374
III 正味財産期末残高	296,418	336,318	△ 39,901

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	400,815	396,237	391,012	396,106
	当期経常増減額	28,194	△1,454	△31,971	△39,948
	当期正味財産増減額	28,194	△1,543	△32,553	△39,901
貸借対照表	総資産	433,099	455,326	423,479	
	総負債	33,754	57,524	58,229	
	正味財産	399,345	397,802	365,249	
	基本財産	100,000	100,000	100,000	
	累積損益額	299,345	297,802	265,249	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	大学のまち交流センター管理及び事業 (指定管理)	169,846	171,846	171,846	171,846
	大学地域連携モデル創造支援事業委託	3,000	3,000	2,897	
	自治体職員研修委託事業	281	314	388	
	学生の活動拠点の管理運営	2,000			
	未来の京都創造研究事業		10,610	15,104	
その他	年会費	500	500	500	500
	大学のまち京都・学生のまち京都推進会議	500	500	500	500

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	・ 国際連携事業における国補助金の終了等により、経常収益が減少し、当期正味財産増減額が赤字となった。
事業面	・ 「単位互換事業」や「インターンシップ事業」などのパイロット的事业等に取り組み、着実に優れた成果を挙げており、本市施策「大学のまち京都・学生のまち京都」の推進にも大きく寄与している。

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	・ 国際連携事業における国補助金の終了に伴い、当期正味財産増減額の赤字額が平成23年度に比べて大きくなっている。また、事業収支比率が100%を超えており、外部資金の獲得に加え、経費削減を徹底して進めることが望まれる。
事業面	・ 事業の再構築が必要となっており、時期を逸することなく、取組を進めるべきである。

文化市民局

# 財団法人京都市埋蔵文化財研究所

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 井上満郎

### 2 所在地

京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町 265 番地の 1

### 3 電話番号

075-415-0521

### 4 ホームページアドレス

<http://kyoto-arc.or.jp>

### 5 設立年月日

昭和 51 年 10 月 26 日

### 6 基本財産

932,366 千円（うち本市出せん額 932,366 千円，出せん率 100.0%）

### 7 事業目的

埋蔵文化財の調査、研究、保護を行い、京都市民の文化財保護に関する理解を深め、もって市民の文化的生活の向上と地域文化の振興に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 埋蔵文化財の発掘調査及び保存に関すること。
- (2) 埋蔵文化財の調査研究及び出版物の刊行に関すること。
- (3) 埋蔵文化財に関する保護思想の普及啓発に関すること。
- (4) その他、目的を達成するために必要な事項に関すること。

### 9 所管部局

文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課（TEL075-366-1498）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

井上満郎

#### (2) 専務理事

松田晃郎（文化市民局文化芸術都市推進室担当部長）

#### (3) 理事

尼崎博正，上田正昭，北村信幸（文化市民局文化芸術都市推進室文化財担当部長），  
西川幸治，村井康彦，和田晴吾

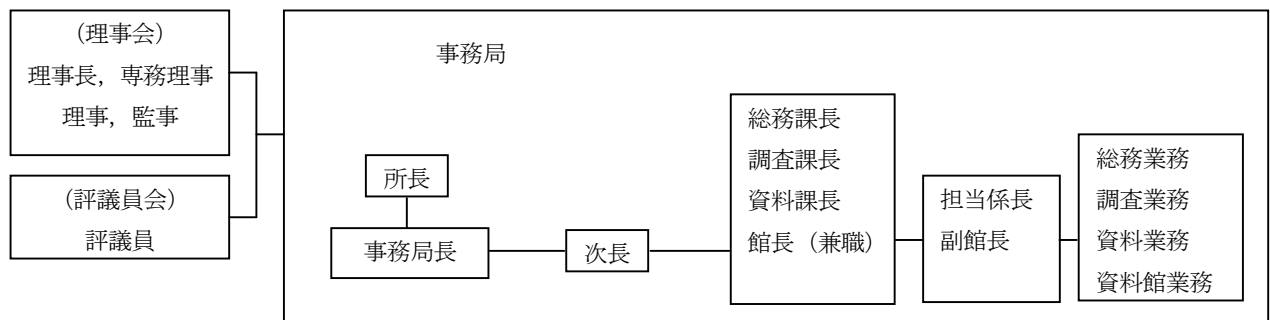
#### (4) 監事

廣瀬伸彦，宮田英喜（文化市民局共同参画社会推進部長）

### 11 常勤職員数

40 人（うち本市派遣職員 0 人）

### 12 組織機構





## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

- ア 平成24年度理事会及び評議員会の開催
- イ 発掘調査、立会調査及び試掘調査事業の実施
- ウ 京都市受託事業
  - (ア) 出土遺物の保管管理及び出土遺物の整理事業
  - (イ) 埋蔵文化財出土遺物指定準備事業
  - (ウ) 埋蔵文化財普及啓発事業
  - (エ) 考古遺産を活用した京都の魅力発信事業等
- エ 埋蔵文化財調査報告書等出版物の刊行
- オ 講演会・遺跡めぐり・イベントの開催
  - (ア) 史跡ウォーク「岡崎・白川を歩く」、「聚楽第」、「平安京の遺跡と百人一首ゆかりの地を巡る」
  - (イ) 全理協近畿ブロック「考古学の日」講演会「聖武と桓武の宮都」
  - (ウ) イベント「平安京遷都ものがたり」
  - (エ) 文化財講演会の開催「三条せと物や町出土の茶陶」
- カ 現地説明会の開催
- キ 現地見学会の開催
- ク 「リーフレット京都」(No.279～No.290)の発行
- ケ 全国埋蔵文化財法人連絡協議会への参加
- コ その他研究会等への派遣
- サ 講師等の派遣
- シ 出前授業等
- ス 「掘り出された京都」の刊行
- セ インターネットホームページによる情報発信・開示
- ソ 平成24年度京都市考古資料館事業
  - (ア) 特別展示の実施
    - a 「平清盛－院政と京(みやこ)の変革－」  
(平成24年1月28日～平成24年6月24日)
    - b 「ひょうげた器－三条せともの屋出土茶陶－」  
(平成24年7月14日～平成24年12月2日)
    - c 「伏見人形」  
(平成25年2月9日～平成25年6月30日)
  - (イ) 大学との合同企画展の実施「京都考古学探検隊－開け！過去の扉－」  
(平成24年12月18日～平成25年1月20日)
  - (ウ) 速報展の実施
    - a 「深草西飯食町遺跡の涼炉形土器について」  
(平成24年5月19日～平成24年6月3日)
    - b 「教王護国寺(東寺)東築地塀の剥ぎ取りパネル」  
(平成24年6月16日～平成24年7月29日)
    - c 「藤原良相邸跡出土の墨書土器」  
(平成24年11月30日～平成24年12月16日)
    - d 「藤原良相邸跡出土の陶磁器・金属器」  
(平成25年1月22日～平成25年2月11日)
  - (エ) スポット展示

- (オ) 企画陳列「長岡京東南境界祭祀遺跡出土 墨書人面土器」  
(平成 25 年 2 月 27 日～)
- (カ) 外部施設での考古資料展示
  - a 京都市役所正面玄関 1～2 階踊り場
  - b 第十回西陣伝統文化祭「千両ヶ辻」での考古資料展示  
(平成 24 年 9 月 22 日)
  - c 鳥羽事務所での考古資料展示  
(平成 24 年 11 月 2 日～平成 24 年 11 月 11 日)
  - d 「醍醐もちもちいんウォーク」での考古資料展示  
(平成 24 年 11 月 10 日)
  - e 「発掘調査成果写真展 2012」での考古資料展示  
(平成 25 年 3 月 16 日～平成 25 年 5 月 6 日)
- (キ) 小・中学生夏期教室の開催
- (ク) 文化財講座の開催
- (ケ) 情報コーナーにおける普及啓発  
1 階情報コーナーにおいて、展示案内チラシ等を配布・掲示し、パソコンによる情報展示では、クイズなどのプログラムを実施している。また、DVD やビデオによる展示資料、遺跡などの紹介を行っている。
- (コ) 考古資料の貸出
- (ク) 博物館学芸員課程実習生の受入れ
- (シ) 平成 24 年度京都市立中・総合養護学校「生き方探究・チャレンジ体験」の受入れ
- (ス) 教育機関の学外授業等の受入れ
- (セ) 関係機関等の受入れ
- (ソ) 活性化事業  
文化庁より「平成 24 年度文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業）」の交付を受け、京都市考古資料館活性化事業として実施した。
  - a 平安京遷都記念事業
  - b 茶道資料館（裏千家）との連携事業
  - c 京都市考古資料館周辺文化財遺跡マップ作成・遺跡ウォーク事業
  - d 京都市考古資料館ボランティア育成事業
  - e 京都市考古資料館周辺の遺跡顕彰板設置事業
  - f 小・中学校出前授業事業
  - g 京都市考古資料館と大学が連携した合同展示事業
- (タ) その他関係機関への協力等

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	京都市考古資料館 管理運営事業 特別会計
I 資産の部			
1 流動資産	[396,067]	[389,133]	[6,934]
現金預金	295,558	295,234	324
未収金	94,536	87,926	6,610
前払金	1,620	1,620	0
立替金	2,309	2,309	0
未収消費税	2,044	2,044	0
2 固定資産	[1,047,268]	[1,047,268]	[0]
(基本財産)	(932,366)	(932,366)	(0)
土地	922,366	922,366	0
基本財産引当預金	10,000	10,000	0
(特定資産)	(85,000)	(85,000)	(0)
退職給与引当預金	85,000	85,000	0
(その他の固定資産)	(29,902)	(29,902)	(0)
建物	33,914	33,914	0
建物附属設備	2,625	2,625	0
構築物	552	552	0
器具及び備品	43,993	43,993	0
減価償却累計額	△ 51,535	△ 51,535	0
電話加入権	354	354	0
資産合計	1,443,335	1,436,401	6,934
II 負債の部			
1 流動負債	[143,012]	[136,078]	[6,934]
未払金	119,212	112,488	6,724
預り金	1,352	1,309	43
仮受金	22,281	22,281	0
未払消費税	167	0	167
2 固定負債	[635,000]	[635,000]	[0]
長期借入金	525,000	525,000	0
退職給与引当金	110,000	110,000	0
負債合計	778,012	771,078	6,934
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	[932,366]	[932,366]	[0]
2 一般正味財産	[△ 267,043]	[△ 267,043]	[0]
正味財産合計	665,323	665,323	0
負債及び正味財産合計	1,443,335	1,436,401	6,934

正味財産増減計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	合 計	一般会計	京都市考古資料館 管理運営事業 特別会計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入	4	4	0
② 事業収入	476,928	476,928	0
③ 補助金収入	6,503	0	6,503
④ 委託料収入	216,058	192,077	23,981
⑤ 雑収入	2,747	2,293	455
経常収益計	702,240	671,301	30,939
(2) 経常費用			
① 事業費	612,875	612,875	0
② 事務費	104,734	104,734	0
③ 減価償却額	1,845	1,845	0
④ 考古資料館運営受託事業費	30,939	0	30,939
経常費用計	750,393	719,455	30,939
当期経常増減額	△ 48,154	△ 48,154	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 前受金減少額	42,280	42,280	0
経常外収益計	42,280	42,280	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却額	288	288	0
② 特定預金支出	85,000	85,000	0
経常外費用計	85,288	85,288	0
当期経常外増減額	△ 43,008	△ 43,008	0
当期一般正味財産増減額	△ 91,161	△ 91,161	0
一般正味財産期首残高	△ 175,881	△ 175,881	0
一般正味財産期末残高	△ 267,043	△ 267,043	0
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	932,366	932,366	0
指定正味財産期末残高	932,366	932,366	0
III 正味財産期末残高	665,323	665,323	0

2 平成25年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 埋蔵文化財の発掘調査及び資料整理

(ア) 埋蔵文化財の発掘調査の計画及び施行

(イ) 史跡名勝の復原整備に伴う調査、研究

(ウ) 出土遺構、出土遺物等の調査、研究、整備及び保存

(エ) 文献資料図書の整備及び研究

イ 埋蔵文化財に関する出版物の刊行及び配布

- (ア) 埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行及び配布
- (イ) 埋蔵文化財に関する研究報告書の作成及び配布
- ウ 埋蔵文化財に関する技術の研究及び技術者の養成
  - (ア) 埋蔵文化財の調査技術及び出土品の保存技術に関する研究
  - (イ) 発掘調査技術者の養成
  - (ウ) 編集技術の研究、修得
- エ 埋蔵文化財に関する普及啓発
  - (ア) 発掘調査現地説明会、見学会の開催
  - (イ) 啓発冊子等の刊行、配布
  - (ウ) 写真展の開催
  - (エ) 京都市立小学校総合学習への協力（出前授業）
  - (オ) インターネット等による情報発信
  - (カ) 埋蔵文化財に関する各種講演会等への講師派遣協力
- オ 埋蔵文化財に関する関係機関との連携強化
  - (ア) 関係行政機関、研究機関との連携強化
  - (イ) 開発行為者との連絡調整
- カ 埋蔵文化財出土遺物の保管、管理及び整理（京都市からの受託）
  - (ア) 出土遺物の保管、管理業務
  - (イ) 出土遺物の整理業務
  - (ウ) 埋蔵文化財出土遺物文化財指定準備業務
  - (エ) 収蔵・展示業務
- キ 発掘調査資料整理（重点分野雇用創造事業）の受託（京都市から受託）  
遺跡ガイドブック作成業務
- ク 調査作業業務受託事業
  - (ア) 埋蔵文化財発掘調査の支援（職員その他団体への出向）
  - (イ) 発掘調査以外（遺物復元、保存処理等）の受託事業の拡充
- ケ 普及啓発事業
  - (ア) 講演会の開催（11月）
  - (イ) 「史跡ウォーク」3回予定
  - (ウ) 「関西考古学の日」への参加（9～11月）
- コ 財務状況のインターネットによる開示  
寄附行為、事業実績概要、収支決算、事業計画、収支予算、役員名簿など
- サ 京都市考古資料館の管理運営事業（京都市の指定管理者）
  - (ア) 考古資料の展示及び特別展等の開催
  - (イ) 考古資料に関する普及啓発事業の実施
    - a シンポジウム「（仮題）伏見人形」（6月、立命館大学と共催）
    - b 小・中学生夏期教室の開催
    - c 京都市考古資料館文化財講座の開催
    - d 考古資料の貸出し
    - e 博物館学芸員実習の受入れ
    - f 京都市立中学生「生き方探究・チャレンジ体験」事業の受入れ
    - g 修学旅行生「発掘体験」事業
    - h 教育機関の学外授業等の受入れ
    - i 生涯学習グループ等の見学受入れ、解説
    - j 考古資料館展示解説ボランティアの育成
  - (ウ) 考古資料に関する関係機関との連携強化  
加盟している京都市博物館施設連絡協議会などへ引き続き参加し、博物館運営の

情報収集に努めるほか、京都市教育委員会の学校教育や生涯学習などの関係機関と連携、協力していく。

(2) 予算

収 支 予 算 書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	京都市考古資料館 管理運営事業 特別会計
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	10	10	0
② 事業収入	455,000	455,000	0
③ 委託料収入	185,615	161,634	23,981
④ 受取寄附金	300	300	0
⑤ 雑収入	1,581	1,550	31
事業活動収入計	642,506	618,494	24,012
2 事業活動支出			
① 事業費	550,300	550,300	0
② 事務費	62,000	62,000	0
③ 考古資料館運営受託事業費	24,012	0	24,012
事業活動支出計	636,312	612,300	24,012
事業活動収支差額	6,194	6,194	0
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2 投資活動支出			
① 固定資産取得支出	500	500	0
② 特定預金支出	85,000	85,000	0
投資活動支出計	85,500	85,500	0
投資活動収支差額	△ 85,500	△ 85,500	0
III 財務活動収支の部			
1 財務活動収入			
① 借入金収入	125,001	125,001	0
財務活動収入計	125,001	125,001	0
2 財務活動支出			
① 借入金返済支出	2	2	0
財務活動支出計	2	2	0
財務活動収支差額	124,999	124,999	0
IV 予備費支出	10,000	10,000	0
当期収支差額	35,693	35,693	0
前期繰越収支差額	149,044	149,044	0
次期繰越収支差額	184,737	184,737	0

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
収支計算書	収入合計	896,806	1,240,558	1,061,604	916,551
	支出合計	770,271	1,006,194	808,549	731,814
	次期繰越収支差額	126,535	234,364	253,055	184,737
正味財産増減計算書	経常収益	819,161	964,023	702,240	
	当期経常増減額	48,541	△14,103	△48,154	
	当期正味財産増減額	105,910	961,233	△91,161	
貸借対照表	総資産	296,153	1,449,223	1,443,335	
	総負債	500,901	692,738	778,012	
	正味財産	△204,748	756,485	665,323	
	基本財産	10,000	932,366	932,366	
	累積損益額	△ 214,748	△ 175,881	△ 267,043	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	京都市考古資料館管理運営委託 (指定管理)	25,180	25,180	25,180	25,180
	埋蔵文化財の調査委託	275,259	246,612	214,552	
	出土遺物文化財指定準備		30,000	30,000	
	遺物保管委託	119,485	69,485	69,485	
	出土遺物整理		20,000	20,000	
	京都市内埋蔵文化財考古資料の電子化作業	92,480	95,000		
	考古遺産を活用した京都の魅力発信事業		40,000	52,980	
	埋蔵文化財普及啓発委託	500	500	1,300	
貸付金	つなぎ資金のための短期貸付金				50,000
	長期貸付金 (累計残高)	250,000	400,000	525,000	650,000

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 当初計画を上回る発掘調査事業収入により、現金収支ベースでは黒字となったものの、退職給付費用の計上もあり、人件費等の圧縮がそれほど進まなかったことから、当期経常増減額では2期連続の赤字となった。</li><li>・ 今後も、発掘調査事業収入の確保は厳しい状況が予想されるため、引き続き、更なる運営経費の効率化に努め、経営の改善と安定化に取り組んでもらいたい。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本市において、発掘調査を行うためには、地域の歴史や各時代の土層、遺物に関する専門的な知識と経験に基づく高水準の調査技術が必要である。</li><li>・ 当財団は、設立以来、それらを蓄積、維持し、公共事業をはじめとする本市におけるほとんどの発掘調査を受託し、適切に実施してきている。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 当期正味財産増減額は大幅に赤字となっており、累積欠損を抱えるなど厳しい状況が続いている。発掘事業収入の増加が見込めない中、経費削減を進めていくことが望まれる。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 人事計画は、財務状況や将来の経営見通しを十分に踏まえたものであることが求められる。</li></ul>



# 公益財団法人 京都市ユースサービス協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 遠藤保子

### 2 所在地

京都市中京区東洞院通六角下る御射山町 262 番地 京都市中京青少年活動センター内

### 3 電話番号

075-213-3681

### 4 ホームページアドレス

<http://www.ys-kyoto.org/>

### 5 設立年月日

昭和 63 年 3 月 29 日

### 6 基本財産

30,000 千円（うち本市出えん額 30,000 千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

青少年が市民社会の担い手として成長するため，京都市及び関係機関・団体等と協調し，自主的な活動の機会提供と，課題を乗り越えるための必要な支援を行うとともに，市民の文化・福祉・体育活動の振興を図ること。

### 8 業務内容

- (1) 青少年活動に資する施設の運営を通して行う青少年育成に関する事業，ならびに市民の文化・福祉・体育活動の振興に資する事業
- (2) 青少年グループ・団体の交流や情報交換，支援，情報提供にかかわる事業
- (3) 就労や自立支援にかかわる事業
- (4) 青少年に関する調査・研究
- (5) 青少年に関する施策のうちで法人の目的にかなう事業
- (6) その他，この法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局共同参画社会推進部勤労福祉青少年課（TEL075-222-3089）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

遠藤保子

#### (2) 専務理事

和田寛治

#### (3) 常務理事

小嶋薫，水野篤夫

#### (4) 理事

牛田順子，斎藤真緒，松村幸裕子

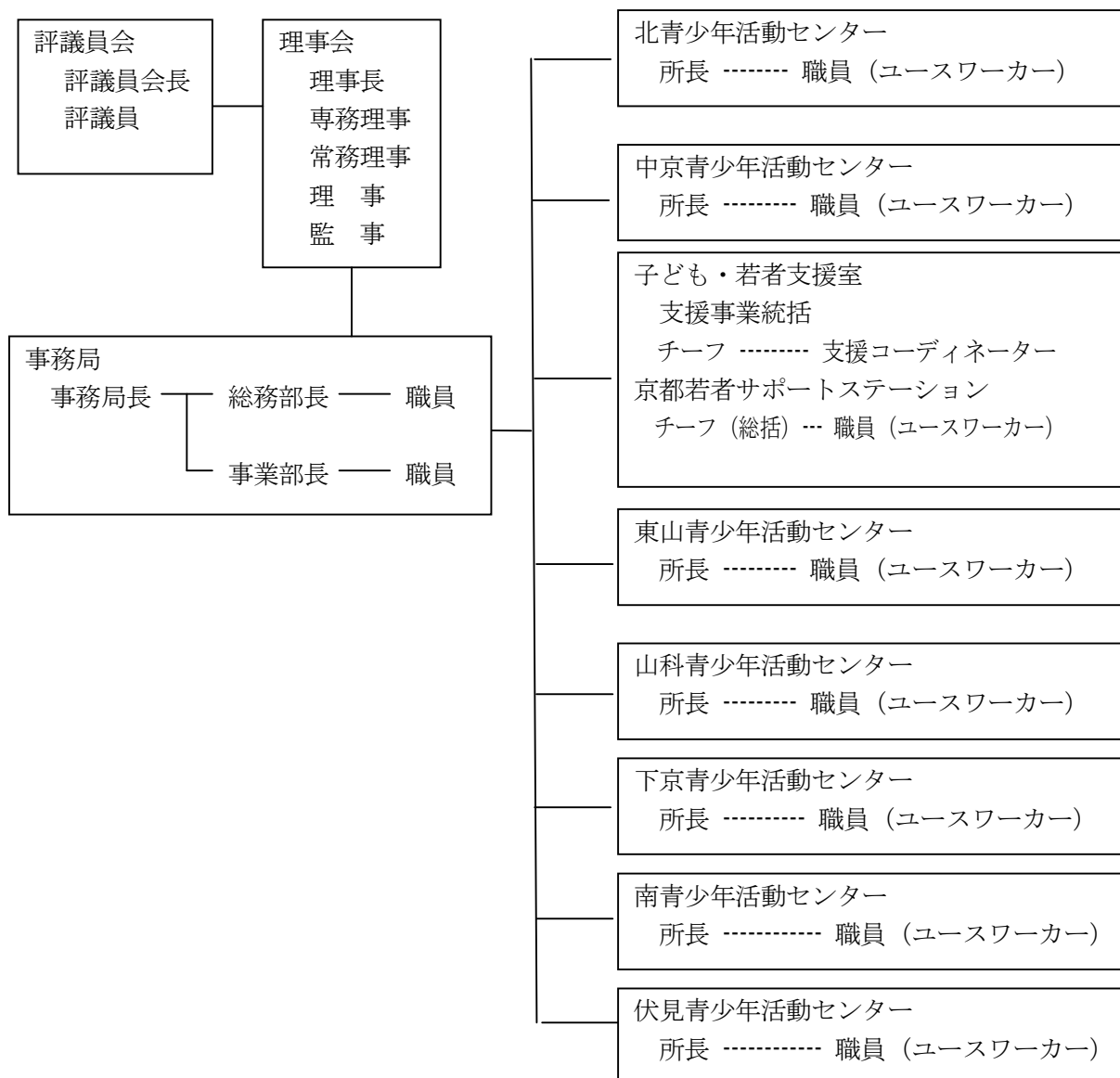
#### (5) 監事

赤澤清孝，磯田利佳子，川南恵，宮田英喜（文化市民局共同参画社会推進部長）

### 11 常勤職員数

45 人（うち本市派遣職員 0 人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成24年度決算

(1) 事業報告

ア 自主事業

(ア) 情報発信事業

青少年が地域活動に参加していくための機会づくりを目的として、情報発信事業を実施した。主な取組としては、次のとおりである。

- a 主に10代を対象に社会参加の情報を提供する「ボランティアニュース」の発行
- b 高校生がメディアを使って意見を表明する機会を提供するフリーペーパー「the-keys」の発行
- c 青少年団体、青少年の支援に関わる団体との交流・情報交換会の開催
- d 青少年活動センター利用グループの情報発信

(イ) 市民参加促進事業

青少年が「市民参加」の主体となるよう、市民としての経験及び学習の機会を提供するとともに、新たに市政への参画を進める事業を実施した。

- a 青少年自らが必要と考えるテーマについて主体的に取り組むグループの支援

- b 高校生のまちづくり活動体験「ユースACTプログラム」実行委員会に参画した。
  - (ウ) 青少年関係団体のネットワーク形成に関する事業
 

青少年グループ、育成団体、NPO 事業への共催及び後援を行うとともに、関係行政機関及び関係団体への事業に協力した。また、広報誌「ユースサービス」を発行（年4回）し、関係者及び関係団体への情報提供を行った。
  - (エ) 調査・研究・研修事業
 

立命館大学大学院での「ユースワーカー養成コース」を同大学院と共同で運営するとともに、学部での養成講座の実施や資格制度についての研究を行った。そのほか、同志社大学、佛教大学及び法政大学などを中心とした子ども・若者支援施策等の調査・研究に協力、参画した。
- イ 青少年活動センター事業
  - (ア) 青少年活動センターの管理運営
 

市内7箇所の青少年活動センターにおいて、「ユースサービス」(青少年の自己成長の支援)の理念に基づき、青少年団体や青少年グループの自主的な活動を支援し、促進するとともに、それぞれが青少年個人の活動参加を促進するための拠点施設として機能するよう運営した。
  - (イ) 青少年活動リーダーの養成事業
 

若者を支援する専門スタッフである「ユースワーカー養成プログラム」や、各青少年活動センターにおいて、ボランティアの養成や研修を実施した。
  - (ウ) 青少年の交流促進事業
 

ボランティアスタッフが運営する「ライブキッズ」を実施し、青少年及び青少年グループの交流を促進する事業を行った。また、青少年の支援や活動に関わる人たちと共に、「若者と共に生き方をデザインする」をテーマに、シンポジウムを開催した。
  - (エ) 青少年の社会参加を促進する事業など各センターの特性を生かした事業
 

働く青少年のみならず、学生、生徒も含めた青少年の社会参加を促進する事業や、ボランティア活動等の青少年の自発的な活動を支援する事業に重点的に取り組んだ。

市内7箇所の青少年活動センターがそれぞれの特性を生かした個性的な事業を展開しており、環境教育事業や国際理解や異文化理解のための事業、青少年のスポーツ活動を支援する事業、演劇やダンスなど創造活動への参加を促す事業、地域（まちづくり）に関わる事業などに取り組んだ。
  - (オ) 子ども・若者総合相談窓口の運営等
 

社会生活を円滑に営むうえでの困難を有する子ども・若者やその家族の相談に応じ、適切な支援機関の紹介や情報提供、助言などを行う「子ども・若者総合相談窓口」の運営に取り組んだ。
- ウ 京都若者サポートステーションの運営
 

一定期間無業の状態にある若者の職業的自立支援を目的に、キャリアコンサルタント及び臨床心理士による専門相談、職業体験等を行う「職業ふれあい事業」やセミナーなどを実施した。

また、学校と連携した早期支援として、市立高校へキャリアコンサルタントを派遣する「高校中退者等アウトリーチ事業（訪問支援）」に取り組んだ。
- エ 地域若者サポーター活用事業
 

平成20年度から平成23年度までに養成した「地域若者サポーター（個人サポーター）」が5つのブロックに分かれ、各地域で活動するとともに、青少年活動センターと協働で居場所事業や異世代交流事業に取り組んだ。

オ 子ども・若者指定支援機関業務等

社会生活を円滑に営むうえでの困難を有する子ども・若者の社会参加や社会的自立に向けて、効果的かつ円滑な支援を実施するために設置された「京都市子ども・若者支援地域協議会」による支援の主導的役割を担っており、配置している支援コーディネーターが関係機関等との架け橋となり、総合的・継続的な支援を実施した。

また、子ども・若者指定支援機関とNPO等が一体となった支援を展開することにより、子ども・若者の社会参加及び社会的自立を促進することなどを目的とする「NPO等民間団体の子ども・若者支援促進事業」を実施し、子ども・若者の社会的自立に資する事業を実施する9団体に助成を行った。

そのほか、青少年育成団体等が実施する青少年の社会参加や、社会的自立を支援する事業（京都市ユースアクションプラン認証事業）の情報を、効果的かつ的確に提供するため、これら事業を掲載したリーフレットを発行するとともに、青少年の自立を支援することにつながる取組として、「ユースアクションプラン事業認証」及び「ロゴマーク」の活用を行った。

カ 中学3年生学習支援事業

生活保護世帯の中学生に対する学習支援の取組として、平成22年度から京都市の委託を受けBBS京都地区会等と連携し、実施している。平成24年度には市内5箇所の青少年活動センター等で学習会を実施した。

(2) 財務諸表

貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[333,375]	流動負債	[38,591]
現金預金	32,624	未払金	20,845
未収金	630	前受金	275
前払金	111	預り金	3,267
仮払金	10	賞与引当金	14,204
固定資産	[80,866]	固定負債	[24,312]
(基本財産)	(30,000)	退職給与引当金	24,312
有価証券	29,992		
基本財産預金	8		
(特定資産)	(44,129)		
退職給与引当預金	24,312		
減価償却引当預金	2,042	負債合計	62,903
特定積立預金	3,570		
賞与引当預金	14,204		
(その他の固定資産)	(6,737)		
車両運搬具	984	正味財産の部	
什器備品	1,592	指定正味財産	[30,000]
ソフトウェア	4,085	一般正味財産	[21,338]
電話加入権	75		
資産合計	114,241	正味財産合計	51,338
		負債及び正味財産合計	114,241

正味財産増減計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	備考
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入	120	120	
② 事業収入	8,172	8,224	
③ 補助金等収入	11,350	13,933	
④ 受託料収入	351,688	348,447	
⑤ 寄付金収入	298	45	
⑥ 雑収入	4,374	3,180	
経常収益計	376,001	373,950	
(2) 経常費用			
① 事業費	382,594	350,745	
② 管理費	6,854	33,344	
経常費用計	389,448	384,088	
当期経常増減額	△ 13,447	△ 10,139	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益	0	203	
② 退職給与引当金取崩益	5,407	0	
経常外収益計	5,407	203	
(2) 経常外費用			
① 什器備品除却損	0	462	
経常外費用計	0	462	
当期経常外増減額	5,407	△ 260	
当期一般正味財産増減額	△ 8,039	△ 10,398	
一般正味財産期首残高	29,377	39,776	
一般正味財産期末残高	21,338	29,377	
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	
指定正味財産期首残高	30,000	30,000	
指定正味財産期末残高	30,000	30,000	
III 正味財産期末残高	51,338	59,377	

2 平成25年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 自主事業

(ア) 情報発信事業

情報発信事業(旧リーダーバンク事業)は、青少年が地域活動に参加していくための機会づくりを目的として実施する。

- a 主に10代を対象に社会参加の情報を提供する「ボランティアニュース」の発行
- b 高校生がメディアを使って意見を表明する機会を提供する「the-keys」の発行
- c 青少年団体、青少年の支援に関わる団体との交流・情報交換会の開催
- d 青少年活動センター利用グループの情報発信

(イ) 市民参加促進事業

青少年が「市民社会」の主体となる“市民”としての経験・学習の機会の提供を目指すとともに、新たな地域参加への取組や、市政やまちづくり、青少年活動センターの運営への参画を進める。

(ウ) 青少年支援関係団体のネットワーク形成事業

青少年の自発的活動の振興を図るため、関係行政機関や関係団体（青少年団体など）の協力を得ながら、青少年活動に携わる職員やボランティアスタッフの交流をはじめ、交流促進のための相談や情報提供などの取組を行う。

(エ) 調査・研究・研修事業

立命館大学大学院での「ユースワーカー養成コース」を同大学院と共同で運営するとともに、学部での養成講座の実施や資格制度について研究を行う。また、ユースワークや子ども・若者総合支援への取組について、大学等との研究に協力・参画するとともに、協会職員の研修も進める。

イ 青少年活動センター事業

(ア) 青少年活動センターの管理運営

市内7箇所の青少年活動センターにおいて、「ユースサービス」（青少年の自己成長の支援）の理念に基づき、青少年団体や青少年グループの自主的な活動を支援し、促進するとともに、各青少年活動センターが青少年個人の活動参加を促進するための拠点施設として機能するように引き続き運営する。また、「京都若者サポートステーション」及び「子ども・若者総合支援事業」と連携を図り、青少年活動センターでも課題を抱える青少年の支援を強めるとともに、京都府による立ち直り支援チームと連携した非行少年等の立ち直り支援の取組に協力する。

(イ) 青少年活動リーダーの養成事業

「ユースワーカー養成・資格認定事業」によるユースワーカーの養成など、地域社会で活躍できる人材養成を行うほか、各青少年活動センターでボランティアリーダーを募集し、育成する。

(ウ) 青少年の交流促進事業

「ライブキッズ」、「ユースシンポジウム」を各青少年活動センターの持っている人的資源などを生かし実施する。

(エ) 各青少年活動センターの特性を生かした事業

a 環境学習、異文化理解のための取組などを通して、地域の課題に青少年が関わるための事業を実施する。

b 青少年の「居場所づくり」を支える事業を全センターで実施する。

c ボランティア活動等の青少年の自発的な活動を支援する事業を継続して取り組む。

(オ) 子ども・若者総合相談窓口の運営

子ども・若者相談員を配置し、社会生活を円滑に営むうえでの困難を有する子ども・若者やその家族の相談に応じ、適切な支援機関の紹介や情報提供、助言などを行う「子ども・若者総合相談窓口」を運営するとともに、相談機能の充実を図るため、ホームページからの相談受付を始める。

ウ 京都若者サポートステーションの運営

一定期間無業の状態にある若者の職業的自立支援を目的に、相談事業（出前相談会を含む。）を実施するとともに、7箇所の青少年活動センターと連携した職業体験等を行う「職業ふれあい事業」などを実施する。また、キャリア相談や就労に関する講座を通じて、卒業生及び中退者の支援を行う「高校中退者等アウトリーチ事業（国委託事業）」が平成25年から「学校連携支援事業」として充実されたことに伴い、市立高校4校以外に加えてサポート校や大学などその支援の範囲を拡充する。

エ 地域若者サポーター活用事業

「地域若者サポーター（個人サポーター）」を地域ブロックごとに分け、青少年活動センター

などの事業へ誘導するとともに、サポーターを活用した若者の居場所事業等を実施する。

オ 子ども・若者指定支援機関業務等の推進

社会生活を円滑に営むうえでの困難を有する子ども・若者の社会参加や社会的自立に向けた支援の主導的役割を担うとともに、配置している支援コーディネーターが関係機関等との架け橋となり、総合的かつ継続的な支援を実施していく。

また、NPO 法人等と連携した「子ども・若者支援促進事業」に取り組むとともに、ひきこもり経験者などと共にひきこもり状態にある方やその家族を支援する「ピア・サポーター養成・派遣事業」を NPO 法人と協働で取り組む。

さらに、青少年育成団体等が実施する青少年の社会参加や、社会的自立を支援する事業（京都市ユースアクションプラン認証事業）を効果的に情報提供するため、これらの事業を掲載したリーフレットの発行と青少年の自立を支援することにつながる取組として、「ユースアクションプラン事業認証」及び「ロゴマーク」の活用を行う。

カ 中学3年生学習支援事業の受託

様々な団体と協力しながら、生活保護世帯の高校進学を希望する中学生を対象に学習支援のための勉強会を拡充して実施する。

## (2) 予算

## 収 支 予 算 書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	備 考
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入	100	100	
② 事業収入	8,697	8,304	
③ 補助金収入	7,586	11,516	
④ 受託料収入	371,125	351,749	
⑤ 寄付金収入	500	500	
⑥ 雑収入	1,786	1,751	
経常収益計	389,794	373,920	
(2) 経常費用			
① 事業費	383,199	373,517	
② 管理費	7,009	12,303	
経常費用計	390,208	385,820	
当期経常増減額	△ 414	△ 11,900	
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 退職給与引当金取崩益	414	0	
経常外収益計	414	0	
(2) 経常外費用			
① 什器備品除却額	0	0	
経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	414	0	
他会計振替額	0	0	
当期一般財産増減額	0	△ 11,900	
一般正味財産期首残高	0	0	
一般正味財産期末残高	0	△ 11,900	
II 指定正味財産増減額の部			
① 受取補助金等	0	0	
② 一般正味財産へ振替額	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	
指定正味財産金末残高	0	0	
III 正味財産期末残高	0	△ 11,900	



## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	384,226	373,950	376,001	389,794
	当期経常増減額	8,117	△10,139	△13,447	△414
	当期正味財産増減額	8,117	△10,398	△8,039	0
貸借対照表	総資産	136,105	134,917	114,241	
	総負債	66,329	75,539	62,903	
	正味財産	69,776	59,377	51,338	
	基本財産	30,000	30,000	30,000	
	累積損益額	39,776	29,377	21,338	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	青少年活動センター管理運営等 (指定管理)	294,526	285,535	285,535	285,535
	若者サポートステーション事業	7,700	7,700	6,260	
	サポーター養成等事業			1,300	
	子ども・若者総合支援準備業務	6,346			
	子ども・若者総合支援業務	16,154	36,262	38,262	
	ひきこもり状態にある若者支援に関する調査業務	1,900			
	中3学習支援事業	571	993	1,600	
	伏見区役所交流スペース管理業務	816			
補助金	情報発信事業 (リーダーバンク事業) 等	13,696	13,696	11,246	5,800

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>依然として本市からの委託料に頼っている部分が多く財務基盤が脆弱である。</li><li>事業の性質上、事業費に占める人件費の割合が高く、結果として、売上高人件費比率が高い。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>本市の青少年行政を担う団体として、社会生活を営むうえでの困難を有する子どもと若者を支援する「子ども・若者総合支援事業」や、若者の職業的自立を支援する「地域若者サポートステーション事業」などと、青少年活動センターが連携し、協会が一体となって、支援が必要な青少年に、適切な支援が迅速かつ効果的に実施できるよう努めてもらいたい。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>当期正味財産増減額は、平成23年度に引き続き赤字となっており、また、事業収支比率が高いので、経費削減を徹底する必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>施設ごとの稼働率にばらつきがある。施設の状況を確認し、それぞれの施設に応じた対策が必要である。</li></ul>

# 公益財団法人京都市男女共同参画推進協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 斧出節子

### 2 所在地

京都市中京区東洞院通六角下る御射山町 262 番地 京都市男女共同参画センター内

### 3 電話番号

075-212-7490

### 4 ホームページアドレス

<http://www.wings-kyoto.jp/>(京都市男女共同参画センター)

### 5 設立年月日

平成5年5月24日

### 6 基本財産

50,000千円(うち本市出えん額 50,000千円, 出えん率 100.0%)

### 7 事業目的

男女の自立と社会のあらゆる分野の活動への対等な参画を促進するため, 市民の主体的な活動を喚起しながら必要な事業を展開し, 男女が個人として尊重され, その能力が発揮できる, 男女共同参画の理念の息づく都市, 京都の実現に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 男女共同参画に関する情報及び資料の収集, 保存及び提供
- (2) 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究
- (3) 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報, 啓発及び学習支援
- (4) 男女共同参画に関する相談
- (5) 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進
- (6) 男女共同参画に関する施設の管理運営
- (7) その他前条の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局共同参画社会推進部男女共同参画推進課 (TEL075-222-3091)

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

斧出節子

#### (2) 副理事長

中川慶子

#### (3) 専務理事

道本紀夫

#### (4) 常務理事

奥村美保

#### (5) 理事

津田美智子, 川村雅己, 佐野恭子, 清水智子, 田口美紀,

寺井一郎 (文化市民局共同参画社会推進部男女共同参画推進課長), 横山晶子, 安田三江子

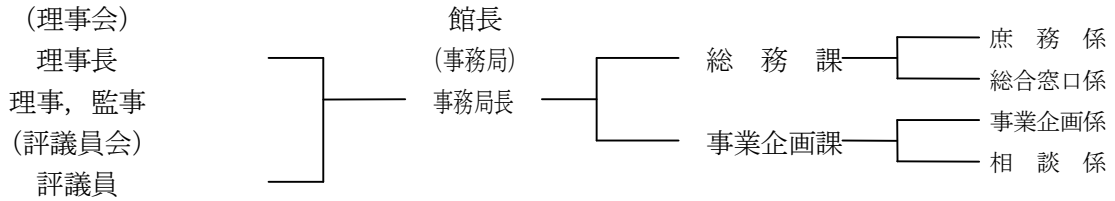
#### (6) 監事

平野之夫, 前野芳子, 宮田英喜 (文化市民局共同参画社会推進部長)

### 11 常勤職員数

12人(うち本市派遣職員0人)

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

ア 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供

(ア) 図書資料の収集と提供

(イ) 図書事業

ブックフェア開催・ブックリスト発行

(ウ) 情報発信事業

a インターネットでの情報発信（ホームページ、メールマガジン、Facebook、ブログ）

b 啓発誌・講座案内の発行

イ 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究

(ア) 調査研究

a デートDV意識調査

b 既存の行政資料の収集・分析

ウ 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援

(ア) ワーク・ライフ・バランス推進事業

a 男性のための生活マネジメント講座

b 女子学生対象就職前講座

c 育児休業パワーアップ講座

d ずっと働きたい私のJewelカフェ

e ワーク・ライフ・バランス講演会

f 孫育て講演会（頼れるイクジイになる！）

(イ) 企業・地域への男女共同参画推進事業

a はじめての男女共同参画講座

b 絵本講座

c 親子で楽しむコンサート

d 母と娘の科学実験教室

e ウィングスシアター

(ウ) 教養・健康増進事業

a 運動実技講座

b うた講座

c 朗読講座

d メイク講座

(エ) 保育事業

a 事業参加者の保育

b 施設利用者の保育

c 親子のふれあい広場

エ 男女共同参画に関する相談

(ア) 相談業務

- a 一般相談
- b 専門相談
- (イ) 相談事業
  - a DV被害当事者のための自立支援事業
  - b グループ相談会
- (ウ) 関係機関連携
- (エ) 京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付
- オ 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進
  - (ア) 地域コミュニティ活性化の促進事業
    - a ウィングス・フォーラム
    - b 人権・男女共同参画研修
    - c センター利用者や地域との協働事業
    - d ピンクリボン活動啓発事業
  - (イ) ドメスティック・バイオレンス対策事業
    - a DV被害者サポーター養成講座
    - b びーらぶインストラクター養成講座
    - c びーらぶインストラクターフォロー講座
    - d DV被害者当事者のための居場所づくり事業
    - e WEN-DO護身術講習
    - f パープルリボンの取組
  - (ウ) 人材・団体育成事業
    - a 市民活動サポート事業
    - b 共催・後援事業
    - c 講座受講生のグループ育成
  - (エ) 目的利用団体に対する施設管理業務
- カ 目的利用団体以外への施設管理業務
- キ 公益財団法人の経営管理，組織・人事管理，財務運営

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[99,853]	流動負債	[26,577]
現金預金	98,353	未払金	19,140
未収入金	363	預り金	1,091
仮払金	739	前受金	6,346
小口現金	50		
前払金	347		
固定資産	[153,216]	固定負債	[53,594]
(基本財産)	(50,000)	退職給付引当金	53,594
定期預金	20,000		
京都市公募公債	10,000		
第93回利付国債	10,000		
大阪府公募公債	10,000		
(特定資産)	(88,355)		
退職給付引当資産	53,756		
備品更新準備資金	6,199		
施設改良準備資金	5,000		
図書情報室活性化資金	8,000		
省エネルギー化資金	5,400		
施設改良資金24	3,000		
20周年記念事業準備資金	7,000		
(その他の固定資産)	(14,861)		
什器備品	7,040		
ソフトウェア	6,225		
電話加入権	1,580		
出資金	10		
保証金	5		
資産合計	253,068	負債合計	80,171
		正味財産の部	
		指定正味財産	[7,208]
		一般正味財産	[165,690]
		(うち基本財産への充当額)	(50,000)
		(うち特定資産への充当額)	(88,355)
		正味財産合計	172,897
		負債及び正味財産合計	253,068

正味財産増減計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	備考
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入	314	289	
② 補助金等収入	191,839	178,430	
③ 助成金収入	480	2,048	
④ 事業収入	29,102	29,971	
⑤ 雑収入	2,780	3,039	
経常収益計	224,515	213,778	
(2) 経常費用			
① 事業費	206,584	202,355	
② 管理費	0	0	
経常費用計	206,584	202,355	
当期経常増減額	17,931	11,423	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用			
① 固定資産除去額	21	53	
経常外費用計	21	53	
当期経常外増減額	△ 21	△ 53	
当期一般正味財産増減額	17,911	11,371	
一般正味財産期首残高	147,779	136,409	
一般正味財産期末残高	165,690	147,779	
II 指定正味財産増減の部			
① 受託料収入	0	12,722	
一般正味財産への振替額	△ 2,898	△ 2,616	
当期指定正味財産増減額	△ 2,898	10,106	
指定正味財産期首残高	10,106	0	
指定正味財産期末残高	7,208	10,106	
III 正味財産期末残高	172,897	157,885	

## 2 平成 25 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供

##### (ア) 図書資料の収集と提供

##### (イ) 図書事業

a ブックフェア開催・ブックリスト発行

b 図書情報室内での絵本の読み聞かせ・朗読を聞く会

##### (ウ) 情報発信事業

a インターネットでの情報発信（ホームページ、メールマガジン、Facebook、ブログ）

b 啓発誌・講座案内の発行

#### イ 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究

##### (ア) 調査研究

a デートDV意識調査

b 育児休業パワーアッププログラム調査

c 既存の行政資料の収集・分析

#### ウ 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援

##### (ア) 真のワーク・ライフ・バランス推進事業

a 男性のための生活マネジメント講座

b 女子学生対象就職前講座

c 働き女子のWork\*Love Balanceカフェ

d 働くママの防災力UP講座

e ワーク・ライフ・バランス講演会

f 父と子どもの食事づくりワークショップ

##### (イ) 企業・地域への男女共同参画推進事業

a みんなで考える男女共同参画

b 新島八重に学ぶ男女共同参画大学

c 親子で楽しむコンサート

d 母と娘の科学実験教室

e 教職員対象DV予防講座

f 男女共同参画社会は男性を救うのか

##### (ウ) 教養・健康増進事業

a 運動実技講座

b うた講座

c 朗読講座

##### (エ) 保育事業

a 事業参加者の保育

b 施設利用者の保育

c 親子のふれあい広場

#### エ 男女共同参画に関する相談

##### (ア) 相談業務

a 一般相談

b 専門相談

##### (イ) 相談事業

a DV被害当事者のための自立支援事業

b グループ相談会

##### (ウ) 関係機関連携



- (エ) 京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付
- オ 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進
  - (ア) 地域コミュニティ活性化の促進事業
    - a ウィングス・フォーラム
    - b シニア映画祭
    - c センター利用者や地域との協働事業
    - d ピンクリボン活動啓発事業
  - (イ) ドメスティック・バイオレンス対策事業
    - a DV被害者支援講座
    - b インストラクター及びサポーター活用事業
    - c DV被害者当事者のための居場所づくり事業
    - d WEN-DO護身術講習
    - e パープルリボンの取組
  - (ウ) 人材・団体育成事業
    - a 市民活動サポート事業
    - b 共催・後援事業
    - c 講座受講生のグループ育成
  - (エ) 目的利用団体に対する施設管理業務
- カ 目的利用団体以外への施設管理業務
- キ 公益財団法人の経営管理，組織・人事管理，財務運営

## (2) 予算

## 収 支 予 算 書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	備考
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入	250	300	
② 補助金等収入	184,000	188,416	
③ 助成金収入	260	0	
④ 事業収入	30,000	28,500	
⑤ 雑収入	1,500	2,500	
経常収益計	216,010	219,716	
(2) 経常費用			
① 事業費	220,467	222,646	
② 管理費	0	0	
経常費用計	220,467	222,646	
当期経常増減額	△ 4,457	△ 2,930	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 4,457	△ 2,930	
一般正味財産期首残高	125,267	128,197	
一般正味財産期末残高	120,810	125,267	
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	
III 正味財産期末残高	120,810	125,267	

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	228,136	213,778	224,515	216,010
	当期経常増減額	17,511	11,423	17,931	△4,457
	当期正味財産増減額	17,511	21,477	15,012	△4,457
貸借対照表	総資産	215,135	236,978	253,068	/
	総負債	78,727	79,093	80,171	
	正味財産	136,409	157,885	172,897	
	基本財産	50,000	50,000	50,000	
	累積損益額	86,409	107,885	122,897	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	男女共同参画センターの 管理運営 (指定管理)	180,000	180,000	180,000	180,000
	DV被害者支援インストラクター養成事業		2,000	2,525	
補助金	事業補助 (図書資料の収集・提供)	10,537	6,536	6,416	

## 第3 経営評価結果

## 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市からの収入が減少傾向にある中で安定した経営を維持しているが、今後、自主事業収入の確保や助成金の獲得などがより一層必要となってくる。また、支出面では人件費の抑制が当面の課題である。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度に年間入館者数が初めて50万人を突破するなど、年間入館者数、月平均日数使用率ともに高い水準を維持しており、安定した運営が実現できている。</li> <li>事業の実施方法の比重を、市民参加型のワークショップにシフトしていることなどから、自主事業受講者、受託事業受講者の人数が共に減少傾向にある。事業の専門性を追求することと、幅広く市民に受講してもらえらる講座を実施することの両立が課題である。</li> </ul>

## 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>当期正味財産増減額は増加しているが、自主事業収入を確保していくことが喫緊の課題だと思われる。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間入館者数が順調に増加するなど安定した事業運営を行っているが、引き続きこのすう勢を維持するため、事業の活性化に努める必要がある。</li> </ul>

# 財団法人京都市立浴場運営財団

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 北川龍彦

### 2 所在地

京都市上京区猪熊通丸太町下る中之町 519 番地

### 3 電話番号

075-802-3591

### 4 ホームページアドレス

[http://www.geocities.jp/kyoto\\_city\\_yokujou/index.html](http://www.geocities.jp/kyoto_city_yokujou/index.html)

### 5 設立年月日

平成10年2月2日

### 6 基本財産

50,000 千円（うち本市出えん額 50,000 千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

旧同和地区に設置された京都市立浴場等の公共施設（地域社会施設）の管理運営及び活用のための調査，研究等を行うことにより，旧同和地区及び周辺地域住民の福祉の向上並びに地域交流の推進を図り，もって同和問題をはじめとする人権問題の解決に資すること。

### 8 業務内容

- (1) 京都市立浴場の管理運営
- (2) 地域社会施設の管理運営及び活用に関する調査，研究
- (3) 旧同和地区及び周辺地域住民の福祉の向上並びに地域交流の推進
- (4) その他，この法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局市民生活部人権文化推進課（TEL075-366-0322）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

北川龍彦

#### (2) 理事長代行

後藤重義

#### (3) 副理事長

中川慶子

#### (4) 理事

黒松文子，西脇悦子，山田義春，小笹芳巳，山田学，森崎勝，平竹耕三（文化市民局長），  
吉川昌弘（文化市民局市民生活部長）

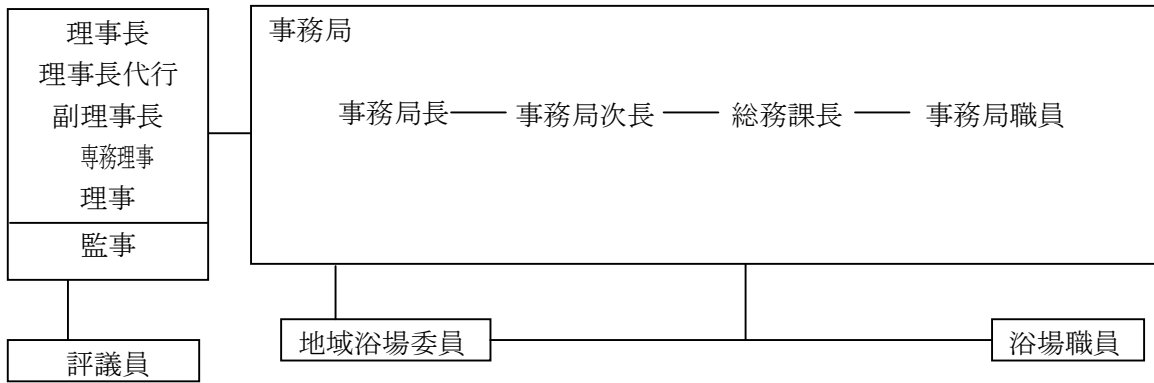
#### (5) 監事

近藤一郎

### 11 常勤職員数

78 人（うち本市派遣職員 2 人）

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

平成24年度においては、京都市内13箇所に設置されている京都市立浴場の指定管理者として、公の施設である同浴場の管理を代行した。

また、平成24年度は、第2期目の指定管理期間（平成23年度～平成26年度）の2年目に当たり、各浴場の営業を滞りなく実施するとともに、将来を展望した安定的な運営基盤を確立するため、職員定数の削減などにより経費削減に努めた。

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	受託事業特別会計	福利厚生事業特別会計
<b>I 資産の部</b>				
1 流動資産	[47,645]	[6,592]	[32,134]	[8,920]
現金預金	47,596	6,543	32,133	8,920
未収金	50	50	0	0
2 固定資産	[80,029]	[67,603]	[11,916]	[510]
(基本財産)	(50,000)	(50,000)	(0)	(0)
定期預金	50,000	50,000	0	0
(特定資産)	(29,196)	(17,280)	(11,916)	(0)
退職給付引当資産	29,196	17,280	11,916	0
(その他の固定資産)	(833)	(323)	(0)	(510)
構築物	373	0	373	0
車両運搬具	798	798	0	0
什器備品	292	292	0	0
減価償却累計額	△ 1,257	△ 884	△ 373	0
電話加入権	117	117	0	0
貸付金	510	0	0	510
資産合計	127,674	74,195	44,049	9,430
<b>II 負債の部</b>				
1 流動負債	[20,017]	[5,259]	[14,758]	[0]
未払金	19,851	5,259	14,592	0
預り金	166	0	166	0
2 固定負債	[44,377]	[8,718]	[35,659]	[0]
退職給与引当金	44,377	8,718	35,659	0
負債合計	64,394	13,977	50,417	0
<b>III 正味財産の部</b>				
1 指定正味財産	[50,000]	[50,000]	[0]	[0]
地方公共団体補助金	50,000	50,000	0	0
(うち基本財産への充当額)	(50,000)	(50,000)	(0)	(0)
2 一般正味財産	[13,280]	[10,218]	[△ 6,368]	[9,430]
(うち特定資産への充当額)	(△ 15,394)	(8,562)	(△ 23,957)	(0)
正味財産合計	63,280	60,218	△ 6,368	9,430
負債及び正味財産合計	127,674	74,195	44,049	9,430

正味財産増減計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	合 計	一般会計	受託事業特別会計	福利厚生事業特別会計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	50	50	0	0
② 事業収益	125,995	0	125,995	0
③ 受取補助金等	446,281	20,281	426,000	0
④ 福利事業収益	1,850	0	0	1,850
⑤ 貸付事業収益	14	0	0	14
⑥ 雑収益	109	6	103	0
経常収益計	574,300	20,337	552,099	1,864
(2) 経常費用				
① 事業費	549,271	0	549,271	0
② 福利厚生事業費	1,925	0	0	1,925
③ 貸付事業費	8	0	0	8
④ 管理費	20,828	20,828	0	0
経常費用計	572,031	20,828	549,271	1,933
当期経常増減額	2,268	△ 491	2,828	△ 69
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,268	△ 491	2,828	△ 69
一般正味財産期首残高	11,012	10,709	△ 9,196	9,498
一般正味財産期末残高	13,280	10,218	△ 6,368	9,430
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	0	0
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	0	0
III 正味財産期末残高	63,280	60,218	△ 6,368	9,430

2 平成25年度事業計画

(1) 事業計画の概要

当財団は、平成18年度から指定管理者として公の施設である京都市内13箇所に設置されている京都市立浴場の管理を代行している。

平成25年度においては、新しい指定管理期間の3年目として、京都市との緊密な連携協力の下、市立浴場の管理運営業務を行うとともに、浴場主任を中心とした浴場職員、地域浴場委員及び財団事務局の相互連携を図り、サービスの向上や入浴者の一層の確保に努める。

さらに、住民交流の観点から、周辺地域住民も視野に入れた利用者の憩いの場、地域福祉の一翼を担う施設として運営するため、福祉支援事業の継続、福祉風呂の管理運営、高齢者介護

情報等の提供、安否確認サービスの実施、障害者の就労支援の場の提供等による地域福祉の向上に向けたサービスの充実に向けた取組を行う。

また、公益法人の改革に関する法律の施行に伴い、平成25年11月末までに新制度に基づく法人への移行申請を行う必要があるため、早急に当財団の組織改革や今後の浴場運営の在り方について、京都市と十分に協議したうえで、今後の対応方針を定め、移行申請に向けた手続きに着手する。

(2) 予算

収 支 予 算 書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	受託事業 特別会計	福利厚生事業 特別会計	内部取引消去
I 事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
① 基本財産運用収入	150	150	0	0	0
② 事業収入	122,344	0	115,000	7,344	0
③ 補助金等収入	445,301	21,801	423,500	0	0
④ 雑収入	109	9	100	0	0
事業活動収入計	567,904	21,960	538,600	7,344	0
2 事業活動支出					
① 事業費支出	554,844	0	547,500	7,344	0
② 管理費支出	20,960	20,960	0	0	0
事業活動支出計	575,804	20,960	547,500	7,344	0
事業活動収支差額	△ 7,900	1,000	△ 8,900	0	0
II 投資活動収支の部					
1 投資活動収入					
① 特定資産取崩収入	10,000	0	10,000	0	0
投資活動収入計	10,000	0	10,000	0	0
2 投資活動支出					
① 特定資産取得支出	100	0	100	0	0
投資活動支出計	100	0	100	0	0
投資活動収支差額	9,900	0	9,900	0	0
III 財務活動収支の部					
1 財務活動収入					
財務活動収入計	0	0	0	0	0
2 財務活動支出					
財務活動支出計	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
IV 予備費支出	2,000	1,000	1,000	0	0
当期収支差額	0	0	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0	0	0



## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
収支計算書	収入合計	660,566	662,006	587,435	577,904
	支出合計	640,329	650,099	559,807	577,904
	次期繰越収支差額	20,237	11,907	27,629	0
正味財産増減計算書	経常収益	642,309	633,458	574,300	
	当期経常増減額	15,036	△36,064	2,268	
	当期正味財産増減額	15,036	△36,064	2,268	
貸借対照表	総資産	180,915	178,656	127,674	
	総負債	83,838	117,644	64,394	
	正味財産	97,076	61,012	63,280	
	基本財産	50,000	50,000	50,000	
	累積損益額	47,076	11,012	13,280	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	市立浴場管理運営委託(指定管理)	448,925	430,000 (※)	426,000 (※)	423,500 (※)
補助金	運営補助	25,943	22,633	20,281	21,801

(※) 一部利用料金制

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>入浴者数が減少しているものの、料金改定により前年度並みの入浴料収入を確保することができた。また、光熱水費が値上がりするなど厳しい経営環境の中であったが、コスト意識を持った効率的な施設運営を行い、経費の圧縮に努めた。</li> <li>平成20年度の「京都市同和行政終結後の行政の在り方総点検委員会」からの報告及び指定管理者の指定の際に市会から出された警告を踏まえ、引き続き、一般職員の嘱託化推進による人件費の削減に取り組む必要がある。</li> <li>今後とも、効率的な施設運営を更に徹底するとともに、入浴料金の改定等の増収策を検討していく必要がある。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>市立浴場福祉支援事業（70歳以上の高齢者のうち生活保護受給者と心身障害者（児）を対象に絞り、申請により入浴券を月3枚配布）の実施や、従業員を対象としたケアサポート研修を行い、高齢者や障害のある利用者へのサポート体制を強化したことや、安定的経営のための取組である入浴券（10枚綴り）の販売が順調なことから、入浴者へのサービス面での充実が図られている。</li> <li>平成20年度の「京都市同和行政終結後の行政の在り方総点検委員会」からの報告及び指定管理者の指定の際に市会から出された警告を踏まえ、地域福祉の向上に寄与する取組について積極的に実施するとともに、利用者サービスの更なる向上に努める必要がある。</li> </ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>経常収益は平成23年度を下回ったものの、経常費用の削減により、当期正味財産増減額は若干の黒字となった。引き続き、経費削減を進めていくことが必要である。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>入浴者数の減少が続いている。市立浴場の段階的な統廃合の方針が示されていることもあり、今後の事業運営について、更に踏み込んだ対応策を検討、推進していくことが望まれる。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>公益法人制度改革への対応については、遺漏のないよう手続を進めること。</li> </ul>

# 公益財団法人京都市体育協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

会長 内田昌一

### 2 所在地

京都市右京区西京極新明町1番地

### 3 電話番号

075-315-4561

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-sports.or.jp/>

### 5 設立年月日

昭和59年6月21日

### 6 基本財産

61,500千円（うち本市出せん額 30,000千円，出せん率 48.8%）

※ 平成25年7月1日現在： 115,000千円（うち本市出せん額 30,000千円，出せん率 26.1%）

### 7 事業目的

多様化した市民のスポーツ活動に対する欲求にこたえ，市民スポーツの普及・振興に関する事業を積極的に推進し，もって市民の健全な心身の発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 競技力向上のための各種事業の実施や指導者の育成
- (2) 生涯スポーツの普及・振興に関する事業
- (3) スポーツ振興を目的とした団体等に対する支援及び協働
- (4) スポーツに関する情報の提供及び調査研究
- (5) 地域におけるスポーツ活動の振興及び協働
- (6) トップスポーツを身近に接する機会の提供
- (7) スポーツ活動拠点の運営
- (8) 有料駐車場、自動販売機、物品販売や貸与等による収益事業
- (9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局市民スポーツ振興室（TEL075-366-0168）

### 10 役員名等

#### (1) 会長

内田昌一

#### (2) 副会長

藤野英雄，田中田鶴子，今枝徳蔵，田中セツ子

#### (3) 専務理事

草川健治

#### (4) 理事

嶋田正義，檀野晴一，水田雅博，前川勝六，長谷川好子，岡寛，松井道宣，松永敬子

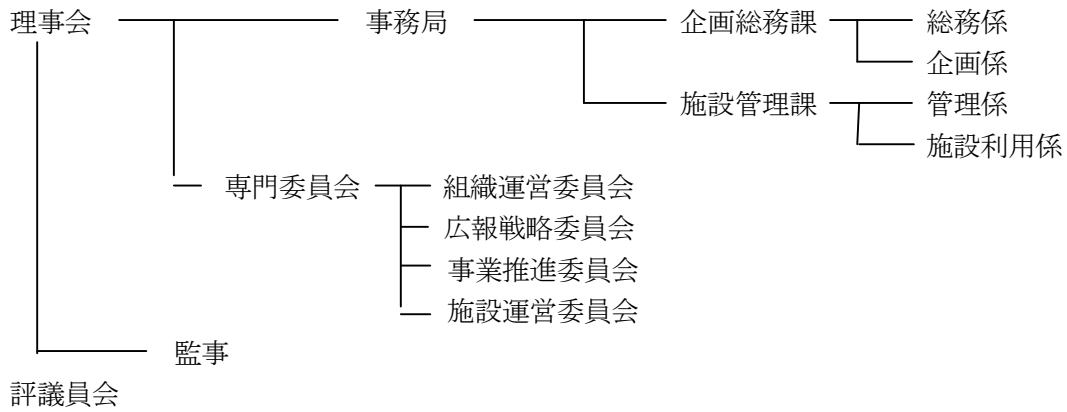
#### (5) 監事

安村史朗，内藤誠

### 11 常勤職員数

38人（うち本市派遣職員1人）

12 組織機構（平成 25 年 7 月 8 日現在）



第 2 経営状況

1 平成 24 年度決算

(1) 事業報告

ア スポーツ振興事業

(ア) 競技力の向上事業

- a 競技力向上事業
- b 指導者養成事業
- c 第 11 回京都市民総合体育大会
- d 京都府民総合体育大会
  - (a) オープニングフェスティバル
  - (b) 競技スポーツ部門
  - (c) 交流スポーツ部門
- e 都市間交流スポーツ大会

(イ) 生涯スポーツの普及・振興及び支援事業

- a スポーツ普及事業
  - (a) スポーツ講座及び教室
  - (b) スポーツツアー
  - (c) スポーツ写真コンクール
  - (d) 京都ツーデーウォーク
- b スポーツ活動支援事業
- c スポーツ表彰制度
- d 第 25 回全国健康福祉祭宮城・仙台大会
  - (a) スポーツ交流大会
  - (b) ふれあいスポーツ交流大会
- (ウ) スポーツ情報提供及び調査研究事業
  - a スポーツ情報提供
    - (a) スポーツ情報誌「ダッシュ！」の発行
    - (b) バナー・横断幕の掲出
    - (c) メールマガジンの発信
  - b スポーツ調査・研究

イ スポーツ活動拠点の運営事業

- (ア) スポーツ施設を活用した事業
  - a 地域のスポーツ活動振興事業
    - (a) 加盟競技団体実施
    - (b) スポーツ教室

- b 地域との連携協働事業
  - (a) みんなのスポーツフェスタ
  - (b) 西京極さくら祭り
  - (c) お正月施設開放事業
  - (d) スポーツチャレンジデー
  - (e) フットサルコート運営
  - (f) 五山送り火鑑賞会
- (イ) スポーツ施設の案内予約システム事業
- (ウ) スポーツ施設の改修等事業
- (エ) スポーツ活動拠点施設の運営事業
- ウ 収益事業
  - (ア) 自動販売機設置事業
  - (イ) 有料駐車場運営事業
  - (ウ) 物品の販売及び貸与事業
  - (エ) 広告事業
- エ その他
  - (ア) 環境への取組
    - a KES（環境マネジメントシステム）ステップ1の推進
    - b ペットボトルキャップ、紙パック、乾電池等のリサイクル活動やテニスボールのリユース活動
    - c エコステーションの設置や落ち葉の堆肥作りなどの地球温暖化対策
    - d ソーラーシステムによる放送設備のラジオ体操広場の設置
    - e 京都市が行う次世代自動車の充電設備などへの積極的な協力
    - f 地域周辺清掃活動
    - g 節電対策によるCO2削減
  - (イ) 職員の資質向上への取組
  - (ウ) 各種会議等の実施
  - (エ) 公益法人制度改革への対応

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成25年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	備考
I 資産の部			
1 流動資産	[191, 451]	[231, 641]	
現金預金	147, 784	171, 104	
未収金	42, 646	60, 402	
前払金	1, 021	59	
立替金	0	76	
2 固定資産	[265, 358]	[265, 391]	
(基本財産)	(61, 500)	(61, 500)	
投資有価証券	31, 500	31, 500	
定期預金	30, 000	30, 000	
(特定資産)	(197, 226)	(191, 316)	
退職給付引当資産	34, 216	28, 306	
施設整備引当資産	163, 010	163, 010	
(その他の固定資産)	(6, 632)	(12, 575)	
建物	2, 737	2, 737	
建物減価償却累計額	△ 1, 625	△ 1, 434	
車両運搬具	9, 771	9, 771	
車両運搬具減価償却累計額	△ 7, 332	△ 5, 604	
什器備品	31, 485	31, 485	
什器備品減価償却累計額	△ 28, 670	△ 26, 287	
リース資産	5, 954	8, 815	
リース資産減価償却累計額	△ 5, 719	△ 6, 939	
リサイクル預託金	31	31	
資産合計	456, 809	497, 032	
II 負債の部			
1 流動負債	[66, 107]	[139, 998]	
未払金	57, 256	125, 327	
未払消費税	1, 635	1, 148	
リース債務	247	1, 969	
前受金	4, 605	8, 763	
預り金	2, 359	2, 721	
仮受金	6	70	
2 固定負債	[34, 216]	[29, 987]	
退職給付引当金	34, 216	29, 987	
負債合計	100, 323	169, 985	
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	[31, 500]	[31, 500]	
寄付金	31, 500	31, 500	
(うち基本財産への充当額)	(31, 500)	(31, 500)	
(うち特定財産への充当額)	( 0)	( 0)	
2 一般正味財産	[324, 987]	[295, 547]	
(うち基本財産への充当額)	(30, 000)	(30, 000)	
(うち特定財産への充当額)	(163, 010)	(163, 010)	
正味財産合計	356, 487	327, 047	
負債及び正味財産合計	456, 809	497, 032	

正味財産増減計算書  
平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	合 計	一般会計	特別会計	内部取引
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	177	177	0	
② 特定資産運用益	405	405	0	
③ 受取会費	1,140	1,140	0	
④ 事業収益	480,427	27,966	452,461	
⑤ 施設改修等負担金交付金収益	45,604	0	45,604	
⑥ 受取補助金等	34,222	27,822	6,400	
⑦ 雑収益	10,081	981	9,100	
⑧ 他会計からの繰入額	0	123,082	0	△ 123,082
経常収益計	572,056	181,573	513,565	△ 123,082
(2) 経常費用				
① 受託事業費	30,867	29,964	903	
② 指定管理事業費	348,215	0	348,215	
③ 自主事業費	25,853	25,853	0	
④ 施設整備費	45,604	0	45,604	
⑤ 管理費	85,582	85,582	0	
⑥ 他会計への繰出額	0	0	123,082	△ 123,082
⑦ 引当金繰入額	6,494	6,494	0	
経常費用計	542,616	147,893	517,805	△ 123,082
当期経常増減額	29,440	33,680	△ 4,240	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	29,440	33,680	△ 4,240	
一般正味財産期首残高	295,547	295,547	0	
一般正味財産期末残高	324,987	329,226	△ 4,240	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	31,500	31,500	0	
指定正味財産期末残高	31,500	31,500	0	
III 正味財産期末残高	356,487	360,726	△ 4,240	

2 平成25年度事業計画

(1) 事業計画の概要

  ア スポーツの振興事業

    (ア) 競技力の向上事業

      a 競技力向上事業

      b 指導者養成事業

        (a) 本会主催

        (b) 競技団体実施

- c 京都市民総合体育大会事業
- d 京都府民総合体育大会派遣事業
- e 都市間交流スポーツ大会交流事業
- (イ) 生涯スポーツの普及・振興及び支援事業
  - a スポーツ普及事業
    - (a) 京都ツーデーウオーク
    - (b) スポーツ写真コンクール
    - (c) スポーツの普及・啓発活動
  - b スポーツ活動支援事業
    - (a) スポーツ団体運営支援事業
    - (b) ビッグゲーム等支援事業
    - (c) 後援や共催などの名義使用等
  - c 全国健康福祉祭選手選考事業
- (ウ) スポーツ情報提供及び調査研究事業
  - a スポーツ情報提供事業
  - b 調査研究事業
- イ スポーツ活動拠点の運営事業
  - (ア) 地域のスポーツ活動振興事業
    - a スポーツ教室
    - b みんなのスポーツフェスタ
    - c スポーツチャレンジデー
    - d プロを含むトップレベルのスポーツとの取組
    - e 地域との連携協働事業
      - (a) 西京極さくら祭り
      - (b) 五山送り火鑑賞会
      - (c) お正月施設開放事業
  - (イ) スポーツ施設の運営事業
    - a 施設の貸与
      - (a) 貸与施設の管理運営
      - (b) 京都府・市町村共同公共施設案内予約システムの運営
    - b スポーツ施設の改修等事業
- ウ 収益事業
  - (ア) スポーツ施設収益事業
    - a 共同事業体が主催するスポーツ教室
    - b スポーツツアー
    - c 自動販売機設置事業
    - d 有料駐車場運営事業
    - e 物品の販売及び貸与事業
    - f 広告事業（わかさスタジアム京都，陸上競技場兼球技場など）
- エ その他の事業
  - (ア) スポーツ表彰事業
  - (イ) 環境への取組
    - a KES（環境マネジメントシステム）ステップ1の推進
    - b エコステーションや落ち葉の堆肥作りなどの地球温暖化対策
    - c ラジオ体操広場に設置のソーラーシステムによる放送設備の活用
    - d 京都市が行う次世代自動車の充電設備などへの積極的な協力
  - (ウ) 職員の資質向上への取組



- (エ) 各種会議等の実施
- (オ) 中長期経営計画の策定

(2) 予算

収 支 予 算 書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	備考
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	350	240	
② 特定資産運用益	405	830	
③ 受取会費	1,140	1,140	
④ 事業収益	438,660	471,315	
⑤ 施設改修等負担金交付金収入	0	50,000	
⑥ 受取補助金等	25,704	37,776	
⑦ 受取負担金	100	100	
⑧ 雑収益	9,860	4,921	
経常収益計	476,219	566,322	
(2) 経常費用			
① 事業費	448,727	507,917	
② 施設改修等負担費	0	50,000	
③ 管理費	27,492	48,561	
経常費用計	476,219	606,478	
当期経常増減額	0	△ 40,156	
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	△ 40,156	
一般正味財産期首残高	295,547	335,703	
一般正味財産期末残高	295,547	295,547	
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	
指定正味財産期首残高	31,500	31,500	
指定正味財産期末残高	31,500	31,500	
III 正味財産期末残高	327,047	327,047	

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	902,903	619,397	572,056	476,219
	当期経常増減額	32,676	35,386	29,440	0
	当期正味財産増減額	32,676	210,007	29,440	0
貸借対照表	総資産	538,025	497,032	456,809	/
	総負債	420,985	169,985	100,323	
	正味財産	117,040	327,047	356,487	
	基本財産	31,500	61,500	61,500	
	累積損益額	85,540	265,547	294,987	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	施設管理 (指定管理)	504,363	293,753 (※)	191,768 (※)	144,615 (※)
	競技スポーツ強化振興事業	6,200	6,200	5,830	
	京都府・市町村共同公共施設案内予約システム運用業務	20,235	21,235	21,235	
	全国健康福祉祭参加者派遣等事業	935	993	817	
	京都市横大路運動公園及び京都市桂川緑地久我橋東詰公園管理業務	34,920			
	電気自動車用充電設備管理業務	600	750	900	
補助金	運営補助	26,474	26,474	24,824	12,752
	府民総体選手派遣	482	482	482	482
その他	施設改修等負担金交付金	75,701	29,245	45,604	

(※) 一部利用料金制

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成24年度は、指定管理グループ間での業務内容及び指定管理料の配分を見直したことから、指定管理料収入が平成23年度に比べて大幅に減少したものの、自主財源の確保や徹底した事務事業の見直しによる経費削減に努めた結果、引き続き単年度損益で黒字を確保している。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成24年度は、これまでの取組に加えて、新たにウォーキング講座やランニング講座を開催するなど、市民が気軽にスポーツを学び、参加できる場を積極的に展開している。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>前年度に引き続き、有人の指定管理施設において、公園内及び周辺区域での定期的な清掃活動に取り組むほか、ペットボトルキャップや紙パックのリサイクル、テニスボールのリユースにも新たに取り組むなど、環境面での取組にも力を入れている。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>経常収益は減少したが、経常費用の削減により、当期正味財産増減額は黒字を確保している。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>施設の利用率は上昇傾向にあり、このすう勢を維持していくことが望まれる。</li></ul>

# 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 長尾真

### 2 所在地

京都市左京区下鴨半木町1番地の26

### 3 電話番号

075-711-2244

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-ongeibun.jp/>

### 5 設立年月日

平成5年3月31日

### 6 基本財産

103,000千円（うち本市出えん額 55,000千円，出えん率 53.4%）

### 7 事業目的

京都市世界文化自由都市宣言の理念に基づき、音楽、演劇、舞踊その他の芸術及び芸能を振興し、国内外へ発信することにより、京都が優れた文化を創造し世界文化交流の中心であり続けることに寄与するとともに、市民が生きがいのある文化的な生活を送ることができる社会づくりに貢献すること。

### 8 業務内容

- (1) 芸術及び芸能の振興並びに伝統芸能の継承及び発展に資する事業
- (2) 京都の文化芸術の国内外への発信と交流の促進に資する事業
- (3) 京都市交響楽団による芸術の振興及び発信に資する事業
- (4) 文化芸術を通して地域社会の活性化や健全な発展に寄与する事業
- (5) 文化芸術の振興拠点として、創造的な活動が不断に行われるための施設の管理運営
- (6) その他法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課(TEL075-366-0033)

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

長尾真

#### (2) 専務理事

尾本恵一（文化市民局文化芸術都市推進室担当部長）

#### (3) 理事

青山恒，尾池和夫，鴛渕紹子，榊田隆之，田隅靖子，谷口享，鍋谷剛，森川佳昭（文化市民局文化芸術都市推進室長），山本毅（市立芸術大学音楽学部長）

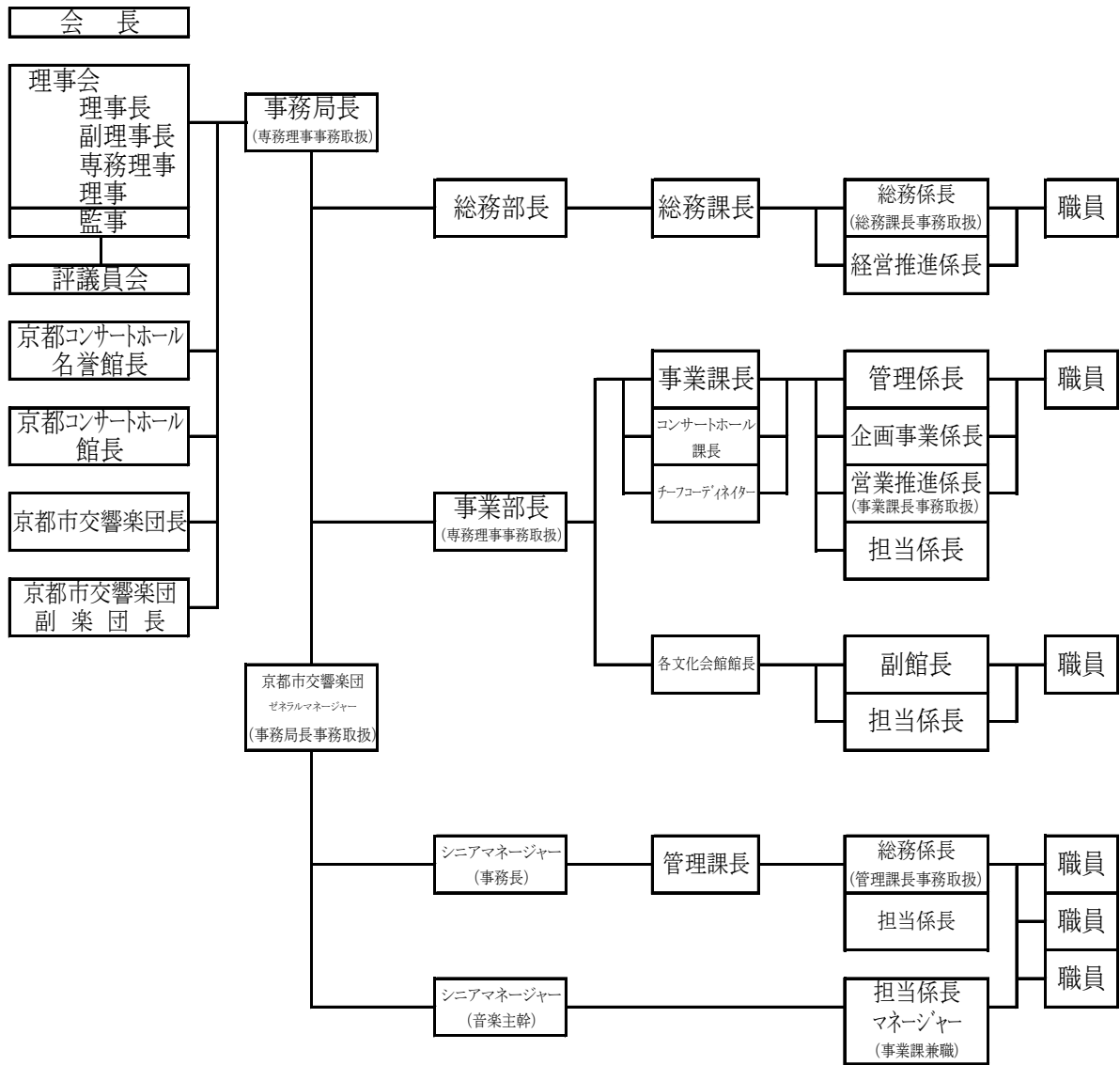
#### (4) 監事

中路健一，宮田英喜（文化市民局共同参画社会推進部長）

### 11 常勤職員数

161人（うち本市派遣職員 95人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成24年度決算

(1) 公益目的事業

ア 京都コンサートホール

(ア) 自主・共催事業 (39事業 56公演 4講座)

a 「京都の秋 音楽祭」の開催

(a) 多くの市民を招待

(b) 著名なオーケストラや演奏家による質の高い音楽鑑賞機会の提供

(c) 「“音楽の檜舞台” 京都コンサートホール」をアピール

b 芸術水準高い演奏会の開催

c 財団のコーディネート力を活かした幅広い音楽ジャンルを提供

(a) 「京都ミュージック・プロムナード～東日本大震災支援チャリティーコンサート」と北山地域活性化事業との連携

(b) 多彩な音楽芸術の響き

(c) 市民の文化芸術へのアクセスの拡充

d 日本屈指のパイプオルガンの魅力を伝える

e 未来の音楽芸術を担う若手音楽家や青少年の育成・支援

- (a) 小学生への音楽鑑賞機会の提供
- (b) “未来の演奏家”の育成
- (c) 音楽芸術の人材育成のための支援制度
- f 京都市交響楽団のフランチャイズホールとしての連携
- (イ) 受託事業
  - a 指定管理者業務
    - (a) 施設利用（貸館）の受付状況（利用率目標達成度，入場者数，利用料金収入）
    - (b) 施設・設備の維持管理
- イ 地域文化会館（東部文化会館，呉竹文化センター，西文化会館ウエスティ，北文化会館，右京ふれあい文化会館）
  - (ア) 自主事業（58 事業 94 公演 5 講座）
    - a 地域の文化芸術活動活性化への取組
      - (a) 地域文化芸術活動活性化協議会の開催と協議会提案事業
      - (b) 文化会館コーディネーターによる文化芸術活動パワーアップ支援事業の実施
      - (c) 文化芸術活性化パートナーシップ事業の実施
    - b 教育機関との連携及び教育活動への支援
    - c 地域の芸術・芸能の振興
    - d 市民参加をプロデュース
    - e 世界の民族音楽に触れる機会を提供
    - f 質の高い映画文化の振興
    - g 親子で参加できるコンサート
    - h 市民が京都市交響楽団とふれあう機会を提供
  - (イ) 受託事業
    - a 指定管理者業務
      - (a) 施設利用（貸館）の受付状況（利用率目標達成度，入場者数，利用料金収入）
      - (b) 舞台運営に関する企画等
      - (c) 施設・設備の維持管理
- ウ 京都会館（平成 28 年 1 月開館予定）
  - (ア) 京都会館運営検討業務
    - a 運営計画の策定補助に関すること
    - b 舞台機構設計提案に関すること
    - c 備品購入計画の策定に関すること
    - d オープニング事業企画案作成に関すること
- エ 京都市交響楽団
  - (ア) 自主事業（23 事業 29 公演）
    - a 定期演奏会
    - b 特別演奏会（スプリングコンサート，第九，ニューイヤーコンサート）
    - c 市外公演（新潟・大阪・名古屋・富山）
    - d オーケストラ・ディスカバリー ーこどものためのオーケストラ入門ー
    - e みんなのコンサート
    - f 京響友の会招待コンサートの開催
    - g その他（楽器講習会・訪問演奏等，京都市交響楽団練習風景公開事業，京都市ジュニアオーケストラ，若手音楽家との連携）
  - (イ) 共催事業
  - (ウ) 受託事業
- オ 施設の管理運営のための取組
  - (ア) 広報・営業活動

- a 広報活動
  - (a) 広報・広告媒体の活用（市関連広報媒体，交通媒体，地域情報誌等地元媒体，新聞，音楽専門誌）
  - (b) 自主媒体による広報（会報誌「コンサートガイド」の発行（コンサートホール），「催し物案内」の発行（京都会館），メルマガによる公演情報の発信，ホームページの充実）
- (イ) 集客のための取組
  - a 京都コンサートホール
    - (a) 会員制度（「京都コンサートホールClub」会員制度の企画・運営，「スペシャルメンバーズ」制度の企画・運営）
    - (b) 割引制度（「シニア制度」の運営，「スチューデント制度」の運営，「障がいのある方割引制度」の運営）
    - (c) ウィークデーパッケージプランの運用
  - b 京都市交響楽団
    - (a) 会員制度
    - (b) 割引制度
  - c インターネットによる京都コンサートホール・京都市交響楽団自主事業チケット販売
  - d 地域文化会館
    - (a) 地域文化会館割引制度（平日直前利用割引制度，平日連続区分利用割引制度）
    - (b) 地域文化会館受付時間の延長
    - (c) 地域文化会館利用料金の振込による收受
  - (ウ) 各種助成制度の活用及び企業協賛
  - (エ) サービス向上の取組
    - a お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進
    - b アンケート調査の実施及びお客様御意見箱の設置
    - c ホームページの充実
  - (オ) 環境改善活動の取組
  - (カ) 危機管理・安全対策の取組
  - (キ) 情報の収集
    - a 公立文化施設協議会
    - b 企画運営委員会（全8回）
    - c コン서트ホール企画連絡会議等への参加
    - d 舞台芸術専門委員会
- カ 組織運営のための取組
  - (ア) 人材育成・職員研修
  - (イ) 新人事給与制度の実施
  - (ウ) 中期経営計画における重点課題の推進
  - (エ) 組織・職員
    - a 組織改正
    - b 組織運営
    - c 人事異動
  - (オ) 庶務報告
    - a 役員会の開催
    - b 役員の異動
    - c 登記事項

## (2) 収益事業

## ア 公益目的外の施設提供事業

- (ア) 駐車場経営
- (イ) 京都コンサートホールグッズ販売等
- (ウ) プレイガイドの運営
- (エ) 自動販売機の管理運営

## (3) 財務諸表

貸借対照表  
平成25年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[288,750]	流動負債	[252,094]
現金預金	191,318	未払金	105,414
未収金	90,403	未払法人税等	320
貯蔵品	5,340	前受金	105,479
立替金	1,474	預り金	40,881
仮払金	214	固定負債	[204,637]
固定資産	[930,822]	退職給付引当金	204,637
(基本財産)	(103,000)	負債合計	456,731
投資有価証券	83,000	正味財産の部	
定期預金	20,000	指定正味財産	[55,000]
(特定資産)	(816,716)	(うち基本財産への充当額)	(55,000)
記念事業引当資産	158,186	(うち特定財産への充当額)	(0)
管理運営引当資産	369,306	一般正味財産	[707,841]
退職給付引当資産	204,637	(うち基本財産への充当額)	(48,000)
特定費用準備資金	76,588	(うち特定財産への充当額)	(0)
特定資産取得・改良資金	8,000		
(その他の固定資産)	(11,105)	正味財産合計	762,841
什器備品	10,791		
電話加入権	314	負債及び正味財産合計	1,219,572
資産合計	1,219,572		



正味財産増減計算書  
平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,242	1,242	0
特定資産運用益	2,341	3,625	△ 1,284
事業収益	1,278,081	1,490,970	△ 212,888
受取補助金等	644,407	623,662	20,745
雑収益	5,541	4,107	1,434
経常収益計	1,931,613	2,123,606	△ 191,994
(2) 経常費用			
事業費	1,817,790	2,076,810	△ 259,021
管理費	25,802	26,146	△ 345
経常費用計	1,843,591	2,102,956	△ 259,365
当期経常増減額	88,021	20,650	67,372
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
引当金戻入益	0	94,146	△ 94,146
経常外収益計	0	94,146	△ 94,146
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	94,146	△ 94,146
税引前当期一般正味財産増減額	88,021	114,796	△ 26,774
法人税，住民税，及び事業税	320	21,889	△ 21,569
当期一般正味財産増減額	87,701	92,907	△ 5,205
一般正味財産期首残高	620,140	527,233	92,907
一般正味財産期末残高	707,841	620,140	87,701
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	55,000	0
指定正味財産期末残高	55,000	55,000	0
III 正味財産期末残高	762,841	675,140	87,701

## 2 平成 25 年度事業計画

### (1) 公益目的事業

#### ア 京都コンサートホール

##### (ア) 自主・共催事業 (34 事業 50 公演 4 講座)

- a 「第 17 回京都の秋 音楽祭」の開催
  - (a) 多くの京都市民を招待
  - (b) 芸術水準の高い演奏会を中心とする鑑賞型事業
  - (c) 「“音楽の檜舞台” 京都コンサートホール」を発信
- b 質の高い演奏会の開催
  - (a) 財団プロデュースでお届けする名曲シリーズ
  - (b) ピアノ・リサイタルの充実
- c 財団のコーディネイト力を活かした幅広い音楽ジャンルを提供
  - (a) クラシック音楽ファンのすそ野の拡大
  - (b) 北山地域活性化事業と連携した「京都ミュージック・プロムナード」
  - (c) 市民参加による音楽文化の振興
- d 幅広いニーズに応える公演の開催
  - (a) 姉妹都市や芸術都市からの音楽使節
  - (b) 様々なオーケストラの味わい
  - (c) 多彩な舞台芸術の紹介
  - (d) 日本有数のパイプオルガンを活用した事業
  - (e) 未来の音楽芸術を担う若手音楽家や青少年の育成・支援
  - (f) フランチャイズ・オーケストラ《京都市交響楽団》を活用した事業

##### (イ) 受託事業

- a 指定管理業務
  - (a) 施設管理の目標 (利用料金収入額, 入場者数, 日数使用率)

#### イ 地域文化会館 (東部文化会館, 呉竹文化センター, 西文化会館ウエスティ, 北文化会館, 右京ふれあい文化会館)

##### (ア) 自主事業 (46 事業 55 公演 4 講座)

- a 地域文化会館の重点的な取組
  - (a) 地域文化芸術活動活性化協議会の開催
  - (b) コーディネイター制度
  - (c) 文化芸術活動パワーアップ支援事業
  - (d) 文化芸術活性化パートナーシップ事業の実施
  - (e) 文化会館での地域の情報発信拠点としての取組
- b 市民の文化芸術活動への参加の促進
- c 教育機関との連携及び教育活動への支援
- d 伝えたい地域の芸能
- e 青少年の文化創造をサポート
- f 地域社会との交流事業の充実
- g 親子で楽しむコンサート
- h クラシック音楽がある豊かな生活
- i ウエスティ誕生 20 周年事業

##### (イ) 受託事業

- a 指定管理者業務
  - (a) 施設管理の目標 (利用料金収入額, 日数使用率)

#### ウ 京都市交響楽団

##### (ア) 自主・共催事業 (26 事業 39 公演)

- a 定期演奏会
- b 特別演奏会
- c オーケストラ・ディスカバリー ～オーケストラ・ア・ラ・カルト～
- d みんなのコンサート
- e 市外公演
- f 共催事業
- g その他演奏会等
  - (a) 楽器講習会，訪問演奏等
  - (b) 練習風景公開
  - (c) 京響コーラス
  - (d) 京都市ジュニアオーケストラ，若手音楽家との連携
- エ 京都会館（平成 28 年 1 月開館予定）
  - (ア) 平成 25 年度における準備業務
    - a 制作に関する業務
    - b 施設設備及び運営に関する業務
    - c 管理に関する業務
    - d 広報・営業に関する業務
- オ お客様のサービス向上に向けた取組
  - (ア) お客様満足度向上委員会（CS 委員会）の推進
  - (イ) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置
  - (ウ) ホームページの充実
  - (エ) 京都コンサートホール・チケットカウンターの充実
  - (オ) 京都コンサートホール・文化会館の臨時開館
- カ 集客のための取組
  - (ア) 各種会員制度の会員数拡大に向けた取組
  - (イ) スペシャルメンバーズ制度の運営
  - (ウ) 学生，高齢者，障がい者等が音楽を鑑賞しやすい環境の整備
  - (エ) ウィークデーパッケージプランの運用
  - (オ) 地域文化会館割引制度
- キ 新人事給与制度の実施
- ケ 人材育成・職員研修
- コ 環境への配慮
- (2) 収益事業
  - ア 公益目的外の施設提供事業
    - (ア) 駐車場経営
    - (イ) 京都コンサートホールグッズ販売
    - (ウ) プレイガイドの運営
    - (エ) 自動販売機の管理運営

## (3) 予算

収支予算書  
平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,300	1,300	0
特定資産運用益	1,560	2,500	△ 940
事業収益	1,309,326	1,259,226	50,100
受取補助金等	625,031	646,115	△ 21,084
受取寄付金	21	0	21
雑収益	3,419	2,980	439
経常収益計	1,940,657	1,912,121	28,536
(2) 経常費用			
事業費	1,919,891	1,955,264	△ 35,373
管理費	23,848	21,867	1,981
経常費用計	1,943,739	1,977,131	△ 33,392
当期経常増減額	△ 3,082	△ 65,010	61,928
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,082	△ 65,010	61,928
一般正味財産期首残高	555,130	620,140	△ 65,010
一般正味財産期末残高	552,048	555,130	△ 3,082
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	55,000	0
指定正味財産期末残高	55,000	55,000	0
III 正味財産期末残高	607,048	610,130	△ 3,082

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	2,159,232	2,225,709	1,931,613	1,940,657
	当期経常増減額	△27,064	△1,239	88,021	△3,082
	当期正味財産増減額	419,086	92,907	87,701	△3,082
貸借対照表	総資産	1,255,423	1,242,610	1,219,572	
	総負債	673,190	567,470	456,731	
	正味財産	582,233	675,140	762,841	
	基本財産	103,000	103,000	103,000	
	累積損益額	479,233	572,140	659,841	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	京都コンサートホール管理運営 (指定管理)	801,300	187,600 (※)	185,435 (※)	185,435 (※)
	京都会館管理運営 (指定管理)		236,800		30,000
	文化会館管理運営 (指定管理)		272,927 (※)	272,927 (※)	259,877 (※)
	自主, 共催事業	20,691	6,479	6,479	
	事業委託	33,285	21,355	36,299	
補助金	事業補助	618,848	623,662	644,407	625,031
	ジュニアオーケストラ事業負担	1,500			

(※) 一部利用料金制

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業収入は減少しているものの、業務の効率化、人件費等の内部経費の削減により黒字を保っている。</li><li>・ 利用料金収入が増加しており、増収の取組の成果が現れている。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自主・共催事業においては、事業収入は目標を達成できなかったものの、入場者数は大きく増加している。</li><li>・ 事業収入は、景気動向等の影響を受けやすいと考えられるが、引き続き、営業努力を続けてもらいたい。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 平成23年度は赤字であった当期経常増減額が黒字に転じたが、引き続き事業収益の増加と経費削減を進める必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自主、共催事業の入場者数は大きく増加しており、そのすう勢を維持していくことが望まれる。</li></ul>

# 公益財団法人京都市芸術文化協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 建島哲

### 2 所在地

京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町 546-2 京都芸術センター内

### 3 電話番号

075-213-1003

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kac.or.jp/> (京都芸術センター)

### 5 設立年月日

昭和56年9月30日

### 6 基本財産

50,000千円 (うち本市出えん額 15,000千円, 出えん率 30.0%)

### 7 事業目的

芸術文化に関する調査研究を行い, 芸術文化の分野における創造的活動を助成し, 市民文化の普及・向上を図るための各種文化事業を実施し, もって京都市における芸術文化の発展に寄与することを目的とし, 併せて国際文化交流の促進に努めるものとする。

### 8 業務内容

- (1) 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供
- (2) 各種芸術文化事業の実施及び奨励
- (3) 芸術文化に関する教育及び普及
- (4) 芸術家の育成及び顕彰
- (5) 芸術文化活動拠点の運営
- (6) 芸術文化に関する国内外との交流
- (7) その他芸術文化の振興を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課(TEL 075-366-0033)

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

建島哲

#### (2) 副理事長

大津光章

#### (3) 専務理事

吉田真稚恵

#### (4) 業務執行理事

富永茂樹

#### (5) 理事

大藪清雅, 小川帛山, 尾本恵一 (文化市民局文化芸術都市推進室担当部長), 茂山あきら, 世古口瑳喜, 廣青隴, 松尾恵, 村居正之, 森川佳昭 (文化市民局文化芸術都市推進室長), 湯浅圭一

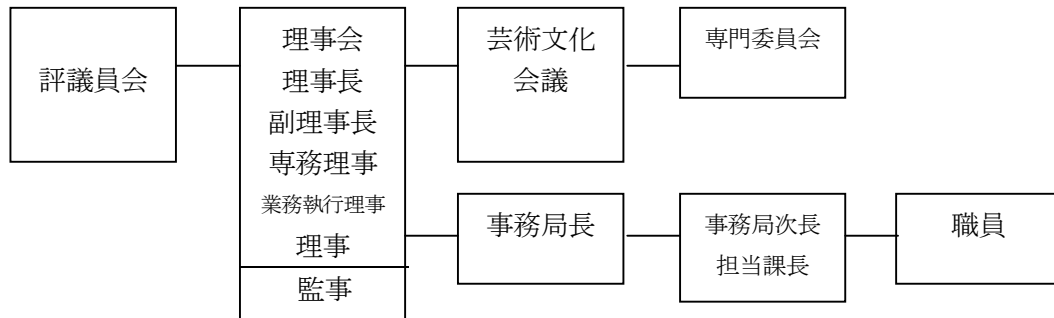
#### (6) 監事

中路健一, 木村武志 (文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課計画推進担当課長)

### 11 常勤職員数

16人 (うち本市派遣職員2人)

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 自主事業

- (ア) 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供  
機関誌「藝文京」(1,100部×年4回)及び催物案内(5,000部×年4回)の発行
- (イ) 各種芸術文化事業の実施  
市民邦楽会, 秋の合同バレエ祭, 京都ビッグ・バンド・フェスティバル, 京都民謡ま  
つりの開催
- (ウ) 各種芸術文化事業の奨励(共催, 後援, 助成)  
会員が実施する事業を対象に, 58事業に対して後援・共催等の支援を実施
- (エ) 芸術文化に関する教育及び普及  
夏休み文芸体験教室, 夏休み邦楽体験教室, 夏休み能楽体験教室, 冬休み子ども邦舞  
体験教室の開催
- (オ) 芸術家等の育成及び顕彰
  - a 美術・工芸作品展「CRIA展」の開催
  - b 京都市芸術文化協会賞

##### イ 受託事業

- (ア) 市民狂言会
- (イ) ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業  
保育所, 幼稚園, 小学校, 中学校等を対象に芸術文化の体験授業等を実施
- (ウ) 助成関係事業
  - a 助成金等内定者資金融資制度
  - b 芸術文化特別奨励制度
  - c 文化芸術顕彰制度(文化功労者, 芸術新人賞, 芸術振興賞)
- (エ) 文化芸術情報発信強化事業(Kyoto Art Box)
- (オ) その他受託事業

##### ウ 芸術文化活動拠点施設運営事業(京都芸術センター管理運営事業)

- (ア) 伝統的芸術の継承・創造事業
  - a 明倫茶会
  - b 解説を交えた伝統芸能公演会「継ぐこと・伝えること」
  - c 五感で感じる和の文化事業(京都創生座公演, 伝統芸能ことはじめ他)
- (イ) 芸術家・芸術関係者育成事業
  - a わざゼミ(美術作家等を対象とした伝統工芸の知識や手法を習得するためのセミナーの開催ほか)



- b トラディショナル・シアター・トレーニング（主に外国人を対象とした伝統芸能のワークショップ）
- c KAC Performing Arts Program2012（コンテンポラリーダンス公演，ワークショップ）
- d 京都国際舞台芸術祭2012（KYOTO EXPERIMENT 2012）
- e 音楽と市民の広場（若手音楽家への発表機会の提供，ワークショップほか）
- f 展覧会ドラフト2013
- g 展覧会「インキュベーション」
- (ウ) 制作・発表支援事業
  - a 制作支援事業（制作室使用者募集）
  - b 発表支援事業（共催事業募集）
- (エ) 先駆的・実験的事業
  - a 3.11くらしとアート（被災地の文化施設等関係者による講座）
  - b ニュイ・ブランシュ2012  
（展覧会開催及び延長開廊，ワークショップ集中開催等）
- (オ) 芸術文化情報の収集・発信事業
  - a 図書室の運営（図書等：約5,400冊，ビデオ等：約400本）
  - b 情報コーナーの運営（イベント情報等のポスター，チラシ等を年間約700種掲出）
  - c 通信紙「明倫art」の発行（毎月8,000部）
  - d 京都芸術センターホームページ
  - e ネットワーク構築（National Performing Arts Network への参加等）
- (カ) 教育普及事業
- (キ) 国際交流事業  
アーティスト・イン・レジデンス
- (ク) 市民及び芸術家相互の交流事業
  - a 展覧会「夏休み企画」
  - b 展覧会てんとうむしプロジェクト
  - c その他展覧会
  - d 明倫レコード倶楽部（SPレコードを使用するレコード音楽鑑賞会）
  - e 京都市交響楽団アンサンブルコンサート
  - f 素謡の会「平家を謡ふ」
  - g 市民寄席
  - h 明倫ワークショップ（制作室使用者が市民を対象に開催するワークショップ）
- (ケ) 地域・学術・産業との連携事業
  - a 祇園祭・鋳職人の技展
  - b その他地元関連事業（コンサート他）
  - c ダンス事業「Dance 4 all」
  - d 「むすんで、ひらいて」（芸術家と芸術以外の分野の専門家と鑑賞者のレクチャー，ワークショップ）
  - e ボランティアスタッフ
  - f 学術との連携

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成25年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	[65,684]	流動負債	[51,051]
現金預金	27,360	短期借入金	18,030
未収会費	115	未払金	29,246
未収金	19,217	前受金	714
前払金	962	前受会費	50
貸付金	18,030	預り金	3,011
固定資産	[94,620]	固定負債	[14,157]
(基本財産)	(50,000)	退職給付引当金	14,157
定期預金	20,382		
公社債	29,618		
(特定資産)	(44,457)	負債合計	65,208
管理運営費積立資産	27,000	正味財産の部	
情報発信強化事業費積立資産	3,300	指定正味財産	[48,803]
退職給付引当資産	14,157	(うち基本財産への充当額)	(48,803)
(その他の固定資産)	(163)	(うち特定財産への充当額)	(0)
什器備品	163	一般正味財産	[46,293]
		(うち基本財産への充当額)	(1,197)
		(うち特定財産への充当額)	(30,300)
		正味財産合計	95,096
資産合計	160,304	負債及び正味財産合計	160,304

正味財産増減計算書  
平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	備考
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	430	524	
② 特定資産運用益	40	42	
③ 受取入金収益	100	80	
④ 受取会費収益	3,315	3,460	
⑤ 事業収益	182,577	253,230	
⑥ 受取補助金等	21,675	22,175	
⑦ 受取負担金等	17,000	0	
⑧ 雑収益	409	458	
経常収益計	225,546	279,968	
(2) 経常費用			
① 事業費	212,049	258,949	
② 管理費	16,835	17,222	
経常費用計	228,884	276,171	
当期経常増減額	△3,338	3,797	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	0	0	
当期一般正味財産増減額	△3,338	3,797	
一般正味財産期首残高	49,631	45,834	
一般正味財産期末残高	46,293	49,631	
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	
指定正味財産期首残高	48,803	48,803	
指定正味財産期末残高	48,803	48,803	
III 正味財産期末残高	95,096	98,434	

2 平成25年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 自主事業

(ア) 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供

機関誌「藝文京」(1,100部×年4回)及び催物案内(5,000部×年4回)の発行

(イ) 各種芸術文化事業の実施

市民邦楽会、秋の合同バレエ祭、京都ビッグ・バンド・フェスティバル、京都民謡まつりの開催(※市民邦舞会については、平成24～26年度は休止)

(ウ) 各種芸術文化事業の奨励(共催、後援、助成)

会員が実施する事業を対象に後援、共催等の支援を実施

(エ) 芸術文化に関する教育及び普及

夏休み文芸体験教室、夏休み邦楽体験教室、夏休み能楽体験教室、冬休み子ども邦舞体験教室の開催

(オ) 芸術家等の育成及び顕彰

a 華道展「京都いけばなプレゼンテーション」、美術・工芸作品展「CRIA展」の開催

b 京都市芸術文化協会賞・新人賞

## イ 受託事業

- (ア) 市民狂言会
- (イ) ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業  
保育所、幼稚園、小学校、中学校等を対象に芸術文化の体験授業等を実施
- (ウ) 助成関係事業
  - a 助成金等内定者資金融資制度
  - b 芸術文化特別奨励制度
  - c 文化芸術顕彰制度（文化功労者、芸術新人賞、芸術振興賞）
- (エ) 京都文化芸術オフィシャルサイト Kyoto Art Box
- (オ) 京都文化芸術コア・ネットワークの運営
- ウ 芸術文化活動拠点施設運営事業（京都芸術センター管理運営事業）
  - (ア) 伝統的芸術の継承・創造事業
    - a 明倫茶会
    - b 五感で感じる和の文化事業
  - (イ) 芸術家・芸術関係者育成事業
    - a わざゼミ（展覧会、染織講座などの開催）
    - b トラディショナル・シアター・トレーニング  
（主に外国人を対象とした伝統芸能のワークショップ）
    - c KAC パフォーミング・アーツ・プログラム（ダンス・音楽・伝統芸能の公演等）
    - d 京都国際舞台芸術祭 2013（KYOTO EXPERIMENT 2013）
    - e 作家ドラフト 2014
    - f 展覧会「インキュベーション」
  - (ウ) 先駆的・実験的事業
    - a ニュイ・ブランシュ 2013（白夜祭）
    - b フェルトシュケルテ・インターナショナル（ドイツ・フランス・日本の学生の交流プロジェクト）
  - (エ) 制作・発表支援事業
    - a 制作支援事業（制作室使用者募集）
    - b 発表支援事業（共催事業募集）
  - (オ) 芸術文化情報の収集・発信事業
    - a 図書室の運営
    - b 情報コーナーの運営
    - c 通信紙「京都芸術センター通信」の発行（毎月 8,000 部）
    - d 京都芸術センターホームページ
  - (カ) 教育普及事業
  - (キ) 国際交流事業
    - a アーティスト・イン・レジデンス
  - (ク) 市民及び芸術家相互の交流事業
    - a 春まつり（「re:framing 展」の開催、制作室使用者・地域との連携プログラム）
    - b 展覧会「夏休み企画」
    - c 明倫レコード倶楽部（SP レコードを使用するレコード音楽鑑賞会）
    - d 京都市交響楽団アンサンブルコンサート
    - e 素謡の会「ようこそ、観阿弥さん」
    - f 市民寄席
    - g 明倫ワークショップ（制作室使用者が市民を対象に開催するワークショップ）
  - (ケ) 地域・学術・産業との連携事業
    - a 祇園祭・鋳職人の技展

- b その他地元関連事業（コンサート他）
- c ダンス事業（Dance 4 ALL）
- d ボランティア・スタッフ
- e 学術との連携
- f 展覧会（その他）

(2) 予算

収 支 予 算 書  
平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	510	510	0
特定資産運用益	50	100	△ 50
受取入会金	250	250	0
受取会費	3,425	3,480	△ 55
事業収益	190,179	179,743	10,436
受取補助金等	21,675	21,675	0
受取負担金等	10,000	17,000	△ 7,000
受取寄付金等	100	50	50
雑収益	100	200	△ 100
経常収益計	226,289	223,008	3,281
(2) 経常費用			
事業費	210,310	225,210	△ 14,900
管理費	16,522	17,231	△ 708
経常費用計	226,833	242,441	△ 15,608
当期経常増減額	△ 544	△ 19,433	18,889
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 544	△ 19,433	18,889
一般正味財産期首残高	46,293	65,726	△ 19,433
一般正味財産期末残高	45,750	46,293	△ 544
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	48,803	48,803	0
指定正味財産期末残高	48,803	48,803	0
III 正味財産期末残高	94,553	95,096	△ 544

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	220,386	279,968	225,546	226,289
	当期経常増減額	△7,179	3,797	△3,338	△544
	当期正味財産増減額	△7,121	3,797	△3,338	△544
貸借対照表	総資産	151,560	172,123	160,304	
	総負債	56,923	73,689	65,208	
	正味財産	94,637	98,434	95,096	
	基本財産	50,000	50,000	50,000	
	累積損益額	44,637	48,434	45,096	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	京都芸術センター運営 (指定管理)	127,411	128,920	128,920	128,920
	市民狂言会	3,586	3,586	3,586	
	京都市芸術文化特別奨励制度	1,043	1,043	1,043	
	文化芸術顕彰制度	1,137	1,137	1,137	
	助成金等内定者資金融資制度	379	379	379	
	ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業	4,238	4,238	4,238	
	情報発信強化事業			2,000	
	五感で感じる和の文化事業	20,000	20,000		
	京都文化祭典	2,950			
補助金	文化事業補助	3,157	3,170	3,434	3,465
	運営補助	14,595	22,175	21,359	21,359
	地域創造助成金		357	1,471	2,000
貸付金	助成金等内定者融資制度に係る 貸付金 (累計残高) ※ ( ) 内は当該年度の貸付額	19,681 (30,000)	20,950 (30,000)	18,030 (30,000)	(40,000)
その他	五感で感じる和の文化事業に係る負担金			17,000	10,000

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成23年度は、創立30周年記念事業の実施や、国民文化祭・京都2011及び文化庁メディア芸術祭京都展など例年になく規模の大きな受託事業があったため黒字を計上したが、平成24年度は赤字に転じている。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>自主事業入場者数や芸術センター利用者数は、平成23年度と比較すると減少傾向にある。その主な要因としては、国民文化祭・京都2011などの規模の大きな事業が平成24年度にはなかったことが原因だと考えられるが、概ね例年並みの数値ではあるため、問題はないと考えられる。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>経常収益の減少に伴い、当期正味財産増減額が赤字となっている。経費削減に努める必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>芸術センター制作室日数稼働率は上昇したものの、会員数及び芸術センター総利用者数が減少していることから、市の京都文化芸術都市創生計画に基づき、新たな事業展開を図ることが求められる。</li></ul>

産業観光局



# 公益財団法人京都市森林文化協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 中野三郎

### 2 所在地

京都市左京区花脊八桝町 250 番地

### 3 電話番号

075-746-0439

### 4 ホームページアドレス

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/hanase-k/>

### 5 設立年月日

平成4年11月4日

### 6 基本財産

50,000 千円（うち本市出えん額 50,000 千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

京都市の豊かな森林資源を活かすことによって、自然と調和した森林文化及び山村文化の継承及び発展を図り、心のふるさとを都市住民に提供して地域と都市住民との交流を行うとともに、農林業を生かした地域の振興を図ること。

### 8 業務内容

- (1) 地球温暖化防止や景観形成等、公益的機能の発揮を目的とした森林の保全及び整備に関する事業
- (2) 森林文化及び山村文化の継承及び発展に関する事業
- (3) 地域と都市住民との交流の促進に関する事業
- (4) 森林文化の研究に関する事業
- (5) 地域産品の生産，流通，広報等地域の振興に関する事業
- (6) 「山村都市交流の森」等，京都市の施設の管理運営の委託事業
- (7) 森林の保全及び整備の担い手育成に関する事業
- (8) その他前項の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

産業観光局農林振興室林業振興課（TEL075-222-3346）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

中野三郎

#### (2) 副理事長

下畑寛蔵

#### (3) 専務理事

山本修三（産業観光局農林振興室森林資源・鳥獣対策担当部長）

#### (4) 理事

白谷肇，古原久弥，菊池初江，駒池重尚，田中誠，長谷川綉二，原田貞夫，松谷茂，吉田英治

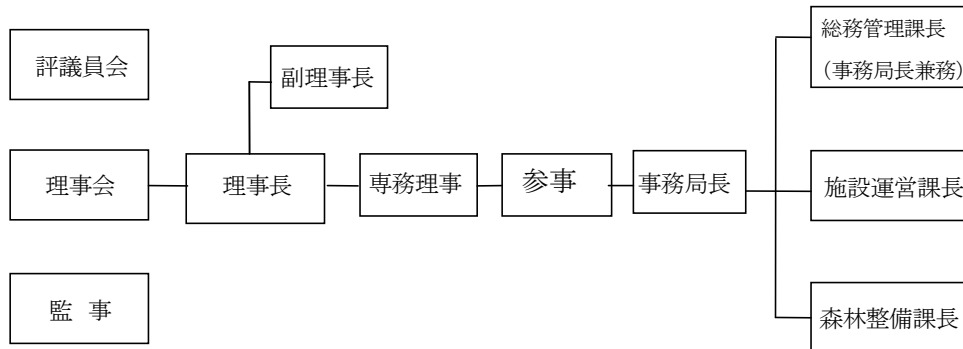
#### (5) 監事

中村政温，納谷義和（産業観光局農林振興室林業振興課長）

### 11 常勤職員数

13 人（うち本市派遣職員 0 人）

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 公益事業

##### (ア) 森づくり事業

- a 公有林等におけるナラ枯れ対策の実施
- b 「京の苗木」生産協議会の運営
- c 京都伝統文化の森推進協議会事務局の運営
- d 森の工房「もくじゅ」の運営
- e 木工教室の開催（年間14回）

##### (イ) 交流の森等管理事業

- a 森林区域・センターエリア及び林道・散策道の維持管理
- b 久多市有林の巡視及び八丁湿原の保護・保全
- c 京都市森林文化交流センター（森愛館）の管理運営（京都市指定管理者）
- d トレッキング等の独自イベント開催（年間12回）
- e ふるさと森都市フェスティバルへの参加

##### (ウ) 森林体験支援事業

- a 保育園、幼稚園及び小学校の団体への森林体験活動のサポート
- b 節電対策事業の実施

##### (エ) 交流の森利用拡大に向けての情報発信、広報活動

- a 「山村都市交流の森」ホームページの運営
- b 「交流の森友の会」の運営

##### イ 収益事業

##### (ア) 宿泊休養施設「翠峰荘」経営の運営

- a 炭火料理、囲炉裏テーブルなど、地元素材にこだわった取組
- b 野外（バーベキュー）施設の増設
- c 冬季（12月～3月）の営業形態を予約制にすることによるコスト削減

##### (イ) 誘客対策

各種団体が行う合宿、研修会、イベント等の誘致

##### ウ 協会運営

- (ア) 公益財団法人認定基準に対応した財務や業務体制の整備
- (イ) 公益財団法人認定への申請

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[11,756]	流動負債	[24,294]
現金預金	1,702	未払金	17,766
棚卸資産	141	預り金	853
未収金	5,842	短期借入金	5,000
未収消費税等	4,071	賞与引当金	605
固定資産	[64,533]	会計間勘定取引	0
(基本財産)	(50,000)	未払法人税等	70
定期預金	50,000	固定負債	[11,983]
(特定資産)	(9,869)	退職給付引当金	11,983
退職給付引当資産	9,869	負債合計	36,277
(その他の固定資産)	(4,664)	正味財産の部	
建物	0	指定正味財産	[50,000]
構築物	1,353	指定正味財産	50,000
建物附属設備	3,338	(うち基本財産への充当額)	(50,000)
車両運搬具	0	(うち特定財産への充当額)	(0)
什器備品	321	一般正味財産	[△ 9,988]
減価償却累計額	△ 1,313	(うち基本財産への充当額)	(0)
水道施設利用権	616	(うち特定財産への充当額)	(0)
電話加入権	349	正味財産合計	[40,012]
資産合計	76,289	負債及び正味財産合計	76,289

正味財産増減計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	40	65	△25
② 受取会費	18	21	△3
③ 事業収益	111,610	259,894	△148,284
④ 受取補助金等	19,658	19,658	0
⑤ 寄付金収入	910	0	910
⑥ 雑収入	590	31	560
経常収益計	132,827	279,669	△146,842
(2) 経常費用			
① 事業費	125,569	274,806	△149,238
② 管理費	5,246	14,709	△9,462
経常費用計	130,815	289,515	△158,700
当期経常増減額	2,011	△9,846	11,858
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 退職給付引当金戻入益	926	0	926
経常外収益計	926	0	926
(2) 経常外費用			
① 前年度諸税	0	2,775	△2,775
② 退職給付費用	0	2,260	△2,260
経常外費用計	0	5,035	△5,035
当期経常外増減額	926	△5,035	5,961
税引前当期一般正味財産増減額	2,937	△14,881	17,818
法人税等	70	140	△70
当期一般正味財産増減額	2,867	△15,021	17,888
一般正味財産期首残高	△12,855	2,165	△15,021
一般正味財産期末残高	△9,988	△12,855	2,867
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	0
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	0
III 正味財産期末残高	40,012	37,145	2,867

## 2 平成 25 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 公益事業

##### (ア) 森づくり事業

- a 公有林等におけるナラ枯れ被害対策や森林整備の受託
- b 「京の苗木」生産協議会の運営
- c 京都伝統文化の森推進協議会 事務局の運営
- d 森の工房「もくじゅ」の運営
- e 木工教室の開催（年間 17 回）

##### (イ) 交流の森等管理事業

- a 森林区域・センターエリア及び林道・散策道の維持管理
- b 久多市有林の巡視及び八丁湿原の保護・保全
- c 京都市森林文化交流センター（森愛館）の管理運営（京都市指定管理者）
- d トレッキング等の独自イベント開催（年間 18 回）
- e ふるさと森都市フェスティバルへの参加

##### (ウ) 森林体験支援事業

保育園、幼稚園及び小学校の団体への森林体験活動のサポート

##### (エ) 交流の森利用拡大に向けての情報発信、広報活動

- a 「山村都市交流の森」ホームページの運営
- b 「交流の森友の会」の運営

#### イ 収益事業

##### (ア) 宿泊休養施設「翠峰荘」運営

- a ツリークライミングやトレッキングなど、自然体験型宿泊プラン開発
- b 保育園・幼稚園の合宿利用の増加を目指す。
- c 花背山の家と連携して、市内小学校の長期宿泊受入れを目指す。
- d 冬季（12 月～3 月）の営業形態を予約制にすることによるコスト削減

##### (イ) 地域特産品の製造販売

##### (ウ) 屋外施設(屋外バーベキュー場)への売店設置による利用拡大

#### ウ 協会運営

##### (ア) 公益財団法人認定基準に対応した運営体制の整備と組織強化

##### (イ) 公益財団法人移行手続き

##### (ウ) 職員給与・手当見直しによる財務状況の改善

## (2) 予算

## 収支予算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	備考
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	50		
受取会費	30		
事業収益	69,100		
受取補助金	19,600		
雑収益	100		
経常収益計	88,880		
(2) 経常費用			
事業費	83,070		
管理費	5,520		
経常費用計	88,590		
評価損益等調整前当期経常増減額	290		
評価損益等計	0		
当期経常増減額	290		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0		
(2) 経常外費用			
退職給付引当預金支出	0		
経常外費用計	0		
当期経常外増減額	0		
当期一般正味財産増減額	290		
一般正味財産期首残高	0		
一般正味財産期末残高	290		
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産期首残高	50,000		
指定正味財産期末残高	50,000		
III 正味財産期末残高	50,290		

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	243,671	279,669	132,827	88,880
	当期経常増減額	△2,008	△9,846	2,011	290
	当期正味財産増減額	△2,008	△15,021	2,867	290
貸借対照表	総資産	95,865	85,594	76,289	
	総負債	43,699	48,449	36,277	
	正味財産	52,165	37,145	40,012	
	基本財産	50,000	50,000	50,000	
	累積損益額	2,165	△12,855	△9,988	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	森林文化交流センター運営管理(指定管理)	4,851	4,851	4,788	4,725
	森林区域維持管理	7,900	10,301	9,524	
	市有林管理		3,284	3,283	
	木材需要促進啓発業務	435	435	435	
	「京の苗木」生産供給体制事業に係る種子採取業務	735	1,324		
	四季の森施業等業務			19,320	
	節電対策業務			4,249	
	公有林環境整備対策業務	76,000	91,400		
	森林環境等整備対策業務			24,761	
	散策道の整備業務	19,992	20,000		
	野生クマによる森林被害防止対策業務	10,000			
	京都一周トレイル周辺環境向上のための現況調査業務	5,000			
	森林施業・森林体験指導技術者育成業務	19,992			
	総合獣害対策モデル事業チマキザサ保全対策業務	17,376	20,000		
	耕作放棄地再生事業	5,000			
京都市三山における森林所有者調査		32,000			
森林病虫害放置木処理対策業務		15,000			
補助金	運営補助	19,658	19,658	19,658	19,658

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>雇用対策事業の縮小及び翠峰荘の冬季営業の見直し等により、平成24年度は、単年度黒字を達成した。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>公益事業については、平成23年度に様々な問題が発生した雇用対策事業の規模を縮小し、事業の適正な執行に努めた。</li><li>山村都市交流の森については、屋外バーベキュー場の増設や夏の節電対策により、利用者が増加した。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成23年度は、雇用対策事業の拡大に伴い、意欲的な事業展開を図ったものの、人事管理や財務管理等を適切に行うことができず大幅な赤字となり、累積欠損が生じている。平成24年度の当期正味財産増減額はプラスに転じたものの、当面は、累積欠損の状態から脱却するのは困難であり、財務面で非常に厳しい状況にある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>収益施設の利用者数等は増加傾向にあるが、事業を円滑に展開させるため、事業管理の基本を忠実に実施していく必要がある。</li></ul>



# 公益財団法人きょうと京北ふるさと公社

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 石浦道男

### 2 所在地

京都市右京区京北上弓削町段上ノ下2番地の1

### 3 電話番号

075-854-8488

### 4 ホームページアドレス

<http://fuw.jp/index.html>

### 5 設立年月日

平成13年12月25日

### 6 基本財産

30,000千円（うち本市出せん額 25,000千円，出せん率 83.3%）

### 7 事業目的

農林業の維持振興や担い手の確保育成を図るとともに，地域の優れた自然環境や特性を活かしながら，都市住民との積極的な交流活動等の推進を図ることにより，美しい農山村景観の保持や人と自然が輝く活力ある農山村社会の形成に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 農地の面的集積・流動化の促進に関する事業
- (2) 農作業等の受委託に関する事業
- (3) 都市農山村交流，農林業等ふるさと産業振興施設等の管理運営に関する事業
- (4) 都市住民との農山村の交流や定住促進に関する事業
- (5) 担い手農家等の確保育成に関する事業
- (6) ふるさと振興等の調査研究に関する事業
- (7) 地域特産物の開発研究や販売促進に関する事業
- (8) 地域交通に関する事業

### 9 所管部局

産業観光局農林振興室農政企画課（TEL075-222-3351）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

石浦道男

#### (2) 副理事長

海老瀬篤司

#### (3) 常務理事

古家實義

#### (4) 理事

仲間幸夫，志賀昌宏，三嶋陽治（産業観光局京北農林業振興センター所長），  
片山博昭（右京区役所京北出張所所長），河合正樹，植田康嗣

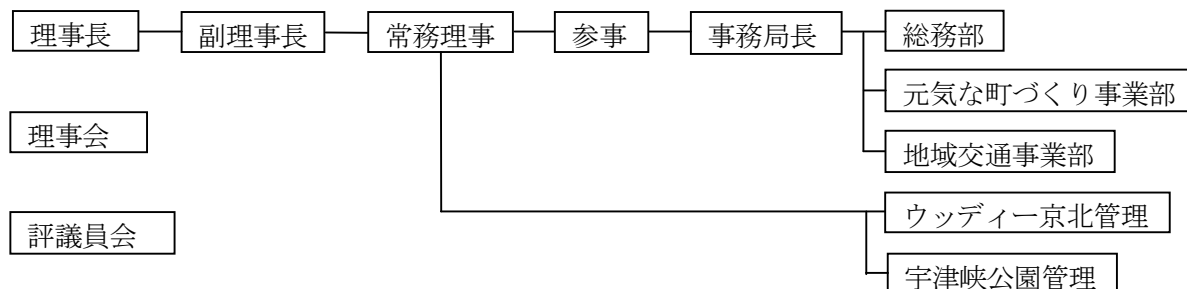
#### (5) 監事

久保和平，西田悟

### 11 常勤職員数

22人（うち本市派遣職員0人）

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 公益事業

- (ア) 農地利用集積円滑化事業（平成22年11月に農地保有合理化事業から移行）  
農地の借受け及び貸付け、担い手農家の規模拡大及び新規就農者の支援活動に取り組んだ。  
その結果、農地の売渡し（3件、3筆）及び利用権設定（8件、9筆）が成立し、担い手農家に農地を集積した。
- (イ) 農作業受託事業  
農業者の高齢化に対応するため、農作業受託部会による耕起、代かき、田植え、稲刈り、除草等の作業受託と転作田の管理受託に取り組んだ。
- a 春作業  
耕起作業35件、代かき作業37件、田植え作業45件、畦付け作業10件、その他15件
- b 秋作業  
隅刈り作業11件、刈取り作業34件、刎運搬作業35件、耕起作業13件、肥料散布等14件
- (ウ) 都市と農山村交流事業  
都市住民との交流による地域活性化を図るため、市民農園や「道の駅ウッディー京北」等におけるイベントを開催し、都市住民を京北地域に呼び込むとともに、他地域でのイベントに積極的に参加して、京北地域のPR活動を行った。
- a 主催イベント  
市民農園1回、「道の駅ウッディー京北」5回
- b 参加イベント  
京北地域内2回、京北地域外2回
- (エ) 公共施設管理事業
- a 地域特産物需要拡大センター「道の駅ウッディー京北」管理事業
- (a) 入館者数  
386,164人（平成23年度：412,126人）
- (b) 売上高  
130,143,092円（平成23年度：129,727,293円）
- b 宇津峡公園管理事業
- (a) 入園者数  
11,927人（平成23年度：10,588人）
- (b) 利用料金  
19,883,241円（平成23年度：17,865,022円）
- (オ) ふるさと振興等調査研究事業
- a 空家情報の収集及び斡旋の取組  
空家登録件数23件、定住実績3件

- b 市民農園「京北ふるさと農園さんりょう」の利用拡大と運営  
 都市住民と地域住民との交流を深めることにより、京北地域への定住や地域の活性化をより進めるため、休日の来園促進に取り組んだ。
- (a) 野菜農園利用実績
- ・ 区画数及び利用者数  
40 区画, 24 人
  - ・ 利用料  
1 区画(約 40 m<sup>2</sup>) 当たり年間 15,000 円
- (b) イベント等の取組  
 野菜苗引渡し, 植付け指導 (5 月 3 日), 収穫祭 (11 月 23 日)
- (カ) 地域特産物開発研究事業  
 地域特産物開発に力を注いでいる各グループの加工食品を、「道の駅ウッディー京北」や各イベントで積極的に販売した。  
 地産地消や食育の取組の一環として, 地元産の野菜や味噌を京北地域の小学校給食へ納入した。  
 また, 生産者や加工食品販売者に対する呼びかけを行い, 「道の駅ウッディー京北」での販売力強化に取り組んだ。
- a 登録生産者数  
173 人
- b 「道の駅ウッディー京北」野菜販売高  
25,705 千円 (平成 23 年度: 24,307 千円)
- c 学校給食地元産品販売高  
6,041 千円 (平成 23 年度: 6,062 千円)
- (キ) 地域担い手確保事業  
 地域住民の幅広い要望に応える田舎の便利屋事業として, 多種多様な作業を積極的に受託した。行政機関や地域の法人からの作業依頼にも積極的に対応した。
- a 登録者数  
359 人 (60 歳以上: 252 人, 60 歳未満: 105 人, 会社等: 2 団体)
- b 受託件数  
433 件 (平成 23 年度: 590 件)
- c 作業延べ人数  
2,600 人 (平成 23 年度: 2,971 人)
- d 受託金額  
25,275 千円 (平成 23 年度: 32,887 千円)
- (ク) 地域交通事業
- a 京北ふるさとバス運営事業  
 道路運送法に基づく過疎地有償運送事業として, 京都市との連携の下, 京北地域の生活交通確保のため取り組んだ。また, 平成 22 年 4 月の「道の駅ウッディー京北」の開設に伴い, 「京北合同庁舎前」バス停の設置や, 京北地域の交通や観光の案内を行うとともに, 定期券や共通回数券の販売を開始し, 多くの方々に利用された。
- b スクールバス運行受託事業  
 京北地域の児童生徒の通学のため, 教育委員会からの受託事業として取り組んだ。
- (ケ) 緊急雇用対策事業  
 京北地域住環境整備事業, 総合獣害対策モデル事業, じっくり楽しむ京北推進事業及び京の時待ち食事業により, 野菜の生産及び販売拡大や特産加工品の開発等に取り組んだ。
- イ 収益事業  
 公益法人として事業活動に一定の制約がある中, 公益事業を補完し, 当社の安定経営に向

けた財務基盤を確立するため、収益事業に取り組んだ。

(ア) 葬祭関連事業

会場利用件数 34 件（平成 23 年度：51 件）

(2) 財務諸表

貸借対照表  
平成25年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[90,341]	流動負債	[80,170]
現金預金	44,235	仮受金	515
未収金	39,029	未払金	63,819
仮払金	85	未払法人税等	2,174
前払金	66	前受金	6,981
棚卸商品	6,926	預り金	3,730
固定資産	[145,738]	リース債務	153
(基本財産)	(30,000)	賞与引当金	2,798
基本預金	30,000	固定負債	[2,815]
(特定資産)	(97,571)	退職給付引当金	2,815
建物(特)	28,801		
車両運搬具(特)	1,308		
工具器具備品(特)	8,320		
建物附属設備(特)	9,990		
機械装置(特)	6,536		
退職給付引当資産	2,815		
農地取得基金積立資産	9,500		
減価償却引当資産	20,301		
加工場建設積立資産	10,000		
(その他の固定資産)	(18,167)		
建物	10,996		
構築物	4,664		
車両運搬具	178		
工具器具備品	1,262		
建物附属設備	314		
機械装置	523		
リサイクル預託金	77		
リース資産	153		
資産合計	236,079		
		負債合計	82,985
		正味財産の部	
		指定正味財産	[84,955]
		地方公共団体補助金	48,507
		寄付金	36,448
		一般正味財産	[68,139]
		(うち特定財産への充当額)	(42,616)
		正味財産合計	153,094
		負債及び正味財産合計	236,079

正味財産増減計算書  
平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	12	15	△ 3
② 事業収益	206,168	207,255	△ 1,087
③ 受取補助金等	52,504	52,859	△ 355
④ 受取寄付金	5,802	0	5,802
経常収益計	264,486	260,129	4,357
(2) 経常費用			
① 事業費	230,572	228,910	1,662
② 管理費	33,543	24,590	8,953
経常費用計	264,115	253,500	10,615
当期経常増減額	372	6,629	△ 6,257
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 指定正味財産への振替額	0	28,450	△ 28,450
② 固定資産除却損	18	0	18
経常外費用計	18	28,450	△ 28,432
当期経常外増減額	△ 18	△ 28,450	28,432
当期一般正味財産増減額	△ 1,820	△ 21,821	20,001
一般正味財産期首残高	69,959	91,780	△ 21,821
一般正味財産期末残高	68,139	69,959	△ 1,820
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	54,955	28,450	26,505
指定正味財産期首残高	30,000	1,550	28,450
指定正味財産期末残高	84,955	30,000	54,955
III 正味財産期末残高	153,094	99,959	53,135

2 平成25年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 公益事業

(ア) 農地利用集積円滑化事業

農地利用集積円滑化団体として、引き続き農地の「中間保有・再配分機能」を生かし、農地の借受け、貸付け、売買等に関わる担い手農家の経営規模拡大や、新規就農者の支援活動に取り組むとともに、地域内の優良農地の保全と景観の維持に努める。

(イ) 農作業受託事業

農業者の高齢化に対応するため、耕起、代かき、田植え、稲刈り、除草等の作業を農作業部会を中心に取り組む。また、農作業受託や転作田の管理受託により、優良農地の確保に努める。

(ウ) 都市と農山村交流事業

- a 各種イベントの開催により都市住民を京北地域に呼び込むとともに、他地域でのイベント等に参加し、京北地域のPR活動を積極的に行う。
- b 交流事業を積極的に進めることにより、都市住民から京北地域への定住を促進する。

(エ) 公共施設管理事業

- a 地域特産物需要拡大センター「道の駅ウッディー京北」
- b 宇津峡公園

(オ) ふるさと振興等調査研究事業

- a 市民農園「ふるさと農園さんりょう」でのイベント等により、地域活性化に取り組む。
  - b 定住促進事業に引き続き取り組むとともに、「財団法人きょうと京北ふるさと公社空家情報提供マニュアル」に基づき、空家情報の収集、提供と合わせて農地情報を活用することにより、都市住民の定住化の促進及び地域の活性化を推進する。
- (カ) 地域特産物開発研究事業
- a 地域特産物開発に力を注いでいる各グループと連携し、新しい地域特産物開発試作に取り組む、一つでも多くの京北産の商品を「道の駅ウッディー京北」で積極的に取り扱う。
  - b 京北産農産物を小学校給食等の食材として納入するなど、「食育」と「地産地消」の取組を進める。
- (キ) 地域担い手確保事業
- a 田舎の便利屋（人材登録者）による多種多様な作業を受託することにより、地域の要望にこたえ、中高齢者の雇用拡大に寄与する。
  - b 行政機関及び地域組織からの作業受託にも積極的に対応し、事業の一層の推進を図る。
- (ク) 地域交通事業
- a 京北ふるさとバス運営事業  
道路運送法に基づく過疎地有償運送事業として京都市との連携の下、安全運行を基本に京北地域の生活交通の確保のため取り組む。
  - b スクールバス運行受託事業  
京都市教育委員会からの委託により、京北地域児童生徒の通学及び教育活動の足として運行する。
- (ケ) 緊急雇用対策事業
- a 総合獣害対策モデル事業  
野生動物による農作物や森林、住民生活への被害防止に取り組む。
  - b 「じっくり楽しむ京北」推進事業  
京北の魅力を知っていただくための情報発信に取り組む。
- イ 収益事業
- (ア) 葬祭関連事業  
高齢化が進行する地域住民のため、葬儀の場を提供するとともに、設備等の改善を図る。

## (2) 予算

収 支 予 算 書  
平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	備 考
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	14	30	
② 事業収入	65,301	66,870	
③ 使用料収入	27,617	25,911	
④ 手数料収入	21,488	19,766	
⑤ 委託料収入	51,553	65,500	
⑥ バス運行収入	19,035	19,009	
⑦ 補助金収入	47,640	50,046	
⑧ 交付金収入	2,095	2,100	
⑨ 農地取得基金受入収入	2,000	5,000	
⑩ 雑収入	1,131	1,236	
⑪ 事業会計受入収入	0	8,165	
⑫ 寄付金取崩収入	2,757	0	
事業活動収入計	240,631	263,633	
2 事業活動支出			
① 事業活動支出	211,330	234,824	
② 管理費支出	21,801	23,709	
事業活動支出計	233,131	258,533	
事業活動収支差額	7,500	5,100	
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	
2 投資活動支出			
① 特定資産取得支出	7,500	5,000	
投資活動支出計	7,500	5,000	
投資活動収支差額	△ 7,500	△ 5,000	
III 予備費支出	0	100	
当期収支差額	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	

※ 平成25年7月1日付けで公益財団法人に移行済みであるが、ここには、移行前の期間を含む本団体の当初（通年）予算を掲載した。

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
収支計算書	収入合計	287,663	266,628	325,688	240,631
	支出合計	286,214	262,216	315,694	240,631
	次期繰越収支差額	1,449	4,412	9,993	0
正味財産増減計算書	経常収益	251,069	260,129	264,486	
	当期経常増減額	8,131	6,629	372	
	当期正味財産増減額	43,717	6,629	53,135	
貸借対照表	総資産	130,222	140,114	236,079	
	総負債	36,892	40,155	82,985	
	正味財産	93,330	99,959	153,094	
	基本財産	30,000	30,000	30,000	
	累積損益額	63,330	69,959	123,094	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	公共施設管理事業 (指定管理)	7,705	6,500 (※)	6,400 (※)	6,300 (※)
	スクールバス運行受託事業	18,600	18,600	18,500	
	じっくり楽しむ京北推進事業			6,000	
	総合獣害対策モデル事業			12,000	
	庁舎清掃事業	2,197			
	農業サポート人材対策事業	9,070	10,080		
	農山村「第6次産業化」促進事業	4,500	4,500		
	京の旬野菜「時待ち食」キャンペーン事業	6,700	8,000	2,600	
	京北地域担い手支援対策事業	7,900	9,900	10,202	
	京北地域住環境整備事業			8,000	
	合併記念の森維持管理事業			2,300	
	獣害対策モデル事業 (繰越分)			200	
	「合併記念の森」森づくりはじめの一步の集い運營業務		338		

(※) 一部利用料金制



(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
補助金	運営補助金	16,634	16,135	16,046	13,640
	京北ふるさとバス運営事業補助金	33,071	33,972	33,967	34,000
	水田農業総合振興事業費補助金	240			
	右京区環境パートナーシップ事業補助金		190		
	大豆の里京北「第6次産業」化拠点施設整備事業			49,000	

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>公益事業に係る損益のマイナスを収益事業によりカバーしている。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域特産物需要拡大センター「道の駅ウッディ京北」の入館者数は、過去最高であった平成23年度実績を下回ったが、売上高は好調に推移している。</li> <li>本市の緊急雇用対策事業の受託に取り組み、失業者の雇用創出とともに、京北地域の野菜の普及と販売拡大に寄与した。</li> <li>大豆の里京北「第6次産業」化拠点施設整備事業では、補助金を原資として建物を建設した。</li> </ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>経常収益は、平成23年度を上回っているが、臨時職員に係る人件費負担が大きくなっている。効率的に事業を実施し、過度な経費負担とならないような方策が必要である。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウッディー京北の利用者数が減少している。経常収益は堅調に推移しているが、利用者数を増加させる方策を検討する必要がある。</li> </ul>

# 公益財団法人京都伝統産業交流センター

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 渡邊隆夫

### 2 所在地

京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1 京都市勸業館内

### 3 電話番号

075-762-2670

### 4 ホームページアドレス

<http://www.miyakomesse.jp/fureaika/> (京都伝統産業ふれあい館)

### 5 設立年月日

昭和52年3月29日

### 6 基本財産

11,000千円 (うち本市出せん額 5,000千円, 出せん率 45.5%)

### 7 事業目的

伝統産業の啓発及び振興に関する事業を行い、地域経済の発展と生活文化の向上に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 京都市勸業館常設展示場の展示事業
- (2) 伝統産業に関する振興及び啓発事業
- (3) 伝統産業製品の提供事業

### 9 所管部局

産業観光局商工部伝統産業課 (TEL075-222-3337)

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

渡邊隆夫

#### (2) 副理事長

池田佳隆

#### (3) 専務理事

八田誠治

#### (4) 理事

田中雅一, 小峠行宏, 佐藤敬二, 田上智一, 田中昭行, 波部美利, 林史己, 牧圭太朗, 山本達夫 (産業観光局商工部長), 勝山龍一

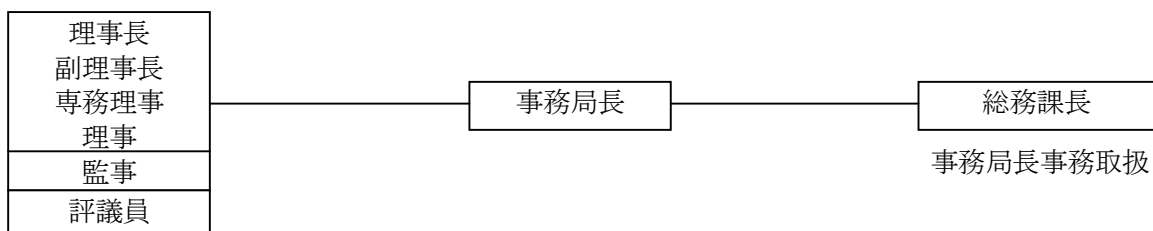
#### (5) 監事

荒堀秀樹, 藤井正昭

### 11 常勤職員数

12人 (うち派遣職員0人)

### 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 常設展示事業

常設展示場において、展示の魅力向上及び入館者へのサービス向上のため、以下の取組を実施した。

- (ア) 常設展示場内で団体の見学者に対し、京都の伝統産業の歴史と概要、日常生活と伝統工芸品の紹介を67回(2,835人)行った。
- (イ) 業界団体の協力を得て、四季折々の魅力ある展示替えを100回(618点)実施した。
- (ウ) 京都検定合格者で組織するNPO法人「京都観光文化を考える会 都草」(延べ人数約100人)の協力を得て、伝統産業の背景となる京都の文化や歴史について、来館者に対し解説を行った。

##### イ 企画事業

###### (ア) ギャラリー

- a 「西陣金襴の美を訪ねて—西陣が世界に誇る美術織物の集大成—展」や「京漆芸美展—japan という名の小宇宙—」など、業界団体の協力による企画展示を10回実施した。企画展ごとに展示チラシを作成し、広報・宣伝活動を強化した。

〈参考〉ギャラリー取材件数

年度	テレビ	新聞	ラジオ	その他
平成24年度	7件	16件	2件	7件
平成23年度	10件	12件	2件	5件

- b 京都市博物館ボランティア制度(延べ人数184人)を活用し、ギャラリー展示品の紹介や来館者とのコミュニケーションに努めた。

###### (イ) イベントルーム

当財団主催の企画や関連業界団体との共催事業、常設展示との相乗効果が期待できる展示会、体験教室等を26事業、延べ138日実施した。

##### ウ 普及啓発事業

###### (ア) 摺型友禅染体験教室

平日は予約制により修学旅行生を中心に受け入れ、土・日・祝日は家族連れや少人数グループを随時受け入れた。

(年度別参加人数内訳)

	参加者数	前年度比
平成24年度	3,481人	-12%
平成23年度	3,963人	-11%

###### (イ) その他の体験教室

- a 夏休み親子体験教室(陶器絵付け体験)

開催回数6回、参加者数82人

- b 京繡教室(春、秋)

開催回数4回、参加人員111人

- (ウ) 旅行エージェント260箇所に対し、京都伝統産業ふれあい館のパンフレットを送付し、団体客の送客依頼を行った。

- (エ) イベントルームを活用して京繡体験教室参加者の作品を展示し、優秀作品に表彰状を贈呈した(作品展示会開催2回、出展作品70点)。

##### エ 講演会事業

伝統産業・伝統文化への理解を深めてもらうことを目的に、全3回のセミナーを開催した。

- (ア) 第1回「京野菜とおせち」(12月16日)

- 講師：石割照久氏（京都伝統野菜生産農家），参加者 105 人
- (イ) 第 2 回「京の儀礼と作法～その心とならわし～」(1 月 26 日)  
講師：岩上力氏（儀礼作法研究会代表），参加者 132 人
- (ウ) 第 3 回「ふれあい館ミニセミナー」(3 月 16～17 日)  
講師：吉岡一郎氏（京繡），中澤孝司氏（京仏壇，京仏具），参加者 80 人

#### オ 広報広聴事業

##### (ア) 広報宣伝活動

京都伝統産業ふれあい館を周知し，より多くの方に来館していただけるよう，以下の取組を実施した。

##### a 「匠と舞」事業（後述）の広報 P R

- (a) 京都市観光協会，市内の主要ホテル，J R 東海京都観光コーナー（東京，品川，新横浜，静岡，浜松）にてチラシを配布した。
- (b) アメリカやオーストラリアなどの京都市海外情報拠点にてチラシを配布した。

##### b 修学旅行・市内小学校からの誘客の取組

- (a) 京都市観光協会に対し，修学旅行相談所での教師向けの周知を依頼した。
- (b) 京都修学旅行生ナビへの掲載のほか，修学旅行パスポート事業へ参画した。
- (c) 市内の全小学校に京都伝統産業ふれあい館のチラシを配布し，課外学習での利用を依頼した。また，「わたしたちの伝統産業」（小学校 4 年生社会科副読本）を市立小学校へ送付する際にも京都伝統産業ふれあい館のパンフレット，匠と舞のチラシを同封した。

##### c 外国人観光客集客の取組

- (a) 市内主要ホテルを定期的に訪問し，英語版チラシの配布と送客の依頼を行った。
- (b) 英語版京都フリーウォークサイト

京都フリーウォークサイトにて携帯型音楽プレーヤーに伝統産業 6 業種（西陣織，京友禅，京仏壇，京仏具，京漆器，京焼・清水焼）を英語で紹介し，携帯型音楽プレーヤーにダウンロードできる音声ガイドシステムを構築した。（ダウンロード実績：41, 124 件）

##### d その他の取組

- (a) 京都伝統産業ふれあい館のチラシや京都伝統産業ふれあい館が掲載されているマップを，ホテル，旅館，旅行会社等に配布した。
- (b) テレビ，新聞等マスコミへ掲載依頼及び取材協力依頼を行った。
- (c) 京都市勧業館はもとより，岡崎周辺の文化施設等での大規模催事の際に，チラシの配布等を行い，京都伝統産業ふれあい館へ誘導した。
- (d) 「伝統産業の日 2013」のガイドブックに京都伝統産業ふれあい館の広告を掲載した。
- (e) 利用者からの声を受けて館内 BGM を変更した。

##### (イ) 広聴活動

常設展示場及びギャラリーに「ご意見承り箱」を設置し，来館者のアンケート調査を実施した。

#### カ ～光る技，伝統が舞う～ 「匠と舞」事業

常設展示場において職人による伝統工芸品の制作実演を行うとともに，歩く伝統産業ともいえる舞妓による舞台を披露し，京都伝統産業ふれあい館への集客や伝統産業の積極的な P R を図った。

##### (ア) 制作体験

「伝統の儀礼調度品と作法～ところを結ぶ～」と題して平成 24 年 12 月から伝統工芸品の体験教室を各テーマ 3 回講座で実施した。延べ 47 人の参加があった。

##### (イ) 匠による制作実演

月曜日（祝日は実施）を除く毎日，伝統工芸品の制作実演を行い，来館者に制作工程に触れ，職人との会話を楽しんでいただいた。当事業を開始してからは，伝統工芸品を時間をか

けて見学される方やリピーターが増え、展示品の見方が変わったと好評である。

(ウ) 舞妓の舞台

毎週日曜に、花街の舞妓による舞台を行い、舞妓の衣装や装飾品に使われる各種の伝統工芸品（西陣織、京友禅、花かんざしなど）の解説などを通して、京都の花街や文化を支えてきた伝統産業をPRした。地方からの団体や外国人などの来館者が大幅に増加した。

舞台をきっかけに、京都伝統産業ふれあい館や京都の伝統産業を知られた方も多く、舞台の後、館内を見学したり、職人実演ブースに立ち寄られる事が多くなった。

キ 京の「匠」ふれあい事業

伝統産業従事者を講師や指導者として雇用し、伝統工芸の匠の技を生かした制作体験教室等を行い、参加者に伝統産業の技術に対する関心を深めていただいている。

また、伝統産業職人の派遣事業や出張体験教室を行い、より広範囲で職人の技術を御覧いただく機会を設けた。

ク 伝統産業製品の提供事業

京都の伝統産業関連団体等と連携し、近年、市場を大きく伸ばしているWEB上において京都の伝統産業製品を販売する場を提供した。WEB上での販売を通じて消費者のニーズを収集し、生産者にフィードバックすることにより、現代の消費者にマッチした製品づくりを促し、京都の伝統産業の活性化を図るため、平成24年3月に、インターネットの楽天市場に「京もの専門店『みやび』」をオープンした。

主な購買層は、年齢別では30～40歳代が全体の6割強、性別では女性が半分以上を占め、地域別では関東45%、近畿25%、東海10%であった。

ケ 「伝統産業の日」事業

「伝統産業の日2013」関連事業として、3月15日～17日の3日間、京都市勧業館みやこめっせ内にて「京もの専門店『みやび』特別ショップ」と題して伝統工芸品の販売を行うとともに、「光る技・伝統が舞う～匠と舞～」(職人実演、舞妓舞台)、伝統工芸ミニセミナーを開催した。

(ア) 京もの専門店「みやび」特別ショップ 売上合計305,796円

(イ) 光る技・伝統が舞う～匠と舞～ 参加者5,500人

(ウ) 伝統工芸ミニセミナー 参加者80人

コ 図書室利用状況

(利用状況)

年度	入室者（一日平均）	前年度比	貸出し冊数（一日平均）	前年度比
平成24年度	13,015人（37人）	+10%	766冊（2.2冊）	+1%
平成23年度	11,882人（33人）	+6%	761冊（2.1冊）	△16%

サ 本願寺文化交流財団の事業に対する協力

一般財団法人本願寺文化交流財団が京都市、国際交流基金と共催したパリ（フランス）、コロンボ（スリランカ）での特別展示「日本人の『智慧』展」において、京都市所蔵の伝統産業製品（20品）を貸し出すとともに、搬入、搬出等の出展協力を行った。

(ア) パリ会場

期間：平成24年4月17日～5月5日

会場：パリ日本文化会館

(イ) コロンボ会場

期間：平成24年7月13日～7月27日

会場：バンダラナイケ・メモリアル・IN/Cホール

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成25年3月31日現在

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	10,780	5,166	5,614
未収金	556	7,804	△ 7,248
流動資産合計	11,336	12,970	△ 1,634
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	11,000	11,000	0
基本財産合計	11,000	11,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	359	180	180
特定資産合計	359	180	180
(3) その他固定資産			
出資金	5,000	5,000	0
什器備品	293	498	△ 206
電話加入権	80	80	0
ソフトウェア	270	201	69
図書	8	0	8
その他固定資産合計	5,650	5,779	△ 129
固定資産合計	17,009	16,959	50
資産合計	28,345	29,928	△ 1,583
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,906	4,038	△ 1,132
預り金	802	293	509
未払法人税等	70	70	0
流動負債合計	3,778	4,401	△ 623
2. 固定負債			
退職給付引当金	359	180	180
固定負債合計	359	180	180
負債合計	4,137	4,581	△ 444
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出えん金	5,000	5,000	0
指定正味財産合計	5,000	5,000	0
(うち基本財産への充当額)	(5,000)	(5,000)	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	19,209	20,348	△ 1,139
(うち特定資産への充当額)	(6,000)	(6,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(359)	(180)	180
正味財産合計	24,209	25,348	△ 1,139
負債及び正味財産合計	28,345	29,928	△ 1,583

正味財産増減計算書

平成24年 4月 1日から平成25年 3月31日まで

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	4	9	△ 4
②事業収益	3,291	3,663	△ 372
③受取補助金等	74,850	86,800	△ 11,950
④雑収益	65	50	15
経常収益計	78,210	90,522	△ 12,312
(2) 経常費用			
①事業費	68,774	74,362	△ 5,588
②管理費	10,584	16,493	△ 5,909
経常費用計	79,357	90,854	△ 11,497
当期経常増減額	△ 1,147	△ 332	△ 815
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	31	△ 31
経常外費用計	0	31	△ 31
当期経常外増減額	0	△ 31	31
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	△ 1,147	△ 363	△ 784
一般正味財産期首残高	20,356	20,710	△ 355
一般正味財産期末残高	19,209	20,348	△ 1,139
II 指定正味財産増減の部			
京都市出えん金			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000	5,000	0
指定正味財産期末残高	5,000	5,000	0
III 正味財産期末残高	24,209	25,348	△ 1,139

2 平成 25 年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 「匠と舞」事業の開催

京都伝統産業ふれあい館で伝統産業の職人を雇用し、製作実演や体験教室等を実施するとともに、舞妓による伝統産業のPRを実施する。また、平成 25 年度は、実演職人による各業種の成り立ちや展示品について解説を行うなど、内容の充実を図っていく。

イ 京ものショッピングサイトの運営

京都の伝統産業製品の販売促進と新たな需要開拓を目指した取組を推進していく。

職員がマーケティングや広報宣伝に関する研修等に積極的に参加し、販路拡大に向けたノウハウやスキルを獲得し、新たな顧客獲得と売上増を目指す。また、年 2 回商品の公募を行い、掲載商品の充実を目指す。

ウ 「クールジャパン 日本人の知恵」実行委員会に対する協力

一般財団法人本願寺文化交流財団に事務局を置く「クールジャパン 日本人の知恵」実行委員会が作成する「日本人の知恵」コンテンツの伝統産業部門について協力する。

## (2) 予算

収 支 予 算 書  
平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	備考
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	5	5	0
事業収益	4,500	4,200	300
受取補助金等	72,000	72,500	△ 500
雑収益	61	61	0
経常収益計	76,566	76,766	△ 200
(2) 経常費用			
事業費	58,766	58,856	△ 90
管理費	17,800	17,910	△ 110
経常費用計	76,566	76,766	△ 200
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	17,186	17,186	0
一般正味財産期末残高	17,186	17,186	0
II 正味財産期末残高	22,186	22,186	0



## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	81,640	90,522	78,210	76,566
	当期経常増減額	3,524	△332	△1,147	0
	当期正味財産増減額	3,524	△363	△1,147	0
貸借対照表	総資産	29,112	29,928	28,345	
	総負債	3,402	4,581	4,137	
	正味財産	25,710	25,348	24,209	
	基本財産	11,000	11,000	11,000	
	累積損益額	14,710	14,348	13,209	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	京の「匠」ふれあい事業	10,000	10,000	5,500	
	京都伝統産業ふれあい館運営	29,000	30,000	30,000	
	伝統産業ふれあい館における製作実演・体験教室事業	33,000	40,000	39,000	
	日本復興キャンペーン From Kyoto～観光庁・京都市緊急共同プロジェクト～		1,500		
	京ものショッピングサイト管理運営業務		5,000		
	京ものギフトカタログ作成業務			350	
補助金	京ものきらめきチャレンジ事業	580			

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>本市から受託した「京の『匠』ふれあい事業」の委託料が減額されたこともあり、当期正味財産増減額の赤字額が平成23年度に比べ、やや増加した。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>京都伝統産業ふれあい館の来館者数は、長期的な減少傾向にあったが、積極的な広報活動、製作実演事業の充実の結果、平成21年度から来館者数が20万人を上回る水準を維持している。</li><li>平成21年度から実施している職人実演や舞妓舞台が、京都伝統産業ふれあい館の目玉事業となり好評を得ているが、委託料の減額もあり、常設展示の魅せ方の工夫等が必要になってくる。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成23年度に引き続き、当期正味財産増減額が赤字となっている。</li><li>事業収入の増加を図るため、収入の多様化を具体的に進める必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>京都伝統産業ふれあい館の入館者数は増加しているものの、事業収入の伸びが見られない。事業収入の増加に結びつく具体的な方策を検討する必要がある。</li></ul>

# 公益財団法人京都高度技術研究所

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 西本清一

### 2 所在地

京都市下京区中堂寺南町134番地

### 3 電話番号

075-315-3625

### 4 ホームページアドレス

<http://www.astem.or.jp/>

### 5 設立年月日

昭和63年8月9日

### 6 基本財産

300,000千円（うち本市出えん額 100,000千円，出えん率 33.3%）

### 7 事業目的

科学技術の振興や企業経営に関する支援を通じて、地域産業の発展と市民生活の向上に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 科学技術の諸分野に関する研究，開発及び調査並びに研究者の養成及び技術者の研修
- (2) 科学技術諸分野に関する研究開発型企業に対する支援及び情報の提供
- (3) 科学技術の諸分野に関する研究者及び技術者の交流
- (4) 産学公連携による新事業の創出と研究開発の推進
- (5) 科学技術の進歩発展や産業の発展に寄与する人材の育成
- (6) 中小企業者を対象とする振興施策の調査研究及び実施
- (7) 中小企業者等を対象とする，金融，経営，法務，技術等に関する相談，助言及び人材育成その他の支援並びに情報の提供
- (8) 中小企業の経営者及び従業員を対象とする異業種交流の促進並びにその成果の普及
- (9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

産業観光局新産業振興室（TEL075-222-3324）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

西本清一

#### (2) 副理事長

中村行宏，白須正（産業観光局長）

#### (3) 専務理事

江川博（産業観光局理事）

#### (4) 理事

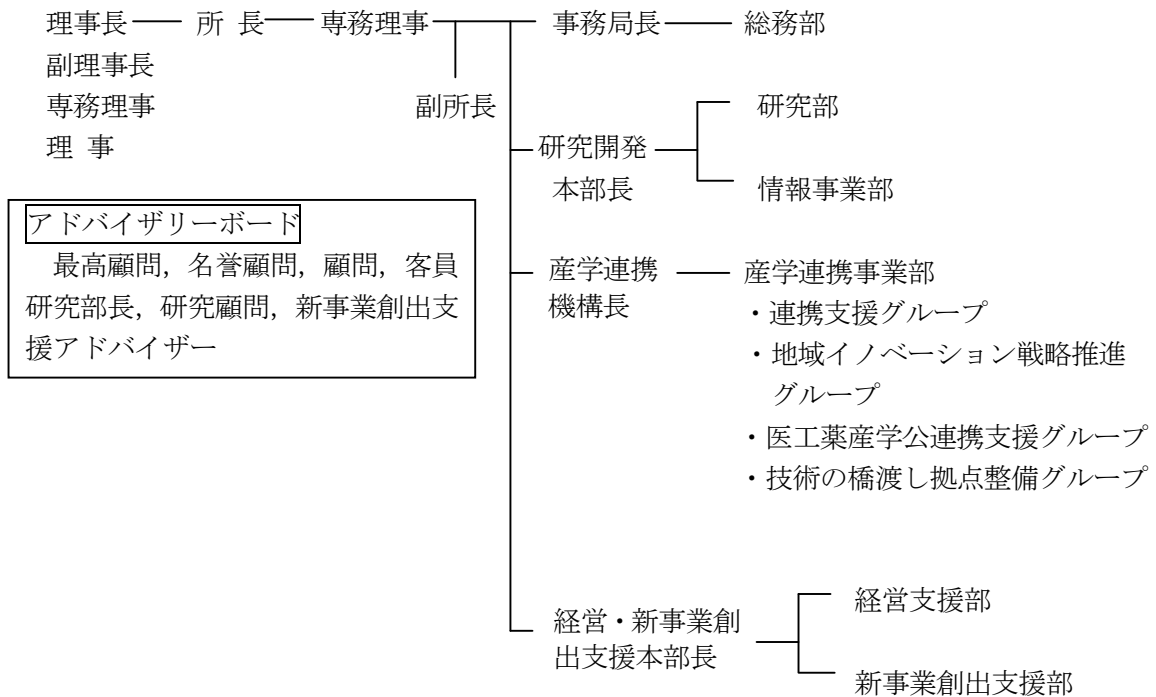
市川仁三，岩崎隆二，大東利幸，小寺秀俊，小林大二，高須秀視，竹永睦生，立石義雄，辻理，仲尾功一，服部重彦，堀場厚，三田康明，森内敏晴，山下直毅

#### (5) 監事

岡田博邦，近藤一郎，佐近大祐

- 11 常勤職員数  
77人（うち本市派遣職員8人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成24年度決算

(1) 事業報告

ア 公益事業①

研究開発事業を通じて、京都地域の科学技術の振興を目的とする事業

(ア) 先端的研究開発事業

- a LSI（集積回路）の高度化に関する研究開発事業
- b コンピューターシステムの高度化に関する研究開発事業
- c 細胞・生体機能シミュレーションに関する研究開発事業

(イ) 研究成果の応用・普及事業

観光産業への応用研究事業

(ウ) 環境分野における研究開発事業

- a 京都環境ナノクラスター事業
- b 車両適合性のある第二世代バイオディーゼル燃料利活用に向けた技術開発実証研究事業

イ 公益事業②

中小企業の新事業創出、経営革新等の支援事業を通じて、京都地域の産業振興を目的とする事業

(ア) 新事業の創出を目指した支援事業

- a 京都市地域プラットフォーム事業
- b 未来創造型企業支援プロジェクト事業
- c 新事業創出のための競争的資金獲得支援事業
- d インキュベーション支援事業
- e ソーシャルビジネス支援事業

(イ) ライフサイエンス分野における産学公連携事業

- a 産学公ネットワーク形成事業

- b 京都バイオ計測センター運営事業
- c 医工薬産学公連携支援事業
- (ウ) 経営支援事業
  - a 中小企業経営支援事業
  - b 中小企業パワーアッププロジェクト事業
  - c 地域中小企業外国出願支援事業
  - d 「クラウド」を活用した地域産業の振興事業
- (エ) 金融支援事業
  - 直接貸付にかかる債権回収事業
- ウ その他事業
  - (ア) 地域・自治体への ICT（情報通信技術）の展開
    - a 自治体の ICT 利活用の効率化推進事業
    - b 京都市の情報通信システム運用事業
    - c アプリケーションソフト開発実証・開発指導事業
    - d 大学，学会等への活動支援事業
    - e 地域情報基盤の運営事業
    - f 保護者負担経費のクラウド事業
    - g クラウド用 OS の開発事業
    - h 制御技術活用による環境，介護，福祉分野への展開事業
    - i スマートフォンソフトウェア開発技術の活用事業
    - j コンテンツビジネスの展開事業
    - k 歩くまち・京都 バス・鉄道乗り換え案内事業
    - l ICT 活用支援員事業
  - (イ) 研究成果の応用・普及事業
    - a コンピューターシステム教育用教材の普及事業
    - b コンピューターネットワークの国際標準規格（Ether CAT）の認証事業
  - (ウ) バイオマス利用促進事業
  - (エ) きもの KYOTO アンテナショップの運営事業
  - (オ) Team ASTEM 事業
  - (カ) 賃貸事業
  - (キ) 「技術の橋渡し拠点」整備事業
- エ 財団運営
  - (ア) 公益財団法人移行までの経過
  - (イ) 広報活動

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成25年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	合 計	一般会計	京都環境 ナクラスター事業 特別会計	直接貸付事業 管理債権 特別会計	内部取引
<b>I 資産の部</b>					
1 流動資産	[760,756]	[699,958]	[70,461]	[33,108]	[△ 42,772]
現金預金	271,951	168,921	70,461	32,569	0
特別会計勘定	0	42,772	0	0	△ 42,772
未収金	495,312	495,312	0	0	0
売掛金	2,518	2,518	0	0	0
貸付金	52,015	0	0	52,015	0
貸倒引当金	△ 61,715	△ 9,700	0	△ 52,015	0
前払金	125	125	0	0	0
仮払金	11	11	0	0	0
供託金	539	0	0	539	0
2 固定資産	[1,406,703]	[1,406,203]	[5,201]	[100]	[△ 4,801]
(基本財産)	(300,000)	(300,000)	(0)	(0)	(0)
基本財産引当定期預金	270,000	270,000	0	0	0
基本財産引当有価証券	30,000	30,000	0	0	0
(特定資産)	(1,014,975)	(1,014,975)	(0)	(0)	(0)
退職給付引当資産	49,011	49,011	0	0	0
受入保証金引当資産	5,307	5,307	0	0	0
什器備品	35,581	35,581	0	0	0
建設仮勘定	925,075	925,075	0	0	0
(その他固定資産)	(91,729)	(91,228)	(5,201)	(100)	(△ 4,801)
建物附属設備	12,508	12,508	0	0	0
什器備品	68,870	63,669	5,201	0	0
ソフトウェア著作権	1,450	1,450	0	0	0
電話加入権	5,612	5,532	0	80	0
出資金	120	100	0	20	0
直接貸付事業管理債権特別会計元入金	0	4,801	0	0	△ 4,801
リース資産	3,170	3,170	0	0	0
資産合計	2,167,459	2,106,161	75,662	33,208	△ 47,573
<b>II 負債の部</b>					
1 流動負債	[1,304,650]	[1,276,547]	[70,784]	[91]	[△ 42,772]
一般会計勘定	0	0	42,694	77	△ 42,772
短期借入金	1,014,480	1,014,480	0	0	0
未払金	264,985	238,365	26,606	14	0
前受金	2,542	2,542	0	0	0
預り金	9,801	8,850	951	0	0
仮受金	87	87	0	0	0
賞与引当金	11,780	11,248	532	0	0
リース負債	975	975	0	0	0
2 固定負債	[60,154]	[60,154]	[0]	[4,801]	[△ 4,801]
未払金	52,653	52,653	0	0	0
受入保証金	5,307	5,307	0	0	0
一般会計元入金	0	0	0	4,801	△ 4,801
長期リース負債	2,194	2,194	0	0	0
負債合計	1,364,804	1,336,701	70,784	4,892	△ 47,573
<b>III 正味財産の部</b>					
1 指定正味財産	[708,597]	[708,597]	[0]	[0]	[0]
地方公共団体補助金	413,016	413,016	0	0	0
寄付金	260,000	260,000	0	0	0
機械装置等取得指定受託金	35,581	35,581	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(260,000)	(260,000)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(448,597)	(448,597)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	[94,059]	[60,864]	[4,879]	[28,316]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(40,000)	(40,000)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(7,580)	(7,580)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	802,655	769,461	4,879	28,316	0
負債及び正味財産合計	2,167,459	2,106,161	75,662	33,208	△ 47,573

正味財産増減計算書  
平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	合 計	一般会計	京都環境 ナノクラスター事業 特別会計	直接貸付事業 管理債権 特別会計	内部取引
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	1,589	1,589	0	0	0
② 特定資産運用益	4	4	0	0	0
③ 受取会費	6,960	6,960	0	0	0
④ 事業収益	913,411	913,085	0	326	0
⑤ 受取補助金等	960,075	355,975	604,100	0	0
⑥ 受取負担金	26,292	4,292	22,000	0	0
⑦ 雑収益	2,374	2,371	0	3	0
⑧ 他会計からの繰入額	0	1,891	0	0	△ 1,891
経常収益計	1,910,706	1,286,167	626,100	329	△ 1,891
(2) 経常費用					
① 事業費	1,764,950	1,137,513	625,871	1,565	0
② 管理費	120,355	120,355	0	0	0
③ 他会計への繰出額	0	0	1,891	0	△ 1,891
経常費用計	1,885,305	1,257,868	627,762	1,565	△ 1,891
当期経常増減額	25,401	28,299	△ 1,662	△ 1,236	0
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
① 固定資産売却益	29,491	29,491	0	0	0
② 貸倒引当金戻入	2,513	0	0	2,513	0
経常外収益計	32,004	29,491	0	2,513	0
(2) 経常外費用					
① 固定資産譲渡損	64,786	0	64,786	0	0
② 固定資産除却損	1,775	1,738	37	0	0
③ 前期損益修正損	1,220	1,220	0	0	0
経常外費用計	67,781	2,958	64,823	0	0
当期経常外増減額	△ 35,776	26,533	△ 64,823	2,513	0
当期一般正味財産増減額	△ 10,376	54,832	△ 66,485	1,277	0
一般正味財産期首残高	104,434	6,032	71,364	27,039	0
一般正味財産期末残高	94,059	60,864	4,879	28,316	0
II 指定正味財産増減の部					
① 受取補助金等	403,000	403,000	0	0	0
② 事業収益	37,128	37,128	0	0	0
③ 一般正味財産への振替額	△ 3,391	△ 3,391	0	0	0
当期指定正味財産増減額	436,737	436,737	0	0	0
指定正味財産期首残高	271,860	271,860	0	0	0
指定正味財産期末残高	708,597	708,597	0	0	0
III 正味財産期末残高	802,655	769,461	4,879	28,316	0

キャッシュ・フロー計算書  
平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1 当期一般正味財産増減額	△ 10,376	30,608	△ 40,984
2 キャッシュ・フローへの調整額			
1 減価償却費	20,358	39,565	△ 19,208
2 未収金の増減額	△ 120,867	3,000	△ 123,867
3 売掛金の増減額	2,359	△ 3,293	5,652
4 貸付金の増減額	3,795	7,608	△ 3,813
5 貸倒引当金の増減額	△ 3,715	△ 5,798	2,083
6 前払金の増減額	2,063	65	1,998
7 短期前払費用の増減額	210	9,764	△ 9,554
8 仮払金の増減額	0	109	△ 109
9 供託金の増減額	0	600	△ 600
10 固定資産の売却額	△ 29,491	0	△ 29,491
11 固定資産の譲渡額	64,786	0	64,786
12 固定資産の除却額	1,775	2,586	△ 811
13 リース資産の増減額	△ 975	△ 731	△ 244
14 未払金の増減額	81,238	△ 8,061	89,300
15 買掛金の増減額	△ 3,735	1,640	△ 5,376
16 前受金の増減額	317	△ 3,480	3,798
17 預り金の増減額	2,002	2,990	△ 988
18 仮受金の増減額	0	△ 62	62
19 退職給付引当資産の増減額	0	0	0
20 退職給付引当金の増減額	0	△ 10,406	10,406
21 賞与引当金の増減額	71	1,265	△ 1,193
22 長期未払金の増減額	△ 6,621	9,570	△ 16,191
23 指定正味財産からの振替額	△ 3,391	△ 2	△ 3,389
小計	10,178	46,928	△ 36,750
3 指定正味財産増加収入			
① 受取地方公共団体補助金	403,000	11,856	391,144
② 機械装置等取得指定受託金	37,128	0	37,128
小計	440,128	11,856	428,272
事業活動によるキャッシュ・フロー	439,930	89,392	350,538
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 投資活動収入			
① 退職給付引当資産取崩収入	5,912	826	5,086
② 固定資産売却収入	29,491	0	29,491
③ 受入保証金引当資産取崩収入	0	2,485	△ 2,485
④ 財政安定特別積立金取崩収入	0	40,465	△ 40,465
⑤ 受入保証金収入	607	2,058	△ 1,451
⑥ 厚生基金返還金収入	0	48	△ 48
⑦ 機械装置費等立替金収入	61,386	336,658	△ 275,273
投資活動収入計	97,396	382,540	△ 285,144
2 投資活動支出			
① 受入保証金引当資産取得支出	527	2,058	△ 1,531
② 建設仮勘定支出	893,422	31,654	861,768
③ 什器備品取得支出	52,954	37,990	14,964
④ ソフトウェア著作権購入支出	0	500	△ 500
⑤ 受入保証金支出	80	2,485	△ 2,405
⑥ 機械装置費等立替金支出	61,386	336,658	△ 275,273
投資活動支出計	1,008,369	411,344	597,024
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 910,973	△ 28,804	△ 882,169
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 財務活動収入			
① 短期借入金収入	665,160	474,320	190,840
財務活動収入計	665,160	474,320	190,840
2 財務活動支出			
① 借入金返済支出	210,000	485,000	△ 275,000
財務活動支出計	210,000	485,000	△ 275,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	455,160	△ 10,680	465,840
IV 現金及び現金同等物の増減額	△ 15,883	49,908	△ 65,790
V 現金及び現金同等物の期首残高	287,833	237,926	49,908
VI 現金及び現金同等物の期末残高	271,951	287,833	△ 15,883



## 2 平成 25 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 公益事業①

研究開発事業を通じて、京都地域の科学技術の振興を目的とする事業

##### (ア) 先端的研究開発事業

- a LSI（集積回路）の高度化に関する研究開発事業
- b コンピューターシステムの高度化に関する研究開発事業
- c エネルギー管理システムに関する研究開発事業

##### (イ) 研究成果の応用・普及事業

- a 観光産業への応用研究事業
- b スマートシティ京都の推進支援事業
- c 情報社会論連携ユニット事業

##### (ウ) 環境分野における研究開発事業

車両適合性のある第二世代バイオディーゼル燃料利活用に向けた技術開発実証研究事業

#### イ 公益事業②

中小企業の新事業創出、経営革新等の支援事業を通じて、京都地域の産業振興を目的とする事業

##### (ア) 新事業の創出を目指した支援事業

- a 京都市地域プラットフォーム事業
- b 未来創造型企業支援プロジェクト事業
- c 新事業創出のための競争的資金獲得支援事業
- d インキュベーション支援事業
- e 起業家・専門家人材育成事業
- f ソーシャルビジネス支援事業
- g 大学発技術シーズ活用支援事業
- h JST イノベーションプラザ京都を拠点とした新産業創出支援事業

##### (イ) ライフサイエンス分野における産学公連携事業

- a 産学公ネットワーク形成事業
- b 京都バイオ計測センター運営事業
- c 医工薬産学公連携支援事業

##### (ウ) 環境分野における産学公連携事業

- a 車両適合性のある第二世代バイオディーゼル燃料利活用に向けた技術開発実証研究事業にかかる研究成果普及事業
- b 地域イノベーション戦略推進事業

##### (エ) 産学公連携による共同研究拠点運営事業

技術の橋渡し拠点整備・運営事業

##### (オ) 経営支援事業

- a 中小企業パワーアッププロジェクト事業
- b 地域中小企業外国出願支援事業
- c 「クラウド」を活用した地域産業の振興事業

##### (カ) 金融支援事業

直接貸付にかかる債権回収事業

#### ウ その他事業 情報関連等事業

##### (ア) 地域・自治体への ICT（情報通信技術）の展開

- a 自治体の IT ガバナンス推進事業
- b 京都市の情報通信システム運用事業

- c アプリケーションソフト開発実証・開発指導事業
- d 大学, 学会等への活動支援事業
- e 地域情報基盤の運営事業
- f 保護者負担経費のクラウド事業
- g 地域ヘルスケア分野への展開事業
- h スマートフォンソフトウェア開発技術の活用事業
- i コンテンツビジネスの展開事業
- j ICT 活用支援員事業
- (イ) 研究成果の応用・普及事業
  - a コンピューターシステム教育用教材の普及事業
  - b コンピューターネットワークの国際標準規格 (Ether CAT) の認証事業
- (ウ) バイオマス利用促進事業
- (エ) Team ASTEM 事業
- (オ) 賃貸事業

(2) 予算

収支予算書  
平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,580		
特定資産運用益	4		
受取会費	7,200		
事業収益	778,423		
受取補助金等	412,113		
受取負担金	9,000		
雑収益	779		
経常収益計	1,209,099		
(2) 経常費用			
事業費	1,199,538		
管理費	19,133		
経常費用計	1,218,671		
当期経常増減額	△ 9,572		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
貸倒引当金戻入額	2,938		
経常外収益計	2,938		
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0		
当期経常外増減額	2,938		
当期一般正味財産増減額	△ 6,634		
一般正味財産期首残高	103,151		
一般正味財産期末残高	96,517		
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	1,944,173		
事業収益	17,000		
一般正味財産への振替額	△ 64,091		
当期指定正味財産増減額	1,897,082		
指定正味財産期首残高	671,851		
指定正味財産期末残高	2,568,933		
III 正味財産期末残高	2,665,450		

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	2,169,839	2,082,638	1,910,706	1,209,099
	当期経常増減額	133,775	29,021	25,401	△9,572
	当期正味財産増減額	128,251	42,462	426,361	1,890,448
貸借対照表	総資産	1,184,158	1,213,114	2,167,459	
	総負債	850,326	836,819	1,364,804	
	正味財産	333,833	376,294	802,655	
	基本財産	300,000	300,000	300,000	
	累積損益額	33,833	76,294	502,655	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	京都高度技術研究所建物維持管理	101,619	57,747		
	IT ガバナンスの強化に係る調査・分析・提案業務		19,845	18,620	
	観光文化情報システムの運用開発	17,500	15,000	15,210	
	京都市広報課情報発信	5,036	3,489		
	生涯学習システムの運用	4,472			
	京都市役所 LAN 運用管理	86,334	63,317	65,790	
	京都市産業技術研究所工業技術センターサーバ管理	1,317			
	京都市産業技術研究所業務システム構築	29,343	35,984	11,132	
	京都市立大学芸術大学ネットワーク運用管理	5,871	10,816		
	京都市立病院機構ネットワーク運用管理	2,142			
	学校預り金システムの開発	3,367	2,100	3,095	
	「楽しく学べる動物園」の開発・運用	75,000	500	500	
	京都デザイン活用促進事業		20,000		
	歩くまち・京都 バス・鉄道乗換情報発信事業			95,542	

(単位：千円)

	H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
その他開発等事業 (区役所 HP 管理等)	4,866	7,020	17,339	
京都バイオシティ構想の推進	16,020	14,749	13,275	
地域産学官共同研究拠点事業		30,110	60,258	
医工薬産学公連携支援事業	18,975	22,225	23,128	
高度先端医療技術 (ナノメディシン) 研究開発支援事業	18,740	17,720	5,583	
京都発革新的医療技術研究開発助成事業		3,500	3,500	
京都発実用化開発支援事業	9,000	6,750	3,000	
京都市創業支援工場運営支援	378	378		
京大桂ベンチャープラザ インキュベート支援	18,610			
クリエイション・コア京都御車 インキュベート支援	7,930			
京大桂ベンチャープラザ及び クリエイション・コア京都御車 インキュベート支援		27,380	25,020	
京都市ベンチャー企業目利き委員会 運営業務	7,575	9,320	8,838	
ICT 活用支援員事業 (ICT アシスタント 派遣事業)	58,800	60,000	60,000	
中京区まちづくり次世代推進者教育 支援	900	900		
クリエイター育成実践講座	4,000			
知恵産業融合センター推進事業	4,800			
大学発技術シーズの活用支援事業		3,000	3,000	
ソーシャルビジネス支援事業		6,000	4,400	
「京の環境みらい創生事業」事務局 運営業務		6,500		
バイオディーゼル燃料化に関する 調査・研究業務		9,400		
京都市中小企業融資制度相談業務 等委託	1,035	604		
中小企業融資制度における新制度 創設に伴う相談体制の強化委託	3,430			
きもの KYOTO アンテナショップ運営 業務	100,000	100,000	85,000	

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
補助金	運営補助	131,116	139,573	142,543	134,720
	ベンチャービジネス育成助成事業	849	189		
	ベンチャー・中小企業ネットワーク支援事業(地域プラットフォーム事業)	52,183	47,253	53,317	34,000
	未来創造型企業支援プロジェクト	19,950	22,840	27,783	19,360
	京都市ベンチャー企業目利き委員会Aランク認定企業フォローアップ事業			1,300	
	被災企業サポーター事業		3,559		
	知的クラスター事業補助金(第Ⅱ期)	41,500	41,500	41,500	
	地域イノベーション戦略推進事業				29,000
	産業支援機関の強化(市内中小企業のIT化)	3,300	3,036		
	産業支援機関の強化(市内IT企業の振興)	2,700	9,484		
	中小・ベンチャー企業成長戦略支援事業(チームASTEMプロジェクト)	8,000			
	産業支援機関の強化(産業力の融合推進委員会の運営)	3,232	4,520		
	技術の橋渡し拠点整備事業		11,856	403,000	585,000
	技術の橋渡し拠点運営事業				37,000
	中小企業創業・経営支援事業補助金	10,688	12,349	600	
	中小企業パワーアッププロジェクト補助	40,669	44,480	30,545	45,526
	中小・ベンチャー企業に対する知財活用・活性化事業補助	825			
	東日本大震災緊急融資制度創設に伴う相談体制強化事業		1,978		
	緊急震災対策フルサポート事業		6,112		
	直接貸付事業補助金	160,000			
立地移転費用補助金	3,390				
クラウド・ビジネス創出事業			5,000	5,000	

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成24年度は、平成23年度に引き続き、国や大学等から多くの事業を受託したことやIPアドレスの売却などから、一般会計における当期経常増減額と当期経常外増減額を合わせた額は約5千万円の黒字となり、当期正味財産増減額は4期連続で黒字を確保した。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>京都市新価値創造ビジョンに掲げる事業など、本市産業振興の核となる施策を実施する産業支援機関として、「京都市ベンチャー企業目利き委員会」やオスカー認定制度を設け、次代を担うベンチャー企業や積極的な経営革新に取り組む中小企業に対して、専任のコーディネータ等による経営・知財相談や研究開発補助、販路開拓支援等を行うことにより、企業の成長支援に努めている。</li><li>第Ⅱ期知的クラスター創成事業、地域産学官共同研究拠点「知恵の輪」(バイオ計測プロジェクト)、「技術の橋渡し」拠点事業など、科学技術の研究開発の促進、次期リーディング産業の創出に大きな役割を果たす事業を運営し、本市の産業振興に大きく貢献している。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成23年度に引き続き、黒字を計上しており、このすう勢を続けていくことが望まれる。しかし、今後も厳しい状況が続くと予想されることから、経費削減など財務改善に努める必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>研究民間受託件数や特許出願件数は、平成23年度実績を下回っており、一層の創意工夫が必要である。</li></ul>

# 株式会社京都産業振興センター

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

代表取締役社長 波部美利

### 2 所在地

京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1

### 3 電話番号

075-762-2633

### 4 ホームページアドレス

<http://www.miyakomesse.jp/> (京都市勸業館)

<http://www.kyotokan.jp/> (京都館)

### 5 設立年月日

平成5年4月27日

### 6 資本金

90,000千円 (うち本市出資額 54,000千円, 出資率 60.0%)

### 7 事業目的

京都市勸業館 (美術工芸ギャラリー含む。) の管理運営, 展示会, 見本市等の企画開催及び誘致ほか

### 8 業務内容

(1) 京都市勸業館 (美術工芸ギャラリー含む。) の管理運営

(2) 京都伝統産業ふれあい館の管理 (公益財団法人京都伝統産業交流センターとの連携による。)

(3) 展示会, 見本市等の企画開催及び誘致

(4) 京都館の管理運営

### 9 所管部局

産業観光局商工部産業総務課 (TEL075-222-3333)

### 10 役員名等

(1) 取締役会長

塚本稔 (副市長)

(2) 代表取締役社長

波部美利

(3) 取締役

岡本圭司, 奥原恒興, 渡邊隆夫, 林史己, 安村幸駿, 白須正 (産業観光局長),

山本達夫 (産業観光局商工部長)

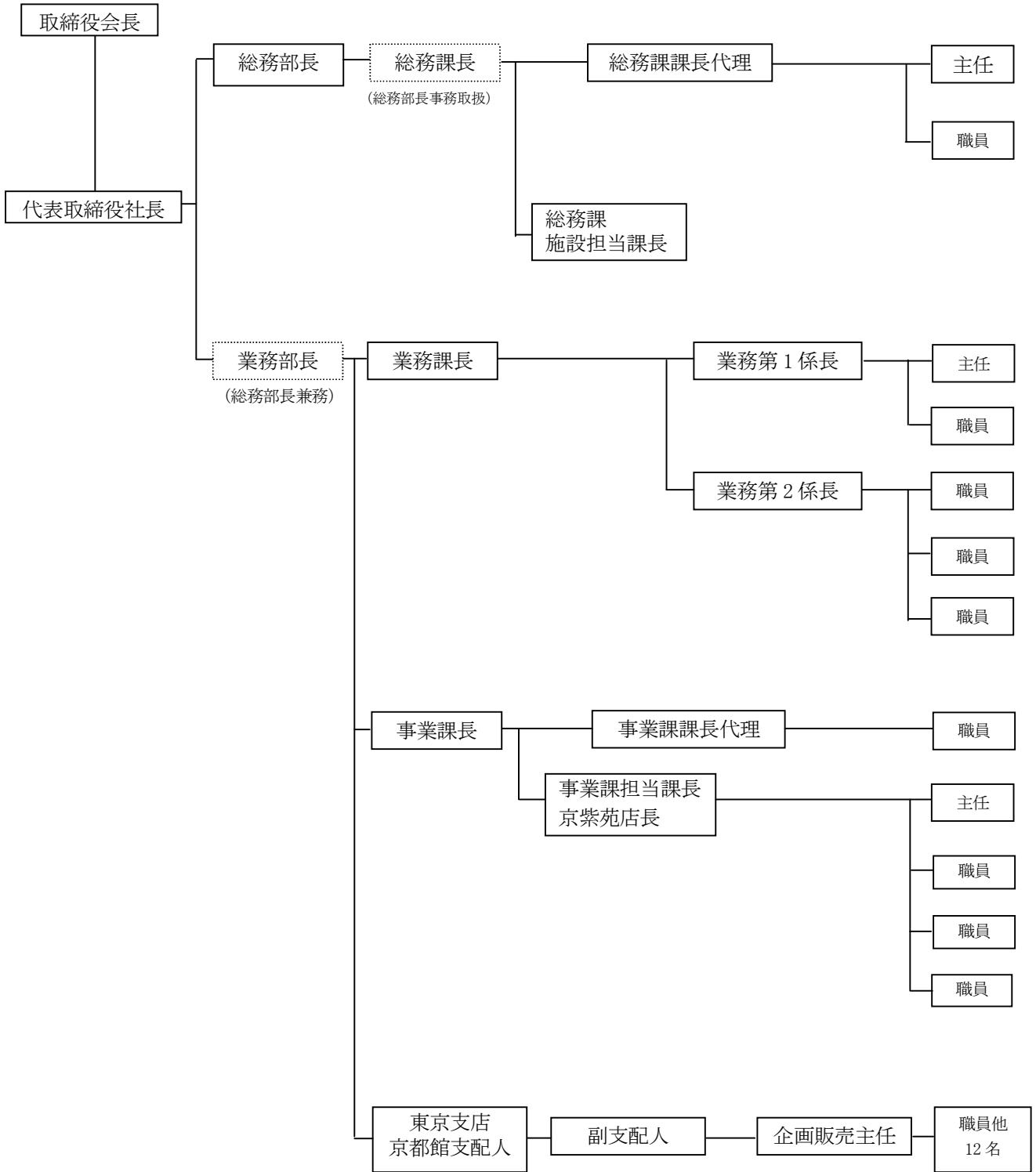
(4) 監査役

坂本勝, 外村弘樹

### 11 常勤職員数

36人 (うち本市派遣職員0人)

12 組織機構





## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 京都市勸業館の指定管理

###### (ア) 展示場の利用状況

面積稼働率 47.43%, 利用件数 479件

###### (イ) 会議室の利用状況

稼働率 41.86%

##### イ 京都市伝統産業ふれあい館ミュージアムショップ「京紫苑」の運営

###### (ア) ミュージアムショップ「京紫苑」商品売上 46,047千円

###### (イ) 京都市伝統産業ふれあい館の入館者数 215,281人 (参考)

##### ウ 美術工芸ギャラリー (勸業館内) の運営 (自主事業)

稼働延べ日数 469日, 稼働率 65.50%

##### エ 京都館の管理運営 (受託事業)

###### (ア) 来館者数 253,371人

###### (イ) 情報コーナー利用者数 99,796人

###### (ウ) 物販売上 147,806千円

#### (2) 財務諸表

#### 貸借対照表 平成25年3月31日現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[594,167]	流動負債	[199,713]
現金預金	547,362	買掛金	14,085
売掛金	2,968	未払金	68,113
商品	5,502	未払消費税等	5,328
前払金	676	未払法人税等	13,655
前払費用	617	前受金	95,390
未収入金	37,240	預り金	3,143
貸倒引当金	△198	固定負債	[14,729]
固定資産	[19,942]	退職給付引当金	11,729
(有形固定資産)	(18,810)	預り保証金	3,000
建物	10,532	負債合計	214,442
器具備品	8,278	純資産の部	
(無形固定資産)	(1,128)	株主資本	[399,666]
電話加入権	381	資本金	(90,000)
ソフトウェア	748	利益剰余金	(309,666)
(投資その他の資産)	(4)	付帯設備改善積立金	40,000
出資金	4	別途積立金	200,000
		繰越利益剰余金	69,666
		純資産合計	399,666
資産合計	614,109	負債及び純資産合計	614,109

損 益 計 算 書  
平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		800,542
売上原価		312,785
売上総利益		487,758
販売費及び一般管理費		451,771
営業利益		35,987
営業外収益		
受取利息	1,019	
雑収入	5,313	6,333
営業外費用		0
経常利益		42,319
特別利益		0
特別損失		
固定資産除却損		399
税引前当期純利益		41,920
法人税，住民税及び事業税		17,956
当期純利益		23,965

株主資本等変動計算書  
平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			株主資本 合計	
			付帯設備 改善積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
前期末残高	90,000	-	40,000	199,000	46,702	375,702	375,702
当期変動額							
剰余金の配当							
積立金の取崩					△ 1,000	△ 1,000	
積立金の積立				1,000		1,000	
当期純利益					23,965	23,965	23,965
当期変動額合計	-	-	-	1,000	22,965	23,965	23,965
当期末残高	90,000	-	40,000	200,000	69,666	399,666	399,666

## 2 平成 25 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 勸業館事業

- (ア) 利用率向上のため、様々な手段を利用して宣伝・広告を行う。
  - a 広告の活用
  - b ホームページの充実
  - c キャッチフレーズの作成と活用
  - d イベントガイドの作成と活用
  - e 「京都館」情報コーナーの活用
- (イ) 継続利用・新規、地元・その他（首都圏・大阪圏）の種別に沿った戦略を取り、きめ細やかで、かつ、積極的・創造的な営業活動を実施する。
  - a 地元（京都）へのアプローチ
  - b 首都圏・大阪圏等へのアプローチ
  - c 閑散期対策
- (ウ) 積極的・計画的な修繕・改良を行うとともに、利用者のニーズに応じた備品・設備を整え、利用率の向上を図る。
  - a 施設・設備の整備
  - b IT 環境の整備と IT 機器の貸出し
  - c 付属設備（自動販売機、コピー、FAX、プリンター、コインロッカー、車いす等）の充実
  - d 貸出し備品（いす・長机、大型スクリーン、プロジェクター、音響・映像機器等）の充実

#### イ 美術工芸ギャラリー事業

- (ア) 連続 5 日間以上利用する場合、前後各 1 日を無料提供する「ワンウィークサービス」制度を実施し、更にその利用者を拡大する。
- (イ) 無料貸出し備品の充実や主催者への平面駐車場（荷捌場）の無料提供を実施するとともに、ポスターやパンフレット、ポストカード等の印刷発注の代行等、利用者のニーズに対応する。

#### ウ レストラン事業

- (ア) 売上の確保に向けた取組
- (イ) 運営サービスの向上
- (ウ) 魅力的なメニューの提供

#### エ 京都伝統産業ふれあい館内ミュージアムショップ「京紫苑」事業

- (ア) 特別販売の実施
- (イ) カタログ販売の実施
- (ウ) ダイレクトメールの活用

#### オ 自主企画事業

- (ア) みやこめっせウェルカムプラン（京都伝統産業おもしろ体験講座）事業
- (イ) 京ものフェスティバル
- (ウ) 岡崎魅力づくり推進協議会連携事業
- (エ) 二条通にぎわい創出事業
- (オ) 桜祭り
- (カ) みやこめっせ防災フェア
- (キ) 夏祭り など

#### カ 京都館事業

平成 25 年度も、京都市から京都館事業を受託し、京都市との連携の下、首都圏での京都情報の発信及び京都館の認知度の向上に積極的に取り組む。

併せて物販事業を行い、伝統工芸品を中心とした京都産品の普及啓発に努める。

- (ア) 主な受託事業
  - a 情報発信事業 情報コーナーの充実
  - b 京都館ニュース 毎月発行 発行部数 10,000 部

- c 京都館ホームページによる情報発信の強化
- d イベント，セミナーの実施
- e 観光キャンペーンの実施

(イ) 物販事業

平成 25 年度は 14,300 万円を目標に物販，各種参加料，広告収入の増加に取り組む。  
そのため，自主企画によるフェアや，京都館みやこ会の会員拡大，法人特注などに積極的に取り組む。

キ 社員研修

社員の意欲，能力の向上を目指して社員研修を計画的に進める。

- (ア) 全体研修
- (イ) 管理監督者研修
- (ウ) 業務研修
- (エ) 自己研修
- (オ) 業績評価シートによる評価制度の導入

ク 第三者機関による経営評価の実施

外部の第三者専門家の意見を経営に反映するため経営評価委員会を設置しており，平成 25 年度も 4 月と 10 月の 2 回開催する予定である。

(2) 予算

収 支 計 画  
平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
施設利用料収入	494,200	施設負担金・賃借料	181,600
駐車場利用料収入	61,000	商品仕入高	136,700
美工ギャラリー使用料収入	4,400	ウェルカムプラン事業費	2,300
商品売上	187,700	人件費	153,000
業務受託収入	48,500	賃借料	6,100
テナント管理収入	15,900	事業費	15,700
ウェルカムプラン事業収入	3,500	広告宣伝費	24,500
事業収入	3,200	事務運営費	38,200
協賛広告収入	7,000	水道光熱費	114,800
その他収入	600	修繕費	33,100
営業外収益	7,300	警備委託費	25,100
		清掃委託費	15,200
		管理委託費	51,000
		減価償却費	6,790
		租税公課	12,210
収入合計	833,300	支出合計	816,300

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
損益計算書	売上高	772,319	821,692	800,542	826,000
	経常利益	36,970	34,276	42,319	17,000
	当期利益	22,554	18,820	23,965	
	減価償却前利益	31,539	27,615	30,017	
貸借対照表	総資産	560,704	564,487	614,109	
	総負債	203,822	188,785	214,442	
	純資産	356,882	375,702	399,666	
	資本金	90,000	90,000	90,000	
	累積損益額	266,882	285,702	309,666	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	「京都館」管理運営	50,932	50,689	50,681	
	首都圏観光シティセールスの「首都圏における定期情報発信業務」	308	308	308	

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>単年度黒字を維持しており、財務状況は良好である。売上面では、展示場稼働率の減少等により、前年度実績を下回ったが、利益面では、販売費及び一般管理費の減少などにより、前年度を上回っており、評価できる。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都市勧業館指定管理者における事業の根幹である勧業館展示場の稼働率については、平成23年度に実施された特需ともいえる大型催事がなくなったことなどにより平成23年度実績を下回ったが、平成22年度実績は上回っており、一定評価できる。</li> </ul>

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上高は平成23年度を下回ったものの、費用も減少していることから、経常利益は平成23年度比で増加した。</li> <li>減価償却費が減少しているが、施設の修繕費等に備え、引き続き経費削減を進める必要がある。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示場稼働率は平成23年度に比べて低下しているものの、訪問営業件数は平成23年度を上回っている。展示場稼働率の向上に向けた努力の継続が望まれる。</li> </ul>

保健福祉局

# 公益財団法人京都市障害者スポーツ協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 芝田徳造

### 2 所在地

京都市左京区高野玉岡町5

### 3 電話番号

075-702-3370

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-syospo.or.jp/>

### 5 設立年月日

昭和63年4月1日

### 6 基本財産

25,000千円（うち本市出えん額 25,000千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

京都市における障害のある人のスポーツの振興と健康の増進を図り，社会参加を促すとともに，障害のない人との共生社会の実現に努め，もって福祉の向上に寄与することを目的とする。

### 8 業務内容

- (1) 障害のある人のスポーツの振興事業
- (2) 障害のある人の健康の維持・増進に関する事業
- (3) 障害のある人の文化・レクリエーションの振興事業
- (4) 障害のある人への理解を進めるための事業
- (5) 障害者スポーツ施設等の運営事業
- (6) その他，この法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

保健福祉局障害保健福祉推進室（TEL075-222-4161）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

芝田徳造

#### (2) 常務理事

北山俊二

#### (3) 理事

内田寛治，水谷裕，福林文孝（文化市民局スポーツ担当局長），近藤幸一，野地芳雄，安部康則（保健福祉局障害保健福祉推進室長），日野勝，直野信之，松井輝夫

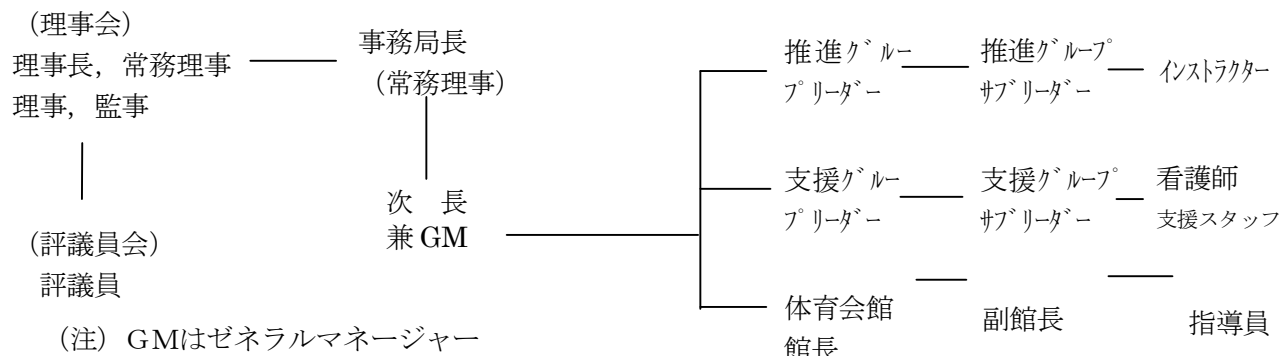
#### (4) 監事

堀村不器雄，壁純一郎，井尻圭一（保健福祉局障害保健福祉推進室社会参加推進課長）

### 11 常勤職員数

17人（うち本市派遣職員0人）

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 障害のある人のスポーツ振興事業

- (ア) 教室等開催事業（センター開催）（全30教室，延べ292回，3,076人参加）
- (イ) スポーツ大会等開催事業（センター開催）（全9事業，延べ1,752人参加）
- (ウ) 各種スポーツ体験会・つどい等の開催事業
  - a センター開催（全3事業，延べ28回，672人参加）
  - b 会館開催（全2事業，延べ49回，399人参加）
- (エ) 講習会等開催事業
  - a 講習会
    - (a) センター開催（全7事業，延べ357人参加）
    - (b) 会館開催（全1事業，延べ11人参加）
  - b センター登録ボランティアのための研修会（全10回，延べ143人参加）
- (オ) 地域でのスポーツ振興事業（センター実施）（全6施設，112回）
- (カ) 講習会・大会等への派遣事業（センター・会館）
  - a 資格取得のための派遣
 

日本赤十字社救急法救急員（4名），日本障害者スポーツ協会公認上級障害者スポーツ指導員（1名），日本障害者スポーツ協会公認障害者初級スポーツ指導員（1名），手話検定3級（1名），JASエクササイズ初中級クラス（1名），幼児体育指導者2級（1名），日本水泳連盟公認「基礎水泳指導員」養成講習会（1名），Gボールインストラクター認定講習会（2名，内会館1名）
  - b 京都市発達障害者支援センターへの研修生派遣（1名）
  - c 日本自閉症スペクトラム学会第11回研究会への派遣（1名）
  - d 健康運動指導士登録講習会への派遣（2名）
  - e 第36回日本障害者体育・スポーツ研究会への派遣（1名）
  - f 第12回全国障害者スポーツ大会（ぎふ清流大会）リハーサル大会への役員派遣（1名）
  - g 第12回全国障害者スポーツ大会（ぎふ清流大会）開会式への役員派遣（2名）
  - h 第12回全国障害者スポーツ大会（ぎふ清流大会）への役員派遣（5名）
  - i 第32回全京都障害者総合スポーツ大会開会式・閉会式への派遣（1名）
  - j 第29回日本身体障害者水泳選手権大会への役員派遣（1名）
  - k 障害者シンクロナイズドスイミング指導者養成講習会・体験会への派遣（1名）
  - l 日本障害者スポーツ協会公認障害者中級スポーツ指導員養成講習会への講師派遣（1名）
  - m 全国車いす駅伝競走大会への役員派遣（3名，内会館2名）
  - n 平成24年度春季静岡水泳記録会への派遣（1名）



- o 知的障害のある方にリクリエーショナルスポーツを普及するための講習会への派遣（4名）
- p 第9回関東障害者シンクロナイズドスイミング発表会&競技会への派遣（1名）
- q 2012 ジャパンパラ水泳競技大会への競技役員派遣（1名）
- イ 障害のある人の健康の維持・増進に関する事業
  - (ア) 健康のための運動指導事業
    - a センター開催（全18種目，延べ259回，7,406人参加）
    - b 会館開催（全2種目，延べ26回，371人参加）
  - (イ) 相談事業（センター開催）
    - a 医師によるスポーツ医事相談（21件）
    - b 理学療法士によるスポーツ医事相談（31件）
    - c 職員による新規面談及び新規指導（個人面談444人，新規指導6人）
    - d 運動プログラムの作成，指導 578件（延べ回数）
- ウ 障害者のある人の文化・レクリエーションの振興事業
  - (ア) 文化教室等開催事業
    - a センター開催（全5事業，延べ54回，延べ680人参加）
    - b 会館開催（全1事業，延べ4回，延べ4人参加）
  - (イ) レクリエーション教室等開催事業
    - a センター開催（全9事業，延べ105回，3,422人参加）
    - b 会館開催（全3事業，延べ103回，2,418人参加）
- エ 障害のある人への理解を進めるための事業
  - (ア) イベント等開催事業（センター開催）（全5事業，延べ5,747人参加）
  - (イ) 交流事業
    - a センター開催（全7事業，延べ71回，延べ1,889人参加）
    - b 会館開催（全1事業，延べ1回，延べ151人参加）
  - (ウ) 啓発事業（センター実施）
    - a 実習，職場体験学習等の受け入れ（延べ6人）
    - b 見学等の受け入れ（全24件，延べ632人）
    - c 他団体からの依頼による館内での指導（全10団体，延べ12回）
- オ 障害者スポーツ施設等の運営事業
  - (ア) 施設管理事業
    - a 京都市障害者スポーツセンター
 

日本赤十字救急法救急員講習会派遣（4名），スポーツ教室等の指導マニュアルの策定，スポーツセンター利用に係る業務，手話研修（24回），点字研修（17回），消防総合訓練（2回），救急法等安全管理のための研修（46回）・心肺蘇生法個人練習（36回），京都府視覚障害者協会定時総会への派遣（1名），京都府体育施設協会理事会・総会への派遣（1名），食中毒感染症予防対策講習会への派遣（1名），安全運転管理者講習派遣（1名），全国手話検定試験3級資格取得（1名），京都労働健康管理会への派遣（1名），第28回障害者スポーツセンター協議会派遣（11名），公益法人協会の実施する研修会への派遣（延べ7名），平成24年度障害者スポーツ協会協議会派遣（1名），図書室の運営（延べ2,616人利用），疾病への対応（病気によるもの39件，怪我によるもの65件）
    - b 京都市障害者教養文化・体育会館
 

体育会館利用に係る業務，消防総合訓練（2回），心肺蘇生法個人練習（36回），疾病への対応（怪我によるもの6件）
  - (イ) 施設整備事業
    - a 京都市障害者スポーツセンター
      - (a) 必要な施設・設備・備品等の改修（3件） ※1件50万円以上のもの

- (b) 必要な備品の調達 (3件) ※1件20万円以上のもの
- (c) 環境マネジメントシステム (K E S) の継続改善実施
- b 京都市障害者教養文化・体育会館
  - (a) 必要な施設・設備・備品等の改修 (1件) ※1件50万円以上のもの
  - (b) 必要な備品の調達 (1件) ※1件20万円以上のもの
- (ウ) 便宜供与事業 (センター実施)
  - a 定期送迎バスの運行 (総運行日数280日, 延べ4,813人利用)
  - b 申請による送迎バスの運行 (全4団体, 延べ39名利用)
  - c 点字プリンターの供用 (延べ10名利用)
- (エ) 宣伝事業
  - a センター機関紙発行 (全4回, 各2,000部)
  - b 体育会館機関紙発行 (全4回, 各1,500部)
  - c 平成23年度事業概要(年報)の発行 (1回, 500部)
  - d ホームページによる情報発信
    - (a) センター (アクセス数152,526件/年間)
    - (b) 会館 (アクセス数2,000件/9ヶ月)
  - e センター利用カレンダーの配布
  - f センター近隣の清掃・美化活動 (222日実施)
- カ その他, この法人の目的を達成するために必要な事業
  - (ア) 京都市障害者スポーツセンターにおける物品販売 (水着, 水泳帽等)
  - (イ) 京都市障害者教養文化・体育会館における施設貸与事業

(2) 財務諸表

貸借対照表  
平成25年3月31日現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[80,006]	流動負債	[20,795]
現金預金	79,231	未払金	13,061
未収金	445	預り金	1,663
前払金	82	賞与引当金	6,071
仮払金	24		
繰越商品	225	固定負債	[26,603]
固定資産	[196,608]	共済会退職給付引当金	26,603
(基本財産)	(25,000)		
投資有価証券	25,000		
(特定資産)	(160,340)	負債合計	47,399
減価償却引当資産	30,840		
特別修繕引当資産	57,493	正味財産の部	
修繕引当資産	3,000	指定正味財産	[25,738]
事業平準化積立資産	34,000	京都市出えん金	25,000
体育会館運営引当資産	2,300	受贈什器備品	738
体育会館整備引当資産	10,000	(うち基本財産への充当額)	(25,000)
共済会退職給与預け金	22,707	一般正味財産	[203,478]
(その他の固定資産)	(11,269)	(うち特定資産への充当額)	(160,340)
構築物	253		
車両運搬具	1,466		
什器備品	8,984		
ソフトウェア	491		
電話加入権	75		
資産合計	276,615	正味財産合計	229,216
		負債及び正味財産合計	276,615

正味財産増減計算書  
平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	262	311	△ 49
② 特定資産運用益	178	274	△ 96
③ 事業収益	235,450	234,365	1,085
④ 受取助成金	794	790	4
⑤ 雑収益	1,173	1,018	155
経常収益計	237,857	236,759	1,098
(2) 経常費用			
① 事業費	222,126	215,038	7,088
② 管理費	4,855	4,816	39
経常費用計	226,981	219,854	7,127
当期経常増減額	10,876	16,905	△ 6,029
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 退職給与移管収益	0	67	△ 67
経常外収益計	0	67	△ 67
(2) 経常外費用			
① 什器備品除却損	3	9	△ 6
② ソフトウェア除去損	0	184	△ 184
経常外費用計	3	193	△ 190
当期経常外増減額	△ 3	△ 126	123
当期一般正味財産増減額	10,873	16,779	△ 5,906
一般正味財産期首残高	192,605	175,826	16,779
一般正味財産期末残高	203,478	192,605	10,873
II 指定正味財産増減の部			
① 受取寄付金	0	100	△ 100
② 基本財産運用益	262	311	△ 49
③ 一般正味財産への振替額	△ 655	△ 701	46
当期指定正味財産増減額	△ 393	△ 290	△ 103
指定正味財産期首残高	26,131	26,421	△ 290
指定正味財産期末残高	25,738	26,131	△ 393
III 正味財産期末残高	229,216	218,736	10,480

## 2 平成 25 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 障害のある人のスポーツの振興事業

##### (ア) 教室等開催事業

センター開催 (全 32 教室, 延べ 309 回)

##### (イ) スポーツ大会等開催事業

a センター開催 (全 11 種目)

b 会館開催 (全 1 種目)

##### (ウ) 各種スポーツ体験会・つどい等開催事業

センター開催 (全 3 種目, 延べ 29 回)

##### (エ) 講習会等開催事業

a センター開催 (全 8 種目, 延べ 24 回)

b 会館開催 (全 1 種目)

##### (オ) 地域でのスポーツ振興事業 (センター)

a 施設へのスポーツ指導のための職員派遣 (全 5 施設)

b 新しい障害者スポーツの開発

##### (カ) 大会等への派遣事業

#### イ 障害のある人の健康の維持・増進に関する事業

##### (ア) 健康のための運動指導事業

a センター開催 (全 22 種目, 延べ 248 回)

b 会館開催 (全 5 種目, 延べ 48 回)

##### (イ) 相談事業

a センター開催

(a) 医師, 理学療法士によるスポーツ医事相談 (全 48 回)

(b) 運動プログラムの作成, 指導

b 会館開催

(a) 理学療法士によるスポーツ医事相談

#### ウ 障害のある人の文化・レクリエーションの振興事業

##### (ア) 文化教室等開催事業

a センター開催 (全 7 種目, 延べ 101 回)

b 会館開催 (全 1 種目)

##### (イ) レクリエーション教室等開催事業

a センター開催 (全 6 種目, 延べ 107 回)

b 会館開催 (全 3 種目)

#### エ 障害のある人への理解を進めるための事業

##### (ア) イベント等開催事業

センター開催 (全 4 種目)

##### (イ) 交流事業

a センター開催 (全 8 種目, 延べ 121 回)

b 会館開催 (全 1 種目)

##### (ウ) 啓発事業 (実習生及び見学等の受入れ)

#### オ 障害者スポーツ施設の運営事業

##### (ア) 施設管理事業

a 京都市障害者スポーツセンター

(a) スポーツセンター利用にかかる業務

(b) 安全管理マニュアルの策定

(c) 救急法, 手話, 点字, 障害者スポーツ, 総合消防訓練, その他外部への講習会や研修

会への派遣

- (d) 図書室の運営
- b 京都市障害者教養文化・体育会館開催
  - (a) 体育会館利用にかかる業務
  - (b) 救急法, 総合消防訓練等
  - (c) トレーニング機器説明会
- (イ) 施設整備事業
  - a 京都市障害者スポーツセンター
    - (a) 必要な施設の改修
    - (b) 必要な備品の調達
    - (c) 環境マネジメントシステム (K E S) の継続改善実施
  - b 京都市障害者教養文化・体育会館  
トレーニング機器の整備, 拡充
- (ウ) 便宜供与事業
  - a 京都市障害者スポーツセンター
    - (a) 送迎バスの運行
    - (b) 点字プリンターの提供
  - b 京都市障害者教養文化・体育会館  
送迎バスの運行
- (エ) 宣伝事業 (センター・体育会館)
  - a 機関紙の発行
  - b 事業概要, 25周年記念誌の発行
  - c ホームページの運営
  - d 利用カレンダーの作成
- カ その他の事業 (公益目的事業の推進に資する事業)
  - (ア) 物品販売事業
  - (イ) 体育会館の施設貸与等事業
- キ 25周年事業 (センター開催 (前掲))
  - (ア) 教室 (全4教室)
  - (イ) 大会 (全10種目)
  - (ウ) 体験会 (全6種目)
  - (エ) イベント (全2種目)
  - (オ) その他

## (2) 予算

収 支 予 算 書  
平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	263	263	0
特定資産運用益	219	219	0
事業収益	234,688	234,657	31
受取助成金	707	755	△ 48
雑収益	680	870	△ 190
経常収益計	236,557	236,764	△ 207
(2) 経常費用			
事業費	232,087	227,056	5,031
管理費	4,917	5,308	△ 391
経常費用計	237,004	232,364	4,640
当期経常増減額	△ 447	4,400	△ 4,847
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 447	4,400	△ 4,847
一般正味財産期首残高	192,605	188,205	4,400
一般正味財産期末残高	192,158	192,605	△ 447
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	263	263	0
一般正味財産への振替額	△ 625	△ 623	△ 2
当期指定正味財産増減額	△ 362	△ 360	△ 2
指定正味財産期首残高	26,131	26,491	△ 360
指定正味財産期末残高	25,769	26,131	△ 362
III 正味財産期末残高	217,927	218,736	△ 809

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	216,658	236,759	237,857	236,557
	当期経常増減額	18,768	16,905	10,876	△447
	当期正味財産増減額	18,622	16,489	10,480	△809
貸借対照表	総資産	237,802	258,821	276,615	/
	総負債	35,555	40,085	47,399	
	正味財産	202,247	218,736	229,216	
	基本財産	25,000	25,000	25,000	
	累積損益額	177,247	193,736	204,216	

(参考2) 京都市からの補助金等

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	京都市障害者スポーツセンター管理運営委託(指定管理)	208,240	206,000 (※)	206,275 (※)	206,276 (※)
	京都市障害者教養文化体育会館管理運営委託(指定管理)		20,995	21,121	21,121

(※) 一部利用料金制

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務面では当期正味財産増減額ベースで単年度黒字を維持しており、健全な財務状況にある。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者スポーツセンターでは、障害者スポーツの振興事業に加えて、文化・レクリエーション事業についても幅広い事業を開催している。その結果、平成24年度は年間17万人弱の利用があった。</li> <li>障害者教養文化・体育会館では、条例を改正し、和室をトレーニング室に改修することで、個人の利用増を図っていく。</li> <li>アンケート調査等を積極的に活用し、利用者のニーズを反映した事業展開を行っている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員に対する、手話検定や障害者スポーツ指導員等の資格取得を積極的に勧奨しており、障害のある方が、より利用しやすい施設運営に努めている。</li> </ul>

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度に引き続き当期正味財産増減額の黒字を計上している。今後とも、安定した財務体質を維持していくことが望まれる。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者スポーツセンターの施設総利用者数やホームページのアクセス数は大きく増加している。今後もこのすう勢を維持することが望まれる。</li> </ul>

# 公益財団法人京都市健康づくり協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 田中叡峰

### 2 所在地

京都市南区西九条南田町 1-2

### 3 電話番号

075-662-1300

### 4 ホームページアドレス

<http://healthpia21.net/> (京都市健康増進センター)

### 5 設立年月日

平成5年1月8日

### 6 基本財産

50,000千円 (うち本市出えん額 50,000千円, 出えん率 100.0%)

### 7 事業目的

市民が安全で効果的な健康づくりを行えるように、健康づくりの理論の確立及び実践のための環境整備に関する事業を行い、市民の健康と福祉の向上に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 健康づくりを図るための実践活動の推進
- (2) 健康づくりに関する調査, 研究及び情報の提供
- (3) 健康づくり関連団体等との連携及び協力並びに当該団体等の活動の振興
- (4) 健康づくり指導者の養成及び研修
- (5) 京都市健康増進センターの管理運営
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

保健福祉局保健衛生推進室保健医療課 (TEL075-222-3411)

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

田中叡峰

#### (2) 常務理事

吉田英昭

#### (3) 理事

森洋一, 平塚靖規, 我部山キヨ子, 宇野進, 轟英彦, 岸部公子, 黒田清喜, 板垣泰子, 瀧本章 (保健福祉局保健医療・介護担当局長), 里村由紀子 (南区役所副区長)

#### (4) 監事

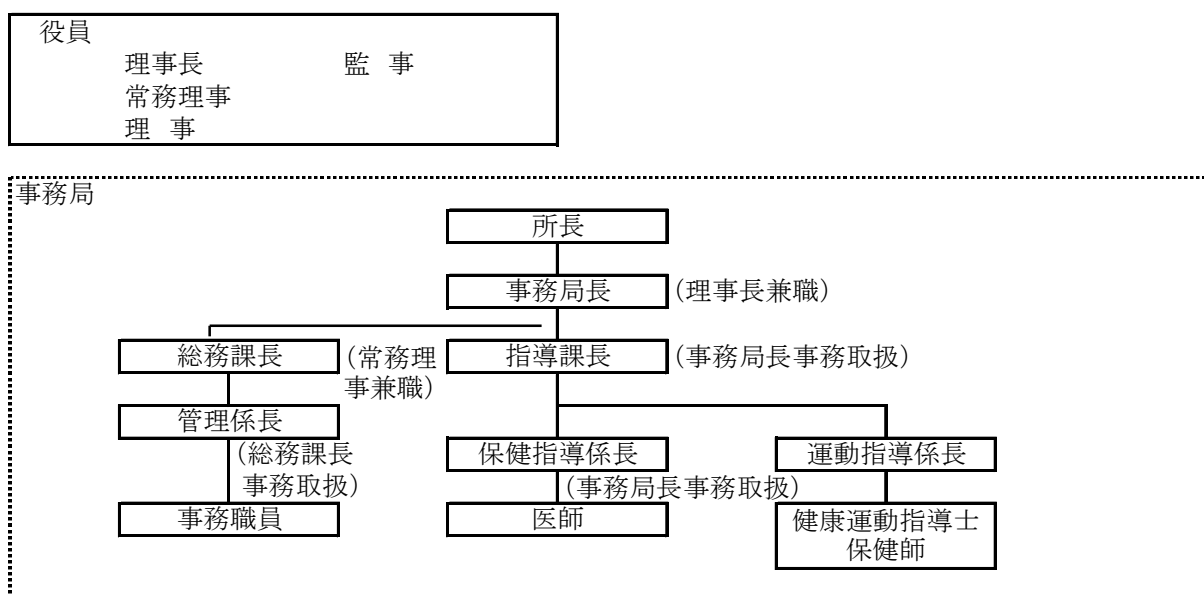
大川雅司, 杉浦晋也 (保健福祉局保健衛生推進室保健医療課長)

### 11 常勤職員数

11人 (うち本市派遣職員 0人)



## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

市民の総合的な健康づくりと健康の保持増進を図るため、京都市健康増進センター（ヘルスピア21）を拠点として、医師、保健師、看護師、臨床検査技師、管理栄養士、健康運動指導士等の専門スタッフと医療設備及びプール、トレーニングルーム等の運動設備など、健康増進センターの機能を最大限に活用し、個々の利用者のニーズに合った施設利用を追求し、安全で効果的な各種の健康づくり事業に取り組んだ。

平成24年度は、下京区歩歩塾の受託等事業の拡大及び経費の縮減等に努めることにより、収支は約230万円の黒字となり、正味財産額は約8,757万円となった。

#### ア 中高年齢者に対する健康保持増進事業

##### (ア) 介護予防事業の推進

市民の健康増進、発病予防、生活機能低下の早期発見・早期対応に向け、平成15年度に作成された運動プログラムの「京から始めるいきいき筋力トレーニング」（京都市オリジナル）や、平成17年度に他都市に先駆けて導入した「油圧式筋力トレーニングマシン」、運動指導、栄養指導に係る専門スタッフを活用し、次の介護予防事業を実施した。

- a シニア体力向上教室
- b ウエイトアップ&食事バランス教室（高齢者低栄養相談）
- c かむかむ教室
- d ダイエット&食事バランス教室

##### (イ) 中高年齢者の保健指導事業等の推進

##### a 「運動ひろば京からだ」事業の実施

京都市国民健康保険特定保健指導に係る実施率向上対策として取り組まれた「運動ひろば京からだ」について、運動の具体的な指導を京都市から受託し、各行政区ごとに実施した。

##### b 特定健康診査、特定保健指導の実施

これまでの市民の健康の保持・増進に取り組んできた成果を生かして、生活習慣病の原因となるメタボリックシンドロームの予防に重点を置いた特定健康診査及び特定保健指導を実施した。

(ウ) 中高年齢者の健康増進事業の推進

a 生活プログラムの作成, 指導及び運動実践による健康づくり指導

生活状況調査, 医学的検査, 運動機能検査及び診察を通して健康状態の総合判定を行い, その結果から個々の利用者に適した生活プログラム(食生活やトレーニングメニュー)を作成し, その生活プログラムに基づいて医師, 管理栄養士及び健康運動指導士による生活・保健指導を実施した。

b 「いきいき筋トレルーム」での中・高齢者筋トレ事業の実施

平成19年2月に京都市が開所した, 油圧式マシン等を備えた中・高齢者筋力トレーニング施設「いきいき筋トレルーム」(上京区の元春日小学校内)において, 京都市から受託した中・高齢者向けの筋トレ教室事業を実施した。

c いきいき長寿パス等の活用

d ヘルスピア21「半日体験」

(エ) 診療所の運営事業

健康度測定とそれに基づいた運動指導や栄養指導だけでなく, 医療専門職や機器を活用して, 保険診療等に取り組んだ。

(オ) 健康づくり関連団体等との連携協力, 活動支援事業並びに調査研究及び普及啓発事業

a 健康づくり関連団体への講師の派遣及び研修生の受入れ等

(a) 出張指導事業

(b) 体力測定出張事業の受託

b 高齢者筋力トレーニング普及推進ボランティア養成講座の開催実施等

高齢者の転倒予防及び運動習慣に関する知識と「京から始めるいきいき筋力トレーニング」を習得し, 地域で普及啓発するボランティアを養成する事業を, 京都市から受託し, 実施した。

c 下京区歩歩塾の運営受託

d 健康づくりに関する調査, 研究及び提供

(カ) 青少年等の健全な身体の増進事業

日常生活において「運動・栄養・休養」のバランスを取ることの重要性を市民の方々に普及啓発し, その実践の場としてプール, トレーニングルーム等の利用を促進した。

また, 「トランポリンティラピス」, 「太極拳」, 「ヨーガ」, 「健康カラオケ」, 「楽しい水中たいそう」等毎月67~70教室を開講した。

なお, 「いきいき筋トレ教室」は週6教室開催したが, 満員となった教室も多く, 中・高齢者層の人気を博した。

(キ) 診療所における保険診療等の実施

(ク) 京都市健康増進センターの管理運営

平成23年度から平成27年度までの間, 京都市から同センターの指定管理者として指定を受け, 市民の健康づくりに供している。

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成25年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[86,209]	流動負債	[29,610]
現金預金	71,518	仮受金	55
未収金	13,888	未払金	28,632
前払金	243	預り金	876
棚卸資産	510	受入保証金	48
有価証券	50	固定負債	[31,763]
固定資産	[62,735]	退職手当引当金	31,763
(基本財産)	(50,000)	負債合計	61,373
基本財産	50,000	正味財産の部	
(特定資産)	(11,189)	正味財産	[87,570]
退職給与引当預金	11,189	(うち基本財産)	(50,000)
(その他固定資産)	(1,546)		
什器備品	23,054		
減価償却累計額	△ 21,656		
電話加入権	148	正味財産合計	87,570
資産合計	148,944	負債及び正味財産合計	148,944

正味財産増減計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	備考
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入	355	339	
② 事業収入	264,487	259,346	
③ 雑収益	404	432	
経常収益計	265,245	260,118	
(2) 経常費用			
① 事業費	259,323	143,995	
② 管理費	3,618	109,859	
経常費用計	262,942	253,854	
当期経常増減額	2,304	6,263	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却額	0	28	
経常外費用計	0	28	
当期経常外増減額	0	△ 28	
当期一般正味財産増減額	2,304	6,235	
一般正味財産期首残高	85,266	79,031	
一般正味財産期末残高	87,570	85,266	
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	
II 正味財産期末残高	87,570	85,266	

2 平成25年度事業計画

(1) 事業計画の概要

平成24年度に引き続き、市民の総合的な健康づくりと健康の保持増進を図るため、京都市健康増進センター（ヘルスピア21）を拠点として、次の事業に取り組む。

ア 中高年齢者に対する健康保持増進事業

(ア) 介護予防事業の推進

- a シニア体力向上教室
- b ウエイトアップ&食事バランス教室（高齢者低栄養相談）
- c かむかむ教室
- d ダイエット&食事バランス教室

(イ) 中高年齢者の保健指導事業等の推進

(ウ) 中高年齢者の健康増進事業の推進

- a 生活プログラムの作成・指導及び運動実践による健康づくり指導
- b 「いきいき筋トレルーム」での中・高齢者筋トレ事業
- c いきいき長寿パス等の活用

- d ヘルスピア 21「半日体験」
- (エ) 健康づくり関連団体等との連携協力，活動支援並びに調査研究及び普及啓発事業
  - a 健康づくり関連団体への講師の派遣及び研修生の受入れ等
  - b 高齢者筋力トレーニング普及推進ボランティア養成講座の開催実施等
  - c 下京区歩歩塾の運営受託
- イ 青少年等の健全な身体の増進事業
- ウ 京都市健康増進センターの管理運営

(2) 予算

収 支 予 算 書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	備考
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入	670	350	
② 事業収入	274,620	274,046	
③ 雑収益	470	470	
経常収益計	275,760	274,866	
(2) 経常費用			
① 事業費	270,546	270,017	
② 管理費	4,109	3,618	
経常費用計	274,655	273,635	
当期経常増減額	1,105	1,231	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	0	0	
指定正味財産への振替	△ 50,000	0	
当期一般正味財産増減額	△ 48,895	1,231	
一般正味財産期首残高	86,497	85,266	
一般正味財産期末残高	37,602	86,497	
II 指定正味財産増減の部			
一般財産からの振替額	50,000	0	
当期指定正味財産増減額	50,000	0	
指定正味財産期首残高	0	0	
指定正味財産期末残高	50,000	0	
II 正味財産期末残高	87,602	86,497	

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	257,253	260,118	265,245	275,760
	当期経常増減額	5,724	6,263	2,304	1,105
	当期正味財産増減額	5,595	6,235	2,304	1,105
貸借対照表	総資産	134,382	134,944	148,944	
	総負債	55,351	49,678	61,373	
	正味財産	79,031	85,266	87,570	
	基本財産	50,000	50,000	50,000	
	累積損益額	29,031	35,266	37,570	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	京都市健康増進センター管理 運營業務の受託 (指定管理)	89,821	89,269 (※)	89,019 (※)	65,420 (※)
	通所型介護予防事業	20,917	20,790	21,588	
	中・高齢者筋肉トレーニング 教室	11,354	12,326	12,326	
	高齢者筋力トレーニング普及 推進ボランティア養成講座	8,685	9,002	9,002	
	特定保健指導等	12,208	6,989	7,667	

(※) 一部利用料金制

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	・ 財務体質は良好であるが、本市からの受託事業の比率が高くなっているという課題がある。
事業面	・ 公益財団法人に移行したことから、高齢者の介護予防事業等、広く内容を充実させていく必要がある。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	・ 経常収益は平成23年度を上回り、引き続き当期正味財産増減額において黒字を計上しており、特に問題となる点はない。
事業面	・ 運動施設利用者数は安定して推移しているが、更なる利用者数の増加に取り組む必要がある。

# 社会福祉法人京都社会福祉協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 柴田重徳

### 2 所在地

京都市上京区猪熊通丸太町下る中之町 519 番地

### 3 電話番号

075-802-0190

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-fukukyo.jp/>

### 5 設立年月日

昭和 55 年 8 月 13 日

### 6 基本財産

1,000 千円（うち本市出せん額 1,000 千円，出せん率 100.0%）

### 7 事業目的

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより，利用者が個人の尊厳を保持しつつ，心身ともに健やかに育成されるよう支援すること。

### 8 業務内容

第二種社会福祉事業

(1) 保育園の設置経営

(2) 児童厚生施設の設置経営・受託経営

(3) 児童厚生施設における放課後児童健全育成事業の受託実施

### 9 所管部局

保健福祉局子育て支援部保育課（TEL075-251-2390）

### 10 役員名等

(1) 理事長

柴田重徳

(2) 理事

池田岩太，加藤善朗，楠薫，東海林太莊，中川一良，山本智也，吉田清信

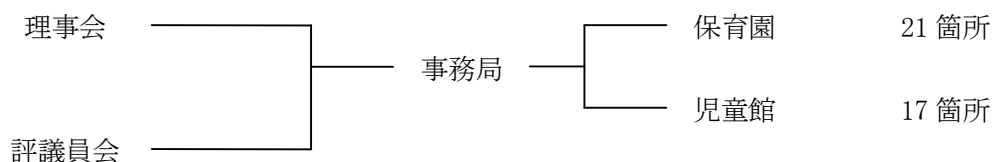
(3) 監事

田中和雅，保手浜悟

### 11 常勤職員数

408 人（うち本市派遣職員 0 人）

### 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 法人の設置した次の施設の経営

福西保育園，竹の里保育園，城南保育園，吉田山保育園，聖護院保育園，祥豊保育園，城南第二保育園，紫野保育園，村山保育園，新林保育園，高野保育園，山科保育園，勸修保育園，桂坂保育園，大宮保育園，山階保育園，松ノ木保育園，御室保育園，石田保育園，墨染保育園，城之内保育園，福西児童館，城南児童館，新林児童館，桂坂児童館

##### イ 京都市の設置した次の施設の指定管理

京都市久世児童館，京都市室町児童館，京都市円町児童館，京都市羽束師児童館，京都市神川児童館，京都市嵐山東児童館，京都市嵯峨広沢児童館，京都市大宮西野山児童館，京都市上高野児童館，京都市久我の杜児童館，京都市修学院第二児童館，京都市西野児童館，京都市納所城之内児童館



## (2) 財務諸表

## 資金収支計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目		合計	本部	保育所	児童館
経常活動による収支	収入				
	利用料収入	120,498	0	55,201	65,298
	運営費収入	2,162,859	0	2,162,859	0
	委託料収入	362,473	0	2,250	360,223
	経常経費補助金収入	378,549	3,041	375,508	0
	寄付金収入	1,286	0	1,286	0
	雑収入	32,282	27,457	3,705	1,120
	借入金利息補助金収入	93	0	93	0
	受取利息配当金収入	1,005	124	879	3
	経常収入計(1)	3,059,046	30,622	2,601,781	426,644
支出	人件費支出	2,502,159	18,798	2,130,747	352,614
	事務費支出	290,315	7,896	232,645	49,774
	事業費支出	277,896	0	259,107	18,789
	借入金利息支出	93	0	93	0
経常支出計(2)	3,070,463	26,694	2,622,592	421,178	
経常活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		△ 11,418	3,927	△ 20,811	5,466
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	28,664	0	28,664	0
	施設整備等収入計(4)	28,664	0	28,664	0
	支出				
固定資産取得支出	33,016	0	27,708	5,308	
施設整備等支出計(5)	33,016	0	27,708	5,308	
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		△ 4,352	0	956	△ 5,308
財務活動による収支	収入				
	積立預金取崩収入	13,418	0	0	13,418
	その他の収入	43,487	0	39,305	4,182
	財務収入計(7)	56,905	0	39,305	17,601
	支出				
	借入金元金償還金支出	1,102	0	1,102	0
積立預金積立支出	100,768	350	88,000	12,418	
その他の支出	36,169	0	30,111	6,058	
財務支出計(8)	138,038	350	119,213	18,476	
財務活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		△ 81,133	△ 350	△ 79,908	△ 874
予備費(10)		0	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		△ 96,902	3,577	△ 99,763	△ 717
前期末支払資金残高(12)		518,392	19,780	498,613	0
当期末支払資金残高(11) + (12)		421,491	23,357	398,850	△ 717

事業活動収支計算書  
平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目		合計	本部	保育所	児童館	
事業活動収支の部	収入	利用料収入	120,498	0	55,201	65,298
		運営費収入	2,162,859	0	2,162,859	0
		委託料収入	362,473	0	2,250	360,223
		経常経費補助金収入	378,549	3,041	375,508	0
		寄付金収入	1,286	0	1,286	0
		雑収入	32,282	27,457	3,705	1,120
		国庫補助金等特別積立金取崩額	39,391	0	37,568	1,823
	事業活動収入計(1)	3,097,339	30,498	2,638,377	428,464	
	支出	人件費支出	2,461,897	18,798	2,094,591	348,508
		事務費支出	290,315	7,896	232,645	49,774
事業費支出		277,897	0	259,107	18,789	
減価償却費		75,644	110	70,872	4,661	
引当金繰入		30,585	0	25,662	4,923	
事業活動支出計(2)	3,136,338	26,805	2,682,878	426,656		
事業活動収支差額(3) = (1) - (2)	△ 38,999	3,693	△ 44,500	1,808		
事業活動外収支の部	収入	借入金利息補助金収入	93	0	93	0
		受取利息配当金収入	1,005	124	879	3
		雑収入	27,263	0	26,861	402
	事業活動外収入計(4)	28,362	124	27,833	405	
	支出	借入金利息支出	93	0	93	0
		雑損失	3,113	0	2,227	885
事業活動外支出計(5)	3,206	0	2,320	885		
事業活動外収支差額(6) = (4) - (5)	25,156	124	25,512	△ 480		
経常収支差額(7) = (3) + (6)	△ 13,843	3,817	△ 18,988	1,328		
特別収支の部	収入	施設整備等補助金収入	28,664	0	28,664	0
		その他の特別収入	43,199	0	42,471	728
		特別収入計(8)	71,864	0	71,135	728
	支出	基本金組入額	0	0	0	0
		固定資産売却損・処分損(売却原価)	273	0	244	30
		国庫補助金等特別積立金積立額	734	0	734	0
その他の特別損失	53,467	0	52,812	656		
特別支出計(9)	54,475	0	53,790	685		
特別収支差額(10) = (8) - (9)	17,389	0	17,346	43		
当期活動収支差額(11) = (7) + (10)	3,546	3,817	△ 1,642	1,371		
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額(12)	284,731	18,206	275,729	△ 9,204	
	当期末繰越活動収支差額(13) = (11) + (12)	288,277	22,023	274,087	△ 7,833	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	0	
	基本金組入額(15)	39,906	0	39,906	0	
	その他の積立金取崩額(16)	13,418	0	0	13,418	
	その他の積立金積立額(17)	100,768	350	88,000	12,418	
	次期繰越活動収支差額(18) = (13) + (14) - (15) + (16) - (17)	161,022	21,673	146,181	△ 6,832	

貸借対照表  
平成25年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[602, 134]	流動負債	[180, 643]
現金預金	480, 380	短期借入金	3, 000
未収金	117, 423	未払金	90, 730
立替金	999	預り金	71, 425
前払金	285	仮払金	31
短期貸付金	3, 000	その他の流動負債	15, 457
仮払金	35	固定負債	[557, 067]
その他流動資産	12	設備資金借入金	2, 160
固定資産	[2, 287, 330]	府共済会	553, 118
(基本財産)	(806, 538)	長期未払金	1, 789
建物	770, 538	負債合計	737, 711
土地	35, 000	純資産の部	
基本財産特定預金	1, 000	基本金	[521, 753]
(その他の固定資産)	(1, 480, 792)	国庫補助金等特別積立金	[581, 729]
建物	75, 963	その他の積立金	[887, 249]
構築物	15, 628	人件費積立金	184, 210
車輛運搬具	11	修繕積立金	582, 163
器具及び備品	135, 392	備品等購入積立金	53, 670
繰越積立預金	852, 249	特別事業積立金	5, 606
施設・設備整備積立金	35, 000	退職給与積立金	10, 600
投資有価証券	200	施設・設備整備積立金	51, 000
退職共済預け金	348, 711	次期繰越活動収支差額	[161, 022]
運用財産	13, 500	(うち当期活動収支差額)	(3, 546)
他の固定資産	4, 138	純資産合計	2, 151, 753
資産合計	2, 889, 463	負債及び純資産合計	2, 889, 463

2 平成25年度事業計画

(1) 概要

当協会は、設立の趣旨に基づき、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が心身ともに健やかに育成され支援されることを目的として、保育園及び児童館の運営に当たっている。この目的に従って、次の項目を効率的、効果的に事業を推進する。

ア 現況の課題に取り組み、その実効を図る。

- (ア) 保育園、児童館での利用者のニーズに応えられるよう、福祉サービス向上への取組
- (イ) 施設運営の活性化を図るための人事交流、施設長及び職員研修の充実への取組
- (ウ) 事務事業の省力化、効率化、コスト削減への取組

イ 保育園入所児童や学童の施設での生活を快適に過ごすため、生活環境の整備に努める。

ウ 児童館の開館時間の延長や利用料の改定及び小学校との連携等に対して円滑に進むよう取り組む。

エ 具体的な事務事業

- (ア) 各施設収支の健全化  
中期的な目標を立て、人員整理などにより、悪化傾向にある施設の経営健全化を図る。
- (イ) 法人中長期経営計画の策定
  - a 経営基盤の確立
  - b 本部と各施設との事務分担、事務処理の在り方の検討
  - c 人材育成、組織の活性化等のための人事交流の促進
  - d 事務の平準化、統一化
  - e コンプライアンス（法令順守、基本倫理）意識の浸透
  - f 保育園の第三者評価受診計画の検討
- (ウ) 協会保育方針の策定

## (2) 予算

## 資金収支予算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目		合計	本部	保育所	児童館	
経常活動による収支	収入	利用料収入	117,684	0	54,112	63,572
		運営費収入	2,135,469	0	2,135,469	0
		私的契約利用料収入	1	0	1	0
		委託料収入	378,806	0	2,000	376,806
		経常経費補助金収入	366,293	0	366,293	0
		寄付金収入	848	0	848	0
		雑収入	34,221	28,000	5,186	1,035
		借入金利息補助金収入	82	0	82	0
		受取利息配当金収入	904	100	798	6
	経常収入計(1)	3,034,308	28,100	2,564,789	441,419	
	支出	人件費支出	2,501,067	23,220	2,115,346	362,501
		事務費支出	301,042	9,330	234,622	57,090
		事業費支出	294,146	0	273,675	20,471
		借入金利息支出	160	0	160	0
経常支出計(2)	3,096,415	32,550	2,623,803	440,062		
経常活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		△ 62,107	△ 4,450	△ 59,014	1,357	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	14,815	0	14,815	0
		施設整備等寄付金収入	0	0	0	0
		固定資産売却益(売却収入)	1	0	1	0
		施設整備等収入計(4)	14,816	0	14,816	0
	支出	固定資産取得支出	19,307	200	16,487	2,620
		施設整備等支出計(5)	19,307	200	16,487	2,620
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		△ 4,491	△ 200	△ 1,671	△ 2,620	
財務活動による収支	収入	借入金元金償還補助金収入	40	0	40	0
		積立預金取崩収入	10,801	0	6,000	4,801
		その他の収入	19,766	0	16,552	3,214
		財務収入計(7)	30,607	0	22,592	8,015
	支出	借入金元金償還金支出	1,138	0	1,138	0
		積立預金積立支出	6,850	350	6,500	0
		その他の支出	35,257	0	28,505	6,752
		財務支出計(8)	43,245	350	36,143	6,752
	財務活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		△ 12,638	△ 350	△ 13,551	1,263
	予備費(10)		0	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		△ 79,236	△ 5,000	△ 74,236	0	
前期末支払資金残高(12)		475,006	22,992	417,575	34,439	
当期末支払資金残高(11) + (12)		395,770	17,992	343,339	34,439	

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
事業活動収支計算書	事業活動収入合計	3,112,380	3,149,240	3,097,339	
	経常収支差額	66,998	81,943	△13,843	
	当期活動収支差額	73,019	87,715	3,546	
貸借対照表	総資産	2,806,673	3,000,635	2,889,463	
	総負債	692,743	813,772	737,711	
	純資産	2,113,931	2,186,863	2,151,753	
	基本財産	1,000	1,000	1,000	
	累積損益額	2,112,931	2,185,863	2,150,753	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	児童館管理・運営 (指定管理)	304,310	263,772 (※)	271,212 (※)	241,029 (※)
	児童館管理・運営		86,834	91,022	
	保育園管理・運営		2,250	2,250	
補助金	運営補助	14,529	6,071	3,041	
	施設会計	581,852	588,068	193,729	198,349
その他	保育園管理・運営に係る扶助費			181,779	167,944

(※) 一部利用料金制

## 第3 経営評価結果

## 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該団体は、すべて本市の委託料及び補助金等の基準で事業を実施しなければならず、経営努力の余地は少ないが、健全な財務内容が確保されていると考える。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化する地域の子育てニーズに対応して、延長保育や一時保育などの柔軟な保育サービスの提供や日常保育における子育て支援や相談も行い、児童の健全育成のための環境整備に積極的に取り組んでいる。また、職員の質の向上を図るため、施設長や中堅、新任といった各段階に応じた職員研修や、保育士、調理師といった各職種に応じた職員研修など、法人独自の研修の充実に向けて取り組んでいる。</li> </ul>

## 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の補助金の見直しに伴い、収入が大幅に減少し、今後も厳しい状況が続くことが予想されるため、経費削減等に努める必要がある。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所、児童館ともに定員以上となっており厳しい状況にあるが、柔軟な対応をしている。職員の質を更に向上させ、高い福祉水準を確保していくための努力が必要である。</li> </ul>

# 社会福祉法人京都福祉サービス協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 田邊真人

### 2 所在地

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83 番地の 1

### 3 電話番号

075-354-8745

### 4 ホームページアドレス

<http://kyoto-fukushi.org>

### 5 設立年月日

平成 5 年 7 月 30 日

### 6 基本財産

50,000 千円（うち本市出えん額 50,000 千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより，利用者が，個人の尊厳を保持しつつ，心身ともに健やかに育成され，又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援すること。

### 8 業務内容

#### (1) 第1種社会福祉事業

ア 軽費老人ホームの設置経営

イ 特別養護老人ホームの設置経営及び指定管理

#### (2) 第2種社会福祉事業

ア 老人居宅介護等事業

イ 障害福祉サービス事業

ウ 老人デイサービスセンターの設置経営及び指定管理

エ 老人デイサービス事業

オ 老人短期入所事業

カ 小規模多機能型居宅介護事業

キ 老人介護支援センターの設置経営及び指定管理

ク 児童厚生施設 児童館の設置経営及び指定管理

ケ 放課後児童健全育成事業

コ 地域子育て支援拠点事業

サ 養育支援訪問事業

#### (3) 公益事業

ア 居宅介護支援事業

イ 地域支援事業を市町村から受託して実施する事業（地域包括支援センター，地域介護予防推進センター）

ウ 介護保険適用外老人居宅介護等事業

エ 介護職員養成研修等事業

オ 要介護認定・要支援認定調査事業

カ 訪問看護事業

### 9 所管部局

保健福祉局長寿社会部長寿福祉課（TEL075-251-1106）

10 役員名等

(1) 理事長

田邊真人

(2) 理事

北川靖, 崎山康治, 羽賀進, 安岡良介, 山田尋志, 神谷佳孝 (保健福祉局長寿社会部担当部長)

(3) 監事

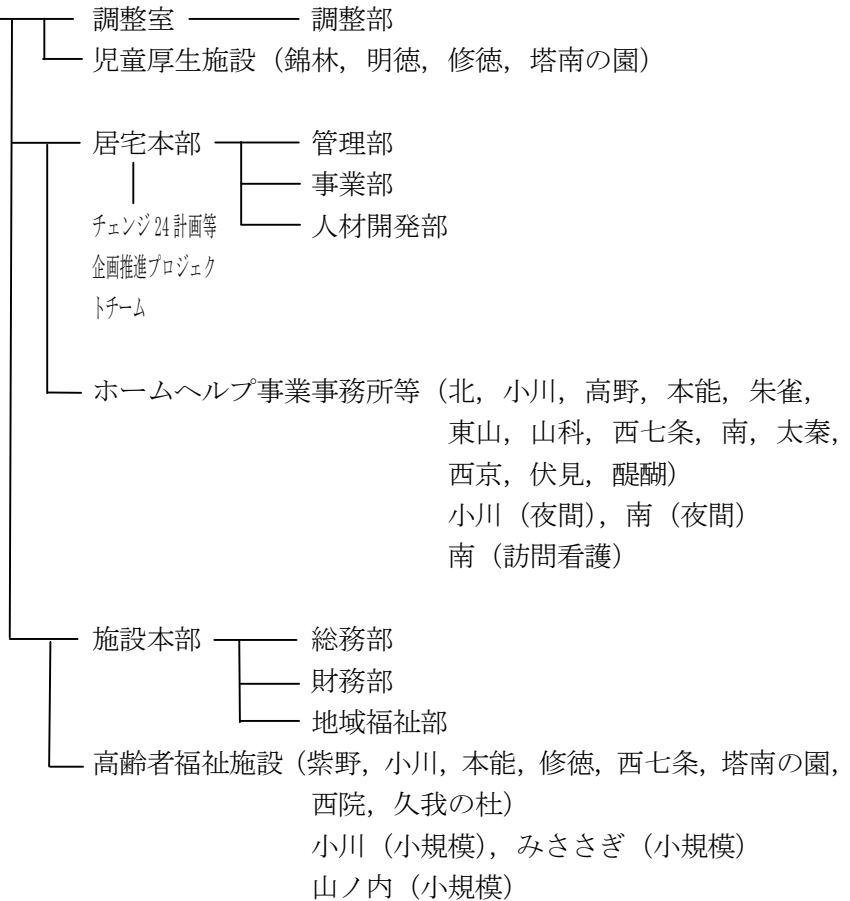
石原豊, 高木進

11 常勤職員数

1,120人 (うち本市派遣職員2人)

12 組織機構

(理事会) 理事長, 理事  
監事  
(評議員会) 評議員



第2 経営状況

1 平成24年度決算

(1) 事業報告

ア 事業運営状況

平成24年度の介護保険制度の改正により, 高齢者が可能な限り住み慣れた地域で能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう, 医療, 介護, 予防, 住まい, 生活支援サービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の実現が求められ, 併せて, 在宅・居宅系サービスの機能強化, 介護と医療の連携・機能強化等の視点から介護報酬・基準が改定される中, 協会の事業運営は厳しい状況に置かれた。

平成24年度は, 厳しい中ではあるが, 団塊の世代が65歳以上となり, ますます進展する高齢化を見据え, 公共性の高い社会福祉法人として今後協会に求められる役割を的確に果たすため, 更に経営の健全化を図る中で, 地域包括ケアの推進に取り組んだ。

(イ) 居宅部門

居宅部門経営ビジョン「チェンジ24計画」に基づき, 地域包括ケアを推進するため,



24時間365日サービス提供体制の確立、高度ケアへの対応、事業拠点の整備等に取り組むとともに、訪問介護の生活支援のサービス提供時間が見直されたことを踏まえ、生活援助において利用者に影響が出ないようケアマネジャーとの連携を強化し、適切な援助内容となるよう取り組んだ。

- ・ 地域包括ケア推進のための取組（夜間対応型訪問介護事業所の設置、訪問看護事業の開始）
- ・ 重度利用者支援のための総合的なサービス拠点と地域拠点の整備
- ・ 事業エリア制導入に向けた取組
- ・ 高度ケアへの積極的な対応等の推進
- ・ 生活支援のサービス提供時間見直しに係る取組

- a 訪問介護（12箇所）
- b 居宅介護支援（12箇所）
- c 訪問看護（1箇所）

(イ) 施設部門

京都市の指定管理者としての4施設及び協会独自に設置している4施設の8施設を拠点として、安定した事業運営と質の向上に努めるとともに、各施設が保有する機能と特徴を生かし、地域住民との連携、交流を図りながら、各種サービスを展開した。

- ・ 地域包括ケア推進のための取組（地域密着型サービスの充実、単身高齢者世帯への全戸訪問活動）
- ・ 介護報酬改定の主な対応（デイサービスにおけるサービス提供時間の延長）
- ・ 人材の育成・定着に関する取組（人事考課制度の試行実施、新研修体系の構築）

- a 特別養護老人ホーム（6箇所）
- b 短期入所生活介護事業（6箇所）
- c 通所介護事業（8箇所）
- d 認知症対応型通所介護事業（2箇所）
- e 小規模多機能型居宅介護事業（3箇所）
- f 居宅介護支援（8箇所）
- g 軽費老人ホーム（1箇所）
- h 地域包括支援センター（6箇所）
- i 地域介護予防推進センター（1箇所）

(ウ) 児童館部門（4箇所）

児童館運営の基本的理念である、児童の心身ともに健やかな育成支援、子育て家庭支援、地域の児童健全育成に関する総合的な機能を有する活動拠点としての役割を果たすため、学童クラブ事業をはじめ各種事業の充実を図るとともに、地域に根差した子どもの健全育成のための環境づくりに取り組んだ。また、「放課後まなび教室」との連携を図り、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所づくりに取り組んだ。

- a 乳幼児親子対象の活動（児童館・子育てほっと広場）
- b 学童クラブ事業
- c 障害のある児童の統合育成と居場所づくり
- d 小地域における児童福祉の拠点施設としての活動
- e 京都市地域子育て支援ステーション事業の実施（2箇所）
- f 思春期児童を対象とした赤ちゃんとの交流事業の実施（3箇所）
- g 京都市ファミリーサポートセンター南支部の運営（1箇所）

## (2) 財務諸表

資金収支計算書  
平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目		予算額	決算額	備 考	
經常活動による収支	収入	介護保険収入	7,503,660	7,433,600	
		自立支援収入	981,462	963,653	
		私的契約利用料収入	32,965	32,575	
		事業収入	131,300	131,382	
		經常経費補助金収入	78,220	86,841	
		寄附金収入	945	15,659	
		事業外収入	28,761	31,065	
		雑収入	14,173	17,448	
		借入金利息補助金収入	5,178	5,179	
		受取利息配当金収入	3,993	5,495	
		経理区分間繰入金収入	815,906	787,459	
	經常収入計(1)	9,596,563	9,510,356		
	支出	人件費支出	6,979,094	6,675,020	
		事務費支出	994,510	913,972	
事業費支出		502,398	494,342		
利用者負担軽減額		5,564	5,194		
借入金利息支出		7,251	7,253		
事業外支出		17,519	15,160		
経理区分間繰入金支出		815,906	787,459		
雑損失		8,807	26,327		
經常支出計(2)	9,331,049	8,924,727			
經常活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	265,514	585,630			
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	10,480	
		固定資産売却収入	269,125	269,547	
		施設整備等収入計(4)	269,125	280,027	
	支出	固定資産取得支出	549,633	467,605	
		固定資産売却・廃棄支出	0	3,108	
施設整備等支出計(5)	549,633	470,713			
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	△ 280,508	△ 190,686			
財務活動による収支	収入	借入金収入	160,000	130,000	
		借入金元金償還補助金収入	1,500	1,500	
		積立預金取崩収入	192,091	112,386	
		その他の収入	8,668	84,085	
		財務収入計(7)	362,259	327,970	
	支出	借入金元金償還金支出	59,991	63,843	
		積立預金積立支出	32,869	21,314	
		その他の支出	318,411	277,661	
		財務支出計(8)	411,271	362,818	
財務活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	△ 49,012	△ 34,847			
予備費(10)	0	0			
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	△ 64,006	360,097			
前期末支払資金残高(12)	3,608,319	3,608,320			
当期末支払資金残高(11) + (12)	3,544,313	3,968,416			

事業活動収支計算書  
平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目		本年度決算額	前年度決算額	備 考	
事業活動収支の部	収入	介護保険収入	7,433,600	7,287,189	
		自立支援収入	963,653	865,693	
		私的契約利用料収入	32,575	33,586	
		事業収入	131,382	132,548	
		経常経費補助金収入	86,841	351,555	
		寄附金収入	15,659	2,095	
		雑収入	17,448	18,708	
		借入金元金償還補助金収入	1,500	1,500	
		引当金戻入	70,123	67,057	
		国庫補助金等特別積立金取崩額	119,806	121,159	
	事業活動収入計(1)	8,872,587	8,881,090		
	支出	人件費支出	6,675,020	6,691,763	
		事務費支出	913,972	832,576	
		事業費支出	494,342	489,996	
利用者負担軽減額		5,194	5,396		
減価償却費		225,179	218,747		
徴収不能額		0	30		
引当金繰入	150,491	147,380			
事業活動支出計(2)	8,464,199	8,385,888			
事業活動収支差額(3) = (1) - (2)		408,389	495,202		
事業活動外収支の部	収入	借入金利息補助金収入	5,179	6,403	
		受取利息配当金収入	5,495	6,176	
		経理区分間繰入金収入	787,459	805,250	
		その他の事業活動外収入	31,065	32,347	
	事業活動外収入計(4)	829,198	850,176		
	支出	借入金利息支出	7,253	8,684	
		経理区分間繰入金支出	787,459	805,250	
		その他の事業活動外支出	15,160	17,148	
		雑損失	26,327	15,103	
	事業活動外支出計(5)	836,198	846,184		
事業活動外収支差額(6) = (4) - (5)		△ 7,000	3,992		
経常収支差額(7) = (3) + (6)		401,389	499,194		
特別収支の部	収入	施設整備等補助金収入	10,480	128	
		固定資産売却益	7	15	
		その他の特別収入	46,846	89,004	
	特別収入計(8)	57,332	89,148		
	支出	固定資産売却損・処分損	9,714	898	
		国庫補助金等特別積立金積立額	9,467	544	
その他の特別損失		48,146	94,211		
特別支出計(9)	67,327	95,654			
特別収支差額(10) = (8) - (9)		△ 9,994	△ 6,507		
当期活動収支差額(11) = (7) + (10)		391,395	492,688		
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額(12)		4,811,393	4,206,558	
	当期末繰越活動収支差額(13) = (11) + (12)		5,202,787	4,699,246	
	基本金取崩額(14)		0	0	
	基本金組入額(15)		0	0	
	その他の積立金取崩額(16)		112,386	231,323	
	その他の積立金積立額(17)		21,314	119,176	
	次期繰越活動収支差額(18) = (13) + (14) - (15) + (16) - (17)		5,293,859	4,811,393	

貸借対照表  
平成25年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[5,002,496]	流動負債	[1,035,526]
現金預金	3,206,615	短期運営資金借入金	14,600
未収金	1,554,854	未払金	703,246
立替金	979	預り金	6,421
前払金	9,136	前受金	3,544
短期貸付金	14,600	仮受金	307,715
仮払金	217,759	固定負債	[1,475,670]
徴収不能引当金	△ 1,446	設備資金借入金	272,580
固定資産	[6,526,237]	長期運営資金借入金	473,134
(基本財産)	(3,042,351)	退職給与引当金	729,956
建物	2,756,670	負債の部合計	2,511,196
土地	235,681	純資産の部	
基本財産特定預金	50,000	基本金	[52,071]
(その他の固定資産)	(3,483,886)	基本金	52,071
建物	130,564	国庫補助金等特別積立金	[1,842,176]
構築物	42,849	その他の積立金	[1,829,431]
車輛運搬具	35,778	備品等購入積立金	243,138
器具及び備品	117,500	その他の積立金	12,128
権利	39,858	別途積立金	686,398
ソフトウェア	37,753	建替修繕積立金	405,196
投資有価証券	25,000	社会福祉事業拠点整備積立金	482,572
長期貸付金	473,134	次期繰越活動収支差額	[5,293,859]
退職共済預け金	750,255	(うち当期活動収支差額)	391,395
備品等購入積立預金	243,138		
別途積立預金	686,398		
建替修繕積立預金	405,196		
社会福祉事業拠点整備積立預金	482,572		
その他の固定資産	63,891		
徴収不能引当金	△ 50,000		
		純資産の部合計	9,017,538
資産の部合計	11,528,733	負債及び純資産の部合計	11,528,733

## 2 平成25年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 基本方針

平成25年度は、法人設立20周年を迎える。この間、「くらしに笑顔と安心を」を基本理念に掲げ、京都市の介護ニーズに応じて事業拡大を進め、現在では、市内の高齢福祉の中心的役割を担い、更には児童厚生施設を運営するなど、多岐にわたる事業を担う法人となった。

現在、団塊の世代が後期高齢者に達するまでに、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、「地域包括ケアシステム」の完成を目指した取組が求められている。

平成25年度は、これまでと同様、更なる経営の健全化と基盤強化を図る中で、将来の介護ニーズと次期介護保険制度改正の動向を見据え、公益性の高い社会福祉法人として協会に求めら

れる役割を的確に果たすため、24時間365日サービス提供体制と介護と看護の一体的サービス提供体制の確立に向けた取組や、地域密着型サービスの充実等、地域包括ケアの推進に積極的に取り組む。

また、20周年の節目を機に、これまで培ってきた成果を振り返るとともに、今後協会が目指す方向や展望を検討する。

さらに、介護職の人材育成とサービスの質の向上を図るため、介護職員の養成研修と併せて、喀痰吸引等の研修を本格的に実施するとともに、優れた人材の育成と定着に向けた取組を推進する。

#### (ア) 居宅部門

平成24年4月の介護保険制度の改正を踏まえるとともに、平成27年度の改正を見据えて、居宅部門経営ビジョン「チェンジ24計画」に掲げる24時間365日サービス提供体制の確立、高度ケアへの対応をより充実していくため、事業拠点の整備等を進めるとともに、「事業エリア制」の更なる推進等により、事業運営体制の強化と、サービスの質の向上に取り組む。

- ・ 地域包括ケア推進のための取組（24時間365日サービス提供体制の確立、介護と看護の一体的サービス提供体制の確立）
- ・ 「事業エリア制」の構築に向けた取組（「事業エリア制」の推進、地域拠点の整備等）
- ・ サービスの質の向上（喀痰吸引等研修の実施、個々のキャリア等に応じた研修体制の確立、事業運営体制等の見直し）

- a 訪問介護（13箇所）
- b 居宅介護支援（13箇所）
- c 訪問看護（1箇所）

#### (イ) 施設部門

京都市の指定管理者としての4施設及び協会独自に設置している4施設の8施設を拠点として、地域住民との連携、交流を図りながら多様なサービスを展開する。また、協会の理念及び各施設の基本理念に基づき、利用者に対し満足度の高いサービスの提供、職員のスキルアップと人材育成、利用者や家族、地域から信頼される施設運営を推進する。

- ・ 地域包括ケアの取組（地域密着型サービス事業の充実、地域包括支援センターの機能及び体制強化）
- ・ 新人事管理制度の推進（人事考課制度の本格実施に向けた取組、教育研修制度の確立）

- a 特別養護老人ホーム（6箇所）
- b 短期入所生活介護事業（6箇所）
- c 通所介護事業（8箇所）
- d 認知症対応型通所介護事業（2箇所）
- e 小規模多機能型居宅介護事業（3箇所）
- f 居宅介護支援（8箇所）
- g 軽費老人ホーム（1箇所）
- h 地域包括支援センター（6箇所）
- i 地域介護予防推進センター（1箇所）

#### (ウ) 児童館部門（4箇所）

児童館運営の基本的理念である、児童の心身ともに健やかな児童の育成、子育て家庭支援、地域の児童健全育成に関する総合的な機能を有する活動拠点としての役割を果たすため、子ども自身の意思を尊重し自立を支援する活動を進めるとともに、地域や施設の特徴を生かした異世代交流等の取組を推進する。また、地域における子育ての社会連帯を推進する。

- a 乳幼児親子対象の活動（児童館・子育てほっと広場）
- b 学童クラブ事業
- c 障害のある児童の統合育成と居場所づくり
- d 小地域における児童福祉の拠点施設としての活動

- e 地域子育て支援ステーション事業の実施 (2 箇所)
- f 京都市ファミリーサポートセンターの運営 (1 箇所)

(2) 予算

資金収支予算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目		予算額	前年度予算額	備 考	
経常活動による収支	収入	介護保険収入	7,680,537	7,503,660	
		自立支援収入	979,177	981,462	
		私的契約利用料収入	30,559	32,965	
		事業収入	143,861	131,300	
		経常経費補助金収入	36,460	78,220	
		寄附金収入	705	945	
		事業外収入	27,128	28,761	
		雑収入	5,804	14,173	
		借入金利息補助金収入	3,960	5,178	
		受取利息配当金収入	1,996	3,993	
		経理区分間繰入金収入	761,939	815,906	
		経常収入計(1)	9,672,126	9,596,563	
		支出	人件費支出	6,986,123	6,979,094
	事務費支出		1,000,657	994,510	
事業費支出	520,592		502,398		
利用者負担軽減額	5,527		5,564		
借入金利息支出	6,028		7,251		
事業外支出	15,666		17,519		
経理区分間繰入金支出	761,939		815,906		
雑損失	7,940		8,807		
経常支出計(2)	9,304,472	9,331,049			
経常活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		367,654	265,514		
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	3,000	0	
		固定資産売却収入	83,267	269,125	
		施設整備等収入計(4)	86,267	269,125	
	支出	固定資産取得支出	184,024	549,633	
		施設整備等支出計(5)	184,024	549,633	
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		△ 97,757	△ 280,508		
財務活動による収支	収入	借入金収入	110,000	160,000	
		借入金元金償還補助金収入	0	1,500	
		積立預金取崩収入	38,799	192,091	
		その他の収入	158,967	8,668	
	財務収入計(7)	307,766	362,259		
	支出	借入金元金償還金支出	187,755	59,991	
		積立預金積立支出	88,493	32,869	
		その他の支出	235,925	318,411	
財務支出計(8)		512,173	411,271		
財務活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		△ 204,407	△ 49,012		
予備費(10)		0	0		
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		65,490	△ 64,006		
前期末支払資金残高(12)		3,544,313	3,608,319		
当期末支払資金残高(11) + (12)		3,609,803	3,544,313		

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
事業活動収支 計算書	事業活動収入合計	8,605,431	8,881,090	8,872,587	
	経常収支差額	561,134	499,194	401,389	
	当期活動収支差額	558,470	492,688	391,395	
貸借対照表	総資産	10,439,327	10,794,232	11,528,733	
	総負債	2,074,918	2,057,750	2,511,196	
	純資産	8,364,409	8,736,482	9,017,538	
	基本財産	50,000	50,000	50,000	
	累積損益額	8,314,409	8,686,482	8,967,538	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	地域包括支援センター, 地域 介護予防推進センター, すこ やか生活支援介護予防事業, 難病患者等ホームヘルプサ ービス, 児童館 (指定管理業 務を含む。)	175,386			
	地域包括支援センター運営 (指定管理)		76,194 (※)	100,695 (※)	100,200 (※)
	児童館運営 (指定管理)		51,047 (※)	52,908 (※)	52,490 (※)
	修徳維持管理 (指定管理)	2,505	2,505	2,505	2,505
	地域包括支援センター事業		30,507	43,667	
	児童館運営事業		21,971	22,092	
	地域介護予防推進センター 事業		27,980	33,165	
	すこやか生活支援介護予防 事業		5,923	3,629	
	難病患者等ホームヘルプサ ービス事業		5,990	5,345	
	訪問調査	38,047	37,867	39,703	
	配食サービス		6,859	7,703	
	育児支援等ヘルパー派遣事 業		8,522	10,426	
	中高生と赤ちゃんとの交流 事業		250	350	

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	地域子育て支援ステーション事業		500	500	
補助金	軽費老人ホーム事務費補助	38,495	35,254	34,435	37,596
	施設整備借入金利子補給	7,627	6,403	5,179	3,955
	包括的支援事業等推進補助金			848	
その他	社会福祉法人利用者負担金軽減助成		514	420	
	介護サービス山間地域協力金		185	241	

(※) 一部利用料金制

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期の事業活動収支差額は、408,389千円となっており、単年度黒字を引き続き確保している。また、流動資産の比率についても483%と安定支払財源の確保も十分にできており、極めて健全な財務体質といえる。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者ができる限り地域で自立した日常生活を過ごせるよう、夜間対応型訪問介護事業所等の拠点の整備や、デイサービスのサービス提供時間の延長など、24時間365日サービスを提供できる体制の確立に向けた取組が進められている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年4月から、介護職員に対して喀痰吸引等研修を実施するとともに、市内の他の訪問介護事業所への参加を促すなど、市内の介護ニーズに対応できる介護人材の育成への取組が進められている。</li> </ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護報酬の見直しに伴い、当期活動収支差額は平成23年度を下回ったものの、黒字を確保している。</li> <li>事業の性格上やむを得ないが、人件費比率が高いなどの構造的な問題がある。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数は増加しており、引き続き介護サービスの充実を図るため、人材育成等に注力する必要がある。</li> </ul>



都 市 計 画 局

# 京都市住宅供給公社

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 西村誠一郎

### 2 所在地

京都市上京区中町通丸太町下る駒之町 561 番地の 10

### 3 電話番号

075-223-2121

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-jkosha.or.jp/>

### 5 設立年月日

昭和 40 年 12 月 20 日

### 6 資本金

10,000 千円（うち本市出資額 10,000 千円，出資率 100.0%）

### 7 事業目的

住宅を必要とする勤労者に対し，住宅の分譲等の方法により居住環境の良好な集団住宅及びその用に供する宅地を供給し，もって住民の生活の安定と社会福祉の増進に寄与すること。

### 8 業務内容

#### (1) 住宅の分譲

#### (2) 住宅の建設，賃貸，管理，譲渡等

#### (3) 宅地の造成，賃貸，管理，譲渡

#### (4) 市街地併存住宅における併存施設の建設，賃貸，管理，譲渡

#### (5) 団地に関連する学校，病院，商店等用地の造成，賃貸，管理，譲渡

#### (6) 団地内居住者の利便施設の建設，賃貸，管理，譲渡

#### (7) (1)～(6)の附帯業務

#### (8) 水面埋立事業の施行

#### (9) その他委託による住宅の建設，賃貸，管理，宅地の造成，賃貸，管理，市街地併存住宅の商店，事務所及び団地内居住者の利便施設の建設，賃貸，管理

### 9 所管部局

都市計画局都市企画部都市総務課（TEL075-222-3610）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

西村誠一郎

#### (2) 副理事長

小笠原憲一（都市計画局長）

#### (3) 専務理事

古川幸隆

#### (4) 理事

水田雅博（公営企業管理者上下水道局長），山添洋司（行財政局長），岡田憲和（総合企画局長），白須正（産業観光局長），黒田芳秀（都市計画局住宅政策担当局長），河嶋敏郎（建設局長），長谷川純（消防局長），畠中一男（都市計画局住宅室担当部長）

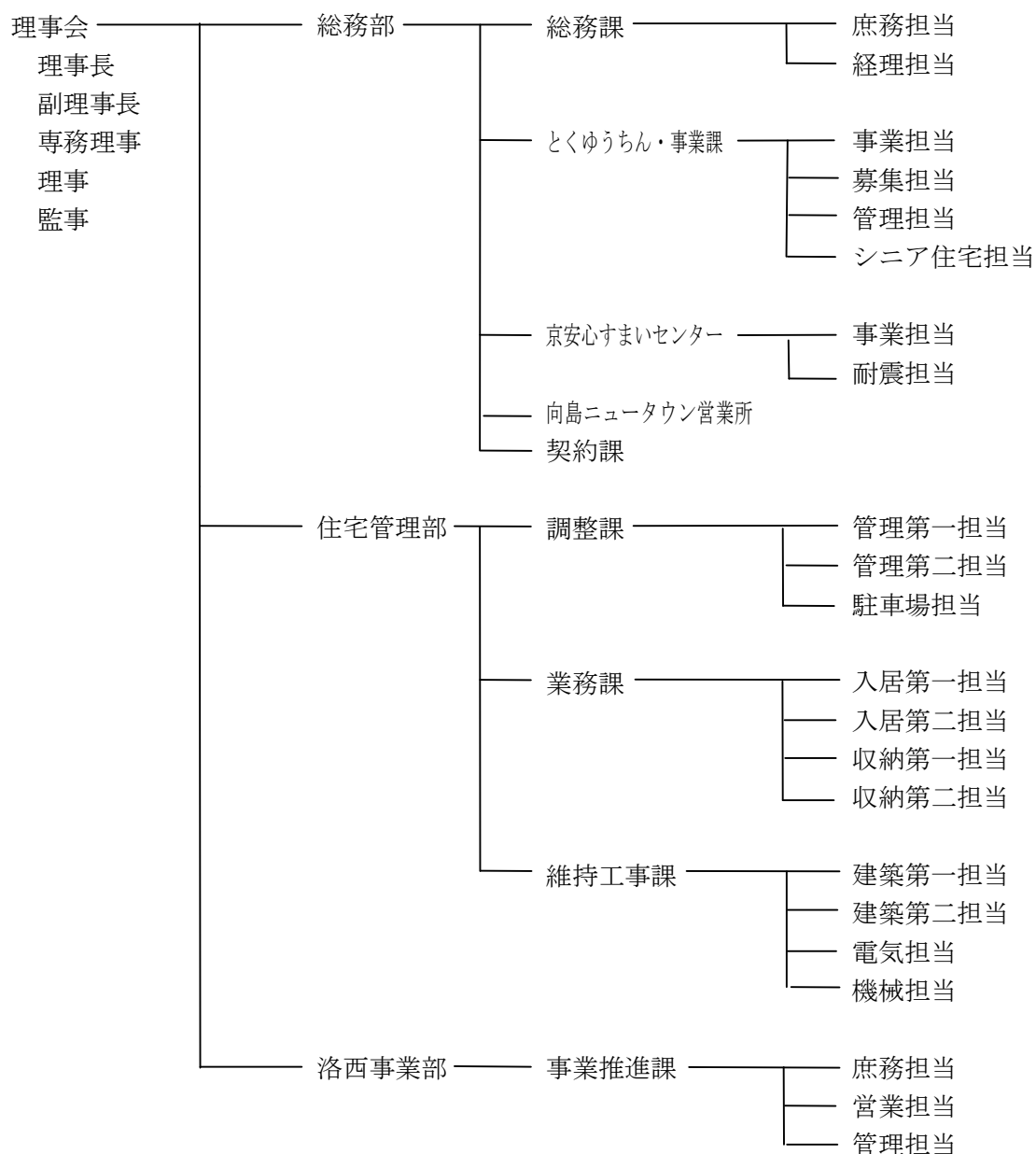
#### (5) 監事

近藤一郎，井上博史（都市計画局都市企画部外郭団体担当部長）

### 11 常勤職員数

235 人（うち本市派遣職員 30 人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成24年度決算

(1) 事業報告

中期経営計画における第三年次となる平成24年度は、京都市住宅行政の総合的実施機関としての役割を担い、市民サービスの向上と収益の増強、経営の健全化に努め、公社全体で約3億4千万円の経常利益を計上し、6期連続かつ、その中でも最大の黒字を確保することができた。

しかし、市営住宅建設予定地として先行取得依頼により平成3年に取得した山科区大宅打明町用地について、減損処理を行ったため、約9億円の特別損失を計上し、当期純損益は約5億3千万円のマイナスとなった。

なお、会計別の概況は次のとおりである。

ア 一般会計

とくゆうちん事業の年間平均入居率が94.4%にまで落ち込み、また、シニア住宅の入居率の低下に対し、即効性のある策を講じることができなかったものの、平成23年度末に新

規取得した団地など、公社所有賃貸物件の経営が概ね好調であったこと、長期にわたり利用計画が立たなかった大宅打明町用地の社会福祉法人への賃貸を開始したこと、京都市の被災者向け住宅提供事業、耐震改修普及啓発事業等を引き続き受託したことなどにより、経常損益で約2億9千万円の黒字となった。

イ 市営住宅管理会計

市営住宅・付属施設 98 団地 23,514 戸の市営住宅の維持管理を行い、家賃収納率が平成 23 年度の 97.5%を上回る 98%となるなど、家賃滞納の減少を実現することができた。

また、継続活用する住棟の浴室が設置されていない住戸のうち 40 戸に浴室を設置し、住環境整備に取り組んだ。事業損益では、約 7 千 8 百万円の黒字となった。

ウ 洛西事業会計

平成 23 年度に実施したラクセーナ専門店の 30 周年リニューアル事業の効果を継続させるため、タウンセンターの商業者と合同で販売促進を実施するなど、来客数・売上高向上の取組を進めた。

経常損益は、ラクセーナ専門店リニューアルによる店舗及び倉庫面積の増床に伴う増収効果やコスト削減努力などにより、平成 23 年度を上回る約 4 千 8 百万円の黒字となった。

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成25年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	市営住宅 管理会計	洛 西 事業会計	内部取引 の消去
I 資産の部					
1 流動資産	[3, 558, 416]	[2, 392, 944]	[1, 129, 153]	[476, 567]	[△ 440, 248]
現金預金	2, 777, 146	1, 415, 651	1, 126, 590	234, 904	
次期満期長期定期預金	110, 000	110, 000	0	0	
預託金	5, 387	5, 387	0	0	
有価証券	300, 000	300, 000	0	0	
未収金	236, 847	335, 646	111	27, 121	△ 126, 031
前払金	11, 086	8, 953	451	1, 682	
立替金	293, 714	405, 216	2, 000	0	△ 113, 502
その他資産	6, 935	4, 075	0	2, 860	
貸付金	22, 887	13, 602	0	210, 000	△ 200, 715
貸倒引当金	△ 205, 586	△ 205, 586	0	0	
2 固定資産	[17, 602, 412]	[14, 546, 670]	[0]	[3, 855, 742]	[△ 800, 000]
(貸貸事業資産)	(12, 655, 363)	(10, 898, 920)	(0)	(1, 756, 443)	
貸貸資産	12, 651, 963	10, 895, 589	0	1, 756, 374	
長期前払費用	3, 401	3, 332	0	69	
(事業用土地資産)	(686, 788)	(686, 788)	(0)	(0)	
(その他事業資産)	(503, 134)	(503, 134)	(0)	(0)	
長期事業未収金	102, 999	102, 999	0	0	
その他土地	400, 135	400, 135	0	0	
(有形固定資産)	(1, 083, 519)	(1, 081, 365)	(0)	(2, 154)	
建物等資産	82, 666	82, 666	0	0	
土地資産	991, 900	991, 900	0	0	
その他の有形固定資産	8, 953	6, 799	0	2, 154	
(無形固定資産)	(52, 168)	(51, 268)	(0)	(901)	
その他の無形固定資産	52, 168	51, 268	0	901	
(その他の固定資産)	(2, 631, 834)	(1, 335, 590)	(0)	(2, 096, 244)	(△ 800, 000)
長期定期預金	495, 278	210, 000	0	285, 278	
長期有価証券	810, 966	0	0	810, 966	
長期貸付金	1, 300, 000	1, 100, 000	0	1, 000, 000	△ 800, 000
その他の資産	25, 590	25, 590	0	0	
(貸倒引当金)	(△ 10, 395)	(△ 10, 395)	(0)	(0)	
資産合計	21, 160, 828	16, 939, 614	1, 129, 153	4, 332, 309	△ 1, 240, 248

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	市営住宅 管理会計	洛 西 事業会計	内部取引 の消去
II 負債の部					
1 流動負債	[4,915,992]	[3,693,841]	[1,129,153]	[533,245]	[△ 440,248]
短期借入金	2,773,200	2,608,200	715	165,000	△ 715
次期返済長期借入金	111,290	244,290	0	67,000	△ 200,000
未払金	1,259,635	272,960	1,127,910	98,298	△ 239,533
前受金	46,461	20,742	0	25,719	
預り金	485,040	483,317	528	1,195	
その他の流動負債	240,365	64,331	0	176,033	
2 固定負債	[10,591,217]	[10,405,859]	[0]	[985,358]	[△ 800,000]
長期借入金	6,329,012	6,540,526	0	588,486	△ 800,000
預り保証金	2,313,601	2,082,053	0	231,549	
退職給付引当金	246,995	128,697	0	118,298	
計画修繕引当金	1,183,175	1,136,150	0	47,025	
債務保証損失引当金	79,743	79,743	0	0	
修繕引当金	0	0	0	0	
未成原価仮勘定	330,691	330,691	0	0	
長期前受金	108,000	108,000			
負債合計	15,507,209	14,099,701	1,129,153	1,518,603	△ 1,240,248
III 資本の部					
1 資本金	[10,000]	[10,000]	[0]	[0]	
2 剰余金	[5,643,619]	[2,829,914]	[0]	[2,813,706]	
資本剰余金	2,679,320	127,431	0	2,551,889	
利益剰余金	1,937,949	1,676,133	0	261,817	
特定目的積立金	1,026,350	1,026,350	0	0	
資本合計	5,653,619	2,839,914	0	2,813,706	0
負債及び資本合計	21,160,828	16,939,614	1,129,153	4,332,309	△ 1,240,248

損益計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	市営住宅 管理会計	洛 西 事業会計	内部取引の 消去
事業収益	[8,377,235]	[4,039,353]	[3,672,677]	[665,206]	
賃貸管理事業収益	4,356,174	3,774,960	0	581,214	
管理受託住宅管理事業収益	3,738,620	65,943	3,672,677	0	
その他の事業収益	282,442	198,450	0	83,992	
事業原価	[7,837,563]	[3,740,789]	[3,511,311]	[585,463]	
賃貸管理事業原価	4,047,660	3,542,018	0	505,642	
管理受託住宅管理事業原価	3,542,127	30,816	3,511,311	0	
その他の事業原価	247,775	167,954	0	79,821	
一般管理費	[204,411]	[63,761]	[82,890]	[57,760]	
事業損益	335,261	234,802	78,476	21,983	
その他経常収益	[38,095]	[101,481]	[327]	[27,304]	[△ 91,016]
受取利息	10,592	2,153	191	20,462	△ 12,214
受取配当金	0	0	0	0	0
有価証券償還差益	0	0	0	0	0
有価証券売却益	0	0	0	0	0
雑収入	27,504	99,328	135	6,843	△ 78,802
その他経常費用	[30,460]	[41,023]	[78,802]	[1,650]	[△ 91,016]
支払利息	11,966	22,530	0	1,650	△ 12,214
雑損失	18,494	18,494	0	0	0
一般会計繰出金	0	0	78,802	0	△ 78,802
経常損益	342,897	295,260	0	47,637	
特別利益	15,644	15,644	0	0	
特別損失	897,462	897,462	0	0	
当期純利益	△ 538,922	△ 586,559	0	47,637	

剰余金計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

項目	剰余金の内訳	金額	会計別			
			一般会計	市営住宅管理会計	洛西事業会計	内部取引の消去
剰余金期首残高	資本剰余金	2,679,320	127,431	0	2,551,889	
	利益剰余金	2,476,871	2,262,691	0	214,180	
	特定目的積立金	1,026,350	1,026,350	0	0	
	計	6,182,541	3,416,472	0	2,766,069	
剰余金増加高	資本剰余金	0	0	0	0	
	利益剰余金	47,637	0	0	47,637	
	特定目的積立金	0	0	0	0	
	計	47,637	0	0	47,637	
剰余金減少高	資本剰余金	0	0	0	0	
	利益剰余金	586,559	586,559	0	0	
	特定目的積立金	0	0	0	0	
	計	586,559	586,559	0	0	
剰余金期末残高	資本剰余金	2,679,320	127,431	0	2,551,889	
	利益剰余金	1,937,949	1,676,133	0	261,817	
	特定目的積立金	1,026,350	1,026,350	0	0	
	計	5,643,619	2,829,914	0	2,813,706	

キャッシュフロー計算書  
平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	市営住宅 管理会計	洛 西 事業会計	内部取引 の消去
事業活動によるキャッシュフロー	224,716	447,762	△ 370,414	147,369	0
貸付管理事業活動による収支	308,826	462,193	0	△ 153,367	0
その他事業活動による収支	256,531	269,004	△ 370,741	358,268	0
一般管理活動による収支	△ 378,815	△ 300,189	0	△ 78,626	0
その他の収支	38,175	16,753	327	21,095	0
投資活動によるキャッシュフロー	320,309	165,518	0	154,791	0
事業資産形成活動による収支	△ 33,933	△ 2,243	0	△ 31,689	0
有価証券の取得・償還による収支	216,153	16,153	0	200,000	0
その他の投資活動による収支	138,088	151,608	0	△ 13,519	0
財務活動によるキャッシュフロー	△ 577,092	△ 320,092	0	△ 257,000	0
事業活動に係る資金の返済による支出	△ 43,692	△ 43,692	0	0	0
投資活動に係る資金の借入による収入	0	0	0	0	0
その他の財務活動に係る資金の収支	△ 533,400	△ 276,400	0	△ 257,000	0
当期中の資金収支合計	△ 32,067	293,188	△ 370,414	45,160	0
前期繰越金	2,809,213	1,122,464	1,497,005	189,744	0
次期繰越金	2,777,146	1,415,651	1,126,590	234,904	0

2 平成25年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 建設事業

- (ア) 高優賃建設
- (イ) 計画修繕

イ 経営事業

- (ア) 一般賃貸・施設
- (イ) 特優賃・高優賃
- (ウ) 向島賃貸施設
- (エ) 市営住宅・付属施設
- (オ) 洛西事業
- (カ) その他受託業務等



## (2) 予算

予定損益計算書  
平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	市営住宅 管理会計	洛西事業 管理会計	内部取引の消去
事業収益	[9,700,270]	[3,871,502]	[5,167,843]	[660,925]	
賃貸管理事業収益		3,641,501	0	576,248	
管理受託住宅管理事業収益		65,022	0	0	
市営住宅事業収益		0	5,167,843	0	
その他の事業収益		164,979	0	84,677	
事業原価	[9,221,809]	[3,646,128]	[4,952,465]	[623,216]	
賃貸管理事業原価		3,498,875	0	539,664	
管理受託住宅管理事業原価		27,731	0	0	
市営住宅事業原価		0	4,952,465	0	
その他の事業原価		119,522	0	83,552	
一般管理費	[214,468]	[69,434]	[82,232]	[62,802]	
事業損益	263,993	155,940	133,146	△ 25,093	
その他経常収益	[50,568]	[158,657]	[246]	[29,114]	[△ 137,449]
受取利息		1,860	236	21,787	△ 4,057
雑収入		156,797	10	7,327	△ 133,392
その他経常費用	[59,869]	[62,276]	[133,392]	[1,650]	[△ 137,449]
支払利息		37,628	0	1,650	△ 4,057
雑損失		24,648	0		
一般会計繰出金		0	133,392		△ 133,392
経常損益	254,692	252,321	0	2,371	
特別利益	33,000	33,000	0	0	
特別損失	1,596,717	1,596,717	0	0	
当期純利益	△ 1,309,025	△ 1,311,396	0	2,371	

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
損益計算書	事業収益	7,783,753	8,400,007	8,377,235	9,700,270
	経常利益	290,514	281,885	342,897	254,692
	当期利益	343,677	297,786	△538,922	△1,309,025
	減価償却前利益	611,047	567,159	△287,429	△1,067,744
貸借対照表	総資産	22,257,245	22,515,180	21,160,828	
	総負債	16,362,491	16,322,639	15,507,209	
	資本	5,894,754	6,192,541	5,653,619	
	資本金	10,000	10,000	10,000	
	累積損益額	5,884,754	6,182,541	5,643,619	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	市営住宅管理	3,453,275	4,016,777	3,895,161	
	特・高優賃制度促進業務	74,949	52,416	52,406	
	洛西ニュータウン維持管理事業	23,995	24,042	24,166	
	洛西バスターミナル清掃・管理業務	2,394	2,394	2,394	
	洛西ニュータウン整備事業	6,876	12,527	12,229	
	耐震改修普及啓発事業		14,963	63,259	
	あんぜん住宅改善資金融資制度現場調査業務			624	
	介護保険の住宅改修費支給にかかる実地調査業務			178	
	被災者向け住宅提供事業等		44,990	21,372	
	京都市崇仁暫定広場管理業務			310	
	伏見区役所神川出張所整備業務			71,971	
補助金	向島学生センター運営補助	27,000	27,000	27,000	27,000
	シニア住宅建設資金利子補給	9,795	9,658	9,517	9,371
	出水団地建設資金利子補給	3,015	2,974	2,932	2,888
貸付金	向島学生センター建設資金貸付金 (累計残高)	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
	花園団地建設資金貸付金 (累計残高)	58,000	48,000	38,000	28,000
	賃貸住宅貸付資金 (樫原, 二軒茶屋) (累計残高)	57,000	57,000	57,000	57,000
	経営安定化資金貸付金 (累計残高)	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
	ラクセーヌ関連業務への貸付金 (累計残高)	510,000	470,000	430,000	390,000
その他	団体共済掛金負担金	6,577	6,172	6,398	6,741

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度の当期純利益は、山科区大宅の土地の減損処理に伴う特別損失の計上により、赤字となったものの、経常損益は、6期連続となる黒字を確保しており、安定した経営を続けている。</li> <li>借入金についても着実に返済を進めており、特に市中金融機関からの借入金について、会計間の資金融通により繰上償還を行うなど、有利子負債の圧縮に積極的に努めている。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>公社の基幹事業の一つである特優賃事業については、年度末時点の入居率は、平成23年度に比べて改善したものの、94.4%にとどまった。</li> <li>市営住宅管理業務については、家賃収納率が98.0%と平成23年度比で0.5ポイントの増加となり、家賃滞納の減少が図られた。</li> <li>「平成の京町家モデル住宅展示場」における情報発信の開始、「被災者向け住宅情報センター」における被災者への住宅の提供、「京都市耐震支援窓口」における各種耐震改修普及啓発事業等を本市から受託するなど、京都市住宅マスタープランに掲げる事業の推進に積極的に寄与した。</li> </ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>当期純利益は減損処理により赤字となっているが、平成23年度に引き続き経常利益は黒字となっており問題はない。しかし、依然として固定比率と固定長期適合率が100%を超えており、流動比率も低い状態であるため、資金管理に留意する必要がある。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>特優賃事業については、引き続き入居率の改善に取り組む必要がある。</li> </ul>

# 公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 三村浩史

### 2 所在地

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83 番地の 1 京都市景観・まちづくりセンター内

### 3 電話番号

075-354-8701

### 4 ホームページアドレス

<http://machi.hitomachi-kyoto.jp/> (京都市景観・まちづくりセンター)

### 5 設立年月日

平成9年10月1日

### 6 基本財産

60,000 千円 (うち本市出えん額 60,000 千円, 出えん率 100.0%)

### 7 事業目的

歴史都市・京都の美しい景観と良好な環境づくりを目指した市民, 行政, 企業, 大学等 (以下「市民等」という。) の協働によるまちづくりを広く支援, 誘導する諸活動を通じて, 京都の都市としての品格を高めるとともに, 住民主体のまちづくりの実現と都市活力の向上に寄与すること。

### 8 業務内容

景観・まちづくりに関する次の事業を行う。

- (1) 各種情報の収集, 発信及び啓発
- (2) 市民等の活動に対する総合的支援
- (3) 各種の調査, 研究
- (4) 各種団体との交流及び協働活動
- (5) 歴史的建造物の保全, 再生, 活用に関する各種の支援及び普及, 啓発
- (6) 公共人材育成に関する教育及び研修
- (7) 景観整備機構に関わる業務
- (8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- (9) 前各号に掲げる事業に関する業務の他機関からの受託

### 9 所管部局

都市計画局都市企画部都市づくり推進課 (TEL075-222-3503)

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

三村浩史

#### (2) 専務理事

寺田敏紀

#### (3) 理事

青山吉隆, 市田ひろみ, 乾亨, 衛藤照夫, 尾池和夫, 小笠原憲一 (都市計画局長), 岡野益巳, 河邊聰, 黒田清喜, 金剛育子, 平井義久, 宗田好史, 安本典夫

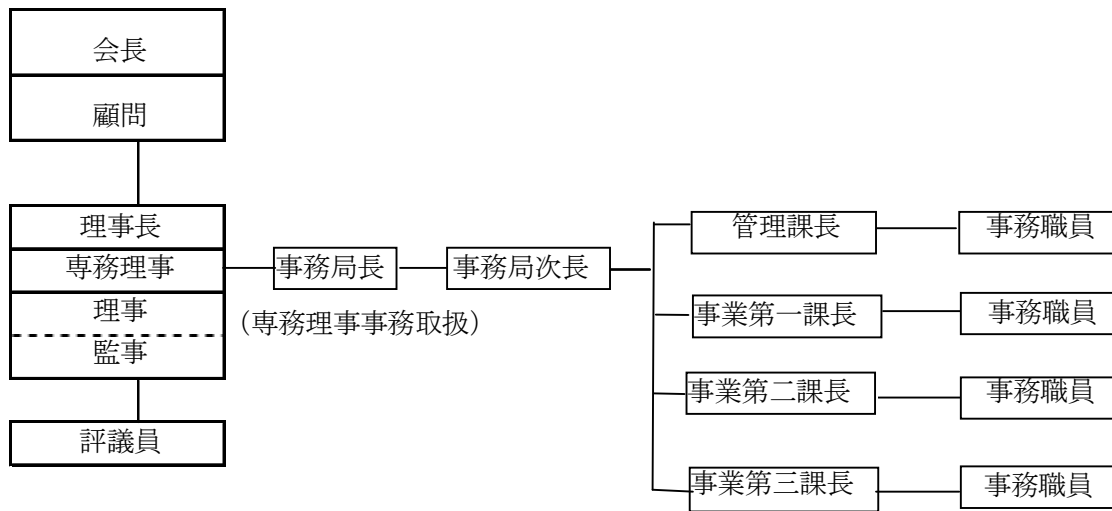
#### (4) 監事

玉山秀文, 平井義也 (都市計画局都市企画部長)

### 11 常勤職員数

15 人 (うち本市派遣職員 6 人)

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成24年度決算

(1) 事業報告の概要

ア 自主事業

(ア) まちづくり活動支援事業

a まちづくり活動相談

地域が自主的に取り組む景観・まちづくり活動に関する相談に対応

〔実績〕相談件数 306 件，センター職員対応の活動支援地区：22 地区

b まちづくり専門家の派遣

地域の景観・まちづくりに関する会議等に専門家を派遣し，地域が目指す目的に対してアドバイザーとしての助言等の支援

〔実績〕専門家派遣地区（北区柵野学区，中京区龍池学区）

c まちづくり活動への助成

地区計画や建築協定等の法的制度等を活用した具体的なまちづくりに向けて，継続的に取り組む地域の団体への活動費補助

〔実績〕大原自治連合会（左京区大原戸寺町），柵野（北区）

(イ) 景観・まちづくりシンポジウムの開催

景観・まちづくりの先進事例を紹介し，景観づくりの意義やノウハウを共有する学びの機会，他地域との関係づくりや情報の交流を通して，景観・まちづくりの持続的な活動について一緒に考えることを目的に開催

1 回開催（テーマ：「私たちが担う 景観・まちづくりのこれから」 出席者：155 人）

(ウ) 京町家ネットワーク推進事業

専門家や企業，市民活動団体等との幅広いネットワークを充実させることにより，京町家の保全・再生に向けた居住者や事業者の主体的な取組を促進

a 京町家なんでも相談等

一般相談：453 件，うち専門相談：34 件

b 京町家の保全・再生のあり方検討会の運営

1 回開催（テーマ：「京町家再生プランの充実について」 出席者：18 人）

c 京町家所有者・居住者の集い

- 京町家の所有者や居住者等が相互に情報交換し、連携することによって、維持管理等に対する共通課題の解決策を見出すことなどを目的にした交流会の開催  
4回開催（出席者：計55名）
- d 景観整備機構に関わる関連業務  
景観重要建造物指定候補の提案事務等（景観重要建造物の指定実績：3件）
  - e 京町家サポート事業（往訪件数：20件）
- (エ) 京都市景観・まちづくりセンター運営
- a 財団管理運営
    - (a) 管理事務  
理事会、評議員会の運営、財産の管理、計理事務等
    - (b) 賛助会員管理事務  
個人：197人、団体：29団体
    - (c) 団体ネットワーク事務  
公益法人関係団体、その他センター業務と関連が深い団体との交流
  - b 京町家まちづくりファンド関連事業
    - (a) 京町家まちづくりファンドの運営
    - (b) 京町家まちづくりファンドの普及・啓発
- イ その他事業
- (ア) 各種情報の収集、発信及び啓発
    - a 広報活動事業
      - (a) ラジオの活用による情報発信活動
      - (b) ニュースレター「京まち工房」の発行（年4回）
    - b シンポジウム等の主催事業
  - (イ) 市民等の活動に対する総合的支援  
地域活動支援事業
    - a 地域ホームページの作成支援
    - b マンション住民との交流の促進
  - (ウ) 各種の調査、研究  
地域コミュニティの活性化等に関する調査等を実施
  - (エ) 各種団体等との交流及び協働活動
    - a 専門家等交流事業
      - (a) まちづくり専門家交流会
      - (b) 歴史的建造物の保全・再生・活用に関する交流会
      - (c) 関係機関、団体等との共同事業の展開
    - b 海外連携プロジェクト事業  
京町家アーティスト・イン・レジデンスの実施
  - (オ) 歴史的建造物の保全・再生・活用に関する各種の支援及び普及、啓発等
    - a 歴史的建造物の再生、活用助成関連事業  
ワールド・モニュメント・ファンド（WMF）等との連携による支援に係る普及、啓発
    - b 歴史的建造物の保全、再生に関する支援事業  
京町家カルテの作成（カルテ作成件数：55件）
  - (カ) その他京都市景観・まちづくりセンターの管理運営事業
    - a 施設管理（京都市指定管理業務）  
ひと・まち交流館 京都内の京都市景観・まちづくりセンターの管理  
〔実績〕年間来場者数（ひと・まち交流館京都 地下1階部分）：69,797人
    - b 景観・まちづくり大学の運営（京都市指定管理業務）

## (a) セミナーの実施

地域まちづくり活動の促進，地域と共生する土地利用の促進を図るなど，まちづくりに関心のある人々が，様々な角度から学び，考え，実践へとつなげていくことのできるセミナーを開設，運営

〔実績〕受講者：延べ826人 定員充足率：74%

## (b) 交流会の開催

## c 冊子等の販売

景観・まちづくり関連の冊子，模型等の販売を受託（※ 収益金は全額，自主事業又は京町家まちづくりファンド事業に充当）

## (キ) 講師派遣事業

関連団体等に講師を派遣し講演を行った。

## ウ 京町家まちづくりファンド改修助成事業

京都の内外に京町家まちづくりファンドの設立趣旨や役割が広く理解されるよう，京町家の持つ景観形成，文化発信，地域まちづくりの視点から効果的なリーディングケースとなるモデル事業として6件を選定し，うち4件に助成金を交付した。併せて，平成23年度以前に助成を決定し，未交付であった5件のうち，4件について助成金を交付した。

## エ 町家再生プロジェクト事業

WMFから支援を受け，第2期「京町家再生プロジェクト」の支援町家である風雷房の修復を開始した。

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[42, 531]	流動負債	[16, 106]
現金預金	38, 307	未払金	14, 510
未収金	4, 174	未払消費税等	369
前払金	50	前受金	100
固定資産	[162, 739]	預り金	1, 103
(基本財産)	(60, 000)	仮受金	24
定期預金	100	固定負債	[0]
投資有価証券	59, 900	負債合計	16, 106
(特定資産)	(102, 626)	正味財産の部	
減価償却引当資産	4, 565	指定正味財産	[142, 232]
基金積立資産	85, 596	地方公共団体補助金	60, 000
事業積立資産	12, 464	基金積立資産	82, 232
(その他の固定資産)	(114)	(うち基本財産への充当額)	(6, 000)
什器備品	34	(うち特定財産への充当額)	(82, 232)
ソフトウェア	80	一般正味財産	[46, 932]
		(うち特定財産への充当額)	(20, 394)
		正味財産合計	189, 164
資産合計	205, 270	負債及び正味財産合計	205, 270

正味財産増減計算書

平成 24年 4月 1日 から平成 25年 3月31日 まで

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	1,138	1,138	0
② 特定資産運用益	1	3	△ 2
③ 受取会費	2,595	2,460	135
④ 基金収益	10,660	6,515	4,145
⑤ 事業収益	49,348	47,778	1,570
⑥ 受取補助金等	56,412	61,021	△ 4,608
⑦ 雑収益	216	91	125
経常収益計	120,372	119,006	1,366
(2) 経常費用			
① 事業費	94,494	105,569	△ 11,075
② 管理費	16,552	11,068	5,484
経常費用計	111,046	116,636	△ 5,591
当期経常増減額	9,326	2,370	6,956
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	9,326	2,370	6,956
一般正味財産期首残高	37,606	35,236	2,370
一般正味財産期末残高	46,932	37,606	9,326
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産受取利息	1,138	1,138	0
② 特定資産運用益	837	838	△ 1
③ 受取寄付金	2,228	1,773	455
④ 特定資産評価損	△ 7,245	0	△ 7,245
⑤ 一般正味財産への振替額	△ 11,798	△ 7,653	△ 4,145
当期指定正味財産増減額	△ 14,840	△ 3,905	△ 10,936
指定正味財産期首残高	157,072	160,977	△ 3,905
指定正味財産期末残高	142,232	157,072	△ 14,840
III 正味財産期末残高	189,164	194,678	△ 5,514

2 平成 25 年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 各種情報の収集，発信及び啓発

(イ) 広報活動事業

a ニュースレター「京まち工房」の発行

景観・まちづくりに関する各種情報及び地域，関係団体等の活動状況を掲載した広報誌を作成し配布



- b ラジオの活用による情報発信活動
  - F Mラジオの番組等を活用した，センターの各種取組等の広報活動
- c 各種啓発冊子，技術資料等の発行等
  - (a) 冊子等の販売
    - 景観・まちづくり関連の冊子の販売
  - (b) 京町家キット等の販売
- (イ) 景観・まちづくり大学等
  - a セミナーの実施<景観・まちづくり大学>
    - (a) 京のまちづくり史セミナー
    - (b) まちづくりセミナー
    - (c) 京町家再生セミナー
    - (d) こどもまちづくりセミナー
    - (e) 学生まちづくりセミナー
    - (f) 研究会等の開催
  - b 景観・まちづくりシンポジウムの開催
    - 地域まちづくり活動や京町家の保全・再生の活性化を目指し，種々の課題とその解決方策を見出すための産・官・学・民の協働によるシンポジウムを開催
- イ 市民等の活動に対する総合的支援
  - (ア) 地域活動支援事業
    - a 景観・まちづくり相談業務
      - センター職員による，地域が自主的に取り組む景観・まちづくり活動に関する相談を実施
    - b まちづくり活動への助成
      - 地区計画や建築協定などの法制度等を活用し，景観・まちづくりに継続的に取り組む地域を支援
    - c まちづくり専門家の派遣
      - 景観・まちづくり活動に取り組む地域に，相談内容に応じて，まちづくり専門家を派遣
  - (イ) 京町家再生支援事業
    - a 京町家なんでも相談
      - 京都の景観の基層を成す京町家の保存・再生・活用を図るため，各種の専門家，団体等の協力の下，「京町家なんでも相談」を実施
    - b 京町家データベースの管理（新規事業）
      - これまで，年度ごと，相談ごとに集積してきた京町家の相談履歴を，物件ごとに一元的に管理することを目的に，京町家データベースを運営
    - c 専門相談員研修会の実施
      - 専門相談員の情報交流とスキルアップを図るための研修会を実施
- ウ 各種団体等との交流及び協働活動
  - (ア) 専門家等交流事業
    - a まちづくり専門家交流会
      - 各分野の専門家との共同による交流会を開催し，相互のスキルアップを図る。
    - b 京町家の保全，再生を支援するネットワークの構築
      - 京町家等の暮らしの価値の情報発信の促進を目的としたネットワークづくりのための検討会等を開催する。また，京町家保全・再生・活用のための取組について，情報交換会を開催する。
    - c 各種団体との交流，連携
  - (イ) 海外連携プロジェクト事業

- a 京町家アーティスト・イン・レジデンス事業
 

京町家を滞在先としてオランダからのアーティストを受け入れ、京町家の活用の促進及び所有者や地域との交流を支援するアーティスト・イン・レジデンスを実施する。また、アーティスト・イン・レジデンスを活かした地域まちづくりの可能性について検討を行う。
- b WMF との連携による支援
 

WMF との連携の継続による、京町家の再生、活用に向けた国際的事業の検討を行う。
- エ 歴史的建造物の保全・再生・活用に関する各種の支援及び普及、啓発
  - (ア) 歴史的建造物の再生、活用助成関連事業
 

京町家まちづくりファンド

    - a 京町家まちづくりファンド委員会運営
    - b 京町家まちづくりファンドに係る普及、啓発
  - (イ) 歴史的建造物の保全、再生に関する支援事業
    - a 京町家カルテの作成
    - b 京町家カルテ委員会の運営
    - c 文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業
 

京町家を守る所有者・居住者を支え、京町家の保全・再生をサポートすることを目的に、景観重要建造物に値する京町家に対し、往訪事業を行う。また、了解が得られた京町家には、文化的な価値を明らかにするための調査を行い、景観重要建造物や国有形文化財への登録を支援し、京町家の保全・再生をサポートする。
- オ 公共人材育成に関する教育及び研修
 

人材育成関連事業

まちづくりコーディネーターの能力向上研修を実施するとともに、公共的感性を持った人材を育成するため、当センターを実務経験の場として提供し、連携大学からインターンシップ受入れを実施する。
- カ 景観整備機構に関わる関連業務
 

景観法に基づく景観整備機構として、景観重要建造物候補の調査及び指定提案に関する事務
- キ その他京都市景観・まちづくりセンターの運営事業
  - (ア) 施設管理運営
  - (イ) 施設管理に伴う情報発信
- ク 法人の運営に関する事務（財団管理）
  - (ア) 管理事務
  - (イ) 賛助会員管理事務
  - (ウ) 団体ネットワーク事務
- ケ 京町家まちづくりファンド事業
 

京都市の各種制度・事業や民間での京町家保全・再生の取組との連携を十分に図りながら、地域まちづくりとの関連性が深く、改修後に景観重要建造物に指定されるなど、将来にわたり維持・保全されると評価されるもの等を基本に改修助成を行う。
- コ 京町家プロジェクト事業
 

地域社会で守るべき文化遺産を保護し後世に継承すべく、直面する課題を地域一体となって解決し、京町家の保全・再生を図るとともに、同様の課題に直面する地域社会とその取組と成果を共有し、町並みの保存・再生のモデルとなるための活動を、特定非営利活動法人京町家再生研究会とともに実施する。

## (2) 予算

## 収支予算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	備 考
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	1,138	1,138	
② 特定資産運用収入	2,243	683	
③ 会費収入	3,000	4,000	
④ 事業収入	49,175	50,490	
⑤ 補助金等収入	56,842	63,578	
⑥ 寄付金収入	3,000	5,259	
⑦ 雑収入	102	102	
⑧ 繰入金収入	500	500	
事業活動収入計	116,000	125,750	
2 事業活動支出			
① 事業費支出	94,020	99,250	
② 管理費支出	15,129	15,960	
③ 基金事業費支出	18,000	23,060	
④ 京町家プロジェクト事業費	3,232	5,964	
⑤ 繰出金支出	500	500	
事業活動支出計	130,881	144,734	
事業活動収支差額	△ 14,881	△ 18,984	
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
① 特定資産取崩収入	22,097	31,394	
投資活動収入計	22,097	31,394	
2 投資活動支出			
① 特定資産支出	6,250	11,053	
投資活動支出計	6,250	11,053	
投資活動収支差額	15,847	20,341	
III 予備費支出			
① 予備費	0	1,357	
当期収支差額	966	0	
前期繰越収支差額	0	0	
次期繰越収支差額	966	0	

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
収支計算書	収入合計	244,333	158,877	150,663	138,097
	支出合計	223,923	130,414	124,238	137,131
	次期繰越収支差額	20,410	28,463	26,425	966
正味財産増減計算書	経常収益	143,274	119,006	120,372	
	当期経常増減額	2,939	2,370	9,326	
	当期正味財産増減額	△10,512	△1,535	△5,514	
貸借対照表	総資産	209,635	208,822	205,270	
	総負債	13,423	14,144	16,106	
	正味財産	196,213	194,678	189,164	
	基本財産	60,000	60,000	60,000	
	累積損益額	136,213	134,678	129,164	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	景観・まちづくりセンター施設管理運営 (指定管理)	46,221	45,758	45,300	45,000
補助金	景観・まちづくり活動支援	1,152	625	1,887	20,391
	京町家ネットワーク推進	2,364	2,850	1,542	6,901
	景観・まちづくりシンポジウム	777	500	499	4,016
	京都市景観・まちづくりセンター運営	46,044	43,117	42,339	10,322
	京町家まちづくりファンド寄付促進	1,652	2,591	1,952	9,978

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>京町家まちづくりファンドの助成件数が増える一方で、ファンドの総資産額が減少傾向であるが、それに対して寄付金額の伸びが少ない。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>センターの各取組により、メールマガジン購読者数が年々増加してきており、景観・まちづくりへの意識が住民や企業等で高まってきていると考えられる。</li><li>景観・まちづくり大学の講座開催数及び参加者数が、平成23年度比で増加しており、住民主体のまちづくりの基盤作りが進んできていると評価できる。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>当期経常増減額は黒字であるが、基金を取り崩したことから当期正味財産増減額は赤字となっている。寄付金等の確保について、公益財団法人に移行したことを生かし、更に積極的な取組が必要である。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>施設来館者数が平成23年度より減少しており、更なるPRが必要である。</li></ul>

# 京都御池地下街株式会社

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

代表取締役社長 辻田光

### 2 所在地

京都市中京区御池通寺町東入下本能寺前町 492-1

### 3 電話番号

075-212-5000

### 4 ホームページアドレス

<http://www.zestoike.com/> (ゼスト御池)

### 5 設立年月日

昭和43年7月19日

### 6 資本金

3,495,000千円 (うち本市出資額 2,040,000千円, 出資率 58.4%)

### 7 事業目的

- (1) 公共地下道, 公共地下駐車場, 店舗等の建設, 管理及び運営
- (2) 不動産の賃貸業
- (3) 損害保険代理業
- (4) 酒類の販売
- (5) 前各号に関連する一切の業務

### 8 業務内容

- (1) 御池駐車場の経営
- (2) 御池地下街の経営
- (3) 御池公共地下道及び京都市御池駐車場の管理業務の受託
- (4) コンビニエンスストアの経営

### 9 所管部局

都市計画局都市企画部都市総務課 (TEL075-222-3610)

### 10 役員名等

#### (1) 代表取締役社長

辻田光

#### (2) 取締役

西村隆 (公営企業管理者交通局長), 白須正 (産業観光局長), 小笠原憲一 (都市計画局長), 河嶋敏郎 (建設局長), 長谷川純 (消防局長)

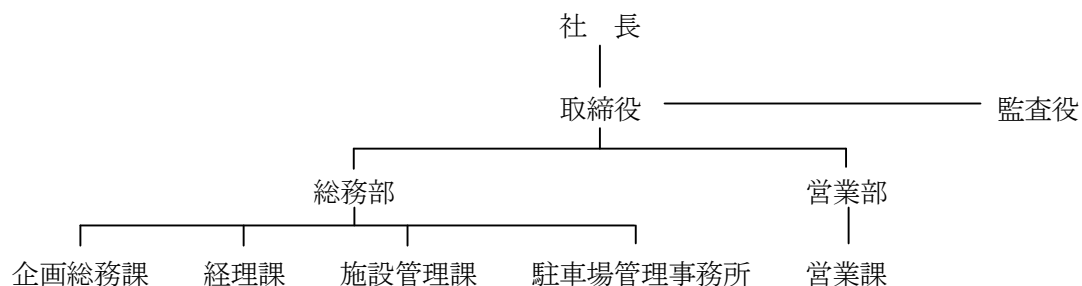
#### (3) 監査役

猪子幸男, 仲雅彦, 井村有雄

### 11 常勤職員数

18人 (うち本市派遣職員0人)

### 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

地下街リニューアルの効果や経費削減の取組などにより、経常損益は、2年ぶりに黒字に転じ、11百万円の利益を確保したが、売上不振店舗の退店に伴う撤去費用等を特別損失として計上したため、当期純損益は、6百万円の赤字となった。

なお、平成24年度の主な取組内容は、次のとおりである。

#### ア 御池地下街

南側通路区画においてリニューアルに取り組み、5月に一部店舗のオープンを、10月にはグランドオープンを迎えた。また、地下街西側の飲食店舗の区画及び河原町広場に面した北側の区画において、集客力に実績のあるテナントを誘致した。

また、認知度と回遊性を高めるため、地下街広場における各種イベントの誘致に積極的に取り組み、開催件数は、平成23年度の210回を大きく上回る265回となった。特に、「京都地ビールフェスタ」、「MOTHER'S TOWN」、「子ども環境フェスタ」などにおいて、多くの来客を得た。

さらに、新たな取組として、地域密着型情報誌「ゼスト御池かわら版」の周辺地域への配布、情報誌「Leaf」への広告掲載、京都新聞への広告掲載を実施した。

これらの効果により、来街者は、平成9年度の開業以来最高となる860万人を記録し、テナント全体の売上げが前期比26%増の18億56百万円となるなど、これまでのゼスト御池のイメージを一新することができた。

#### イ 御池駐車場

引き続き、インターネットによる駐車場案内の強化、観光シーズンにおける観光地交通対策との連携の強化などにより、利用促進に努めた。

駐車場の収入は、通期では、前期比0.8%減の330百万円となったが、リニューアルによって地下街が活性化した10月以降は、増加傾向にある。

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成25年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[524, 144]	流動負債	[907, 815]
現金及び預金	404, 426	一年以内返済予定の長期借入金	624, 630
営業未収金	75, 177	一年以内返済予定の預り保証金	121, 320
商品	3, 163	未払金	34, 351
前払費用	734	未払費用	4, 310
預け金	31, 949	未払法人税等	5, 014
未収金	8, 696	前受金	6, 063
固定資産	[14, 060, 576]	預り金	108, 346
(有形固定資産)	(10, 431, 801)	賞与引当金	3, 670
店舗施設	4, 206, 853	その他	110
駐車場施設	5, 505, 919	固定負債	[11, 258, 632]
建物附属設備	692, 940	長期借入金	10, 732, 979
車両運搬具	0	預り保証金	363, 961
器具備品	26, 089	預り敷金	152, 792
(無形固定資産)	(3, 627, 525)	退職給付引当金	1, 349
公共通路負担金	3, 626, 588	役員退職引当金	7, 550
電話加入権	937	負債合計	12, 166, 447
(投資その他の資産)	(1, 250)	純資産の部	
保証金・敷金	250	株主資本	2, 418, 273
出資金	70	資本金	3, 495, 000
長期未収金	1, 855	利益剰余金	△ 1, 076, 727
貸倒引当金	△ 925	その他利益剰余金	△ 1, 076, 727
		繰越利益剰余金	△ 1, 076, 727
		純資産合計	2, 418, 273
資産合計	14, 584, 720	負債及び純資産合計	14, 584, 720

## 損益計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科目	金額	金額
(営業損益の部)		
売上高		1, 090, 884
テナント収入	266, 799	
駐車場収入	330, 887	
委託料収入	339, 193	
コンビニ収入	149, 909	
その他営業収入	4, 097	
売上原価		107, 476
売上総利益		983, 408
販売費及び一般管理費		1, 375, 684
営業利益		△ 392, 276
(営業外損益の部)		
営業外収益		446, 937
駐車場建設補助金	412, 379	
受取利息及び配当金	106	
その他	34, 452	
営業外費用		43, 120
支払利息	43, 120	
経常利益		11, 542
特別損失		16, 685
固定資産除去費	16, 685	
税引前当期純利益		△ 5, 143
法人税、住民税及び事業税		950
当期純利益		△ 6, 093



株主資本等変動計算書  
平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	
		その他利益剰余金		
		繰越利益剰余金		
前期末残高	3,495,000	△ 1,070,634	2,424,366	2,424,366
当期変動額				
当期純利益		△ 6,093	△ 6,093	△ 6,093
当期変動額合計		△ 6,093	△ 6,093	△ 6,093
当期末残高	3,495,000	△ 1,076,727	2,418,273	2,418,273

2 平成25年度事業計画

(1) 事業計画の概要

リニューアルによって「地域密着型」の商業施設としてイメージを一新したゼスト御池地下街の更なる活性化を図り、純損益の大幅な改善を実現するため、次の取組を実施する。

ア リニューアル効果を地下街全体に波及させるため、個々のテナントへの助言や指導を強化するとともに、更に魅力あるテナントの誘致に取り組む。

イ 販売促進活動において、集客力のある「イベント」、シーズンテーマに合わせた「フェア」、「サービス」の三つの組合せを工夫するとともに、地域密着情報誌「ゼスト御池かわら版」の号外の地下鉄東西線沿線エリアへの配布や情報誌「シティリビング」、「Leaf」の活用など、効果的なPRを実施する。

ウ ゼストポイントカード会員数の拡大に向け、ポイントアップ、抽選会、お買上げ特典の魅力アップなどに取り組む。

エ 商業施設の魅力を高めるため、トイレを女性や子どもに御利用いただきやすいよう改修する。

オ 駐車場については、ドライバーに向けた御池駐車場への案内情報をインターネットのホームページで分かりやすく提供する。京都市の総合交通戦略との整合を図りつつ、観光目的で市内に進入してくる車両を円滑に誘導して受け入れるための取組を強化する。

さらに、利用者ニーズに合わせた利用促進策の実施に向けて、関係局と協議を進める。

カ 経費の効果的、効率的な執行や業務執行体制の強化に取り組む。

## (2) 予算

予定損益計算書  
平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
(営業損益の部)		
売上高		1,125,487
テナント収入	317,278	
コンビニ収入	150,700	
駐車場収入	334,000	
駐車場委託料収入	167,820	
公共通路委託料収入	152,434	
その他営業収入	3,255	
売上原価		107,901
	売上総利益	1,017,586
販売費及び一般管理費		1,292,756
	営業利益	△ 275,170
(営業外損益の部)		
営業外収益		380,674
受取利息及び配当金	122	
駐車場建設補助金	373,800	
雑収入	6,752	
営業外費用		42,798
支払利息	42,798	
その他	0	
	経常利益	62,706
	特別損失	0
	税引前当期利益	62,706
法人税, 住民税及び事業税		5,778
	当期純利益	56,928

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
損益計算書	売上高	1,118,889	1,088,605	1,090,884	1,125,487
	経常利益	16,793	△18,200	11,542	62,706
	当期利益	8,927	△38,037	△6,093	56,928
	減価償却前利益	764,026	716,479	752,639	720,680
貸借対照表	総資産	15,730,861	15,175,569	14,584,720	/
	総負債	13,268,458	12,751,203	12,166,447	
	うち本市の損失補償 契約に係る債務残高	6,352,089	5,676,358	5,049,857	
	純資産	2,462,403	2,424,366	2,418,273	
	資本金	3,495,000	3,495,000	3,495,000	
	累積損益額	△1,032,597	△1,070,634	△1,076,727	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	京都御池駐車場管理 (指定管理)		198,833	196,865	176,554
	駐車場管理	180,202			
	公共地下道維持管理	159,795	159,293	159,627	
	マルチビジョン運営保守	2,000	1,055		
補助金	駐車場建設補助金	421,269	416,144	412,379	410,725
貸付金	長期貸付金 (累計残高)	5,929,160	6,127,268	6,307,752	6,468,362

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己資金によって地下街のリニューアルを成し遂げ、テナント売上高を大幅に伸ばし、経常損益を黒字に転換させたことは評価できる。</li> <li>流動比率については、自己資金を活用したリニューアルの実施等により低下したが、金融機関からの借入金についても滞りなく返済できており、当面の資金繰りにおいて特に問題になることはない。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下街については、利用者ニーズに応え、「食」をテーマにリニューアルを成し遂げ、また、地下広場を活用した積極的なイベントの誘致に取り組み、開業以来最大となる約860万人の来街者を記録するなど、地下街の魅力の向上、賑わいの創出を図ることができた。</li> <li>駐車場については、ガソリン価格の高止まりなどによる車の利用控えの進行、周辺のコインパーキングの増加などから、利用が伸び悩んでいたが、地下街のリニューアル後は、利用が増加傾向にある。</li> </ul>

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上高が平成23年度を上回り、経常利益は黒字に転換した。また、当期利益は赤字となったものの、平成23年度に比べて赤字幅は減少している。リニューアルの効果が徐々に表れているといえるが、引き続き地下街全体の活性化を実現する必要がある。</li> <li>累積欠損金は依然として高い水準にあるので、更に経営改革を進める必要がある。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポイントカード会員数は増加しているが、駐車場利用台数は減少しているので、利用者拡大につながるような取組が望まれる。</li> </ul>

# 京都醍醐センター株式会社

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

代表取締役社長 二木久雄

### 2 所在地

京都市伏見区醍醐高畑町30番地の1

### 3 電話番号

075-575-2550

### 4 ホームページアドレス

<http://www.paseo-daigoro.co.jp/> (パセオ・ダイゴロー)

### 5 設立年月日

平成5年4月2日

### 6 資本金

3,400,000千円(うち本市出資額1,000,000千円,出資率29.4%)

### 7 事業目的

醍醐団地総合再生事業の一環として,文化,福祉,スポーツや商業など,地域発展の中核施設となる「パセオ・ダイゴロー」を建設し,その管理運営を行うこと。

### 8 業務内容

- (1) 不動産の売買,交換,賃貸,運用管理並びに企画及び仲介斡旋
- (2) 都市開発計画,地域開発計画のコンサルティング業務
- (3) 建築工事の企画,設計,施工,監理,請負及びそれらのコンサルティング業務
- (4) 各種催事の企画,運営及びコンサルティング業務
- (5) 広告の企画,製作及び代理業
- (6) 駐車場,駐輪場,商業施設,文化・スポーツ施設の経営,管理運営及びその請負
- (7) 損害保険代理業
- (8) 商品小売業及び飲食業
- (9) 前各号に附帯する一切の事業

### 9 所管部局

都市計画局都市企画部都市総務課(Tel075-222-3610)

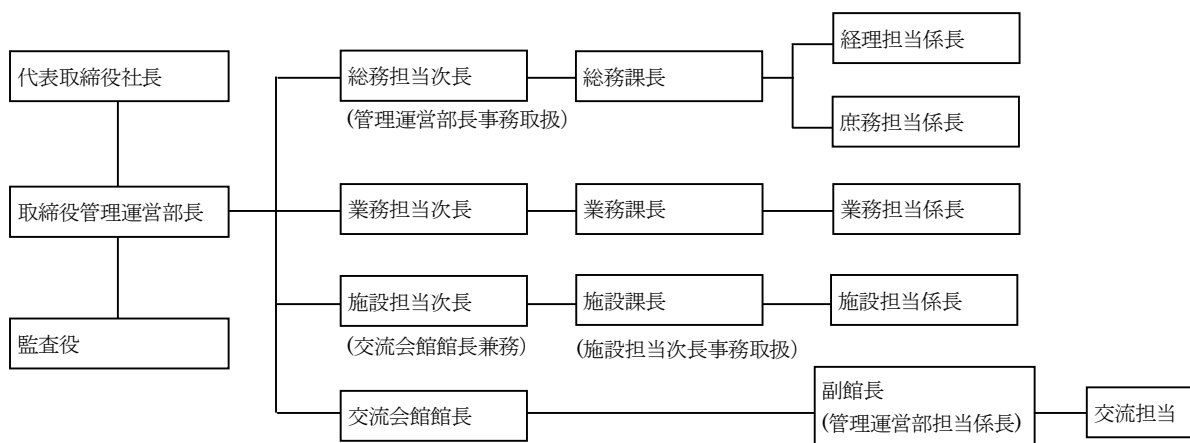
### 10 役員名等

- (1) 代表取締役社長  
二木久雄
- (2) 取締役  
小笠原憲一(都市計画局長),堀江治,藤田正樹,梶本正人,  
井上博史(都市計画局都市企画部外郭団体担当部長),田中登
- (3) 監査役  
近藤一郎,塩井実,崎間昌一郎

### 11 常勤職員数

12人(うち本市派遣職員0人)

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

平成24年度のパセオ・ダイゴロー西館の経営は、4月に周辺地域の大型総合スーパーが増床リニューアル開業したことによって、土曜日、休日の客数が1割もダウンするなど、大きな逆風を受けてのスタートであった。

空き区画の解消に関しては、平成24年5月以降空き区画となっていた3階の3区画について、隣接する100円ショップの「ミーツ」が増床のために活用することとなり、平成25年3月にリニューアルオープンした。これにより、3階物販エリアの空き区画は解消した。

スポーツクラブについては、平成25年1月に「コスパ」の事業主体である(株)オージースポーツから賃貸契約の解約通知を受け、平成25年6月をもって契約を終了することとなった。解約通知を受理後、直ちに後継店舗のリーシングを実施し、「コパンスポーツクラブ」の実施主体である(株)コパンと平成25年3月に出店合意書を交わした。

京都市醍醐交流会館及び京都市醍醐駐車場については、平成24年度で指定管理期間が終了することから、次期指定管理者の募集に応募し、他社との競争にも勝ち抜き、引き続き、平成25年度から4年間の指定管理者となることができた。

支出の削減にも精力的に取り組み、特に、既存の委託契約について、徹底的な見直しを行い、より一層の契約内容の充実と契約額の削減を図った。

以上の取組の結果、平成24年度の売上高は、845百万円(前期比1%減)、営業損失は、29百万円(前期比24百万円の改善)、経常損失は、57百万円(前期比23百万円の改善)、当期純損失は、58百万円(前期比23百万円の改善)となった。

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	[401, 300]	流動負債	[382, 254]
現金預金	323, 750	1年以内返済予定長期借入金	42, 000
営業未収入金	42, 466	未払金	68, 298
貯蔵品	4, 856	未払消費税等	2, 770
前払費用	51	未払法人税等	4, 520
未収入金	2, 371	未払費用	7, 442
立替金	26, 377	預り金	68, 828
その他流動資産	1, 426	預り保証金	159, 503
固定資産	[2, 938, 731]	前受収益	26, 976
(有形固定資産)	(2, 927, 513)	賞与引当金	1, 914
建物	2, 841, 150	固定負債	[1, 907, 156]
構築物	84, 073	長期借入金	259, 500
工具器具備品	2, 289	預り保証金	1, 639, 971
(無形固定資産)	(1, 083)	役員退職慰労引当金	2, 840
電話加入権	904	退職給付引当金	4, 845
ソフトウェア	179	負債合計	2, 289, 411
(投資その他の資産)	(10, 133)	純資産の部	
出資金	150	株主資本	1, 050, 620
その他投資	9, 983	資本金	3, 400, 000
		利益剰余金	△ 2, 349, 379
		繰越利益剰余金	△ 2, 349, 379
		純資産合計	1, 050, 620
資産合計	3, 340, 032	負債及び純資産合計	3, 340, 032

損益計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		845,000
売上原価		790,079
	売上総利益	54,920
販売費及び一般管理費		84,158
	営業利益	△ 29,237
営業外収益		
受取利息及び配当金	182	
雑収入	2,282	2,464
営業外費用		
支払利息	25,295	
雑損失	5,180	30,475
	経常利益	△ 57,248
	税引前当期純利益	△ 57,248
	法人税，住民税及び事業税	950
	当期純利益	△ 58,198

株主資本等変動計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

	株主資本			評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	繰越ヘッジ損失	
		繰越利益剰余金			
前期末残高	3,400,000	△ 2,291,180	1,108,819	0	1,108,819
当期変動額					0
当期純利益		△ 58,198	△ 58,198		△ 58,198
株主資本以外の項目 の当期の変動額				0	0
当期変動額合計	0	△ 58,198	△ 58,198	0	△ 58,198
当期末残高	3,400,000	△ 2,349,379	1,050,620	0	1,050,620

## 2 平成 25 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

会社では、平成 25 年度を再生元年と位置付け、次の事業を重点的に推進する。

ア 平成 24 年度末には、長年の懸案であった空き区画の解消をほぼ達成したが、更なる増収、増益を図るため、集客力・収益性の高いテナントの誘致に努め、従来の考え方を一新し、アトリウム等にも賃貸エリアを新設するなどの増収策を各関係機関と連携をとりながら実現していく。

イ 平成 25 年 8 月に予定する「コパンスポーツクラブ」のスムーズな開業に向けて、積極的に支援していく。

ウ 収益改善の両輪の一つである経費削減の取組においては、今年度から施行する「契約事務規則」に基づき、業務委託、工事請負、物品購入に至るまで常に競争原理を働かせ、原則、競争入札を実施するなど、より一層の経費削減に努める。

エ 建築後 16 年が経過し、建物、設備及び機器類の経年劣化が進行し、長寿命化工事及び機器類の更新は喫緊の課題であることから、平成 25 年度をアセット元年と位置付け、平成 29 年度までの 5 年間に約 300 百万円の経費を投入するなど、アセットマネジメントを推進する。

オ 地域密着型の施設として、地域との連携を強化していく。具体的には、醍醐交流会館の自主事業を充実させるため、地域の団体やサークルとの積極的な連携を図る。また、地域、行政、警察、小中学校、企業等で構成する「青少年の非行防止と健全育成を推進する会」にも主体的に関わり、地域との信頼関係を高め、地域に貢献していく。そのほか、東館（アルプラザ平和堂）とも、西館、東館一体となった広報や販売促進の取組の実施など、従来以上に連携を図る。

### (2) 予算

#### 予定損益計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	870,000
売上原価	722,000
売上総利益	148,000
販売費及び一般管理費	85,000
営業利益	63,000
営業外収益	70,000
営業外費用	23,000
経常利益	110,000
税引前当期純利益	110,000
法人税、住民税及び事業税	1,000
当期純利益	109,000



## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
損益計算書	売上高	883,377	853,734	845,000	870,000
	経常利益	△60,872	△80,879	△57,248	110,000
	当期利益	△61,822	△81,929	△58,198	109,000
	減価償却前利益	172,377	150,499	161,024	263,000
貸借対照表	総資産	3,840,092	3,596,564	3,340,032	
	総負債	2,649,344	2,487,745	2,289,411	
	純資産	1,190,748	1,108,819	1,050,620	
	資本金	3,400,000	3,400,000	3,400,000	
	累積損益額	△2,209,252	△2,291,181	△2,349,379	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	醍醐駐車場管理委託 (指定管理)	45,306	44,536	43,779	41,590
	醍醐交流会館管理委託 (指定管理)	61,518	60,791	60,051	57,000
	緑道管理委託	11,600	11,600	11,600	
	パセオ・ダイゴロー西館市施 設共用部分管理委託	7,824	7,824		
	電気自動車用充電設備委託	200	200	200	

## 第3 経営評価結果

## 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初、固定資産の整備に多額の初期投資を必要としたことから、減価償却費の負担が大きく、開業以来当期純損益は赤字が続いている。</li> <li>平成24年度の赤字額は、平成23年度比や当初見込み比よりも少ないものとなっており、減価償却前損益も黒字を維持しており、経営努力がうかがえる。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的なリーシングにより、物販エリアの空き区画の解消やスポーツクラブの後継事業者の補充を図ることができた。</li> </ul>

## 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上高は平成23年度を下回ったものの、経常利益、当期利益の赤字幅は平成23年度よりも減少している。引き続き経費削減等に努めるとともに、固定比率が依然として高いことから、今後の資金管理面に留意する必要がある。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き区画解消については評価できるが、売上高の一層の増加につながる方策の検討が必要である。</li> </ul>

建 設 局

# 一般財団法人京都市都市整備公社

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 山崎糸治

### 2 所在地

京都市下京区綾小路通烏丸西入童侍者町 167 番

### 3 電話番号

075-361-7431

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyotopublic.or.jp/>

### 5 設立年月日

昭和 43 年 9 月 16 日

### 6 基本財産

11,000 千円（うち本市出えん額 11,000 千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

- (1) 京都市内及びその周辺地域における駐車場の設置，管理及び運営を行うとともに，交通安全思想を普及徹底することにより，道路交通の円滑化を図り，もって都市機能の維持及び増進に寄与すること。
- (2) 都市計画区域内における土地区画整理事業の施行並びに，土地区画整理事業及び公共施設造成事業の啓発及び育成を行い，事業の促進と向上発展を図り，もって公共の福祉に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 駐車場の設置及び運営管理並びに管理の受託
- (2) 駐車場の整備拡充のための広報
- (3) 道路交通の円滑化及び道路交通環境の改善に資するための調査研究並びに関係行政機関への協力
- (4) 交通環境の改善及び地域振興に資するための助成事業
- (5) 交通安全教育及び交通安全運動の推進
- (6) 土地区画整理事業及び公共施設造成事業実施の啓発及び奨励
- (7) 土地区画整理事業及び公共施設造成事業施行に関する指導，調査及び研究
- (8) 土地区画整理事業及び公共施設造成事業に関する事務の受託
- (9) 土地区画整理事業資金借入の斡旋
- (10) 土地区画整理事業に係る研究会及び講習会の開催
- (11) 土地区画整理事業施行者相互の連絡
- (12) その他上記の目的を達成するために必要と認められる事業

### 9 所管部局

建設局土木管理部自転車政策課(TEL075-222-3565)

建設局都市整備部市街地整備課(TEL075-213-3537)

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

山崎糸治

#### (2) 常務理事

岡田博幸，松村義光

#### (3) 理事

岡田寛子，津田和雄，水田逸寛，鶴谷隆(建設局建設企画部長)

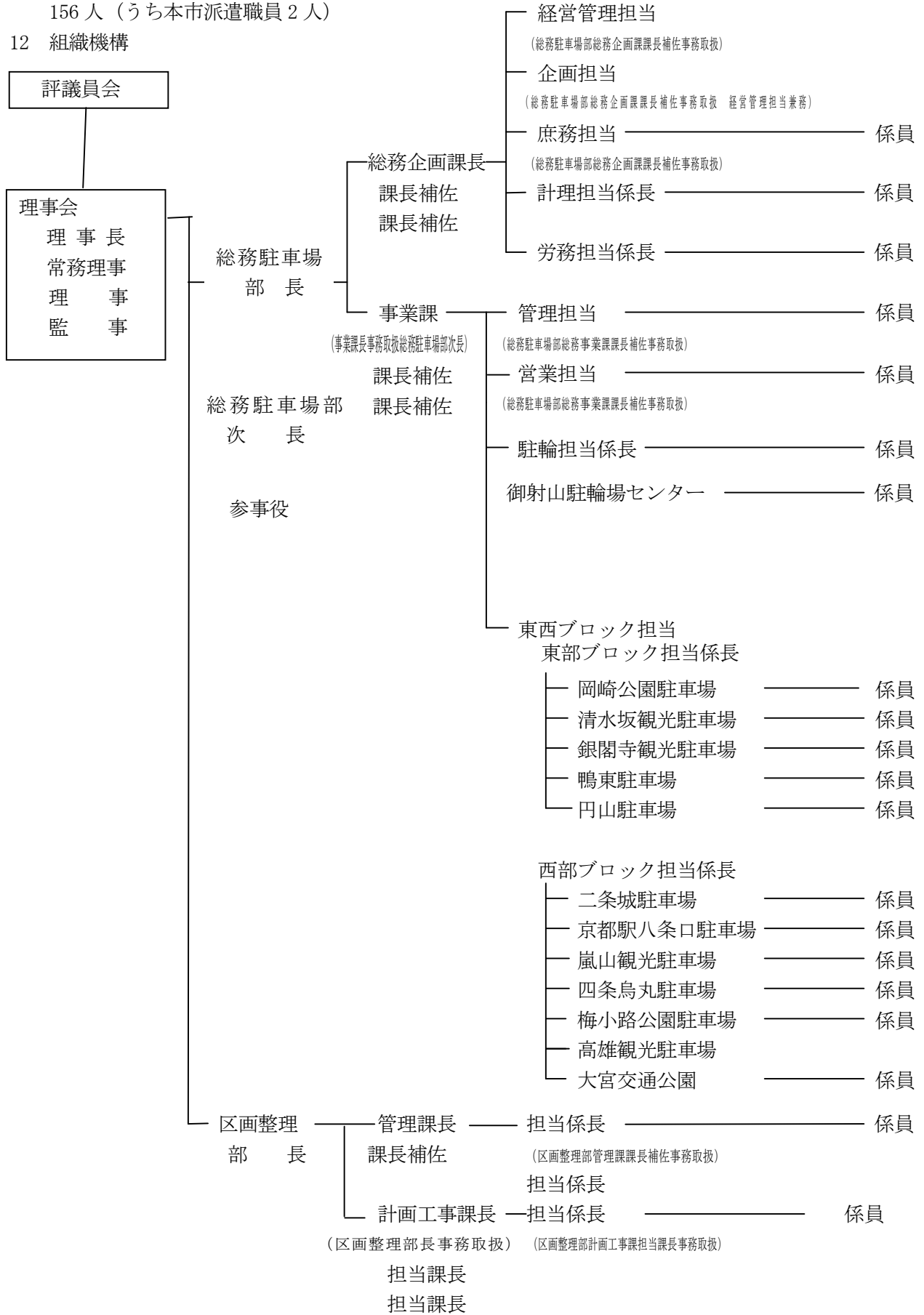
(4) 監事

近藤一郎, 奥村治男

11 常勤職員数

156人 (うち本市派遣職員2人)

12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

京都市内における駐車場の設置、管理及び運営を通じて、都市機能の維持及び増進に寄与する当社の平成24年度事業実績は、以下のとおりである。

区 分		駐車台数(台)	料金収入(千円)
直営事業	自動車駐車場	1,090,777	890,186
	自転車駐車場	1,199,680	247,294
受託事業	市営駐車場の管理業務(指定管理)	875,808	850,682
	梅小路公園おもいやり駐車場管理業務	66,737	61,047
	大宮交通公園管理業務(指定管理)(※)	39,836	15,849
	自転車駐車場管理業務(指定管理)	3,186,683	566,528

(※) 大宮交通公園管理業務の駐車台数欄は、ゴーカート乗車券の発売枚数を含む。

(平成22年4月29日から回数券発売開始)

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成25年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	財政調整基金 特別会計	区画整理 特別会計	内部取引 消去
I 資産の部					
1 流動資産	[750,387]	[642,953]	[3,924]	[103,510]	
現金	41,295	41,275	0	20	
小口現金	34	13	0	21	
当座預金	1,619	1,540	0	79	
普通預金	318,827	223,853	3,766	91,208	
定期預金	300,000	300,000	0	0	
未収金	72,792	61,004	0	11,788	
立替金	2,722	2,424	0	298	
貯蔵品	898	898	0	0	
前払金	10,247	10,151	0	96	
仮払金	894	894	0	0	
仮払税金	1,060	902	158	0	
2 固定資産	[2,397,545]	[1,985,224]	[0]	[412,321]	
(基本財産)	(11,000)	(10,000)	(0)	(1,000)	
投資有価証券	10,000	10,000	0	0	
定期預金	1,000	0	0	1,000	
(特定資産)	(809,326)	(398,632)	(0)	(410,694)	
退職給付引当資産	449,326	398,632	0	50,694	
事業費補填引当資産	360,000	0	0	360,000	
(その他固定資産)	(1,577,219)	(1,576,592)	(0)	(627)	
土地	730,988	730,988	0	0	
建物	294,673	294,673	0	0	
建物附属設備	24,501	24,501	0	0	
構築物	181,967	181,967	0	0	
機械及び装置	98,634	98,634	0	0	
什器備品	122,047	121,953	0	94	
車両運搬具	152	0	0	152	
一括償却資産	2,356	2,356	0	0	
建設仮勘定	1,334	1,334	0	0	
電話加入権	2,472	2,106	0	366	
ソフトウェア	29,215	29,215	0	0	
定期預金	10,000	10,000	0	0	
投資有価証券	59,999	59,999	0	0	
保証金	18,881	18,866	0	15	
資産合計	3,147,932	2,628,178	3,924	515,831	0

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	財政調整基金 特別会計	区画整理 特別会計	内部取引 消去
II 負債の部					
1 流動負債	[449,095]	[433,696]	[3,766]	[11,633]	
預り金	5,591	4,888	0	703	
未払退職金	55,405	55,405	0	0	
未払金	338,528	329,166	3,766	5,596	
未払費用	19,126	17,508	0	1,618	
賞与引当金	29,392	25,676	0	3,716	
納税引当金	1,047	1,047	0	0	
前受金	6	6	0	0	
2 固定負債	[679,242]	[628,548]	[0]	[50,694]	
長期借入金	281,127	281,127	0	0	
退職給付引当金	398,115	347,421	0	50,694	
負債合計	1,128,336	1,062,243	3,766	62,327	0
III 正味財産の部					
1 指定正味財産	[11,000]	[10,000]	[0]	[1,000]	
(うち基本財産への充当額)	(11,000)	(10,000)	(0)	(1,000)	
2 一般正味財産	[2,008,596]	[1,555,934]	[158]	[452,504]	
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(809,326)	(398,632)	(0)	(410,694)	
正味財産合計	2,019,596	1,565,934	158	453,504	0
負債及び正味財産合計	3,147,932	2,628,178	3,924	515,831	0

正味財産増減計算書  
平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	財政調整基金 特別会計	区画整理 特別会計	内部取引 消去
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①基本財産運用益	114	114	0	0	
②特定資産運用益	832	832	0	0	
③事業収益	2,089,543	2,040,653	0	48,890	
④雑収益	25,642	25,039	238	366	
経常収益計	2,116,132	2,066,638	238	49,256	0
(2) 経常費用					
①事業費	1,708,722	1,533,783	0	174,938	
②管理費	391,738	391,738	0	0	
経常費用計	2,100,460	1,925,521	0	174,938	0
当期経常増減額	15,672	141,116	238	△ 125,682	0
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
①退職給与引当金取崩収益	1,971	1,971	0	0	
経常外収益計	1,971	1,971	0	0	0
(2) 経常外費用					
①固定資産除却損	2,819	2,807	0	12	
②雑損失	424	341	0	83	
③寄附金支出	1,290,000	906,234	383,766	0	
経常外費用計	1,293,244	909,383	383,766	95	
当期経常外増減額	△ 1,291,273	△ 907,412	△ 383,766	△ 95	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,275,600	△ 766,295	△ 383,528	△ 125,777	0
一般正味財産期首残高	3,284,196	2,322,229	383,686	578,281	0
一般正味財産期末残高	2,008,596	1,555,934	158	452,504	0
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	11,000	10,000	0	1,000	
指定正味財産期末残高	11,000	10,000	0	1,000	
III 正味財産期末残高	2,019,596	1,565,934	158	453,504	0



## 2 平成 25 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 事業運営方針

公社は、平成 24 年 4 月 1 日をもって一般財団法人への移行を行った。一般財団法人への移行に当たっては、公益目的支出計画を確実に実施していくため、経営の継続性と安定性を確保することを最大の目標にしつつ、法人自ら責任を持って自主的・自律的な経営を行うことに最大限の努力を払う。また、京都市が取り組む様々な施策の推進に引き続き積極的に協力するなど、更なる公共性・公益性を追求していく。

#### (ア) 駐車場事業

駐車場事業は公社の基幹自主事業であり、引き続き、その経営基盤の強化に取り組むとともに、お客様のニーズに沿った「安全・安心で利用しやすい駐車場」づくりと運営を目指す。

また、京都市の駐車場施策に積極的に協力し、路上駐車削減による円滑な道路交通の確保に寄与するとともに、電気自動車充電設備の設置拡大や、照明設備の LED 化など、都市の環境負荷軽減に向けた取組を重点的に行う。

#### (イ) 区画整理事業

現在事業展開中の洛北第三土地区画整理組合は、平成 25 年度末の組合解散に向けて換地処分関係業務を着実に進める。桃山東第二土地区画整理組合は、経営改善計画の実施及び保留地処分の早期完了を目指す。

#### (ウ) 公共的・公益的事業

京都市が推進する「歩くまち・京都」総合交通戦略や改訂京都市自転車総合計画に基づく事業に積極的に連携するとともに、交通安全思想の普及、地域振興に係る助成など公共的・公益的事業への取組を更に追及していく。

#### (エ) 公益目的支出計画の確実な実施

公益目的支出計画は、駐車場事業に係るものはその全額を京都市に寄附し、区画整理事業に係るものは継続事業として実施していくことを基本として、その期間は、平成 24 年度から平成 30 年度の 7 年間としている。計画に掲げる実施事業等を確実に実施し、公社の社会的責任を果たす。

### イ 事業計画

#### (ア) 駐車場等事業

直営駐車場では自動車駐車場 66 箇所、自転車駐車場 12 箇所の合計 78 箇所の駐車場の増収及び経費の節減に努め効率的な運営を行うとともに、梅小路公園おもいやり駐車場（交通弱者用普通車）の増設及び新規駐車場 24 場の開設を目標に、引き続き、経営基盤の強化に取り組んでいく。

指定管理者の指定を受けている市営自動車駐車場 7 箇所及び梅小路公園おもいやり駐車場（交通弱者用普通車）、市営自転車駐車場 27 箇所の合計 35 駐車場については、応募時の提案事項を確実に実施するとともに、効率的な管理運営に努める。同じく指定を受けた大宮交通公園については、交通安全教育及び交通安全運動の推進を図る。

#### a 直営駐車場

##### (a) 自動車駐車場

駐車場名	面積 (㎡)	収容台数 (台)	備考
岡崎公園	延べ 22,420	534	普通車 506 台、バス 28 台
二条城	5,469	246	普通車 216 台、バス 30 台
京都駅八条口	延べ 7,569	208	
梅小路公園大型バス	6,279	26	
梅小路公園おもいやり	2,049	38	

駐車場名	面積 (㎡)	収容台数 (台)	備 考
伏見今町	1,193	51	
紫明通	2,773	113	
御所東	2,267	70	
大手筋北	604	24	
山科柳辻	1,109	67	普通車 36 台・自二 (定期) 31 台
松ヶ崎	117	6	
観月橋南	923	35	定期制 23 台・時間制 12 台
十条烏丸	73	4	
伏見新町	115	4	定期制 1 台・時間制 3 台
伏見臨時	156	22	定期制 18 台・時間制 4 台
壬生	2,776	54	定期制 48 台・時間制 6 台
京都競馬場前	218	5	
京阪淀駅前	117	5	
西大路五条	270	10	
烏丸七条	366	9	
西橋	263	14	定期制 10 台・時間制 4 台
千本七条	848	29	定期制 13 台・時間制 16 台
富永町深尾	333	13	定期制 5 台・時間制 8 台
四条大宮	30	2	
五条堀川	30	2	
梅小路公園西	1263	54	定期 29 台・時間制 25 台
五条河原町	297	15	時間制 10 台・自二 5 台
梅小路公園前	221	8	
西大路七条第 1	99	12	
墨染西	63	5	
三条姉猪熊	191	6	
西院南	232	8	
千本三条	246	10	
御陵駅前	317	11	
東札辻町	92	6	
西大路九条	106	8	
国際会館駅前	225	8	
京都駅東	767	28	
西大路花屋町	730	31	定期制 22 台・時間制 9 台
七条御前	626	31	定期制 25 台・時間制 6 台
伊佐町	216	10	
大阪町	194	6	
竹田駅東口	295	13	定期制 7 台・時間制 6 台
新千本札辻	427	15	
西大路札辻東	77	5	
京田辺	111	9	
烏丸北大路	48	4	
東野	62	5	

駐車場名	面積 (㎡)	収容台数 (台)	備 考
上汐	154	12	
J R志都美駅前	651	26	定期制 10 台・時間制 16 台
鞍馬口第二	227	4	
黄檗	63	5	
近鉄伏見駅前	930	26	定期制 10 台・時間制 16 台
あびこ駅西	138	5	
阪急三国駅前	212	8	
姫里	30	2	
鞍馬口	883	37	定期制専用
山端	1,117	46	〃
双ヶ丘	614	20	〃
観月橋	2,685	92	〃
淀	562	24	〃
紫明通東	806	34	〃
紫明通西	578	26	〃
竹田駅東	843	39	〃
五条高架下	1,917	60	〃
大阪町第2	134	3	〃
合計 (66 場)	77,860	2,368	

(b) 自転車駐車場

駐車場名	面積 (㎡)	収容台数 (台)	備 考
寺町臨時	1,640	738	うち原動機付自転車等 429 台
西大路駅	1,000	1,000	うち原動機付自転車 70 台
先斗町バイク	1,154	390	バイク専用
円町駅西	303	293	定期制専用 (うち原動機付自転車 35 台)
京阪六地藏駅	834	700	うち原動機付自転車等 100 台
富小路六角	547	530	うち原動機付自転車等 66 台
先斗町	557	328	
新京極公園	264	108	
梅小路公園七条入口広場	512	216	うち原動機付自転車等 47 台
梅小路公園大宮入口広場南	183	28	
梅小路公園大宮南口	128	76	
烏丸今出川路上	57	53	
合計 (12 場)	7,364	4,464	

b 指定管理者制度適用駐車場

(a) 自動車駐車場

駐車場名	面積 (㎡)	収容台数 (台)	備 考
鴨東	延べ 4,264	131	普通車 101 台, ハイルーフ車 30 台
四条烏丸	延べ 13,434	294	自二 210 台, 自転車 150 台
円山	延べ 4,861	134	
清水坂観光	8,039	114	普通車 59 台, バス 55 台

駐車場名	面積 (㎡)	収容台数 (台)	備 考
嵐山観光	6,947	142	普通車 105 台, バス 37 台
銀閣寺観光	2,410	52	普通車 40 台, バス 12 台
高雄観光	1,729	54	普通車 40 台, バス 14 台
合計 (7 場)	41,684	921	

(b) 自転車駐車場

駐車場名	面積 (㎡)	収容台数 (台)	備 考
松ヶ崎駅	1,469	1,200	
国際会館駅	4,695	3,000	うち原動機付自転車 500 台
西大路御池駅	延べ 483	435	うち原動機付自転車 51 台
東野駅	1,144	900	
御陵駅南	279	200	
御陵駅北	231	100	うち原動機付自転車 25 台
栂辻駅	延べ 1,007	800	
小野駅	599	465	うち原動機付自転車 15 台
太秦天神川駅	2,364	1,036	うち原動機付自転車 196 台
石田駅	1,382	650	うち原動機付自転車 50 台
醍醐駅	1,450	1,000	
円町駅	1,099	761	うち原動機付自転車 71 台
二条駅南	1,116	1,060	
西大路駅北	387	200	定期制専用
桂川駅東	900	800	うち原動機付自転車 80 台
桂川駅西	1,330	1,000	うち原動機付自転車 440 台
太秦	延べ 1,123	1,021	うち原動機付自転車 74 台
嵯峨嵐山駅	646	383	
花園駅	1,082	780	うち原動機付自転車 50 台
西院	延べ 1,247	954	
西京極	1,550	780	
桂駅東口	延べ 742	500	
桂駅南	延べ 874	451	うち原動機付自転車 77 台
桂駅西口	延べ 1,998	1,721	
北山駅	665	600	
西賀茂	431	250	
御射山	延べ 1,641	1,008	
合計 (27 場)	31,934	22,055	

(c) 大宮交通公園

所在地・面積	京都市北区大宮西脇台町・21,338 ㎡
主要施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通教室 (ビデオ設備, 映写設備)</li> <li>・ 資料展示室</li> <li>・ 模擬交通施設 (高速道路, 横断歩道, 交通信号機, 道路標識等)</li> <li>・ ゴーカー (29 台), 自転車 (10 台), 幼児用自転車 (10 台)</li> <li>・ 無人機械式駐車場 (15 台)</li> </ul>

(イ) 受託事業

駐車場名	面積 (㎡)	収容台数 (台)	備考
梅小路公園 おもいやり	4,910	200	普通車 200 台 (交通弱者用)

(ウ) 区画整理事業

a 土地区画整理事業に関する指導援助等

施行中の各組合に対して、組合運営、許認可申請事務等の指導援助を行う。

b 受託事務

組 合 名	受託事務種別	適 要
洛北第三土地区 画整理組合	経常業務, 調査設計業務, 工 事設計業務, 移転補償・測量 業務	平成 25 年度末の組合解散に向けて換 地処分関係業務を着実に進める。(事 業施行面積 32.1ha)
桃山東第二土地 区画整理組合	経常業務, 移転補償・測量業 務	経営改善計画の実施及び保留地処分 の早期完了をめざす。(事業施行面積 9.1ha)

c 研究会及び講習会の参加

職員の研修のため、土地区画整理事業に関する研究会及び講習会に参加する。

d 土地区画整理事業施行者相互の連絡調整等

京都市土地区画整理組合連合会の運営業務に対する指導援助等を実施するとともに、各組合相互の連絡調整等を実施する。

(エ) その他事業

a 環境対策

京都市自動車環境対策計画が立案される中、計画の根幹であるエコカー普及に向けて電気自動車の充電設備の設置を引き続き実施する。また、駐車場に LED 照明設備を設置するなど環境への配慮や安全性の確保に努める。

b 情報発信

観光客を含めた利用者への利便向上のため、駐車場情報誌「P-Side」の発刊、ホームページによるリアルタイムの満空情報配信, ラジオ放送による駐車状況の配信等を実施する。

c イベント等による交通安全思想普及及び啓発事業等

交通安全思想の普及と地域の活性化を図るため、交通安全イベント等の開催や及び大宮交通公園における「春のこどもまつり」を開催する。

d 利用者へのサービス

二条城駐車場のレンタサイクル事業及び清水寺におとずれる観光客に対するサービス向上として音声ガイド「ナビ音」のレンタル事業, また, 四条烏丸駐車場では, 無料図書館を設置するなど利用者への還元を引き続き実施する。

e 地域振興に係る助成等

京の七夕事業・花灯路事業, 御池通の花壇設置等に対し協賛金としての助成, 祇園まつり等の地域事業に対しての助成を行う。また, 京都市交通遺児新入学児童に対し就学援助金を助成する。

## (2) 予算

収 支 予 算 書  
平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	合計	実施事業等会計		その他会計	法人会計	内部取引 消去
		区画整理事業	特定寄附			
I 事業活動収支の部						
1 事業活動収入						
① 基本財産運用収入	121	1	0	0	120	
② 特定資産運用収入	2,332	212	0	0	2,120	
③ 事業収入	2,364,537	161,637	0	2,202,900	0	
④ 雑収入	16,370	150	0	0	16,220	
⑤ 他会計からの繰入額	0	0	250,000	0	470,395	△ 720,395
事業活動収入計	2,383,360	162,000	250,000	2,202,900	488,855	△ 720,395
2 事業活動支出						
① 事業費支出	1,610,794	152,680	0	1,458,114	0	
② 管理費支出	419,859	0	0	0	419,859	
③ 寄附金支出	250,000	0	250,000	0	0	
④ 法人税等支出	0	0	0	0	0	
⑤ 他会計への繰出額	0	120,000	0	600,395	0	△ 720,395
事業活動支出計	2,280,653	272,680	250,000	2,058,509	419,859	△ 720,395
事業活動収支差額	102,707	△ 110,680	0	144,391	68,996	
II 投資活動収支の部						
1 投資活動収入						
① 特定資産取崩収入	130,000	84,000	0	0	46,000	
② 投資有価証券売却収入	60,000	0	0	0	60,000	
投資活動収入計	190,000	84,000	0	0	106,000	
2 投資活動支出						
① 特定資産取得支出	27,300	3,300	0	0	24,000	
② 固定資産取得支出	80,300	300	0	80,000	0	
③ 保証金支出	2,400	2,400	0	0	0	
投資活動支出計	110,000	6,000	0	80,000	24,000	
投資活動収支差額	80,000	78,000	0	△ 80,000	82,000	
III 財務活動収支の部						
1 財務活動収入						
財務活動収入計	0	0	0	0	0	
2 財務活動支出						
① 借入金返済支出	64,391	0	0	64,391	0	
財務活動支出計	64,391	0	0	64,391	0	
財務活動収支差額	△ 64,391	0	0	△ 64,391	0	
IV 予備費の部						
1 予備費支出						
① 予備費支出	60,000	10,000	0	0	50,000	
当期収支差額	58,316	△ 42,680	0	0	100,996	
前期繰越収支差額	315,100	77,986	0	0	237,114	
次期繰越収支差額	373,416	35,306	0	0	338,110	

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
収支計算書	収入合計	4,124,015	3,748,945	3,793,830	2,888,460
	支出合計	2,705,879	2,595,770	3,492,538	2,515,044
	次期繰越収支差額	1,418,135	1,153,175	301,293	373,416
正味財産増減計算書	経常収益	1,939,350	2,104,058	2,116,132	
	当期経常増減額	121,175	130,210	15,672	
	当期正味財産増減額	△2,420,029	487,647	△1,275,600	
貸借対照表	総資産	4,518,536	4,715,659	3,147,932	
	総負債	1,710,986	1,420,462	1,128,336	
	正味財産	2,807,549	3,295,196	2,019,596	
	基本財産	11,000	11,000	11,000	
	累積損益額	2,796,549	3,284,196	2,008,596	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	駐車場管理運営 (指定管理)	149,689	194,000	194,450	194,000
	自転車駐車場管理運営 (指定管理)	13,605			
	大宮交通公園管理運営 (指定管理)	19,365	18,500 (※)	18,500 (※)	18,500 (※)
	出町自動車駐車場管理運営	47,600			
	自転車駐車場管理運営	105,696			
	駐車場案内システム管理	4,536			
	放置自転車防止啓発業務運営	20,000	20,000		
	広場管理業務	6,683			
梅小路公園おもいやり駐車場 管理運営		637	9,106		

(※) 一部利用料金制

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<p>&lt;一般会計&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 経常収益については増益となっているが、公益目的支出計画に基づく特定寄付により、当期正味財産増減額は赤字となっている。</li></ul> <p>&lt;区画整理事業特別会計&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 受託量が少ないにも関わらず、必要最小限の人件費等は必要であり、それにより赤字が発生しており、依然として厳しい状況が続いている。</li></ul>
事業面	<p>&lt;駐車場事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 自転車等駐車場、自動車駐車場については、施設の新規開設したことにより利用者が増加し増収となった。</li></ul> <p>&lt;区画整理事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 施行中の2組合について、事業収束に向けた取組が引き続き推進されている。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 当期経常増減額は黒字を確保したものの、公益目的支出計画に基づく特定寄付により、当期正味財産増減額は赤字となっている。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自動車駐車場、自転車等駐車場の利用台数は増加しており、このすう勢を維持する必要がある。</li><li>・ 区画整理事業については、事業収束が円滑に進むよう努めることが重要である。</li></ul>



# 公益財団法人京都市都市緑化協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 森本幸裕

### 2 所在地

京都市東山区円山町 463 番地

### 3 電話番号

075-561-1350

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-ga.jp/>

### 5 設立年月日

平成7年3月1日

### 6 基本財産

50,000 千円（うち本市出えん額 50,000 千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

都市の緑化の保全，育成並びに創出を図るとともに，公園及び都市緑地や京都三山等が持つ優れた特色を最大限に活用することにより，緑あふれるまちづくりを推進し，自然と共生する生活文化を守り育て，市民の健やかで安全・安心な生活環境づくりに寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 都市緑化の普及啓発事業及び都市緑化事業の推進
- (2) 都市緑化を促進するリーダーの育成
- (3) 都市公園及び緑地を利用した環境学習等の実施
- (4) 都市公園及びこれに類する施設の管理運営業務の受託
- (5) 都市緑化の促進に関する情報収集及び研究
- (6) 上記(1)～(5)の事業を推進する団体の育成及び協働
- (7) その他協会の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

建設局水と緑環境部緑政課（Tel 075-222-3589）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

森本幸裕

#### (2) 専務理事

藤井俊志（建設局水と緑環境部担当部長）

#### (3) 理事

茨木和幸，下村孝，塚本淳之助，西阪専慶，松尾義平，宮前保子，村上紘一郎

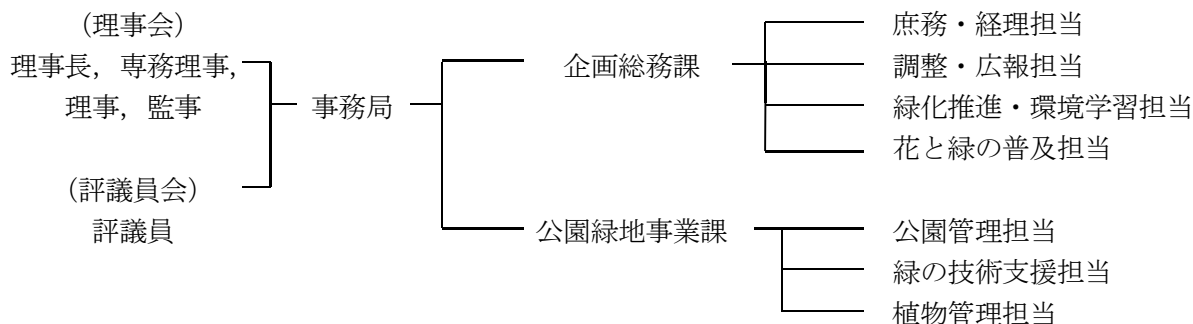
#### (4) 監事

四方宏治，鶴谷隆（建設局建設企画部長）

### 11 常勤職員数

17 人（うち本市派遣職員 0 人）

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 都市緑化の普及啓発事業

###### (ア) 園芸・造園関係の講習会等

a 園芸講習会（実施回数：計9回，受講者：計297人）

b 季節を楽しむ園芸教室の開催（実施回数：計6回，受講者：計199人）

c 出張園芸講習会等

地域団体からの要請等を受け実施（実施回数：計5回，受講者：計108人）

###### (イ) 花壇づくり講習会

公共の花壇づくりを中心に設計や植えつけ等のグループ作業を通じてグループで行う緑化活動の基本をシリーズで学んだ。（実施回数：計9回，受講者：計98人）

###### (ウ) 緑とまちづくり講座

緑とまちづくりに関連する近年の主なトピック又は課題について3回シリーズで学んだ。（実施回数：計3回，受講者：計79人）

###### (エ) 庭づくり（ガーデニング）講習会

主に家庭などでの身近なガーデニングについて計画の立て方や維持管理など，庭での楽しみ方まで講師との対話形式で学んだ。（実施回数：計6回，受講者：計115人）

###### (オ) 緑の散策ツアーの開催

広報誌「京のみどり」に掲載している特集記事との連動企画として，市内各地のまちなかの緑のスポットを訪ね歩き，緑の文化や快適な生活環境づくりの取組を考える機会を提供した。（実施回数：2回（下京区，西京区大原野），参加者：計36人）

##### イ 自然環境に関する講習会・体験活動

###### (ア) 梅小路公園自然観察会の実施

a 月例等定期的観察会（実施回数：計14回，受講者：計217人）

b 子ども緑の学校～梅小路公園子ども自然観察会～

京都南ロータリークラブの新世代奉仕活動とタイアップし，子ども向け自然観察会を行った。（実施回数：計3回，受講者：計109人）

c 団体向け観察会（実施回数：計4回，受講者：計99人）

###### (イ) 宝が池公園自然あそび教室

自然環境を生かし，子どもたちが遊びながら学べるよう，自然素材のクラフト，自然の仕組を学ぶ遊び，古くから自然と共生してきた地域の生活文化を学ぶ教室等を開催（実施回数：計25回，のべ参加人数：407人）

###### (ウ) 環境学習養成講座

体験型の環境学習の活動を支える人材（リーダー）の養成を，学習会や子ども向けプログラムの実践を通じて行った。（実施回数：1回，受講者：6人）

(エ) 公園・庭園の樹木と対話する教室

梅小路公園内を歩きながら、公園・庭園や樹木等の成り立ちについて解説する教室  
(実施回数：計10回、受講者：計84名)

ウ 緑の相談所運営

(ア) 相談業務

a みどりの相談

平成10年度以降、緑に関する無料の相談業務を行っている。相談所は、本部事務所とともに円山公園内に移転したが、面談による相談者が大幅に減少し、相談件数は平成22年度比の約4分の1となったため、平成24年度は週1日を梅小路公園「緑の館」仮設ブースで行った。(相談日：毎週2日及びイベント等での出張相談、実績：相談日数105日、相談件数：824件)

b 出張相談 (実施回数：計2回、参加人数：8人)

c 相談所データベースの導入とホームページでの発信

相談記録を電子データ化し、記録の検索や集計等ができる相談所データベースの運用を行っている。平成24年度はホームページへの追加掲載のため、相談データの入力を3年間遡及して進めた。

(イ) 希少植物の保全・普及

希少な在来種を含む和花等の展示のため、原種フジバカマ等希少種の育成・繁殖に取り組んだ。

エ 緑のイベントの開催及び支援

(ア) みどりの月間、都市緑化月間等のイベントの開催、協力

a 梅小路公園グリーンフェア2012春/秋

公園の心地よさ、安らぎ、にぎわいを感じていただくため、春と秋の2回実施  
(春(5月3~4日)：計42,000人、秋(10月13~14日)：計40,000人)

b 春・秋の和の花展

自然保護団体や園芸家の協力により、梅小路公園朱雀の庭に、絶滅危惧種を含む山野草、古典園芸植物等を屋外展示するとともに、イベントを行い、身近な自然環境を守る大切さを訴えた。

(a) 春の和の花展(第3回)(期間：4月14日~5月6日、入場者数：2,570人)

(b) 藤袴と和の花展(第4回)

京都府から絶滅寸前種(絶滅危惧種)とされている原種フジバカマ220鉢をはじめ、山野草、水草等を展示(期間：9月22日~10月8日、入場者数：1,760人)

c 梅まつり in 梅小路(期間：3月1日~3月10日)

梅小路公園内にある梅林をPRするため、下京区役所と協力し開催した。期間中は、床机を置くなどし、ゆっくりと鑑賞していただけるよう工夫した。

d 京都まちとみどり写真コンクール

緑あふれるまちづくりを推進する第28回「京都まちとみどり写真コンクール」を共催  
(主催：京都府都市計画協会、共催：京都府、京都市、(財)京都府公園公社、(公財)京都市都市緑化協会、(社)京都府造園建設業協会)

e 宝が池シンポジウム~宝が池の森の今・未来を考える~

京都府立大学との共催で、宝が池周辺の山を題材に森の在り方を考え、意見交換を行う場としてシンポジウムを開催した。(参加者数：約90名)

f 地域イベントへの参加

市民団体と共同で出展又は出展を支援し、園芸体験コーナーの設置等の活動を行った。  
(堀川・桜まつり、中京区民ふれあいまつり、下京区ふれ愛ひろば)

(イ) 「みどり」に関連した多彩な教室の開催

a 草木染めを使ったパッチワーク教室(実施回数：22回(3期)、参加者数：計488人)

- b 木登り体験会（実施回数：10回，参加者数：計100人）
- c 梅の実採り体験（於：梅小路公園，参加者数：114人）
- (ウ) プレイパーク事業
  - a 梅小路公園プレイパーク（第2・第4土曜日）
    - (a) 「あそびのリーダー」となる大学生等のボランティアを組織し，活動を実施
    - (b) 実施回数（定例活動，特別企画等での実施）：計25回
    - (c) 参加者数（子ども・保護者）：計4,460人，あそびのリーダー数：計269人
  - b 梅小路公園ミニ・プレイパーク（原則火曜日午前または金曜日放課後）
 

幼児と保護者，又は小学生を対象に，公園を「居場所」とし，自然に親しむ活動を行った。（実施回数：22回，参加者数：計475人）
  - c 宝が池公園子どもの楽園プレイパーク（日曜・祝日）
 

平成23年度から自主事業として実施。季節にちなんだ遊びも実施（通常プレイパーク実施回数：44回，参加者数：計9,161人，特別イベント実施回数：3回，参加者数：計2,800人）
  - d けむんぱクラブ（宝が池ミニプレイパーク）の新設
 

幼児と保護者を対象に，森の散歩やものづくりを通じて親子や参加者同士のつながりを深めるプログラムを開始した。（実施回数：23回，参加者数：170名）
- オ まちなか（市街地）緑化事業
 

緑視率の向上と町並み修景を図るため，和花等の在来種を主体とする京都らしいコンテナを街路沿いの狭いスペースに設置し，施設・地域住民に管理していただく「まちなみ緑化支援モデル事業」を平成23年度から実施している。平成24年度は，下京区菊浜学区の高瀬川沿いで新たに取り組んだ。
- カ 緑の団体支援事業
  - (ア) 「京都みどりのサポーター協議会」の運営
 

各地で緑化を担う緑の活動団体（5団体）と本協会が協働で緑化を進めるための組織「京都みどりのサポーター協議会」を運営した。

    - a 御池通スポンサー花壇の沿道「サポーター」への支援
 

水やり等日常の手入れを担う沿道「サポーター」の支援，巡回管理補助を行う業務を協議会が受託し，協会は巡回管理，ニュース発行等の支援・協力を行った。
    - b 地域イベントへの出展
  - (イ) 緑の活動団体登録制度（ボランティアセンター）の準備
 

ボランティアベースの緑の活動団体（各種ボランティア団体，町内会・自治会，企業，学校等）の人材，ニーズに関する情報交換を行い，技術支援や協働の取組を推進するための拠点「緑のボランティアセンター」は，梅小路公園「休憩所」を改装して設置する計画であったが，平成25年6月着工の公園再整備の計画地内となり，設置場所を再検討することとなった。情報収集は，平成23年度に引き続き行った。
  - (ウ) 緑の学校の運営と緑化リーダーの認定
 

前項(イ)の団体登録と合わせ，協働の取組や支援の効果を高めるため，「緑の学校」のカリキュラムを2年以内に修了した人等を緑化リーダーとして認定する制度をスタートさせた。
- キ 公園緑地の利用促進及び多目的な機能の向上に寄与する事業
  - (ア) 梅小路公園指定管理業務等の受託
 

京都水族館開業への対応として，京都市，オリックス不動産株式会社及び一般財団法人京都市都市整備公社等の関係団体と協議し，利用者の利便性向上及び安全確保，清掃活動の強化に努めた。各種イベントや梅小路公園だよりの発行等による利用促進を図った。

- (イ) 宝が池公園子どもの楽園指定管理業務の受託
    - 子どもの楽園の指定管理者としての管理運営は2年目であり、多様な事業の充実に努めた。また、親水施設の小まめな清掃、ナラ枯れ被害木の監視等、子どもや家族連れが安心・安全に過ごせるよう管理を行った。
  - (ウ) 公園の活性化の取組
    - a 各種展示会、イベントの誘致開催
    - b 梅小路公園にぎわい創出事業
      - 京都の物産等を紹介する物販ブースを設け、京都の食文化等を発信するとともに、公園ににぎわいを創出する「にぎわい市」を開催した。(春・夏・秋の3回開催 合計70日間)
    - c 「紅葉まつり」(朱雀の庭のライトアップ、無料開放、期間：11月23日～25日、入場者数：1,935人)
  - (エ) 公園ボランティアの運営、連携、支援
    - a ボランティア組織「梅小路公園・花と緑のサポーターの会」の運営
      - 平成19年に発足。週2回の定例作業日に園内の花壇等の手入れを行い、講習会の運営補助、公園内外のイベント等での普及啓発活動を行っている。
      - (会員数：51人、活動回数：133回、参加人数：計1,289人)
    - b 梅小路公園内「花と緑のセラピーガーデン」活動(第2・第4木曜日)
      - バリアフリーに配慮した花壇等を設置しているコーナーで手入れを行っている。
      - (実施回数：計24回、参加人数：計141人)
    - c 社会体験活動の受入れ
      - 市立白川総合支援学校の生徒の社会体験活動を受け入れた。
  - (オ) 青空健康づくりプログラム(ウォーキング教室)
    - 誰もが気軽に取り組める運動を中心とする健康増進プログラムとして、梅小路公園でウォーキング教室を開催した。(実施回数：24回、参加者数：計1,081人)
  - (カ) 円山公園巡回・案内業務
- ク 広報・出版
- (ア) 広報誌
    - a 京のみどり(季刊)の発行
      - 市内各地の緑に親しんでいただくためのウォーキングマップや、緑を守り育てる取組を紹介する特集を掲載している。このほか、園芸知識、協会事業、京都市の施策等を紹介している。(4号発行、部数：各7,000部(市案内所、区役所・支所、市立図書館等で配布))
  - (イ) ホームページによる情報発信とスマートフォンサイトの解説
    - 広報誌「京のみどり」のコンテンツの掲載、緑の相談Q&Aの充実、協会事業の報告をタイムリーに掲載できる欄を設け、発信力の強化を図った。(アクセス件数(Visits数)425,228件)また、梅小路公園に来られる方向けに季節に応じた見どころ(花木等)の紹介、各種施設の案内を行うため、スマートフォン向けサイトを企画し、平成25年3月30日から公開した。
  - (ウ) 自然遊びガイド「自然×あそびのススメ」の制作・発行
    - 緑化協会が積み重ねてきた自然遊びの各種プログラムを基に、自然に親しみ、遊ぶことの重要性を理解していただくための入門ガイドとして発行した。
  - (エ) 「公園樹管理ハンドブック」制作等の受託
    - 社団法人京都府造園建設業協会(現・一般社団法人)が発足させた「公園樹管理士制度」の研修テキストとなるハンドブックの制作を受託した。
- ケ 調査・情報収集
- (ア) 植生調査等
    - 適切な管理及び情報発信の基礎資料とするため、梅小路公園いのちの森モニタリングへの

協力，子どもの楽園周辺のナラ枯れ木調査を行った。

(イ) 間伐材利用方策の調査・情報収集

ナラ枯れ材やスギ・ヒノキ等の間伐材を利用した各種製品（活性炭，土木資材等）を普及し，その収益を森林保全・再生につなげる仕組（緑のプラットフォーム）づくりのため，ベンチャー企業との共同の調査や情報収集を行った。

コ 庭園管理運営・研修・情報発信

(ア) 梅小路公園「朱雀の庭」の維持管理業務

「朱雀の庭」の維持管理を行い，様々なイベントにより新たな庭園文化の発信を行った。

(イ) 庭園情報の収集・発信

京都の優れた庭園の情報を収集し，ホームページ・広報誌「京のみどり」等において実際に訪れていただくための発信を行っている。

(ウ) 庭園文化講座

日本庭園に関連する「緑の文化」，伝統的技術について理解を深めていただくことを目的に，庭園デザインのほか関連分野の建築・茶道等の講義を含む庭園文化を学ぶ講座（実施回数：2回，受講者：計328人）

サ 公園収益事業

(ア) 自動販売機飲料販売事業

(イ) 梅小路公園収益事業

(ウ) 宝が池子どもの楽園駐車場運営事業

(エ) 国立京都迎賓館庭園の維持管理業務

京都迎賓館庭園の維持管理業務を引き続き受託したほか，造園系大学学生のボランティア作業や造園技術者の技能研修作業を受け入れ，池流れの清掃，樹木の剪定等を実施した。

シ 法人業務

(ア) 公益財団法人の認定申請・移行

新しい公益法人制度の下で，「みどり」という公益性が高い分野で市民と行政をつなぐ重要な役割を担うため，当協会は公益財団法人への移行を申請した。京都府公益認定等審議会による審議を経て平成24年4月1日に登記を完了し，移行することができた。

(イ) 事務所体制の変更及び効率的な業務の遂行

平成23年度に，本部事務所の移転，新たな指定管理業務の受託により，3事務所体制となったが，効率性の確保のため，各事務所の自立的な運営を行うとともに，所属長会等の開催による情報共有や事務所間の応援体制により，事業を推進した。

(ウ) 計画的な教育及び研修の実施による職員の資質と能力の向上（派遣回数：8回，派遣人数：13人）

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[90,014]	流動負債	[77,561]
現金預金	55,644	未払金	68,201
未収金	33,925	前受金	0
前払金	31	預り金	1,295
仮払金	0	賞与引当金	2,777
立替金	415	未払法人税等	5,288
固定資産	[100,022]	固定負債	[21,945]
(基本財産)	(50,000)	退職給付引当金	21,945
定期預金	20,004	負債合計	99,506
定額郵便貯金	10,000	正味財産の部	
投資有価証券	19,996	指定正味財産	[50,000]
(特定資産)	(42,945)	(うち基本財産への充当額)	(50,000)
退職給付引当資産	21,945	一般正味財産	[40,530]
事業推進積立資産	21,000	(うち特定財産への充当額)	(21,000)
(その他の固定資産)	(7,077)	正味財産合計	90,530
車両運搬具	67	負債及び正味財産合計	190,037
什器備品	7,010		
資産合計	190,037		

正味財産増減計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	備考
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	91	94	
特定資産運用益	73	141	
事業収益	58,935	20,810	
受取補助金等	219,519	219,117	
受取寄付金	40	70	
雑収益	4,913	16,460	
経常収益計	283,571	256,691	
(2) 経常費用			
事業費	256,223	212,720	
管理費	14,740	38,904	
経常費用計	270,963	251,624	
当期経常増減額	12,608	5,067	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用			
経常外費用計	93	2,643	
当期経常外増減額	△93	△2,643	
税引前当期一般正味財産増減額	12,515	2,425	
法人税，住民税及び事業税	5,288	1,599	
当期一般正味財産増減額	7,227	826	
一般正味財産期首残高	33,303	32,478	
一般正味財産期末残高	40,530	33,303	
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	
III 正味財産期末残高	90,530	83,303	



## 2 平成 25 年度事業計画

### (1) 平成 25 年度事業

#### ア 都市緑化の普及啓発，緑化意識の向上及び緑豊かなまちづくりに寄与する事業

京都の都市緑化の普及啓発，緑化意識の向上及び緑豊かなまちづくりを目的として，管理運営する公園等を拠点として，各地域において，講習会，イベント，広報その他様々な事業を行う。

##### (ア) 緑の学校の開設と人材育成

座学や実習を伴う新規・既存の講習会をカリキュラムとする「緑の学校」を開設し，地域で緑化活動を担う人材を育成する。

##### a 園芸・造園関係の講習会等

##### b 花壇づくり講習会

公共の花壇づくりを中心に，グループで行う緑化活動の基本をシリーズで学ぶ。宿根草・多年草の活用，和の花やそれに近いイメージの植物の活用を図る。

##### c 庭づくり（ガーデニング）を楽しむ講座

家庭でのガーデニングについて，計画，造成，植栽，維持管理，庭での楽しみ方まで学ぶ。

##### d 庭園文化講座及びボランティアガイド講座

日本庭園とそれに関連する「緑の文化」について理解を深めて頂くための連続講座を実施し，その受講者を体操にガイドボランティアを募集する。

##### e 緑の散策ツアー

まちなかの緑のスポットを訪ね歩き，緑にかかわる歴史文化や快適な生活環境づくりの取組を考える機会を提供する。併せて，ウォーキングを通じた健康づくりの機会とする。

##### (イ) 自然環境に関する講習会・体験活動

##### a 体験型講習会，自然観察会等

##### b 環境学習養成講座

体験型の環境学習活動を支える人材の養成を学習会や子ども向けプログラムを通じて行う。

##### c 公園・庭園の樹木と対話する教室

梅小路公園内を歩きながら，公園・庭園の樹木等の植物を紹介するほか，造園のコンセプトに基づいて景の見方等の解説を行い，植物や緑の文化に親しんでいただく。

##### (ウ) 緑の相談所運営

##### a 相談業務

平成 25 年度は，梅小路公園再整備事業の中で京都市により緑のボランティアセンターが設置されることから，本部事務所での相談を梅小路公園で行うこととする。

##### b 希少植物の保全・普及

##### (エ) 緑のイベントの開催及び支援

##### a 月間行事等

(a) 「守ろう！古都の自然」キャンペーン，「みどりの月間」，「都市緑化月間」におけるイベントの主催・協力を行い，希少種の保全，緑の文化や公園緑地の大切さについて理解を促す。

(b) 地域イベントへの出展等を通じて，協会活動の PR，募金活動等を行う。

##### b 「みどり」に関連した多彩な教室の開催

##### (オ) まちなか（市街地）緑化事業

緑視率の向上及び街並み修景を図るため，和花等を生かした京都らしい鉢物・プランターを，施設，街路沿いの住宅の軒下等に連続して設置し，管理していただく団体への技術支援も行う。

##### (カ) 緑の団体支援事業

- a 「京都みどりのサポーター協議会」の運営
- b 緑の活動団体登録制度の発足
  - 各地の緑の活動団体の人材，ニーズに関する情報を集め，技術支援や協働の取組を進めるため，緑のボランティアセンターを梅小路公園内に設置し，団体の登録制度を設ける。
- c 緑の学校の運営と緑化リーダーの認定
  - 「緑の学校」のカリキュラムで，所定の単位数を2年度以内に取得した人を緑化リーダーとして認定し，団体の登録制度と合わせ，協働の取組や支援の効果を高める。
- (キ) 公園緑地の利用促進及び多目的な機能の向上に寄与する事業
  - a 梅小路公園指定管理業務の受託
  - b 宝が池公園子どもの楽園指定管理業務の受託
  - c プレイパーク事業
  - d 公園ボランティアの運営，連携，支援
  - e 青空健康づくりプログラム
  - f 円山公園巡回・案内業務
- (ク) 広報・出版
  - a 広報誌・パンフレット等の発行
  - b ホームページによる発信
  - c スマートフォン専用サイトの開設
- (ケ) 調査・情報収集
  - a 森林バイオマス利用の調査・情報収集（緑のプラットフォーム事業）
  - b 植生調査等
- イ 京都の庭園の保安全管理，庭園文化・技術の継承及び発展に寄与する事業
  - (ア) 梅小路公園「朱雀の庭」の良好な維持管理と運営
  - (イ) 庭園情報の収集・発信
  - (ウ) 庭園文化講座
  - (エ) 日本庭園の伝統的技術・技能研修
- ウ 公園収益事業
  - 自動販売機飲料販売事業，梅小路公園収益事業，宝が池子どもの楽園駐車場運営事業，国立京都迎賓館庭園維持管理事業
- エ 法人業務
  - (ア) 公益認定の継続
  - (イ) 新たな会計・税務対応
  - (ウ) 効率的な業務の遂行
  - (エ) 計画的な教育及び研修の実施による職員の資質と能力の向上

## (2) 予算

## 収支予算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	備考
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	100	100	
特定資産運用益	100	100	
事業収益	52,535	39,072	
受取補助金等	199,339	217,493	
受取寄付金	1	1	
雑収益	2,761	3,306	
経常収益計	254,836	260,072	
(2) 経常費用			
事業費	240,672	245,543	
管理費	14,164	14,244	
経常費用計	254,836	259,787	
当期経常増減額	0	285	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	0	285	
当期一般正味財産増減額	0	285	
一般正味財産期首残高	33,763	33,478	
一般正味財産期末残高	33,763	33,763	
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	
III 正味財産期末残高	83,763	83,763	

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	242,542	256,691	283,571	254,836
	当期経常増減額	△6,302	5,067	12,608	0
	当期正味財産増減額	△6,400	826	7,227	0
貸借対照表	総資産	165,889	169,805	190,037	/
	総負債	83,411	86,502	99,506	
	正味財産	82,478	83,303	90,530	
	基本財産	50,000	50,000	50,000	
	累積損益額	32,478	33,303	40,530	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	京都市梅小路公園管理業務委託 (指定管理)	76,869	94,800 (※)	94,800 (※)	94,800 (※)
	宝が池公園子供の楽園管理業務委託 (指定管理)		11,000 (※)	11,000 (※)	11,000 (※)
	宝が池プレイパーク事業業務委託	3,920			
	梅小路公園指定管理区域外管理業務		30,834	27,827	
	円山公園巡回等業務		1,817	1,865	
補助金	運営補助	30,362	29,394		
	グリーンフェアその他事業補助	5,733	5,072	36,901	27,084

(※) 一部利用料金制

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 繁忙期の人員を事務所間で相互に融通を行ったり、掃除等を外部委託し人件費を抑制するなどの経費削減と、京都水族館開業を機に公園の利用が進んだことにより、黒字化が実現できた。</li><li>・ しかしながら、公益的な都市緑化推進事業を一層充実強化するためにも、安定的な財政基盤の確立を図る必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公益的な自主事業の実施や他団体との共催事業等の積極的な連携を図るとともに、プレイパーク活動や自然遊び教室等のほか、特別イベントを開催し、公園活性化と利用者の満足度の向上のため自主事業を実施しており、自主事業、指定管理業務ともに高く評価できる。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 当期正味財産増減額は、平成23年度に引き続き黒字を確保しているが、本市からの収入に依存している割合が多く、自主財源の確保に努める必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公益財団法人に移行したことをいかし、受取寄付金の拡大を図るほか、自主事業による収入増加策を検討することが望まれる。</li></ul>

# 京都シティ開発株式会社

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

代表取締役社長 浅野義孝

### 2 所在地

(本社) 京都市山科区上野御所ノ内町 16-10

(ラクトB事務室) 京都市山科区竹鼻竹ノ街道町 91

### 3 電話番号

075-501-2702

### 4 ホームページアドレス

<http://www.racto.jp/>(専門店街ラクト)

<http://www.racto.jp/sportsplaza.html> (ラクトスポーツプラザ)

### 5 設立年月日

平成3年9月2日

### 6 資本金

561,000千円(うち本市出資額 279,900千円, 出資率 49.9%)

### 7 事業目的

京都市施行の京都駅南口地区第一種市街地再開発事業及び山科駅前地区第一種市街地再開発事業によって整備された施設等の管理や商業施設の運営を通じて、当該事業地区及び周辺地域の振興、発展に寄与するとともに、二条駅地区文化施設整備・運営事業において、市有地の転貸借業務や事業のモニタリング業務を行うことを目的とする。

### 8 業務内容

- (1) 都市再開発事業に係る調査, 企画, 設計及びコンサルティングの請負
- (2) 建築, 設備工事に係る企画, 設計, 施工, 監理及びコンサルティングの請負
- (3) 不動産の管理, 売買, 賃貸借, 仲介, 斡旋及び管理運営の請負
- (4) 道路, 公園等公共施設の維持管理の請負
- (5) 商業施設, 駐車場, 駐輪場, スポーツ施設, 貸し会場の運営及び管理運営の請負
- (6) 商業施設の運営に係る人材派遣及びテナントリーシングの請負
- (7) 店舗経営に係る経営指導, 販売促進及び店舗計画の請負
- (8) 広告の企画, 制作及び代理業
- (9) 商品小売及び飲食業
- (10) 損害保険, 銀行, 証券仲介等代理店業務
- (11) 公衆電話, 飲料水等自動販売機の管理受託
- (12) 前各号に付帯する一切の業務

### 9 所管部局

建設局都市整備部市街地整備課 (TEL075-213-3537)

### 10 役員名等

#### (1) 代表取締役社長

浅野義孝

#### (2) 常務取締役

江島謙次

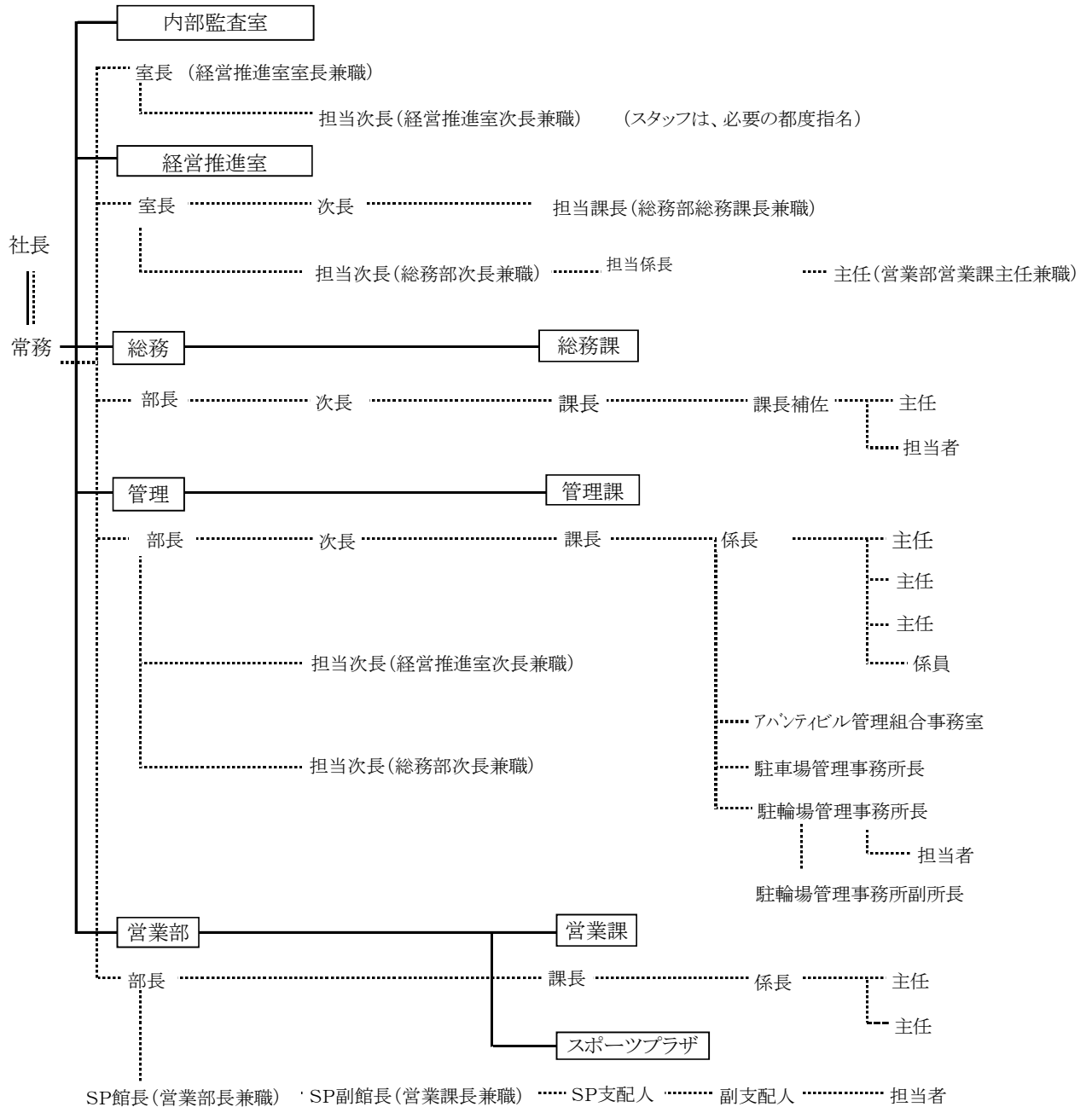
#### (3) 取締役

河嶋敏郎(建設局長), 白須正(産業観光局長), 小笠原憲一(都市計画局長), 中野淑夫, 三浦達也, 大同一生, 布垣豊

- (4) 常勤監査役  
近藤一郎
- (5) 監査役  
小森秀樹, 藤田正樹, 山元康裕

11 常勤職員数  
28人 (うち本市派遣職員0人)

12 組織機構



(注) ——— は、組織      - - - - - は、命令系統

## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

平成24年度における当社の業績は、京都市からの委託料や節電による電気料金収入の減少により、売上高は減少したが、アバンティビルの減価償却費の減少や委託費などの経費削減努力により、経常利益及び税引前当期純利益は57百万円で前期比13百万円の改善となった。ただし、当期純利益については、法人税率の変更に伴い平成23年度に計上した法人税等調整額が減額となったため、前期比で11百万円が減少し、34百万円となった。

なお、平成24年度の事業の主な実施内容は、次のとおりである。

#### ア ラクトB商業施設の運営事業

キーテナントの大丸と専門店街を合わせた施設全体の売上高は約97億円となり、前期とほぼ同額の結果となったが、レジ通過客数は前期比約1.2%増加した。

また、当社の賃料収入は、不採算テナントの入れ替え等により約5百万円増加しており、今後は増加している客数を売上高の増加にどのように繋げていくかが課題となっている。

#### イ 受託事業

京都市から、八条通地下横断歩道、山科駅前地下道・中交通広場等の公共施設維持管理業務を受託したほか、ラクトA、B、C棟各管理組合及びアバンティビル管理組合からの管理業務を受託し、ほぼ前期と同様の結果となった。

#### ウ 指定管理者事業

平成23年度から4年間、指定管理者として、山科駅前駐車場、ラクト健康・文化館（ラクトスポーツプラザ）及び山科駅自転車等駐車場の事業に取り組んでいる。駐車場は、平成23年度にオープンしたニトリ効果が薄れ、入庫台数、売上高とも減少したが、特殊要因がなかった平成22年度比では、入庫台数、売上高とも増加した。また、利用料金制のラクトスポーツプラザにおいては、競争激化の中で、スイミングスクール事業などを強化したことにより、施設利用売上は増加し、部門別損益でも昨年に引き続き黒字を達成した。

#### エ 不動産賃貸事業

イズミヤ株式会社に一括で賃貸しているアバンティビル当社所有区画は、同社が自らの所有区画と合わせて「京都アバンティ」として株式会社オーパに運営を委託しているが、平成23年度に実施した第一次リニューアルに引き続き、地下1階のリニューアル工事を行い、平成24年10月6日にグランドオープンした。

また、「二条駅地区の文化施設（B i V i 二条）における市有地」の転貸借及び同施設のモニタリング業務については、ほぼ前期と同様の結果となった。

#### オ その他の事業

その他直営事業として、山科駅西駐輪場・駐車場の経営、地下道広告枠運営業務などの事業を実施した。



## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[346,301]	流動負債	[514,822]
現金預金	259,139	一年内返済長期借入金	76,000
商品	999	一年内返還保証金	155,861
貯蔵品	360	未払金	94,135
未収入金	53,101	前受金	3,316
前払費用	6,338	営業預り金	151,058
繰延税金資産	5,320	未払法人税等	15,594
その他流動資産	21,040	未払消費税等	4,497
		賞与引当金	8,109
		リース債務	2,898
		その他流動負債	3,353
固定資産	[3,344,048]	固定負債	[2,618,994]
(有形固定資産)	(3,215,549)	長期借入金	240,000
建物	1,922,249	預り保証金	1,013,792
構築物	366	預り敷金	1,149,711
器具備品	5,392	退職給付引当金	50,799
土地	1,281,331	長期未払金	2,550
リース資産	6,210	リース債務	3,622
(無形固定資産)	(5,495)	繰延税金負債	158,519
電話加入権	3,356		
ソフトウェア	2,138	負債合計	3,133,817
(投資その他の資産)	(123,003)	純資産の部	
投資有価証券	1,662	株主資本	[556,076]
出資金	110	資本金	561,000
修繕積立金	1,220	利益剰余金	△ 4,923
敷金保証金	9,444	その他利益剰余金	△ 4,923
長期前払費用	110,566	繰越利益剰余金	△ 4,923
		評価・換算差額等	[456]
		その他有価証券評価差額金	456
		純資産合計	556,532
資産合計	3,690,350	負債及び純資産合計	3,690,350

損益計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目		金 額	
売上高			1,955,307
売上原価			1,796,284
	売上総利益		159,023
販売費及び一般管理費			99,565
	営業利益		59,457
営業外収益			
受取利息・配当金		10	
雑収入		4,823	4,834
営業外費用			
支払利息		6,314	
雑損失		924	7,238
	経常利益		57,052
	税引前当期純利益		57,052
	法人税, 住民税及び事業税	26,110	
	法人税等調整額	△ 3,174	22,935
	当期純利益		34,116

株主資本等変動計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		その他利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	561,000	△ 39,040	△ 39,040	521,959	181	181	522,140
当期変動額							
当期純損失	-	34,116	34,116	34,116			34,116
株主資本以外の項目の当期変動額)					274	274	274
当期変動額合計	-	34,116	34,116	34,116	274	274	34,391
当期末残高	561,000	△ 4,923	△ 4,923	556,076	456	456	556,532

## 2 平成 25 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

平成 23 年度を初年度として策定した 3 箇年の第 4 期中期経営計画の最終年度にあたり、主要な課題として次の項目に取り組む。

#### ア ラクトB商業施設の運営事業

ラクトB商業施設の区画に係る共有者への支払賃料については、平成 13 年に改定を行って以来、据え置いてきたが、その後の経済情勢の変動等により支払賃料とテナントからの受取賃料とが逆ザヤ状態となっていた。この逆ザヤ状態を解消するため、当社より支払賃料の減額を申入れ、共有者会総会において平成 25 年 6 月 15 日から減額改定することが承認され、一定の収支改善を図ることができる。しかし、電気代をはじめとする光熱水費の値上がりに伴う費用の増加に対しては不透明であり、節電対策の強化に取り組むとともに、引き続き不採算テナントの入替え等により施設を活性化し、更なる賃料収入の増収を図る。

#### イ 受託事業

委託者である京都市及び各管理組合の期待にこたえ、誠実な業務執行に当たる。

#### ウ 指定管理者事業

平成 23 年度から 4 年間にわたり、従来の山科駅前駐車場及びラクト健康・文化館に、山科駅自転車等駐車場を加えた 3 施設を一体とした指定管理者の指定を受け、京都市との協定書に基づき、各種施策を着実に実行する。

#### エ 不動産賃貸事業

アバンティビルについては、引き続きイズミヤ株式会社と協力し、商業施設の活性化と適切な維持に努める。

#### オ その他の事業

山科駅西駐輪場・駐車場の利用者の拡大に努める。

### (2) 予算

#### 予定損益計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	1,960,000
売上原価	1,780,000
売上総利益	180,000
販売費及び一般管理費	95,000
営業利益	85,000
営業外収益	
受取利息・配当金	2,000
営業外費用	
支払利息	7,000
経常利益	80,000
税引前当期純利益	80,000
法人税及び住民税	35,000
法人税等調整額	0
当期純利益	45,000

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
損益計算書	売上高	2,048,062	1,980,792	1,955,307	1,960,000
	経常利益	65,327	43,890	57,052	80,000
	当期利益	△169,531	46,076	34,116	45,000
	減価償却前利益	13,842	234,277	196,870	206,000
貸借対照表	総資産	4,069,685	3,825,287	3,690,350	
	総負債	3,593,649	3,303,146	3,133,817	
	純資産	476,035	522,140	556,532	
	基本財産	561,000	561,000	561,000	
	累積損益額	△ 84,965	△ 38,860	△ 4,468	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	京都市山科駅前駐車場の管理業務 (指定管理)	83,009	78,758	79,223	78,093
	京都市ラクト健康・文化館の管理業務 (指定管理)	利用料金制	15,000 (※)	10,000 (※)	10,000 (※)
	京都市ラクト健康・文化館の修繕に関する年度協定 (指定管理)	17,986	16,885	14,999	15,000
	京都市山科駅自転車等駐車場の駐車料金の徴収業務 (H23 から指定管理)	60,051	48,565	47,036	47,036
	京都駅新幹線下自由通路及び八条通地下横断歩道の維持管理業務	10,711	11,350	10,201	
	山科駅前地区公共施設維持管理業務	62,434	58,664	49,248	

(※) 一部利用料金制

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>京都市からの受託料の減少などにより売上高は減少したが、アバンティビルの減価償却費の減少や委託費などの経費削減努力により、経常利益及び税引前当期純利益は57百万円で前年比13百万円の改善となった。</li><li>しかし、前年は法人税率の変更に伴う法人税等調整額が大きく、今年度は法人税等調整額が大幅な減額となったため、税引後の当期純利益は前年比で12百万円減少し、34百万円となった。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>ラクトB商業施設においては、キーテナントの大丸と専門店街を合わせたレジ通過客数は微増したものの、施設全体の売上高は、前年とほぼ同額の結果となった。</li><li>不採算テナントの入替え等より、賃料収入が約5百万円増加した。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>売上高は平成23年度を下回っているが、経常利益、当期利益は確保されている。しかし、累積欠損金がまだ残っているので、経営改善努力を継続することが必要である。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>ラクトB商業施設においては利用者数が増加傾向にあるので、このすう勢を維持し、増加した利用者数を売上高の増加等につなげることが課題である。 なお、京都市ラクト健康文化館の入場者数が減少しているので、対応策を検討する必要がある。</li></ul>

消 防 局

# 一般財団法人京都市防災協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 川中長治

### 2 所在地

京都市南区西九条菅田町7番地 京都市市民防災センター内

### 3 電話番号

075-662-1849

### 4 ホームページアドレス

[http://web.kyoto-inet.or.jp/org/bousai\\_s/outline/index.html](http://web.kyoto-inet.or.jp/org/bousai_s/outline/index.html)

### 5 設立年月日

平成6年10月1日

### 6 基本財産

50,000千円（うち本市出えん額50,000千円，出えん率100.0%）

※ 平成25年7月1日現在：10,000千円（うち本市出えん額10,000千円，出えん率100%）

### 7 事業目的

防災思想及び防災知識の普及並びに防災に関する技能向上のための教育指導その他地域防災体制の確立に資する事業を推進し、もって地域社会の安全と福祉の増進に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 防災思想の普及及び高揚に資する事業
- (2) 事業所等に対する防災の教育指導に資する事業
- (3) 各種防災関係講習
- (4) 防災に関する調査及び研究
- (5) 防災設備等の普及指導
- (6) 市民防災センターの管理運営の受託
- (7) その他協会の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

消防局安全救急部市民安全課（Tel075-212-6692）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

川中長治

#### (2) 常務理事

三浦孝一

#### (3) 理事

森澤正一，尾池和夫，木下麻奈子，古川隆三，貴志吉延，三宅真輔，山添洋司（行財政局長），長谷川純（消防局長），杉本栄一（消防局次長）

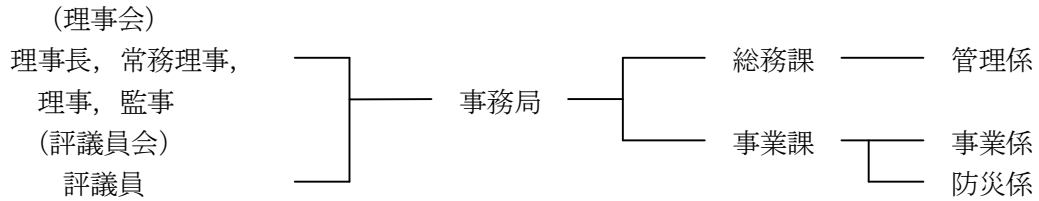
#### (4) 監事

白崎幸男，山内博貴（消防局安全救急部長）

### 11 職員数

14人（うち本市派遣職員4人）

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成 24 年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 市民防災センターの管理運営

各種防災体験を通じて、来館者に対して防災に関する知識や技術の普及向上及び防災意識の高揚に努めた。

平成 24 年度の来館者数は 104,945 人、自主防災組織、事業所、学校等の団体の来館は 993 団体であった。

##### イ 防火防災に係る各種イベントの開催

防災週間や学校の休暇期間中に、次の各種イベントを市民防災センターで開催し、来館者に対して防火防災思想の普及に努めた。

- (ア) ゴールデンウィーク防災フェスタ 2012
- (イ) BOSA I サマーフェスタ 2012
- (ウ) 防災展／救急展
- (エ) ウィークエンド防災フェスタ
- (オ) 園児の描く消防の図画展示会
- (カ) 冬休み子ども防災アニメ大会
- (キ) 防災フェア 2013 (防災とボランティア週間)
- (ク) 3.11 きずな・京都一大震災を教訓にー
- (ケ) BOSA I スプリングフェスタ 2013

##### ウ 防災講演会の開催

異常気象、風水害、東日本大震災をテーマとして、次の防災講演会を市民防災センターで開催し、市民に対して防災情報の提供を行った。

- (ア) 災害に強いまちづくり講座 (I) (「豪雨から身を守る正しい知識」をテーマとして 2 回開催)
- (イ) 災害に強いまちづくり講座 (II) (「東日本大震災から考える」をテーマとして 1 回開催)
- (ウ) 災害に強いまちづくり講座 (III) (「東日本大震災から考える」をテーマとして 2 回開催)
- (エ) 特別講演会 (「地震を知って地震に備える」をテーマとして開催)
- (オ) 経営者セミナー (「阪神・淡路大震災からの復興と災害対策」～阪急電鉄の取組～) をテーマとして開催)



エ 防火防災講習の開催

京都市（消防局）と連携を図り、次の講習を開催し、事業所の防火防災体制の強化及び市民の応急手当能力の普及啓発を図った。

講習の種別	実施回数（回）	受講者数（人）
応急手当普及員講習（本講習）	12	139
応急手当普及員講習（再講習）	12	174
防火・防災管理業務受託法人等教育担当者講習	1	7
甲種防火管理講習（新規講習）	19	2,440
甲種防火管理講習（再講習）	2	154
乙種防火管理講習	3	156
防災管理講習（新規講習）	4	286
防火・防災管理新規講習（併催）	4	433
防火対象物点検資格者講習（本講習）	1	33
防火対象物点検資格者講習（再講習）	2	86
防災管理点検資格者講習（新規講習）	1	36
自衛消防業務講習（新規講習）	29	857
自衛消防業務講習（追加講習）	4	67

オ 防災教養誌の発行

京都市消防職員、消防団員、事業所及び市民向けの防災教養誌として、機関誌「京都消防」の発行と販売を行った。

カ 広報広聴活動の実施

(ア) 市民防災センターの利用PR

a 自主防災会、事業所、各種団体、小学校、幼稚園及び各消防署等に対し、市民防災センターの来館勧奨用案内チラシを配布し、利用PRに努めた。

(a) 来館勧奨用案内チラシ（開館日カレンダー入り）：75,000部

(b) 来館勧奨用案内チラシ：10,000部

b 各種イベント開催時に案内ビラ等を活用し、自主防災会等に対して直接又は市内の各消防署を通じて来館勧奨を行った。

(a) 各種イベントの開催案内チラシ：133,000部

(b) 各種イベントの開催周知ポスター：1,840部

(イ) 広報媒体による情報提供

a 市民防災センターの来館者用として広報媒体を作成し、来館者に対して防災情報の提供を行った。

(a) 応急手当関連啓発媒体2種類：9,000部

(b) 風水害関連啓発媒体2種類：6,000部

(c) 職場のハンドブック：3,000部

(d) 災害関連啓発媒体：3,000部

b 防災情報の発信を目的として広報媒体（冊子）を作成し、自主防災会等に対して配付した。

(a) 災害に強いまちづくり講座（前期）：1,000部

(b) 災害に強いまちづくり講座（中期）：1,000部

(c) 災害に強いまちづくり講座（後期）：1,000部

(d) 災害に強いまちづくり講座（前・中・後期の合本版）：11,000部

c その他

平成24年度版財団法人京都市防災協会「事業概要」：500部

(ウ) インターネットによる情報提供

インターネットのホームページにより、防災知識や防災情報の普及を図るとともに、各種イベントや講習会の予定等の情報を提供し、市民防災センターの利用促進に努めた。  
アクセス件数：180,809件

(エ) 報道機関等への情報提供

テレビ、ラジオ、新聞の報道機関や情報誌などに対し、積極的に防災体験や各種イベント、防火防災情報等の提供を行い、市民防災センターの来館者増に努めた。

a テレビ、ラジオ放送回数：11回

b 新聞等掲載回数：19回

c 雑誌等掲載回数：9回

d インターネット掲載回数：4回

(オ) 広聴活動

インターネットEメール、来館者アンケート（窓口サービス評価）等による広聴活動を行った。このうち、来館者アンケート（窓口サービス評価）は、平成24年9月4日（火）から9月23日（日）までの間に来館された、中学生以上の来館者にアンケート用紙を配布し、754名から回答を得た。

平成24年度 窓口サービス評価結果

	対応の仕方	身だしなみ	接遇の態度	説明の仕方	窓口の印象	5項目の平均
防災センター	4.62	4.62	4.60	4.61	4.57	4.60

注：大変よかった＝5点、よかった＝4点、普通＝3点、あまりよくなかった＝2点、よくなかった＝1点

キ 各種防火防災講習等に係る図書等の販売

(ア) 応急手当講習テキスト：177冊

(イ) 応急手当指導者標準テキスト：143冊

(ウ) 消防用設備等運用基準：192冊

ク 防災用品の普及啓発及び販売

市民防災センターの来館者に対して、防災体験を通じて防災用品の備えの必要性について普及啓発を図るとともに、防災用品の販売（斡旋）を行った。

※1年間で販売した主な防災用品

非常持出品セット	117セット
非常持出袋	531個
乾パン	1,563個
アルファ化米	289個
キューマスク	216個
三角巾	132枚

ケ 防火防災啓発器材等の貸出し

市民や各種団体等に対して、防火防災啓発器材、防災ビデオ等の貸出しを行った。

(ア) 防火防災啓発器材の貸出し

地震、水害に関する災害写真パネルや、消防自動車写真パネル、非常持出品等の防火防災用品等の消防署への貸出しを行った。

貸出件数：42件

(イ) 防災ビデオの貸出し

防火防災に関するビデオを購入し、ビデオライブラリーの充実を図るとともに、市民、事業所、各種団体等に対してビデオの貸出しを行った。

貸出件数：449件

貸出本数：1,023本

(ウ) 子ども用救助服, 救急服の貸出し

市民防災センター及び消防局, 各消防署における各種イベント行事に活用できるよう子ども用救助服, 救急服各 15 着の貸出しを行った。

貸出件数 : 247 件

コ 他団体との連携

京都市(消防局)が実施する事業と連携し, 市民の防災意識の高揚を図った。

(ア) 京都市総合防災訓練

a 日時 平成 24 年 9 月 1 日(土)

b 会場 左京区岩倉東公園

(イ) 救急フェスタ 2012

a 日時 平成 24 年 9 月 14 日(金)

b 会場 京都市市民防災センター

(ウ) 京都市消防出初式

a 日時 平成 25 年 1 月 13 日(日)

b 会場 京都会館東側岡崎公園内

(2) 財務諸表

貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[97,654]	流動負債	[28,186]
現金	236	未払金	26,807
預金	92,535	預り金	615
未収金	824	前受金	763
立替金	6		
前払金	1,726	負債合計	28,186
棚卸資産	2,326	正味財産の部	
固定資産	[60,200]	指定正味財産	[50,000]
(基本財産)	(50,000)	寄付金	50,000
定期預金	50,000	(うち基本財産への充当額)	(50,000)
(特定資産)	(10,200)	(うち特定財産への充当額)	(0)
経営安定化基金	8,400	一般正味財産	[79,668]
特定事業積立金	1,800	(うち基本財産への充当額)	(0)
		(うち特定財産への充当額)	(10,200)
		正味財産合計	129,668
資産合計	157,854	負債及び正味財産合計	157,854

正味財産増減計算書  
平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	備 考
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産等運用益	15	21	
② 特定資産運用益	3	5	
③ 受取会費	1,200	1,200	
④ 事業収益	192,964	195,310	
⑤ 雑収益	209	226	
経常収益計	194,391	196,762	
(2) 経常費用			
① 事業費	180,188	180,807	
② 管理費	6,271	7,309	
経常費用計	186,459	188,116	
当期経常増減額	7,933	8,646	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	0	0	
当期一般正味財産増減額	7,933	8,646	
一般正味財産期首残高	71,735	63,089	
一般正味財産期末残高	79,668	71,735	
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	
III 正味財産期末残高	129,668	121,735	

2 平成25年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 市民防災センターの管理運営

市民防災センターの指定管理者として、地震体験、強風体験、避難体験、消火体験、くらしの安全、3D京都大地震、消防ヘリフライトシミュレーターなど各種防災体験を通じて、防災に関する知識や技術の普及向上並びに防災意識の高揚を図り、「ひと・まちの「絆」でつくる安心都市・京都」に寄与する施設運営を行う。

イ 防火防災に係る各種イベントの開催

9月の防災週間、1月の防災とボランティア週間、3月の東日本大震災に関連した防災啓発の期間並びに学校の夏休み、冬休み及び春休み期間中等の機会に、防火防災思想の普及を図るために、災害発生時の行動要領が身に着くよう展示方法などを工夫し、次の各種イベントを市民防災センターで開催する。

イベント名 (仮称)	開催時期	内 容
ゴールデンウィーク 防災フェスタ 2013	4月下旬～ 5月上旬	身近な防災関連をテーマに、ゴールデンウィーク期間中に、親子を対象とした家庭でできる救出・救護法などを行い、防災意識の啓発を図る。
B O S A I サマーフェスタ 2013	8月上旬～ 8月中旬	夏休み期間中に、親子を対象に火災予防（子どもの火遊び防止）のスクールなどを開催する。
防災展	8月下旬～ 9月上旬	防災週間中に、家庭や地域における地震防災をテーマとした展示会などを開催する。
救急展	9月上旬～ 9月中旬	救急医療週間中に、応急手当の重要性を訴える展示やAEDの取扱体験などを開催する。
防災オータムフェスタ 2013	9月中旬～ 9月下旬	連続した休日の週間に美術の秋を感じとれる機関誌「京都消防」表紙絵原画展の開催や、高齢者の焼死防等の啓発を図る。
園児の描く消防の図画 展示会	11月下旬～ 2月上旬	京都市（消防局）主催の消防図画募集に応募があった作品の展示を行い、紙芝居による防災教室を開催するなど、来場者に対して、防災意識の啓発を図る。
冬休み子ども防災 アニメ大会	12月下旬～ 1月上旬	冬休み期間中に、子どもを対象に防災ビデオを通じて防災思想の普及を図る。
防災フェア 2014	1月中旬	防災とボランティア週間中に、防災関連物品及び震災パネルの展示や、幼稚園、保育園児を対象とした防災教室会などを開催する。
3.11 きずな・京都 一大震災を教訓にー	3月上旬	震災関連をテーマに、家庭や地域で身近に役立つ救出・救護法などを行い、防災意識の啓発を図る。
B O S A I スプリング フェスタ 2014	3月下旬	春休み期間中に、親子で参加できる防火防災に関するクイズ大会などを行い、防災意識の啓発を図る。

#### ウ 防災講演会の開催

地震や台風をはじめとする自然災害をテーマとして、次の防災講演会を市民防災センターで開催する。

事業名(仮称)	開催時期	内 容
災害に強いまちづくり 講座Ⅰ	6月下旬・ 7月上旬	家庭や地域における自然災害に関する内容をテーマとした講演会を2回開催する。
災害に強いまちづくり 講座Ⅱ	9月中旬・ 9月下旬	家庭や地域における自然災害に関する内容をテーマとした講演会を1回開催する。
災害に強いまちづくり 講座Ⅲ	10月下旬・ 11月上旬	家庭や地域における自然災害に関する内容をテーマとした講演会を2回開催する。
経営者防災セミナー	3月中旬	京都市（消防局）との共催事業

#### エ 防火防災講習の開催

事業所の防火防災体制の強化及び市民の応急手当能力の普及啓発を図るため、京都市（消防局）と連携を図り、次の講習を市民防災センターで実施する。

##### (ア) 防火・防災講習

a 自衛消防業務講習

	実施回数	1回当たり受講定員	延べ受講定員
新規講習(2日間)	29回	36人	1,044人
追加講習(1日)	4回	80人	320人

b 防火対象物点検資格者講習

	実施回数	1回当たり受講定員	延べ受講定員
本講習(4日間)	1回	80人	80人
再講習(1日)	京都 2回	80人	160人
	富山他 3回	80人	240人

c 防災管理点検資格者講習

	実施回数	1回当たり受講定員	延べ受講定員
防災管理点検資格者講習(2日間)	1回	80人	80人

d 防火管理講習

	実施回数	1回当たり受講定員	延べ受講定員
甲種防火管理講習新規講習(2日間)	21回	150人	3,150人
甲種防火管理講習再講習(1日)	2回	150人	300人
乙種防火管理講習(1日)	3回	150人	450人

e 防災管理講習

	実施回数	1回当たり受講定員	延べ受講定員
防災管理新規講習(1日)	3回	150人	450人

f 防火・防災管理講習

	実施回数	1回当たり受講定員	延べ受講定員
防火・防災管理新規講習(2日間)	5回	150人	750人

g 防火・防災管理業務受託法人等教育担当者講習

	実施回数	1回当たり受講定員	延べ受講定員
防火・防災管理業務受託法人等教育担当者講習(3日間)	1回	36人	36人

(イ) 救命講習

a 応急手当普及員講習

	実施回数	1回当たり受講定員	延べ受講定員
本講習(3日間)	12回	30人	360人
再講習(3時間)	12回	30人	360人

b 救命講習(消防局主催)

	実施回数	1回当たり受講定員	延べ受講定員
普通救命講習(3時間)(成人対象)	58回	20人	1,160人
上級救命講習(1日)(成人,乳幼児を持つ方対象)	44回	20人	880人

## オ 防災教養誌の発行

京都市消防局の職員、消防団員、事業所及び市民向けの防災教養誌として、機関誌「京都消防」を発行する。

## カ 広報広聴活動の実施

### (ア) 市民防災センターへの来館勧奨

- a 市民防災センター来館勧奨用パンフレット（開館日カレンダー入り）を作成するとともに、市内の自主防災会、各種団体、事業所、幼稚園、保育園、小・中学校、児童館、学童保育所等に対し、直接又は消防署を通じて来館を呼び掛ける。
- b 市内各消防署、京都市内博物館施設、ひと・まち交流館京都、京都市国際交流会館等に対し、市民防災センター来館勧奨用パンフレットの配布を依頼し、市民防災センターの利用勧奨に努める。
- c 各種イベントを開催する際には、ポスター、パンフレット、リーフレットなどの広報媒体を活用し、市内の自主防災会、幼稚園、保育園等に対し、直接又は消防署を通じて効果的にイベント情報の提供を図るとともに、新聞掲載によるPRの強化を図る。

### (イ) 広報媒体による情報提供

市民防災センターへの来館者、市内の自主防災会、事業所等に対して、災害に強いまちづくり講座講演録（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・合本版）を発行し、防災情報の提供を図る。

### (ウ) インターネットによる情報提供

インターネットのホームページの更新内容を充実し、防災知識の普及を図るとともに、各種講習会、イベント予定等の情報を提供して、市民防災センターの利用を呼び掛ける。

### (エ) 報道機関等への情報提供及び取材対応

新聞、テレビ、ラジオなどの報道機関をはじめ、情報誌などに対し、積極的に防災情報や、イベント情報等の提供を行い、市民防災センターへの来館者の増加につなげる。

### (オ) 広聴活動

インターネットEメール、来館者アンケート等による直接的な広聴活動を行うとともに、防災体験案内時にいただいた意見など市民ニーズの把握に努め、防災研修等の充実に努める。

## キ 防災用品の普及啓発及び販売

市民防災センターの来館者に対して、防災用品の備えの必要性について普及啓発を図るとともに、来館者、インターネット及び電話等による防災用品の問い合わせへの対応や、防災用品の販売を行う。

## ク 防災啓発ビデオ、防火防災啓発器材等の整備及び貸出し

防火防災啓発器材や防災ビデオ等を購入し、内容の充実を図るとともに、市民や各種団体等に貸出しを行う。

## ケ 他団体との連携

「経営者防災セミナー」や「救急フェア」等の事業を京都市（消防局）との共催事業として実施するほか、京都大学防災研究所、みやこめっせ及び安心救急ネット京都その他の団体とも連携を図り、他団体が行うイベントでも協会の事業目的に沿う事業については、積極的に参画していく。

## (2) 予算

収支予算書  
平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	備考
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	12	15	
特定資産運用益	3	3	
会費収入	1,200	1,200	
事業収益	198,363	197,706	
雑収入	202	208	
経常収益計	199,780	199,132	
(2) 経常費用			
事業費	185,656	190,026	
管理費	7,667	9,106	
経常費用計	193,323	199,132	
当期経常増減額	6,457	0	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	40,000	0	
(2) 経常外費用			
経常外費用計	90,000	0	
当期経常外増減額	△ 50,000	0	
当期一般正味財産増減額	△ 43,543	0	
一般正味財産期首残高	78,119	70,305	
一般正味財産期末残高	34,576	70,305	
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	40,000	0	
当期指定正味財産増減額	△ 40,000	0	
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	
指定正味財産期末残高	10,000	50,000	
III 正味財産期末残高	44,576	120,305	



(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	228,508	196,762	194,391	199,780
	当期経常増減額	10,784	8,646	7,933	6,457
	当期正味財産増減額	10,784	8,646	7,933	△83,543
貸借対照表	総資産	147,859	152,735	157,854	/
	総負債	34,769	31,000	28,186	
	正味財産	113,089	121,735	129,668	
	基本財産	50,000	50,000	50,000	
	累積損益額	63,089	71,735	79,668	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	市民防災センターの管理運営事業 (指定管理)	141,764	133,801	135,625	136,764
	住宅用火災警報器設置促進事業	23,043			
	機関誌「京都消防」発行事業	8,880	8,880	8,880	

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>当期正味財産増減額が、平成23年度に比べて若干減少しているが、黒字を維持しており、特段問題はない。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度に引き続き、来館者が10万人を超えたうえ、前年度より増加しており、極めて良好である。</li> </ul>

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>当期正味財産増減額は黒字となっているものの、その額は縮小している。経費削減を更に進めることが求められる。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>来館者数は増加傾向にあり、この水準を維持していくことが望まれる。</li> </ul>

交 通 局

# 京都地下鉄整備株式会社

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

代表取締役社長 吉永充徳

### 2 所在地

京都市山科区安朱中小路町15番地の4

### 3 電話番号

075-502-9001

### 4 ホームページアドレス

<http://kyoto-ss.co.jp/>

### 5 設立年月日

昭和56年4月20日

### 6 資本金

40,000千円（うち本市出資額22,000千円，出資率55.0%）

### 7 事業目的

- (1) 鉄道車両の整備
- (2) 鉄道施設の整備
- (3) 自動車車両の整備
- (4) 電気設備の整備
- (5) 不動産の運営及び管理

### 8 業務内容

高速鉄道電力・電気設備点検の監理

- (2) 高速鉄道建築・機械設備等の監理
- (3) 高速鉄道車両の検査・整備等の監理
- (4) 排水処理装置の保守
- (5) 営業所等の出張・連絡業務
- (6) 梅小路公園遊戯用電車の点検
- (7) 高速鉄道の駅電気設備の監理
- (8) 北大路バスターミナル等の電気・機械設備等の監理

### 9 所管部局

交通局高速鉄道部営業課（TEL 075-863-5213）

### 10 役員名等

- (1) 代表取締役社長

吉永充徳

- (2) 取締役

鈴木知史（交通局企画総務部長），山本登志一（交通局高速鉄道部長），植野正，岡根修司

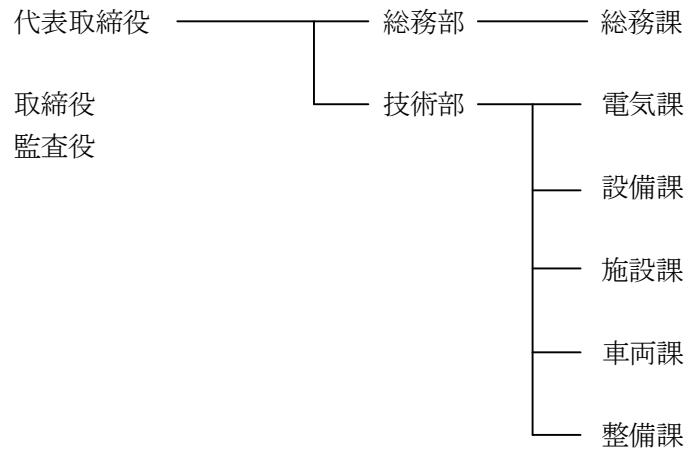
- (3) 監査役

四方宏治

### 11 常勤職員数

51人（うち本市派遣職員0人）

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成24年度決算

#### (1) 事業報告

当社は、昭和56年5月に開業した京都市高速鉄道烏丸線の電力設備及び車両関係の保守管理が多岐にわたり、整備を担当する業者や現場作業が輻輳することから、交通局に代わって総合的な工程管理と現場作業の管理を行うことを目的として、昭和56年4月20日に設立されたものである。

当期は、高速鉄道の電力関係では烏丸線の国際会館・竹田間13.7キロメートル15駅と東西線の六地藏・太秦天神川間17.5キロメートル17駅 全線31.2キロメートル32駅の電気室、変電所、電車線路、電力線路等について、整備・点検に係る監理業務や修繕業務を行った。

高速鉄道の車両関係では、烏丸線車両120両、東西線車両102両を対象に、所定の定期検査等の作業に係る監理業務を行った。高速鉄道の駅施設関係では、建築・機械・昇降機の定期検査に係る監理業務や修繕業務を行った。

市バス営業所等の整備関係では、市内各所のバス営業所や整備工場間等の連絡業務や排水処理装置の整備・点検業務を行った。

そのほか、梅小路公園内にある元北野N電27号の復元車両の運行に係る、軌道、電車線路、車両等の整備・点検業務を行った。

平成24年4月に、京都市交通局から、地下鉄駅の電気設備定期点検等の監理業務を新たに受託したことにより、当期の売上高は、前期と比較し18.1%増の2億5千6百万円となったが、税引後の当期純利益は2百万円の赤字となった。

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[157,700]	流動負債	[22,005]
現金預金	33,651	未払金	7,920
有価証券	19,996	未払法人税等	110
前払金	3,949	未払消費税等	3,556
未収金	99,435	前受金	12
未収還付税金	669	預り金	2,432
		賞与引当金	7,975
固定資産	[94,035]	固定負債	[327]
(有形固定資産)	(1,742)	退職給与引当金	327
建物付属設備	83	負債合計	22,332
車両運搬具	1,558		
工具器具備品	101	純資産の部	
(無形固定資産)	(704)	株主資本	[229,403]
電話加入権	419	資本金	[40,000]
ソフトウェア	285	利益剰余金	[189,403]
(投資その他の資産)	(91,589)	利益準備金	10,000
投資有価証券	89,982	その他利益剰余金	(179,403)
保険積立金	1,554	事業積立金	100,000
預託金	53	別途積立金	50,000
		繰越利益剰余金	29,403
		純資産合計	229,403
資産合計	251,735	負債及び純資産合計	251,735

## 損益計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科目	金額	
売上高		256,986
売上原価		226,501
売上総利益		30,485
販売費及び一般管理費		34,169
営業利益		△ 3,684
営業外収益		
受取利息	603	
その他	391	994
営業外費用		
経常利益		0
特別利益		△ 2,690
特別損失		0
税引前当期純利益		△ 2,690
法人税, 住民税及び事業税		△ 150
当期純利益		△ 2,540

株主資本等変動計算書  
平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	変動事由	金 額
<b>【 株主資本 】</b>		
資本金	当期首残高	40,000
	当期末残高	40,000
利益剰余金	当期首残高	10,000
	当期末残高	10,000
その他利益剰余金	当期首残高	100,000
	当期末残高	100,000
別途積立金	当期首残高	50,000
	当期末残高	50,000
繰越利益剰余金	当期首残高	31,943
	当期変動額 当期純利益金額	△ 2,540
	当期末残高	29,403
利益剰余金合計	当期首残高	191,943
	当期変動額	△ 2,540
	当期末残高	189,403
株主資本合計	当期首残高	231,943
	当期変動額	△ 2,540
	当期末残高	229,403
純資産の部合計	当期首残高	231,943
	当期変動額	△ 2,540
	当期末残高	229,403

2 平成25年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 高速鉄道の電力設備監理業務

- (ア) 烏丸線：変電所（4箇所）、駅電気室等（19箇所）、電車線路等（13.7キロメートル）
- (イ) 東西線：変電所（5箇所）、駅電気室等（21箇所）、電車線路等（17.5キロメートル）

イ 高速鉄道の電気室・変電所日常点検業務

- (ア) 烏丸線：変電所（4箇所）、駅電気室等（19箇所）
- (イ) 東西線：変電所（5箇所）、駅電気室等（21箇所）

ウ 昇降機設備監理業務

- (ア) 烏丸線 15 駅 } 各駅駅舎等設置昇降機設備の保守業務の
- (イ) 東西線 17 駅 } 調整・監理等を行う。

エ 高速鉄道の駅電気設備監理業務

- (ア) 烏丸線 15 駅 } 各駅消防設備保守点検監理業務及び
- (イ) 東西線 17 駅 } 駅務機器保守点検監理業務等

- オ 高速鉄道の建築・機械設備等監理業務  
 (ア) 烏丸線 15 駅 } 各駅 高速鉄道施設の建物・機械設備等の統括監理  
 (イ) 東西線 17 駅 }
- カ 車両基地排水処理装置保守管理業務  
 竹田車両基地, 醍醐車庫
- キ 高速車両保守及び作業監理業務  
 (ア) 烏丸線 : 20 編成 (120 両)  
 (イ) 東西線 : 17 編成 (102 両)
- ク 自動車営業所等の出張連絡業務  
 営業所, 自動車整備工場, 本庁間等の出張連絡業務及び車両検査証更新業務
- ケ 自動車営業所, 高速鉄道車庫等における排水処理装置の保守管理業務  
 自動車営業所, 整備工場, 高速鉄道車庫等の排水処理装置の保守管理
- コ 梅小路公園電車保守管理業務  
 遊戯用電車及び関係設備の日常点検, 整備

(2) 予算

予定損益計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
<b>【経常損益の部】</b>	
(営業損益の部)	
売上高	247,400
売上原価	227,500
売上総利益	19,900
販売費及び一般管理費	34,000
営業利益	△ 14,100
(営業外損益の部)	
営業外収益	900
経常利益	△ 13,200
税引前当期純利益	△ 13,200
法人税, 住民税及び事業税	200
当期純利益	△ 13,400

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
損益計算書	売上高	223,851	217,547	256,986	247,400
	経常利益	△9,702	4,038	△2,690	△13,200
	当期利益	△15,250	3,464	△2,540	△13,400
	減価償却前利益	△12,565	6,036	△930	
貸借対照表	総資産	243,659	250,566	251,735	
	総負債	15,181	18,624	22,332	
	純資産	228,478	231,943	229,403	
	資本金	40,000	40,000	40,000	
	累積損益額	188,478	191,943	189,403	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	高速鉄道等の施設, 車両の点検整備等の監理	233,285	226,534	266,661	

## 第3 経営評価結果

## 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>(財)京都市交通事業振興公社からの引継業務により, 売上高が増加しているが, 当該業務に係る経費の増加や社員数増による人件費の増加により, 赤字となっている。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の業務を除き, 高速鉄道の電力設備点検等の業務や車両検査等の業務の管理・監督に係る部分のみを受託している。</li> </ul>

## 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上高は平成23年度よりも増加したものの, 経常利益, 当期利益ともに赤字となっている。経費削減に努める必要がある。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>受託業務が限定されているので, 効率的な事業遂行が必要である。</li> </ul>



上下水道局

# 一般財団法人京都市上下水道サービス協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 太田達也

### 2 所在地

京都市右京区梅津糺原町16番地

### 3 電話番号

075-871-8300

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-wssa.or.jp/>

### 5 設立年月日

昭和48年3月28日

### 6 基本財産

16,000千円（うち本市出えん額4,000千円，出えん率25.0%）

### 7 事業目的

京都市内の円滑な給水の確保，生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図るため，京都市の実施する上下水道事業の運営に協力し，もって市民福祉の向上に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 上下水道事業に係る調査研究及び普及啓発に関すること。
- (2) 上下水道施設の設置に係る調査，設計及び工事並びに維持管理に関すること。
- (3) 漏水修繕及び漏水調査に関すること。
- (4) 水道メーターの点検，取替及び井水検針に関すること。
- (5) 水道料金及び下水道使用料等の徴収に関すること。
- (6) 災害その他緊急を要する上下水道に係る工事に関すること。
- (7) 排水設備（水洗便所を含む。）の整備に関すること。
- (8) その他協会の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

上下水道局総務部経営企画課（TEL075-672-7709）

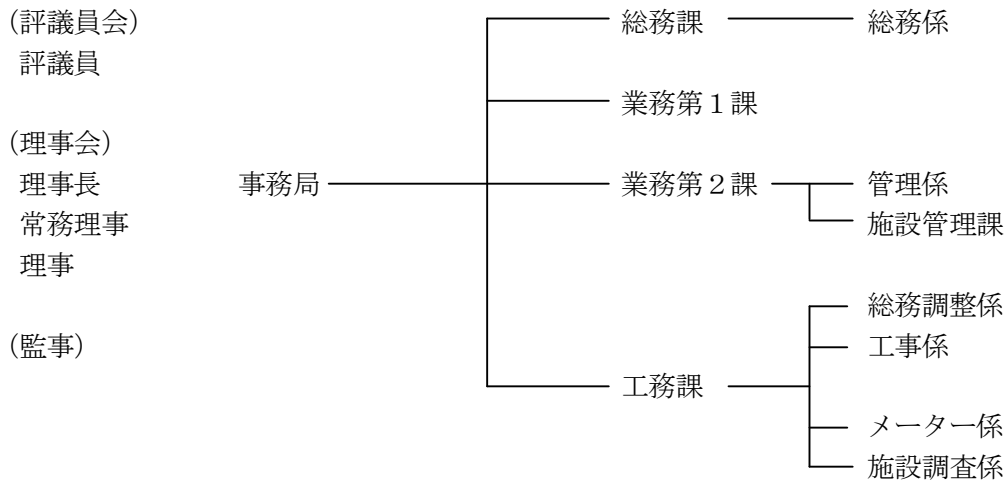
### 10 役員名等

- (1) 理事長  
太田達也
- (2) 常務理事  
佐藤守
- (3) 理事  
日下部徹（上下水道局総務部経営企画課長），中西耕三
- (4) 監事  
糸藤直之（上下水道局総務部経理課長），松波英彦

### 11 常勤職員数

118人（うち本市派遣職員0人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成24年度決算

(1) 事業報告

平成24年度は、受託事業の一部が一般競争入札に移行したことなどにより受託収入が減少した一方で、漏水調査の強化で潜在漏水発見に努めた効果により漏水修繕受託収入が増加した結果、経常収益は、平成23年度と比べて1,000万円増加の約11億1,500万円となった。

経常費用については、漏水修繕作業量の増加に伴う材料費や路面仮復旧工事委託等の関連経費の増加などにより、平成23年度と比べて900万円増加の約11億2,100万円となった。

この結果、税引き後の当期正味財産増減額は、約800万円の赤字となった。実施事業の概要は次のとおりである。

ア 自主事業

上下水道施設の一般公開等において配布する啓発物品等の作製

イ 京都市からの受託業務の内容

- (ア) 漏水修繕事業
- (イ) 設備補修事業
- (ウ) 検定期限満了メーター及び故障・難読メーター等取替事業
- (エ) 配水幹線用仕切弁、空気弁、同弁室の点検及び整備事業
- (オ) 弁栓類等位置確認調査及び点検事業
- (カ) 水圧測定事業
- (キ) リークゾーンテスターによる漏水調査事業
- (ク) 漏水調査事業
- (ケ) 水道料金及び下水道使用料未納整理事業
- (コ) 下水道関連市民啓発事業
- (サ) 鳥羽水環境保全センター汚泥処理運転管理事業
- (シ) 排水設備の接続ます位置設定事業
- (ス) 下水道接続及び未水洗家屋勧奨事業
- (セ) 排水設備工事確認申請書審査及びしゅん工検査業務
- (ソ) 井水等使用量認定事業
- (タ) 償還金の未納徴収事業
- (チ) 下水道施設等更新入力用資料作成事業
- (ツ) マンホールポンプ場等整備点検業務
- (テ) 排水設備設置状況調査等業務

ウ その他

- (ア) 排水設備工事責任技術者試験、登録及び更新講習事業

## (イ) 京都市下水道排水設備指針販売事業

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	[402, 205]	流動負債	[94, 690]
現金	95	未払金	73, 416
普通預金	178, 984	預り金	8, 336
定期預金	30, 000	未払消費税等	10, 506
未収金	177, 651	未払法人税等	2, 433
貸倒引当金	△ 1, 190		
原材料	16, 477		
商品	62		
仮払金	126		
固定資産	[461, 346]	固定負債	[143, 221]
(基本財産)	(16, 000)	退職給付引当金	121, 860
基本財産有価証券	16, 000	引継未払退職債務	21, 361
(特定資産)	(143, 221)	負債合計	237, 912
退職給付引当資産	121, 860		
引継未払退職資産	21, 361	正味財産の部	
(その他の固定資産)	(302, 124)	指定正味財産	[4, 000]
保証金	50	地方公共団体補助金	4, 000
建物	87, 461	(うち基本財産)	(4, 000)
建物付属設備	15, 883	一般正味財産	[621, 639]
構築物	4, 069	(うち基本財産)	(12, 000)
造作	4, 218		
車両運搬具	19, 938		
機械装置	3, 377		
工具	606		
器具備品	2, 209		
ソフトウェア開発金	10, 346		
投資有価証券	153, 967		
資産合計	863, 550	正味財産合計	625, 639
		負債及び正味財産合計	863, 550

正味財産増減計算書  
平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	備考
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	202	202	
② 事業収益	1,110,163	1,095,376	
③ 雑収益	4,458	8,939	
経常収益計	1,114,822	1,104,517	
(2) 経常費用			
① 事業費	1,119,193	1,095,286	
② 管理費	1,362	15,894	
経常費用計	1,120,556	1,111,180	
当期経常増減額	△ 5,733	△ 6,663	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,733	△ 6,663	
法人税・住民税・事業税等	2,433	1,773	
当期一般正味財産増減額	△ 8,166	△ 8,436	
一般正味財産期首残高	629,805	638,241	
一般正味財産期末残高	621,639	629,805	
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	
指定正味財産期首残高	4,000	4,000	
指定正味財産期末残高	4,000	4,000	
III 正味財産期末残高	625,639	633,805	

## 2 平成 25 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

平成 25 年度は、路面漏水個所の減少傾向に加え、鳥羽水環境保全センター汚泥処理施設運転管理業務における施設運転管理の一元化による受託収入の減により、経常収益は、平成 24 年度と比べて 1 億 5,000 万円減少の 9 億 6,100 万円を見込んでいる。

費用については、業務量の減少に伴う人員整理や、職員給料や役員報酬カットの継続をはじめとした経費節減を実施することにより、1 億 2,000 万円の削減を見込んでいるが、一般財団法人化に伴う公益目的支出計画に計上している特定寄付金 8,700 万円の支出が必要となることから、経常費用は、平成 24 年度に比べて 3,300 万円削減の 10 億 7,700 万円を見込んでいる。

この結果、平成 25 年度における当期正味財産増減額の見通しは、1 億 1,600 万円の赤字となる計画としている。

今後、公益目的支出計画を安定的かつ確実に実施していくための財源確保など厳しい状況が続くが、引き続き、経費削減と効率的な事業運営に努めるとともに、市民福祉の向上に寄与するため、更なる経営体質の強化に努め、本市上下水道事業の運営に協力していく。

事業計画の概要は次のとおりである。

#### ア 上下水道事業に係る調査研究及び普及啓発に関する業務

- (ア) 上下水道局が開催する事業への参画、普及啓発
- (イ) 鳥羽水環境保全センター普及啓発

#### イ 上下水道施設の調査に関する業務

- (ア) 水圧測定
- (イ) 貯水槽水道調査
- (ウ) 排水設備の接続ます位置設定
- (エ) 未水洗家屋勧奨
- (オ) 排水設備設置状況調査等
- (カ) 排水設備工事確認申請受付及びしゅん工検査
- (キ) その他下水道管調査

#### ウ 上下水道施設の維持管理に関する業務

- (ア) 配水幹線用仕切弁・空気弁・同弁室の点検清掃及び整備
- (イ) 弁栓類等位置確認調査及び点検
- (ウ) 設備補修

#### エ 漏水修繕及び漏水調査に関する業務

- (ア) 漏水修繕
- (イ) リークゾーンテスターによる漏水調査
- (ウ) 漏水調査

#### オ 水道メーターの取替及び井水認定並びに水道料金及び下水道使用料等の徴収等に関する業務

- (ア) 検定期限満了メーター取替、故障・難読メーター取替及び休日開閉栓業務
- (イ) 未納整理事務等
- (ウ) 井水等認定
- (エ) 償還金の未納徴収

#### カ その他当協会の目的を達成するために必要な事業

- (ア) 排水設備工事責任技術者試験、登録及び更新講習業務
- (イ) 京都市下水道史委託販売
- (ウ) 京都市下水道排水設備指針販売

## (2) 予算

## 収支予算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	200	200	0
事業収益	956,700	1,089,800	△ 133,100
雑収益	4,200	20,600	△ 16,400
経常収益計	961,100	1,110,600	△ 149,500
(2) 経常費用			
事業費	1,076,170	1,109,270	△ 33,100
管理費	1,130	1,330	△ 200
経常費用計	1,077,300	1,110,600	△ 33,300
当期経常増減額	△ 116,200	0	△ 116,200
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 116,200	0	△ 116,200
一般正味財産期首残高	629,805	629,805	0
一般正味財産期末残高	513,605	629,805	△ 116,200
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	4,000	4,000	0
指定正味財産期末残高	4,000	4,000	0
III 正味財産期末残高	517,605	633,805	△ 116,200

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	1,210,016	1,104,517	1,114,822	961,100
	当期経常増減額	3,807	△6,663	△5,733	△116,200
	当期正味財産増減額	1,423	△8,436	△8,166	△116,200
貸借対照表	総資産	863,404	835,884	863,550	
	総負債	221,164	202,079	237,912	
	正味財産	642,241	633,805	625,639	
	基本財産	16,000	16,000	16,000	
	累積損益額	626,241	617,805	609,639	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	配水管施設補修業務	95,602			
	水圧測定事業		38,327	38,586	
	設備補修事業		30,779	22,721	
	配水幹線用仕切弁, 空気弁, 同弁室の点検清掃及び整備事業		9,221	9,446	
	弁栓類等位置確認調査及び点検事業		26,998	27,907	
	漏水防止関連業務	607,942			
	漏水修繕事業		440,485	476,519	
	リークゾーンテスターによる漏水調査事業		29,002	29,717	
	漏水調査事業		41,865	49,580	
	検定期限満了メーター及び故障・難読メーター等取替事業	161,386	170,139	177,525	
	水道料金及び下水道使用料未納整理事業	66,849	66,036	64,180	
	鳥羽水環境保全センター汚泥処理運転管理事業	135,070	134,866	134,866	
	下水道接続及び未水洗家屋勧奨事業	18,839	13,278	12,165	



(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	排水設備工事確認申請書審査及びしゅん工検査業務	35,805	38,010	40,185	
	井水等使用量認定事業	48,489	48,489	43,415	
	その他	56,270			
	下水道関連市民啓発事業		17,067	17,264	
	排水設備の接続ます位置設定事業		129	164	
	京北地区未水洗家屋調査勸奨業務		1,865	1,583	
	償還金の未納徴収事業		369	376	
	下水道施設等更新入力用資料作成事業		3,906	4,336	
	マンホールポンプ場等整備点検業務		22,383	1,075	
	排水設備設置状況調査等業務		6,600	7,284	
	公共下水道不明管調査業務		2,520		

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>漏水調査の強化により漏水修繕事業の収入及び支出が増加していることと、継続的に実施している給与費のカットなど経費削減に努めていることから、平成23年度と比べて当期正味財産増減額の赤字額が減少している。</li> <li>平成24年度末における累積剰余は約6億900万円となっており、また資金不足も生じていない。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都市からの受託業務を迅速かつ効率的に実施することにより、上下水道事業の基本である「水」の安定供給や良好な水環境の保全に貢献している。</li> </ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度に引き続き、当期正味財産増減額は赤字となっている。経費削減を更に進めていくことが必要である。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>経費削減を進めるとともに、引き続き水の安定供給や良好な水環境の保全に貢献できる取組を実施していく必要がある。</li> </ul>

教育委員会

# 公益財団法人京都市生涯学習振興財団

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 上田正昭

### 2 所在地

京都市中京区聚楽廻松下町9番地の2

### 3 電話番号

075-802-3141

### 4 ホームページアドレス

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/asny1/about/zaidan.html>

### 5 設立年月日

昭和56年3月16日

### 6 基本財産

80,000千円（うち本市出えん額 80,000千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

京都のもつ歴史と文化を生かした生涯学習事業を推進し，生涯学習の振興を図るとともに，京都市における教育と文化の発展に寄与すること。

### 8 業務内容

(1) 講座，講演会及びその他の催しの開催

(2) 体験活動事業等の実施

(3) 生涯学習情報の収集及び提供等

(4) 博物館等における展示事業の実施

(5) 生涯学習施設における貸館事業

(6) 生涯学習のための図書及び資料等の購入・収集・貸出・返却，参考業務及び読書推進事業の実施

(7) その他公益目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

教育委員会生涯学習部施設運営担当（TEL075-801-8822）

### 10 役員名等

(1) 理事長

上田正昭

(2) 副理事長

武田道子

(3) 専務理事

藪田昇（教育委員会事務局理事）

(4) 理事

伊藤克彦，上野佐太郎，榊原吉郎，染川香澄，富田順一，岡田寛子，仲田雅博，永田萌，久田浩司，藤井克巳，森本智子，生田義久（教育長）

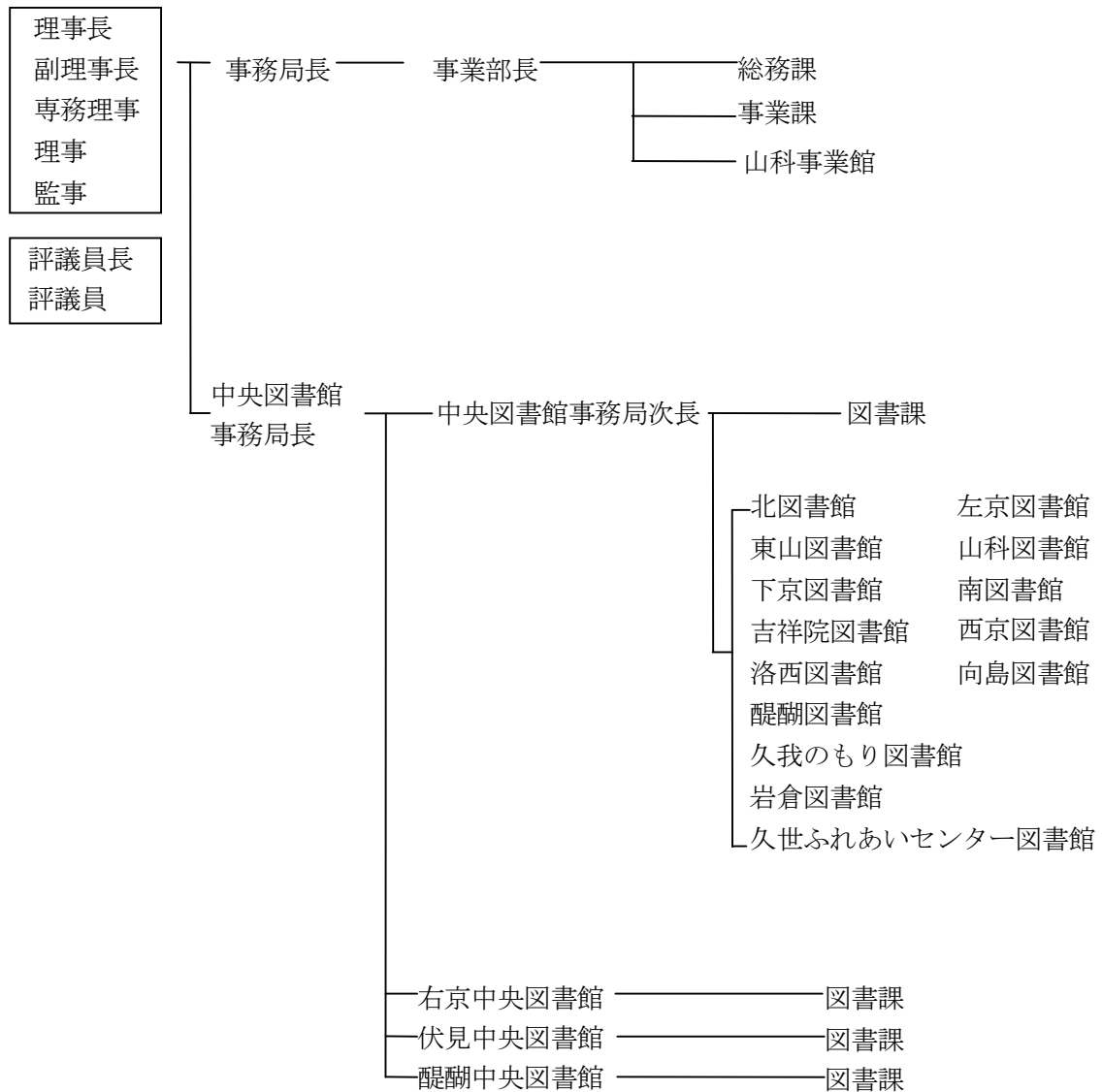
(5) 監事

坂本一馬，新谷久利

### 11 常勤職員数

222人（うち本市派遣職員 35人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成24年度決算

(1) 事業報告

ア 財団事業

(ア) 生涯学習総合センター（京都アスニー）

a 講座、講演会及びその他の催し

事業名	講座数	事業日数	延べ受講者数
アスニーセミナー	60	156	8,338
アスニーアトリエ	59	978	13,356
アスニーコース	7	317	17,193
アスニーコンサート	12	12	3,556
アスニー「京都学」講座	27	27	3,091
こども映画会	1	1	240
市民ビデオ編集講座	3	9	54
アスニー文化祭	1	2	3,568
合計	170	1,502	49,396

b 文化誌の発行及び友の会の運営

(a) 「創造する市民」の発行(第99号1,600部,第100号1,600部発行)

(b) 友の会「京都まなびすと」の運営(会員549人)

(イ) 生涯学習総合センター山科(アスニー山科)

事業名	講座数	事業日数	延べ受講者数
アスニー・アトリエやましな (多彩な実技の体験教室)	19	164	2,199
アスニー・アトリエやましな (京都の伝統工芸などの創作教室)	6	52	310
アスニー・アトリエやましな (パソコンなどの技能習得を目指す講座)	31	162	1,089
コーラス	3	118	5,946
アスニーシネマ山科	1	6	382
アスニー山科文化祭	1	2	983
DVD落語鑑賞会	1	3	47
合計	62	507	10,956

イ 受託事業

生涯学習総合センター(京都アスニー),生涯学習総合センター山科(アスニー山科),

図書館

a 講座,講演会等

事業名	講座数	事業日数	延べ受講者数
生涯学習総合センター(京都アスニー)			
古典の祭典2012	1	2	574
ゴールデン・エイジ・アカデミー	47	47	24,750
視聴覚センター事業	70	74	13,245
小計	118	123	38,569
生涯学習総合センター山科(アスニー山科)			
学びのフォーラム山科	45	45	9,980
ゴールデン・エイジ・アカデミー同時中継	47	47	2,970
アスニー・ジュニア・アトリエやましな	1	1	15
小計	93	93	12,965
図書館(※)	185	886	29,409
合計	396	1,102	80,943

(※) 深草図書館,こどもみらい館子育て図書館分は含まない。

b 生涯学習情報発信事業の取組(京都アスニー)

(a) 生涯学習情報コーナー

(b) インターネットのホームページ(アスニーページ)による情報発信

(c) 生涯学習講座案内「まなびすと」の発行

c 古典の日記念 京都市平安京創生館の運営

入館者数:56,665人

ウ 共催事業（財団法人京都市埋蔵文化財研究所等との共催）

- (ア) 文化財講演会「三条せともの屋町出土の茶陶」（京都市，埋文研）
- (イ) 古典の日記念 京都市平安京創生館企画展示 発掘調査成果写真展  
「発掘調査成果写真展 2012」（京都市，埋文研）

エ 施設の利用状況

- (ア) 生涯学習総合センター，生涯学習総合センター山科

	利用回数
京都アスニー研修室等	5,203
視聴覚センター	1,156
アスニー山科研修室等	3,619
合 計	9,978

- (イ) 図書館

	利用回数(貸出人数,回数)	貸出冊数
個人貸出し(※)	2,206,872	7,496,221
団体貸出し(※)	6,706	46,253
移動図書館・個人貸出し	10,894	54,662
移動図書館・団体貸出し	67	1,456
在宅貸出し	1,867	9,464
対面朗読	117	-
テープ図書貸出し	64	1,228

(※) 移動図書館分含む

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	備考
I 資産の部			
1 流動資産	[231, 381]	[163, 958]	
小口現金	100	91	
普通預金	213, 702	147, 314	
未収金	1, 141	547	
棚卸資産	14, 018	14, 165	
商品券	2	2	
仮払金	408	242	
前払金	366	428	
繰延税金資産	1, 645	1, 170	
2 固定資産	[669, 216]	[613, 202]	
(基本財産)	(80, 000)	(80, 000)	
普通預金	0	12	
定期預金	40, 000	40, 000	
投資有価証券	40, 000	39, 988	
(特定資産)	(571, 713)	(514, 182)	
減価償却引当資産	6, 605	62, 359	
減価償却引当投資有価証券	0	10, 000	
受託事業積立資産	0	18, 600	
退職給付引当資産	504, 107	362, 344	
退職給付引当投資有価証券	10, 000	0	
厚生事業積立資産	0	10, 184	
駐車場積立資産	25, 800	25, 000	
久我の杜生涯学習プラザ 運営基金引当預金	25, 201	25, 695	
(その他の固定資産)	(17, 503)	(19, 021)	
建物附属設備	5, 373	6, 306	
構築物	264	305	
什器備品	5, 878	6, 371	
電話加入権	5, 812	5, 812	
商標権	176	227	
資産合計	900, 598	777, 160	
II 負債の部			
1 流動負債	[239, 645]	[175, 639]	
未払金	148, 218	91, 942	
未払法人税等	1, 679	1, 824	
未払消費税等	16, 384	0	
前受金	1, 628	1, 818	
預り金	8, 600	16, 722	
賞与引当金	63, 137	63, 333	
2 固定負債	[514, 107]	[456, 446]	
退職給付引当金	514, 107	456, 446	
負債合計	753, 752	632, 085	
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	[80, 000]	[80, 000]	
京都市出資金	30, 000	30, 000	
京都市寄付金	50, 000	50, 000	
(うち基本財産への充当額)	(80, 000)	(80, 000)	
2 一般正味財産	[66, 846]	[65, 075]	
(うち特定財産への充当額)	(57, 606)	(151, 837)	
正味財産合計	146, 846	145, 075	
負債及び正味財産合計	900, 598	777, 160	

正味財産増減計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	502	506	△ 4
② 特定資産運用益	120	121	0
③ 事業収益	70,710	72,705	△ 1,995
④ 受取補助金等	1,512,318	1,472,801	39,517
⑤ 雑収益	656	1,961	△ 1,305
経常収益計	1,584,307	1,548,094	36,213
(2) 経常費用			
① 振興事業費	48,049	44,974	3,075
② 受託事業費	1,513,526	1,461,933	51,593
③ サービス事業費	18,249	18,193	55
④ 生涯学習施設基金交付金	500	1,000	△ 500
⑤ 管理費	941	895	46
経常費用計	1,581,263	1,526,995	54,268
当期経常増減額	3,043	21,098	△ 18,055
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 資産処分損	0	296	△ 296
② 什器備品除却損	70	60	10
経常外費用計	70	356	△ 286
当期経常外増減額	△ 70	△ 356	286
税引前当期一般正味財産増減額	2,973	20,743	△ 17,770
法人税、住民税及び事業税	1,679	2,224	△ 545
法人税等調整額	△ 475	153	△ 628
当期一般正味財産増減額	1,771	18,366	△ 16,595
一般正味財産期首残高	65,075	46,709	18,366
一般正味財産期末残高	66,846	65,075	1,771
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	502	506	△ 4
② 一般正味財産への振替額	△ 502	△ 506	4
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	80,000	80,000	0
指定正味財産期末残高	80,000	80,000	0
III 正味財産期末残高	146,846	145,075	1,771



## 2 平成 25 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 京都市生涯学習総合センター事業の実施

##### (ア) 財団事業

- a アスニー文化祭～学びとふれあいの広場～の実施
- b アスニー山科文化祭の実施
- c アスニーセミナー
- d アスニーアトリエ
- e アスニーコーラス
- f アスニーコンサート
- g アスニー京都学講座
- h 京都通の文化誌「創造する市民」の発行
- i その他

##### (イ) 受託事業（京都市からの委託を受けて実施）

- a 古典の祭典 2013 の開催
- b 古典の日記念 京都市平安京創生館の運営
- c ゴールデン・エイジ・アカデミー
- d 学びのフォーラム山科
- e 視聴覚センター事業
- f 土曜こどものつどいーアスニー・キッズ・シネマー
- g アスニーシネマ
- h アスニー日曜シネマ
- i その他

##### (ウ) 貸館事業

##### (エ) 情報発信

#### イ 図書館事業の実施

##### (ア) 図書の貸出

- a システム更新による京都市図書館情報網「京・ライブラリーネット」の充実
- b 京都大百科事典的図書館機能の充実
- c 移動図書館
- d 図書館利用に障害のある方へのサービス
- e 郵便による図書等の予約申込み受付サービス

##### (イ) 読書活動推進事業

- a 子ども読書活動推進事業
- b 地域全体の読書活動推進事業

##### (ウ) 情報誌の発行

- a 図書館情報誌「京図ものがたり」
- b 関連図書紹介「京都市図書館からのお知らせです」

##### (エ) その他

- a 図書館ボランティアの養成・導入
- b 他機関との連携
- c 年末臨時開館の実施

#### ウ その他の事業

駐車場の運営ほか

## (2) 予算

## 収支予算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	備考
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	391	506	
特定資産運用益	120	121	
事業収益	68,915	70,918	
受取補助金等	1,497,229	1,510,682	
雑収益	1,300	1800	
経常収益計	1,567,955	1,584,027	
(2) 経常費用			
振興事業費	47,702	50,605	
受託事業費	1,533,895	1,541,247	
サービス事業費	24,949	19,154	
生涯学習施設基金交付金	1,001	1,001	
管理費	1,210	1,255	
経常費用計	1,608,757	1,613,262	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 40,802	△ 29,235	
当期経常増減額	△ 40,802	△ 29,235	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	0	0	
法人税、住民税及び事業税	2,000	1,600	
当期一般正味財産増減額	△ 40,802	△ 1,600	
一般正味財産期首残高	62,979	7,646	
一般正味財産期末残高	20,177	△ 23,030	
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	391	506	
一般正味財産への振替額	△ 391	△ 506	
当期指定正味財産増減額	0	0	
指定正味財産期首残高	80,000	80,000	
指定正味財産期末残高	80,000	80,000	
III 正味財産期末残高	100,177	56,970	

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	1,682,715	1,548,094	1,584,307	1,567,955
	当期経常増減額	36,836	21,098	3,043	△40,802
	当期正味財産増減額	34,752	18,366	1,771	△40,802
貸借対照表	総資産	748,108	777,160	900,598	
	総負債	621,399	632,085	753,752	
	正味財産	126,709	145,075	146,846	
	基本財産	80,000	80,000	80,000	
	累積損益額	46,709	65,075	66,846	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H22 (決算)	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)
委託料	生涯学習事業の実施 (※)	1,591,507	1,469,916	1,509,432	
補助金	各種講座・講演会等事業補助	2,286	2,885	2,886	2,887

(※) 平成22年度までは、京都アスニー（アスニー山科含む）、図書館、学校歴史博物館、こどもみらい館、こども事業館、市民科学事業館、花背山の家7種別の施設において生涯学習事業を実施し、平成23年度からは、京都アスニー（アスニー山科含む）、図書館の2種別の施設において生涯学習事業を実施

## 第3 経営評価結果

## 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>当期経常増減額の黒字は減少しているが、公益法人の収支相償基準の適合が図れており、今後も大幅な黒字にはならない中で安定した状況が望まれる。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館では、インターネットによるレファレンスサービスや図書等の郵送による予約申込みサービスなど利用者サービスの向上に取り組んでいる。</li> <li>アスニーでは、利用者の声を聞きながらアスニー文化祭を平成23年度に引き続き開催するなど、学びの輪を広げる取組を実施されているほか、安土城考古博物館などの新たな機関との連携による講座の取組など事業内容の充実が図られている。</li> </ul>

## 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>当期正味財産増減額は黒字を計上している。今後も財務の安定性を維持するよう努める必要がある。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページアクセス数が減少しており、利用者増に向けて取り組む必要がある。</li> </ul>

この書類は、9月24日（火）から市情報公開コーナーにおいて公開するとともに、「外郭団体の指導調整」のホームページにも掲載します。

・「外郭団体の指導調整」のホームページ

<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu5/category/69-22-0-0-0-0-0-0-0.html>

作成 行財政局財政部経営改革課

TEL 075-222-3293